

韓国民主化闘争以後の「韓国語辞典」に みられる特徴について

— 『延世韓国語辞典』の用例から読み解く韓国社会 —

熊 谷 明 泰

はじめに

本稿は、1998年に刊行された『延世韓国語辞典』（原タイトルは「연세 한국어사전」）の文章用例を分析し、それらの社会的・歴史的背景に留意しつつ、文章用例に反映された現代韓国社会における歴史認識や社会認識の様相を考察することを目的としている。とりわけ、1980年代の韓国民主化闘争後の変動した社会相が、如何にこの辞典に反映されているかについて、文章用例の分析を通じて明らかにしようするものである。

『延世韓国語辞典』は、延世大学言語情報開発研究院で編纂され、「斗山東亜」出版社から刊行された中型朝鮮語辞典である。本体部分は2,120頁からなっており、これとは別に巻頭に16頁の解説、巻末に22頁の「外来語表記用例」が付録として付されている。

辞典の用例は、見出し語が用いられた語句や文を示すことを通じて、見出し語についての語釈や文法解説などでは理解が至らない、さまざまな情報を提供することにある。そもそも、人間が用いることばは、つねに社会的・歴史的コンテクストを伴うものである。したがって、辞典に採択される用例は、その見出し語が実際に話されたり書かれたりしたときの、さまざまな歴史的・社会的背景が反映されていてこそ、生きた用例となりうる。

『延世韓国語辞典』の用例採択の様相を見る時、特に注目し値する特徴の

一つは、編纂された当時の時代状況を敏感に反映した用例が数多く採択されていることである。かつて、1987年6月に勝利を勝ち取った反軍事独裁・民主化闘争は韓国社会の言論・思想状況を激変させる契機となったが、この辞書の執筆者たちは、こうした時代の変化を敏感に感じ取り、用例選択を通じて民主化闘争や官製・御用ではない民主的労働運動、民主社会建設のための努力、女性差別や社会的不正義に対する闘いに積極的な共感を表明する姿勢を、包み隠さず示している。

辞典編纂の社会性について、이정복（イ・ジョンボク、2007：258）は、「辞典とは、単に言語の事実を載せたものではなく、当代の社会構造と人々の考え方、および態度が相対的に溶け込んでいるものであって、編集者の理念が意識的、無意識的に反映された社会文化的産物である。」と指摘し、さらにマリナ・ヤグエーロ（Marina Yaguello）を取り上げ、「辞典はイデオロギーの創造物」、「辞典は支配的理念と社会相を反映し、権威体として、かつ文化的道具としての辞典は言語だけではなく、精神構造と理念を定着させ、保存する役割を果たす」という指摘を紹介している。『延世韓国語辞典』の用例選択の様相は、こうした指摘が適合するわかりやすいケースである。

現代韓国社会における政治意識・社会意識に関し、日本では韓国社会の「反日」意識が浮き彫りにされ、しばしば議論の俎上に挙げられる。『延世韓国語辞典』においても、本稿で具体例を示して指摘するように、日本帝国主義の侵略、植民地支配について批判的に言及した多数の用例が採択されている。昨年（2012年）の光復節前日の8月14日に李明博大統領が独立運動犠牲者たちに対する天皇の謝罪を求める発言を行ったことが報道されたとき、日本のマスコミは李大統領のこの発言に対して、おしなべて批判的な報道を行った。しかし、『延世韓国語辞典』では、「공식적（公式的）」という見出し語の下に「韓国をはじめとして、中国や他の諸国の民族に犯した野蛮な行為に対して、天皇〔原文は「国王」〕は公式的に謝らなければならない。」という用例を採択しており、また『高麗大韓国語大辞典』（全3巻、高麗大

学民族文化研究院国語辞典編纂室編、2009年）でも、「일본왕（日本王）」という見出し語の下に、「政府は、来週訪韓する予定の天皇〔原文は「日本王」〕が過去のことについて、明確に謝罪することを要求した。」という用例と思われる用例を採択していることからわかるように、韓国社会では朝鮮侵略・植民地支配やアジア・太平洋戦争に対して、天皇にも責任があるとする歴史認識は、奇異なものとは受け止められていない。かつて、天皇訪韓が決定されたことなどないにも拘わらず、こうした用例を採択した歴史的考証の甘さは批判されるべきだが、あえてこうした用例が採択された事実は、天皇に関するこの種の歴史認識が韓国社会では一般的なものであることを示している。

東西冷戦時代、反共主義軍事独裁政権の下で、韓国の民衆は人権も思想・言論の自由も奪われていた。しかし、多大の犠牲を払いながら、不屈の戦いを展開して軍事独裁政権を打倒し、民衆の力で民主主義を発展させた。また、日本の植民地支配に協力した「親日派」を糾弾する声は、今も絶えない。

一方、戦後日本社会は、北緯38度線という「反共防波堤」の後方でブルジョア民主主義と基本的人権が保障されはしたが、いまだに朝鮮植民地支配やアジア・太平洋戦争における犯罪的行為を、日本の民衆みずからの手で清算することもできないでいる。さらには、いまま朝鮮植民地支配を正当化する世論形成の動きが絶えない日本社会を目の前にして、韓国の人々が「反日」的思考を拭えないのも、無理からぬことである。

本稿で取り上げる『延世韓国語辞典』のみならず、『高麗大韓国語大辞典』を少し開いてみるだけでも、「挺身隊問題では、日本政府が被害女性たちに誠実な姿勢で許しを乞うべきだ」（「사죄（謝罪）」の用例）、「従軍慰安婦のおばあさんたちに加えられた殺人的蛮行に、多くの人々が歯を震わせた」・「日帝支配期に多くの女性が殺人的な拷問にも、自らの意思を曲げなかった」（ともに「살인적（殺人的）」の用例）、「わが民族は植民地時代を生きてくるなかで、あらゆる辛苦をなめた」（「살아오다（生きてくる）」の

用例) などといった、植民地支配を批判した用例を容易に見出すことができる。

『高麗大韓国語大辞典』は、朝鮮語言語コーパスを用いて編纂され、見出し語数39万7千語、7,535頁に及ぶ、朝鮮語辞典としては歴史上最大のボリュームを誇る、最新の本格的な大辞典である。この辞書に採択された文章用例は、『延世韓国語辞典』の文章用例にみられる特徴を共通して有しており、植民地支配に関する用例以外にも、「同じ民族のあいだで、銃で狙い合うようなことは控えるようにしましょう」(「삼가다 (控える)」の用例)、「米軍はベトナムのジャングルに枯葉剤を大量に撒布したが、これによって参戦していた多くの人々が、その後遺症に苦しんでいる」(「살포하다 (撒布する)」の用例) など、現代社会の諸問題を反映した用例が数多く採択されている。

民衆の直接行動によって軍事独裁政権を打倒し、その後も非民主的要素を改革しようとするエネルギーが彷彿としてみなざる韓国社会では、「反日」意識だけが韓国社会を支配しているわけではない。政治・社会問題全体に対する批判精神が社会的集団行動や言論において直接的に表現されやすい韓国社会の現実を、この辞典の文章用例からも読み取ることができるのであり、こうした韓国社会の現実をトータルに捉えないと、韓国人の歴史意識、政治・社会意識を一面的に理解してしまい、日本国内に排外主義的韓国観を助長することになってしまう。

一般に「国語辞典」では、現代社会の政治的・社会的背景を反映しない「中立的」、かつ「無難な」内容のセンテンスを用例として採択するのが、日本では一般的傾向となっているが、上で紹介したように、韓国の「国語辞典」はそうではない。フェミニズム運動、南北分断状況、貧富格差・社会的不平等問題など、また、今も徴兵制度が実施され南北間に漂う軍事的緊張状態を反映した軍事・軍隊に関連する用例も、数多く採択されている。

軍隊・軍事に関連した用例の中には朝鮮戦争に関するものが多数みられるが、ベトナム戦争時の韓国軍による良民虐殺の事実に対する言及は、韓

国社会では未だにタブー視されており、本稿で筆者が調査対象とした部分（『延世韓国語辞典』全体の約11.37%）に限って言えば、この問題に言及した用例は見出すことができない。しかし全くないわけではなく、筆者が調査した箇所以外のところでは、「村の住民たちをいくら殴りつけても、彼らはベトコンの所在を話してくれませんでした」（「족치다（[屈服・自白を強要して] ひどく殴る）」の用例）のような例を見出すことはできる。しかし、全体的にみると、『延世韓国語辞典』が社会正義に対する希求を色濃く滲ませた辞典ではあっても、ベトナム民衆に対する加害の事実を白日の下に晒し難い現代韓国社会の桎梏からは、自由ではありえないようである。

本稿では、『延世韓国語辞典』全体を調査したわけではなく、全体の約11.37%の文章用例を調査した不十分なものではあるが、全体的な輪郭は明らかにしうるであろうと考える。

第1章 『延世韓国語辞典』について

1. 『延世韓国語辞典』編纂の経緯

『延世韓国語辞典』の「まえがき」(머리말)では、この辞典が編纂された経緯が詳しく述べられている。「まえがき」の冒頭では、植民地時代に朝鮮人だけで結成・運営された民間学術啓蒙団体「朝鮮語学会」における辞典編纂に触れて、次のように述べている。

「朝鮮語がこの世で用いられ始めて以来数千年がすぎ、もっとも暗い民族受難期だった1943年^{ママ}に至って、朝鮮語学会が『朝鮮語大辞典』（「조선말 큰사전」）を完成させたが¹、(中略) 残酷な外勢と同族相撃つ悲劇によって、その民族的課業の結実はハングル学会（한글학회）の『大辞典』（「큰 사

1 朝鮮語学会事件は1942年10月からの学会関係者逮捕に始まり、学会が編纂していた朝鮮語大辞典編纂作業も、事実上、この時期に頓挫した。また、1942年10月の時点では原稿が出来上がり、その一部の校正刷りが出た段階にあったが、1943年の時点で辞書として「完成」していたわけではなかった。

前] 6巻がすべて出版された1956年まで、この世に姿を現すことができなかった。」

日本の植民地支配下にあった1942年10月から、朝鮮語学会を構成する重鎮の学者たちが一斉に検挙され、治安維持法違反容疑で起訴・投獄されたが、同学会が編纂をすすめていた朝鮮語辞典の原稿は証拠物件としてすべて押収され、解放後まで再び学会員の目に触れることがなかった。この事件は、アジア・太平洋戦争のさなか、朝鮮民衆を戦争体制に総動員するため、「内鮮一体化」、「皇国臣民化」政策のもと、朝鮮語使用の抑圧・禁止、「国語常用」が朝鮮民衆に強要される時代に仕組まれた、民族語守護運動に対する苛烈な弾圧だった。「内鮮一体化」、「皇国臣民化」に真っ向から対決する朝鮮民衆を巻き込んだ民族語守護運動は、植民地統治権力にとっては、治安維持法に抵触する「犯罪」として立件するに値する民族運動だった。

朝鮮語学会事件の「判決文（昭和18年予審終結決定）」²の判決理由が書かれた部分の冒頭では、朝鮮語学会の活動について、「民族運動の一形態としての所謂語文運動は、民族固有の語文の整理統一普及を図る一^{ひとつ}の文化的民族運動たると共に、最も深謀遠慮を含む民族独立運動の漸進形態なり」と咸興地方法院は断定し、朝鮮語の規範化や朝鮮語辞典の編纂、及びその普及は民族独立運動であると断罪している。

この事件の首謀者格の一人とみなされた^{チェ・ヒョンベ}崔鉉培は、かつて、延世大学の前身である延禧専門学校で教職に就いていたことがあり、8.15解放後は米軍政庁や韓国政府における言語政策を主導し、朝鮮語学会、ハングル学会（1949年9月5日に「朝鮮語学会」を改称）で中心的役割を果たした人物の一人であったため、延世大学は民族語守護運動の歴史にたいして高いプライドを誇ってきた。また、同志社大学英文科在学中に、抒情的で内省的な^{ユン・ドンジュ}朝鮮語の詩をノートに書きためていた詩人尹東柱は、1943年7月に治安維

2 『韓』第6巻第9号、韓国研究院、1977年。本稿での引用にあたっては、漢字は新字体に、仮名遣いは新仮名遣いに改めた。また、読みやすさを考慮して、適宜句読点を挿入した。

持法違反容疑で逮捕され、その後福岡刑務所で獄死した人だが、尹東柱も延禧専門学校の卒業生だった。『延世韓国語辞典』の「まえがき」で、「この仕事は、韓国語研究とハングル文化運動の大きな揺籃である延世大学の仕事であるに違いない」と書かれているが、それは、こうした先人の足跡を強く意識した記述である。

上記「判決文」は、朝鮮語辞典編纂事業に対して、「一見、巧みに学術的な朝鮮語辞典を装い、其の實、朝鮮固有文化を向上せしめ、且朝鮮民衆の民族意識を喚起、昂揚するに充分なる朝鮮語辞典の編纂に努め、昭和17年9月頃迄に収録語彙約15万、6,000頁に及ぶ原稿を作成」したとして、朝鮮文化の向上や、民族意識を喚起、昂揚することが犯罪であるとしたのは、「内鮮一体化」や「皇国臣民化」政策に抵抗するものとみなしたためだった。

さらに「判決文」は、朝鮮語辞典の語彙の採録と註解について、「朝鮮独立の根本目的に副い、民族精神の鼓吹を一貫する趣旨の下に能う限り、其の徹底を期すると共に、苟も朝鮮の民族精神を抹殺、若は毀損するが如き文句の使用を避け、該註解を当局の検閲の許す範囲内に於て、暗々裡に民族意識の昂揚を図る様、工夫することを協議決定し」とし、原稿の記述内容にまで踏み込みつつ、治安維持法違反の犯罪要件を構成するものとみなした。

朝鮮語学会によるこの辞典編纂事業は、朝鮮民族の力量を結集した、最初の本格的な朝鮮語辞典編纂の試みであっただけに、植民地統治権力からの弾圧によって、拭いがたい屈辱感を朝鮮民族に与えることになった。『延世韓国語辞典』の編纂も、こうした民族的屈辱の歴史を踏まえて進められ、民族主義精神に透徹しようとする姿勢が、「まえがき」から読み取れるのである。

「まえがき」には、延世大学における朝鮮語辞典編纂のそれまでの歩みが記されている。これによれば、1986年、延世大学で290名の教授が「この民族史的事業」に参加することになり、教員たちが自発的に「延世大学韓国

語辞典編纂会」を立ち上げた。その後、1989年6月には延世大学の事業として推進することが決定され、「韓国語辞典編纂室」が設置された。この編纂室は1997年に「延世大学言語情報開発研究院」として拡大改編され、現在に至っている。

「延世大学韓国語辞典編纂会」では、1988年から韓国で史上初の本格的な大規模朝鮮語コーパス(말뭉치)の構築が進められ、3,000万語まで作業が進んだ段階で、まず、主に1960年代以後から当時(1990年代の中頃)に至るまでの朝鮮語を扱った朝鮮語辞典を編纂することが決定された。1993年5月から5年間の歳月をかけて編纂作業が進められ、1998年4月30日に最後の原稿が出版社に提出されて作業に1段落が付き、「ハングルの日」である同年10月9日に『延世韓国語辞典』が刊行される運びとなった。また、これは本格的な大辞典刊行に向かう中間段階として編纂されたものと位置づけられている。「延世大学言語情報開発研究院」では、将来、朝鮮語の歴史的な変遷過程をすべて記述した『時代別韓国語大辞典』(시대별 한국어 대사전)の刊行を目指しているという³。

2. 『延世韓国語辞典』の基本的性格

『延世韓国語辞典』は、朝鮮語コーパスを活用した辞典編纂としては韓国で初めてのものであり、また、用例に関しては接頭辞(174語)・接尾辞(368語)を除くすべての見出し語(約52,800語)の下に文章用例を採録することに徹した点においても、画期的なものだった。この辞典以前に韓国で編纂された朝鮮語辞典では、基本語彙を除いては、多くの見出し語に文章用例が採録されていなかったからである。

『延世韓国語辞典』では、紙面の右側に別途にさまざまな解説を付すための「参考欄」が設けられ、発音や綴字法上の注意事項、用言の活用や格支

3 延世大学言語情報教育院(연세대학교 언어정보교육원)のホームページ(<http://ilis.yonsei.ac.kr>)

配に関する文法事項、用言と共起する副詞に関する情報、階称 (speech level) に関する情報、用言文において用言と共起する名詞の特性 (「有情名詞」、「無情名詞」、「具体名詞」、「場所名詞」、「人間名詞」など) や、その名詞の具体例の提示、縮約形、関連語、類義語、派生語、連語の提示 (見出し語の名詞と共起する用言、見出し語の用言と共起する名詞の提示)、用法に関する参考事項など、日用に役立つと共に、学習用としても役立つ辞典としての性格を兼ね備えたものとなっている。

見出し語の選定は、延世大学で作成された朝鮮語コーパスに基づく語彙頻度調査の結果を踏まえ、1960年代以後に刊行された“普通サイズ”の本で約18万ページ相当の朝鮮語コーパスから、固有名詞を除く出現頻度14回以上の単語約5万語を採録するという基本方針のもと、親見出し語49,561、小見出し語3,793語の総計53,354語が採録されている⁴。このように、語彙頻度調査に基づく徹底した見出し語選定作業を行ったのも、画期的なことだった。

上記のような使用頻度の高い語彙に限定した見出し語選定について「まえがき」は、見出し語数を増やすために多くの紙面を使うことによって、見出し語の説明が疎かになるようなことがあってはならないからだと説明している。そして、見出し語数の多さを誇る競争が普遍的な現象となっている朝鮮語辞典編纂の慣行を止揚し、1960年代以後の朝鮮語文で相当程度の使用頻度を示す単語に対して、比較的充実した情報を盛り込んだと、「まえがき」に記している。事実、この事典には古語は見出し語に採録されておらず、そのほか日常用いられることが少ない語彙も採録されていない。

ちなみに、日本の『広辞苑』(岩波書店)や『精選版日本国語大辞典』(小

4 親見出し語の品詞別構成は、名詞30,744語 (全体の約62%)、依存名詞314語、代名詞107語、数詞86語、動詞9,358語 (全体の約19%)、形容詞2,899語 (全体の約6%)、補助動詞36語、補助形容詞11語、冠形詞925語、副詞2,403語 (全体の約5%)、感嘆詞159語、助詞197語、語尾932語、字母30、接頭辞174語、接尾辞368語、調音素1、縮約形584語、形成素203語などとなっている。(出典: http://www.dreamwiz.com/n_tl/dic_help.htm#1)

学館)などは、その用例の多くが古典から引かれており、現代語の用例採択が極めておろそかにされている。日本語は朝鮮語に比べて、俗語(vernacular)による文献の歴史的蓄積がはるかに豊富で、よく研究されてもいるが、「国語学」の言語史的側面からの専門性を重視するあまり、本来、現代言語生活に役立つように編纂されるべき「国語辞典」の使命が、はなはだしく等閑視されている⁵。この点では、近年韓国で刊行されている「国語辞典」の方がすぐれていると言わざるを得ない。

『延世韓国語辞典』の語釈について「まえがき」は、「この辞書における単語の語釈は、既存の辞典の語釈とは非常に異なる場合が多いだろう。私たちが延世言語コーパスから、一定の頻度数以上の単語だけを選んで見出し語とした最も重要な理由は、一定数の実際の用例を土台にしてこそ、単

5 たとえば、『精選版日本国語大辞典』(小学館)の「はしる」の項では、語義①「人や動物が素早く移動する。」に対する用例は、『万葉集』と『枕草子』からのみ採択され、語義②「乗物が動いてはやく進む。」に対する用例は、『枕草子』と徳富蘆花(1868年-1927年)の『写生帖』からのみ採択され、語義③「水などが勢いよく流れる。」に対する用例は、『名語記』(鎌倉時代の辞書)からのみ採択されている。さらに語義④に対しては『蜻蛉』(974年頃)から、語義⑤に対しては『源氏物語』から、語義⑥に対しては『読本・雨月物語』(1776年)から、語義⑦に対しては『日葡辞書』(1603年-1604年)と『虎明本狂言・角水』(室町末-近世初)と『日葡辞書』からのみ用例が採択されており、現代日本語文献からの用例採択は全くなされていない。語義①の用例「術(すべ)もなく苦しくあれば出で波之利(ハシリ)去ななと思へど兎らに障(さや)りぬ」(万葉集)や、「供に侍三四人ばかり、ものものはかではしるめり」(枕草子)を読み解ける利用者は少なく、また、現代語「はしる」の意味用法の理解を促進する用例とは言い難い。これでは「国語学」を歴史的に学ぶための辞典でしかなく、現代言語生活に便宜を与え、豊かにする機能を果たしてはいない。用例は、見出し語や語釈では提供しきれない語情報を提供する機能を果たすことが求められるが、現代語辞典で、主に近代語以前の文献から用例を採択するという方法がまっとうか否かについては、再考が求められる。このことは、『広辞苑』についてもいえる。日本の大型「国語辞典」での用例が、さながら古典語辞典のような体裁をなしており、その意味では専門的国語研究者や一部の知的エリートのための辞典といった様相を呈している。今後、現代言語生活を営む一般の人々に寄与しうるよう、民衆的立場に立って編纂された大型「国語辞典」も刊行されなければならないだろう。この点において、近年刊行されている韓国の大型「国語辞典」は、その用例を現代語文献から採択する原則に徹底して立脚しており、はるかに実用的で民衆的なものとなっている。

語の意味と用法を記述できると考えたからだった。したがって、既存の辞書の語釈や説明とは、ときには大変大きな違いがみられるのは当然のことである。これは朝鮮語の実情がそれほどまでに大きく変化しているという事実を知らしめるものでもある。」と説明している。『日本国語大辞典』や『広辞苑』では古典作品から採択された用例が重きを占めているが、これらの辞典では現代日本語の意味分析がいったい何に基づいて行われているのかと、首をかしげざるを得ない。現代日本語における語義の多くは、自明のものとして等閑視されているかのように思われる。

一方、『延世韓国語辞典』や『高麗大韓国語大辞典』は徹底して現代朝鮮語から用例を採択し、現代語の用例に基づいて語義を精密に記述しようとしている。朝鮮総督府による朝鮮語抑圧、それに引く続く南北分断下での民族語の統一的発展の困難性など、近現代における朝鮮語ナショナリズム形成の困難な状況を打開していくうえで、民族語共同体の確立は至上の課題とされ、それゆえに現代朝鮮語による汎民族的朝鮮語共同体を希求する姿勢が、今日の朝鮮語辞典編纂の基本的精神を形成していると言えるだろう。

現代日本語の代表的な大辞典が現代語の分析・記述を疎かにしている現状は朝鮮語の場合とは異なり、日本語共同体の民族性維持・発展に対する危機意識の乏しさを背景にしている。また、朝鮮語の言語ナショナリズムが現代朝鮮語に基盤を置いた言語共同体建設に立脚しているのに対し、日本語世界では日本語の歴史的伝統とその継承性に言語ナショナリズムの基盤を求めるといふ、保守的な思考に囚われている。

韓国における「国語辞典」編纂は、激動する現代社会における現代朝鮮語の現実を記述し、汎民族的言語共同体を築き上げようとする基本的姿勢を堅持しており、その姿勢は用例を採択する際にも生かされている。その結果、韓国の「国語辞典」の用例においては、現代韓国社会の生き生きとした社会的背景を反映したものが採択されている。

言語はそもそも社会的コミュニケーションを維持するものであるとすれ

ば、「国語辞典」として、その例外ではありえない。韓国の「国語辞典」編纂者と利用者との間には、共に現代を生きる者同士の、歴史的・社会的背景を共にする言語共感帯が形成されていると言っても良い。本来、民衆のためにあるべき学問の基本を忘却し、一般大衆の日常言語生活と遊離した様相を示す、上記のような日本の「国語大辞典」の用例採択の原則とは、その根底のところまで性格を異にしている。

韓国の総合大学における学部・学科の配列順をみると、文学部系学部を筆頭に置き、さらにその中でも「国語国文学科」が筆頭に置かれている場合が多い（例えば、ソウル大学、延世大学、西江大学、梨花女子大学、釜山大学、慶北大学など）。ここには民族共同体の確固たる象徴としての朝鮮語に対する民族的な思いが込められており、朝鮮語・朝鮮文学に対する教育研究は、民族的・民衆的な歴史的責務を担うという自負心をもって展開されてきたと言える。

韓国の「国語辞典」編纂も、朝鮮語学会の「朝鮮語大辞典」編纂をはじめとし、民族・民衆と共に歩もうとする意識を鮮明にしてきた。『延世韓国語辞典』の序文にも、そうした意識が闡明されている。日本では、戦前の国粹主義・ファシズムの崩壊と共に、民族主義的国語観の暴走を警戒する社会風土が形成されたのとは対照的である。

3. 『延世韓国語辞典』における用例の機能

この辞典の用例について、「まえがき」は、見出し語のすべてに対して豊富な用例を示したのもこの辞典の大きな特徴であり、少数の特殊な場合以外は、すべての用例を「延世言語コーパス」(연세 말뭉치) から採択したと説明している。つまり、編纂者が自ら施した語釈に合うように作り上げた作例は、実際の言語使用とは乖離した場合が少なからず生じるが、この辞典では自然に書かれた文章から直接取り出した用例であり、また、この辞典の最も大きな分量を占めているのが用例であるだけに、この辞典の多くの部分は、今日の韓国人が共に書いたものであるとみなすことができる

と主張している。

しかし、言語コーパスから抽出したセンテンスを、全く手を加えないまま用例として採択する時、その内容が歴史的事実や現実と食い違うケースが現れることは避けがたい。コーパス構築の際に用いられた文献の記述内容が全て正しいものとは限らず、また文章の前後の脈略から切り離されたセンテンスは、本来意図されていた意味内容とは異なって理解されることもあるからである。こうした問題点を十分に考慮しないと、読者に対して誤った情報を与え、無用な誤解を招いてしまう。『延世韓国語辞典』は、こうした危険性に対して、最大限の配慮がなされたかどうか、気がかりではある。

学習用辞典における用例が果たす機能として、たとえば Drydale (1987) は、(1) 語句の定義付けに対する情報を提供するため、(2) 文脈中の見出し語を示すため、(3) 意味を他の意味から区別するため、(4) 文法的パターンを示すため、(5) 典型的な連語を示すため、(6) 適切な使用領域 (register) や文体レベルを示すため⁶、の6つの側面を指摘している。

シドニー・ランドウ (1988 : 157) は、「引用例は連語関係、用法の種類 (スピーチ・レベル、滑稽な状況かまじめな状況か)、含意 (感情的含み)、文法上の脈略 (動詞なら間接目的語を取るか) や当然、明示的意味について多くの情報を伝達しうる」と指摘している。

また、정연숙 (チョン・ヨンスク、2009 : 18) は用例が提示する情報を、意味情報として「属性情報、類義情報、対立情報、上下情報、関連情報」の5項目、形態情報として「文型情報、文法情報」2項目、統辞情報として「単語結合情報」に分けて言及している。

『延世韓国語辞典』の用例は、基本的に文章用例のみを提示しているために比較的大きなスペースを占めることになり、その数も見出し語1語あた

6 Drydale 著 'The Role of Examples in a Learner's Dictionary' (1987) における記述内容。유현견・남길임 (2009 : 326) より再引用。

り平均2例弱であるため、上記のような用例が果たす機能の多くについては、上で触れたように、「参考欄」においてさまざまな情報を提示することによって、用例で示しきれない機能を補完している。

第2章 『延世韓国語辞典』における用例の抽出

『延世韓国語辞典』の用例分析において、本稿は以下のページに限って試みた調査の結果に基づいている。なるべく全体像を反映できるよう、全編にわたって調査対象ページを設定した。分担執筆の影響を受けたためか、見出し語の意味との相応関係とはかかわりなく、社会的・歴史的背景が鮮明な用例が比較的多く採択されている部分も見られるためである。調査した箇所は以下に示す部分（合計241ページ）で、『延世韓国語辞典』本体部分の約11.37%に相当する。

pp.50-60・100-110・150-160・200-210・250-260・300-310・350-353・
400-403・450-453・500-503・550-553・600-603・650-653・700-703・
750-753・800-803・850-853・900-903・950-953・1000-1010・1050-
1060・1100-1110・1150-1160・1200-1210・1250-1253・1300-1303・
1350-1353・1400-1403・1450-1453・1500-1503・1550-1553・1600-
1603・1650-1653・1700-1703・1750-1753・1800-1803・1850-1853・
1900-1953・2000-2003・2050-2053・2100-2103

この辞書では、すべての見出し語（小見出しを含む）に少なくとも1つのセンテンスからなる文章用例が掲げられている。ただし、接頭辞や接尾辞の見出し語だけは、文章用例は掲げられておらず、見出し語を用いた派生語のみが掲げられている⁷。

7 筆者が調査した範囲に限って言えば、例外として見出し語「공사（公社）」にのみ

本稿で取り上げた文章用例は1,351センテンスである。これは全編の11.37%を対象としたものであるから、同じような基準で全編にわたって文章用例を取り上げるとすれば、12,000センテンス前後になるように思われる。筆者の若干の試算によれば、接頭辞、接尾辞以外の見出し語1語あたり約1.86センテンスが文章用例として掲げられており、全体では10万センテンス前後であると思われる。それゆえ、この調査は『延世韓国語辞典』の文章用例にみられる概略的な姿を示すものでしかない。

『延世韓国語辞典』に採択された文章用例の中から、社会的・歴史的背景を比較的濃厚に反映したものを抽出する作業において、何らかの確固たる客観的基準を設定したわけではなく、また、そのような厳格な基準の設定は容易ではない。したがって、本稿で明らかにしようとするテーマに関連すると思われる文章用例を抽出したのであって、この点においては筆者の恣意的な側面が濃厚であることは否めない。

本稿では、筆者が抽出した1,351の文章用例を社会的・歴史的背景別に以下の20項目に分類して分析を進めることにした。20項目の分類は以下の通りである。カッコ内の数値は用例数を示す。

日本帝国主義・植民地支配関連 (145)、その他の日本関連 (33)、欧米関連 (92)、北朝鮮・アジア・アフリカ関連 (34)、朝鮮戦争・南北分断関連 (117)、労働運動関連 (52)、貧富格差・社会的不平等関連 (49)、民主主義・民主化関連 (184)、民族主義・民族的プライド関連 (112)、共産主義関連 (17)、議会・政治関連 (31)、拘留・刑務所関連 (44)、警察関連 (42)、戦争・軍隊・軍事関連 (223)、経済関連 (40)、女性問題・フェミニズム関連 (42)、教育関連 (19)、現存する個人名・組織名など固有名詞関連 (22)、言語解説関連 (20)、教訓的言説など

1つの文章用例のほかに、合成語「住宅公社／土地開発公社／映画振興公社」も掲げられている。

(33)

この分類によれば、戦争・軍隊・軍事関連、民主主義関連、日本帝国主義・植民地支配関連、朝鮮戦争・南北分断関連、民族主義・民族的プライド関連の用例が際立っており、南北分断下での軍事的緊張や徴兵制度、日本による植民地支配の歴史や民族的プライドの表出、民主主義を希求する社会変革の流れが強く反映されている。

以下、分類別に、用例の紹介と分析を順次行うことにする。用例の日本語訳は筆者によるものである。

1. 日本帝国主義・植民地支配関連の用例（用例数：145）

ここで取り上げる用例が扱っているテーマを更に細分してみると、以下のようになる。複数のテーマにまたがる用例は、そのうちの一つのテーマのもとにのみ分類した。

- ①義兵・独立軍・抗日闘争（42、63、72、91、98、99、105、107、119、141）、②独立運動（27、37、55、60、66、73、83、85、86、94、97、125）、③抗日社会運動・文筆活動（11、12、44、45、69、114、126、134、142）、④第2次世界大戦（16、43、64、115、117、118、131、140）、⑤壬申倭乱 [文禄・慶長の役]⁸（18、22、26、46、76、89、100、106）、⑥亀甲船・李舜臣（46、77、78、79、96、116、120、132）、⑦植民地統治による生活苦・収奪・略奪・蔑視（19、23、62、70、103、104、108、129）、⑧日帝による虐殺（56、74、80、137、138、139）、⑨植民地経済体制（3、4、17、34、81、122、143）、⑩植民地支配下での流浪（2、57、59、128、135）、⑪明成皇后（「国母」・閔妃）虐殺

8 文禄の役を壬申倭乱、慶長の役を丁酉倭乱と言うが、一般的に韓国では、文禄・慶長の役を壬申倭乱とか壬申乱と言う。

(30、31、75、95)、⑫思想弾圧(1、58、92)、⑬朝鮮語使用の抑圧・禁止(10、33、65、113、123、124)、⑭民族文化の抑圧・抹殺(5、15、24、29、32、71)、⑮民族思想の変節(9、21、67、68、93、111、112、136)、⑯尹東柱(82、133)、⑰日本の警察・憲兵(35、40、50、54)、⑱侵略・国権篡奪(6、8、13、14、20、28、36、38、41、88、110、127)、⑲外勢依存(51、53)、⑳8.15解放後韓国社会における日本に関連した言説(7、39、47、48、49、52、61、84、90、101、102、109、121、130、144、145)。

義兵・独立軍・抗日闘争関連(①)では、壬午軍乱、青山里の戦い、尹奉吉、鳳梧洞の戦いに言及し、独立運動関連(②)では、3.1運動を主とし、新幹会、上海臨時政府、中国での独立運動などにも言及している。第2次世界大戦関連(④)では、真珠湾攻撃、原爆投下、学徒兵、大空襲、勤労挺身隊などが取り上げられている。⑤壬申倭乱(文禄・慶長の役)関連(⑤)の用例は数多く採択され、「기념물(記念物)」(46)、「삼차(3度)」(76)、「이끌다(率いる)」(107)のように、「壬申倭乱」と呼応する必然性がない見出し語にも表れている。韓国社会では、植民地支配と壬申倭乱は日本による侵略の歴史において、しばしば重ね合わせて論じられる。秀吉の時代の侵略も民族感情を誘発する歴史的事件として、朝鮮王朝時代には19世紀に至るまで『三綱行実図』が版を重ねて壬申倭乱が語り継がれ、その後今世紀に至ってもなお、決して単なる「過去の歴史」では済まされないとの認識が再生産され続けていることは、『延世韓国語辞典』の用例採択の様相からもわかる。

亀甲船(거북선、コブクソン)は壬申倭乱のとき、李舜臣が統率した朝鮮水軍が日本軍を打ち負かした海戦で使用された船で、朝鮮民族の誇りとなっている。全体の11.37%を対象とした今回の調査で壬申倭乱関連(⑤)、および亀甲船・李舜臣関連(⑥)の用例が16例みられたことから、『延世韓国語辞典』2,120頁の中には、140前後の同種の用例が採択されているもの

と思われ、この数値は決して小さくはない。

植民地統治による生活苦・収奪・略奪・蔑視関連 (⑦) では、文化財の収奪、土地調査事業、戦時供出などが取り上げられている。

日帝による虐殺関連 (⑧) では、「5千名の徴用労働者を機密漏えいを防ぐという口実で虐殺したという」(56)、「朝鮮の民衆と兵士を無惨に殺傷した。」(74)、「満洲一帯で非武装の韓人たちを無差別に虐殺した。」(80・138)、「平和的デモを繰り広げるわが朝鮮の同胞たちを、無差別に虐殺した」(139) という日帝による良民虐殺を内容とする例文が採択され、南京大虐殺に関する用例「南京大虐殺は1937年12月、日本軍が中国の南京を占領する過程で、30万名の民間人を無惨にも虐殺した事件である。」(137) も採択している。

植民地経済体制関連 (⑨) では、「内地」の過剰労働人口の解消、鉄道、土地改革論、土地調査事業、民族資本、人口移動などに関する用例が採用されている。

明成皇后 (閔妃) 虐殺事件 (1895年10月8日) 関連 (⑩) では4つの用例がみられる。日本と対抗するため、ロシアに接近した明成皇后を日本公使三浦梧楼らが虐殺した事件であるが、この事件を直接的には連想させない「겹겹이 (幾重にも)」、「국론 (国論)」のような見出し語の下にも用例がみられ、韓国人にとっての歴史的意味の重みを感じさせる。

朝鮮語使用の抑圧・禁止関連 (⑬) では、「日本語だけを使用することを強要した」、「わが民族の文字とことばを抹殺しようとあがいていた」、「国語抹殺政策が極度に達していた」など、明確に朝鮮語抹殺政策に言及した用例が見られる。日本社会では、こうした否定すべくもない歴史的事実すら論難の対象となっており、朝鮮総督府の朝鮮語抑圧政策に関する「歴史認識」でも、日韓間で共通認識が形成されていないのは、ひとえに日本社会の責に帰すべきところである。また、民族文化抹殺関連 (⑭) では、昌慶宮、旧正月、唱劇 (パンソリ)、農楽などが取り上げられている。

民族思想の変節関連 (⑮) では、植民地近代化論を否定する用例、親日

派批判や日帝への協力者批判を内容とする用例がみられる。

そのほか、自衛隊海外派兵による日本軍国主義復活を憂慮する用例(39)、天皇の責任問題に言及した用例(20)などは、現代政治において相当に鋭敏な問題であるが、韓国社会はこうした用例提示も容認する歴史認識を共有している。また、日本の支配と闘った尹奉吉、申采浩ら民族主義テロリストに好意的な用例が採択されているのも、韓国の「国語辞典」の民族主義的側面を示すものであるといえよう。

〈用例〉

- (1) 강압¹ (強圧) ¶ 彼は日帝の過酷な思想的強圧にも屈せず、氣概と志操をしっかり守って逝去した詩人である。(그는 일제의 가혹한 사상적 강압에도 굽하지 않고 기개와 지조를 온전히 지키다가 작고한 시인이다.)
- (2) 강압¹ (強圧) ¶ 他意によって、そして強圧に耐え切れず経験した他郷暮らしを思えば、今でも無念だ。(타의에 의해서 그리고 강압에 못이겨서 겪은 타관살이를 생각하면 지금도 억울하다.)
- (3) 강압하다 (押さえつける) ¶ 日本が政治・経済的に韓国を圧迫している時だった。(일본이 정치, 경제적으로 한국을 강압하고 있을 때였다.)
- (4) 강점 ([領土などを] 強制的に奪って支配する) ¶ 日帝の朝鮮半島支配は、彼らの過剰労働人口を解決するためのものだった。(일제의 한반도 강점은 그들의 과잉 노동 인구를 해결하기 위한 것이었다.)
- (5) 강점기 ([領土を] 奪われて強制的に支配された時期) ¶ 私たちの文学史において、日帝支配期は民族的受難と試練による苦痛の歴史だった。(우리 문학사에 있어서, 일제 감정기는 민족적 수난과 시련으로 인한 고통의 역사였다.)
- (6) 강탈 (強奪) ¶ ついに日帝は武力を押し立てて我々の国権を強奪したが、このため朝鮮王朝は終わってしまった。(드디어 일제는 무력을 앞세워 우리의 국권을 강탈하였으니, 이로써 조선 왕조는 끝나고

말았다.)

- (7) 강하다 (強い) ¶ 中国は日本を強いと錯覚し、日本は強いかのように欺瞞的手法を用いた。(중국은 일본을 강하다고 착각을 했고 일본은 강한 것같이 기만술을 썼다.)
- (8) 개국 (開国) ¶ 日帝はいわゆる雲揚号事件をでっち上げ、武力で開国を強要した。(일제는 이른바 운양호 사건을 조작하여 무력으로 개국을 강요하였다.)
- (9) 개명 (開明) ¶ 我が国が日本のおかげで文明開化したのではないのかと主張する人が未だにいる。(우리 나라가 일본 덕분에 개명이 된 것이 아니냐고 주장하는 사람이 아직도 있다.)
- (10) 격하하다 (格下げする) ¶ 日帝は「朝鮮語及漢文」を選択科目に格下げして事実上廃止し、日本語だけ使用することを強要した。(일제는 '조선어급한문'을 선택 과목으로 격하해 사실상 폐지하고 일본어만 사용할 것을 강요했다.)
- (11) 격화 (激化) ¶ このような社会運動の激化は、日帝には大きな負担だった。(이러한 사회운동의 격화는 일제에게는 커다란 부담이었다.)
- (12) 결의문 (決議文) ¶ 数多くの社会团体は、それぞれ完全自主独立を要求する決議文を、先を争って発表した。(수많은 사회 단체들은 각각 완전 자주 독립을 요구하는 결의문들을 앞다투어 발표했다.)
- (13) 결합체 (結合体) ¶ 朝鮮が減じる瞬間まで、同族結合体の状態にある自然集落に浸透するだけの行政力は発揮されなかった。(조선이 망하는 순간까지 동족 결합체의 상태에 있는 자연 부락에 침투할 만큼의 행정력은 발휘될 수가 없었다.)
- (14) 겹겹이 (幾重にも) ¶ 日本軍 (原文は [倭軍]) が王宮を幾重にも取り囲んでいた。(왜군들이 궁성을 겹겹이 에워싸고 있었다.)
- (15) 공개되다 (公開される) ¶ 日帝の民族抹殺政策で、苑に格下げされていた昌慶宮が、新たな装いで一般に公開された。(일제의 민족 말살 정책으로 원으로 격하됐던 창경궁이 새 모습으로 일반에 공개되었

- 다.)
- (16) 공격하다 (攻撃する) ¶ 日本は宣戦布告もなしに、アメリカの真珠湾を攻撃することによって、戦争の正当性を確保することに失敗した。(일본은 선전 포고도 없이 미국의 진주만을 공격함으로써 전쟁의 정당성을 확보하는 데 실패했다.)
- (17) 공고하다 (強固である、堅固である) ¶ 鉄道も植民地支配を強固に打ち固めるための目的で建設したものにすぎなかった。(철도도 식민지 지배를 공고하게 다지기 위한 목적으로 건설한 것 뿐이었다.)
- (18) 공리⁴ (空理) ¶ 燕山君執政後から壬申倭乱までは文弱に流れて衰退、腐敗し、学界は空理を尊んだ。(연산군 집정 후부터 임진왜란까지는 문약에 흘러 쇠퇴, 부패하였으며 학계는 공리가 숭상되었다.)
- (19) 공모하다 (共謀する) ¶ 日帝は我が国の売国奴たちと共謀して国を奪い、その後も残酷な略奪を行っていたのです。(일제는 우리 나라의 매국노들과 공모하여 나라를 빼앗고 그 후로도 잔혹한 약탈을 했던 겁니다.)
- (20) 공식적 (公式的) ¶ 韓国をはじめとして、中国や他の諸国の民族に犯した野蛮な行為に対し、天皇 [原文は「国王」] は公式的に謝らなければならない。(한국을 비롯해서 중국이나 다른 여러 나라 민족에게 저지른 야만적 행위에 대하여 국왕은 공식적 사과를 해야 한다.)
- (21) 공안 기관 (公安機関) ¶ 彼は日帝警察の巡查補をしていたが、解放後公安機関に採用された。(그는 일제 경찰의 순사 보조원으로 있다가 해방 후에 공안기관에 채용되었다.)
- (22) 구원병 (救援兵) ¶ 壬申倭乱のとき、明は朝鮮王朝の救援のために援兵を送った。(임진왜란 때 명은 조선 왕조의 구원을 위하여 구원병을 보냈다.)
- (23) 구인란 (求人欄) ¶ 僑胞の日刊新聞の求人欄広告に必ず載っている職種の一つが、いわゆる「家政婦」だ。(교포 일간 신문의 구인란 광

고에 빠지지 않는 단골 직종의 하나가 소위 ‘가정부’다.)

- (24) 구정 (旧正月) ¶旧正月を祝うなという官庁の命令は、日帝時代から下されていた。(구정을 쇠지 말라는 관의 명령은 일제 시대부터 있어 왔다.)
- (25) 구체화하다 (具体化する) ¶身分制度の打破は、日本の植民地統治のもとで一層具体化した。(신분 제도의 타파는 일본의 식민지 통치 아래 더욱 구체화했다.)
- (26) 구한말 ([旧韓末] 大韓帝国末期) ¶壬申倭乱や大韓帝国末期には、命を捧げて国を守ろうとする人々が多かった。(임진왜란이나 구한말에는 목숨을 내놓고 나라를 지키려는 사람들이 많았다.)
- (27) 구현하다 (具現する) ¶3.1運動の精神を具現し、たとえ臨時政府ではあったとしても我々の歴史上、最初の共和主義政府が樹立された。(3.1운동의 정신을 구현하여 비록 임시 정부이긴 하지만 우리 역사상 최초의 공화주의 정부가 수립되었다.)
- (28) 국권 (国権) ¶朝鮮はすでに日帝の実質的な干渉を受けてはいたが、国権まで奪われた状態ではなかった。(조선은 이미 일제의 실질적인 간섭을 받고는 있었지만, 국권까지 빼앗긴 상태는 아니었다.)
- (29) 국극 (国劇、韓国の伝統的な演劇) ¶日帝の強圧から解放されると、唱劇は自ら国劇と称してその活動に拍車をかけた。(일제의 강압에서 해방이 되자, 창극은 스스로 국극이라 일컫고 그 활동에 박차를 가했다.)
- (30) 국론 (国論) ¶国に力がなく、明成皇后殺害事件のような惨劇がおこったが、当時はこれを世に広く知らせて国論を喚起する道すらなかった。(나라에 힘이 없어 명성 황후 시해 사건과 같은 참변이 일어났지만 당시에는 이를 세상에 널리 알려 국론을 일으킬 길조차 없었다.)
- (31) 국모 (国母、国王の正室) ¶明成皇后が殺害されると、世論は国母を失った悲しみと憤怒で様相が一変した。(명성 황후가 시해당하자 여

론은 국모를 잃은 슬픔과 분노로 완전히 되바뀌었다.)

- (32) 국민복 (国民服) ¶ 彼は背広を脱ぎ棄て、コールテンで日帝時代の国民服のような服をつくって着た。(그는 신사복을 벗어 던지고 콜텐으로 일제시대의 국민복과 같은 옷을 만들어 입었다.)
- (33) 국어 (国語) ¶ 植民地期の国語〔朝鮮語〕保護および普及運動は、一方で国語辞典編纂運動として現れた。(식민지 시기의 국어 보호 및 보급 운동은 한편으로 국어 사전 편찬 운동으로 나타났다.)
- (34) 국유화하다 (国有化する) ¶ 解放前の独立運動の過程における土地改革論は左翼、右翼を問わず、だいたい土地を国有化して農民に分配する方向で一致していた。(해방 전 독립 운동 과정에서의 토지 개혁론은 좌우익을 막론하고 대체로 토지를 국유화하여 농민에게 분배하는 방향으로 합일되고 있었다.)
- (35) 국장² (国葬) ¶ 警察は高宗皇帝の国葬に参席するために、皆ソウルに行った。(경찰들은 고종 환제 국장에 참석하기 위하여 모두 서울로 갔다.)
- (36) 국치 (国恥, [他国に対する] 国家的な恥辱) ¶ 私は庚戌年〔1910年〕の国の恥を忘れることができない。(나는 경술년의 국치를 잊을 수 없소.)
- (37) 국호 (国号) ¶ 上海臨時政府は国号を大韓民国とした。(상해 임시 정부는 국호를 대한민국이란 했다.)
- (38) 군국 (軍国) ¶ 露日戦争と清日戦争に勝利した日本軍国政府が韓国を植民地化したあと、とてつもない数の文化財を持ち去った。(러일 전쟁과 청일 전쟁에 승리한 일본군국 정부가 한국을 식민지화한 이후 엄청난 수량의 문화재를 가져갔다.)
- (39) 군국주의 (軍国主義) ¶ 自衛隊海外派兵が公然と行われるなかで、日本の軍国主義が再びよみがえることが憂慮される。(자위대 해외 파병이 공식화되면서 일본의 국국주의가 다시 살아날 우려가 있다.)
- (40) 군도² (軍刀) ¶ 街のあちこちで長い軍刀を下げた憲兵が検問をして

- いた。(거리 곳곳에서 긴 군도를 찬 헌병이 검문을 하고 있었다.)
- (41) 군란(軍亂) ¶ 清国の軍人が馬山浦に上陸したのは、壬午軍亂の時だった。(청나라 군사가 마산포로 올라온 것은 임오년 군란 때였다.)
- (42) 군량미(軍糧米) ¶ 義兵たちが腹を空かせ、疲れ切った状態で村に現れたなら、困窮した暮らしであっても食事をごちそうし、急いで米を集めて軍糧米を調達してやることにしていた。(의병들이 배고프고 지친 상태로 마을에 나타나면 궁핍한 살림에도 불구하고 식사를 대접하며 급히 쌀을 모아 군량미를 조달해 주기도 하였다.)
- (43) 급선회하다(急旋回する) ¶ 飛行機は広島市上空でエンジンを止めたまま、1発の原爆を投下して、直角に急旋回して全速で退避した。(비행기는 히로시마시 상공에서 엔진을 멈춘 채 왼쪽 한 개를 투하하고 직각으로 급선회해서 전속으로 퇴피했다.)
- (44) 급진적²(急進的) ¶ 新幹会運動は極めて非妥協的、戦闘的、急進的な政党だった。(신간회 운동은 지극히 비타협적, 투쟁적, 급진적 정당이었다.)
- (45) 기고(寄稿) ¶ 南宮壁(ナムグン・ビョク)⁹は日本語にもよく通じていて、3.1運動に関して寄稿したこともある。(남궁벽은 일본어에도 썩 능했으며, 3.1운동에 관해 기고를 한 바도 있다.)
- (46) 기념물(記念物) ¶ 壬申倭亂の時、戦勝の代表的なシンボルである亀甲船(コブクソン)は、乱が終わったあと、記念物として保管されて然るべきだった。(임진란 때 승전의 대표적인 상징인 거북선은 난이 끝난 후 기념물로 보관되어야 마땅했다.)
- (47) 기념식(記念式) ¶ 学生の日とはいっても、記念式一つなく、学生の日由来や意義、説明すらない今日の我が国教育の現実がやるせない。(명색이 학생의 날인데 기념식 하나 없고, 학생의 날에 대한

9 南宮壁(1895-1922)。詩人。平安北道で出生。東京で就学したあと、朝鮮に戻って五山中学で教鞭をとった。

- 유래나 의의, 설명조차 없는 오늘의 우리 교육 현실이 서글프다.)
- (48) 기념하다 (紀念する) ¶ 私たちが8月15日を光復節として記念することには、2つの意味がある。(우리가 8월 15일을 광복절로 기념하는 데에는 두 가지 뜻이 있다.)
- (49) 꼴리다 (圧倒される) ¶ 日本の奴らの技術に圧倒される理由はないじゃないのか。(일본놈들 기술에 꼴릴 이유가 없잖아?)
- (50) 끌려가다 (引きずられて行く、連行される) ¶ 키의우、ヒヨンドはサーベルを下げた巡査に、犬のように引きずられていく清国人の老人を見た。(어제 현도는 갈 찬 순사에게 개처럼 끌려가는 청국인 늙은이를 보았다.)
- (51) 끌어들이다 ([人或勢力を] 利用する、引き込む) ¶ 何とか立てたという対策が、日本軍を引き込んで清の軍を負かせようというものだった。(겨우 세웠다는 대책이 일본군을 끌어들이여 청군을 치게 하자는 것이었다.)
- (52) 끌어들이다 ([他人の理論や成果を] 取り込む) ¶ そうでありながら、さらに日本の前例を準拠として取り込む論議に失望した。(그러면서 더구나 일본의 전례를 준거로 끌어들이여 논의를 산망하게 했다.)
- (53) 끌어들이다 ([人或勢力を] 利用する、引き込む) ¶ 互いに異なるこの二つの主張は、日本と中国の勢力を引き込むことになり、ついには政治的対立につながった。(서로 다른 이 두 주장은 일본과 중국 세력을 끌어들이게 되었고, 마침내는 정치적 대립으로 이어졌다.)
- (54) 내갈기다 (がなり立てる) ¶ 日本の巡査が日本語でがなり立てる声に、チャラ村の人々はただ眼をばちばちさせながら立っているだけだった。(일본 순사가 일본말로 내갈기는 소리에 자랏골 사람들은 눈만 깜빡깜빡하며 서 있을 따름이었다.)
- (55) 내다² (…しあげる、…しきる、…し抜く) ¶ 彼は中国にわたって独立運動をしながら、多くの後進を育て上げた。(그는 중국에 건너가 독립운동을 하면서 많은 후배를 길러 내었다.)

- (56) 누설 (漏洩) ¶ 日帝は5千名の徴用労働者を、機密漏えいを防ぐという口実で虐殺したという。(일제는 5천 명의 징용 노동자를 기밀 누설을 방지한다는 핑계로 학살했다고 한다.)
- (57) 눈¹ ([人が見て判断する基準] 目) ¶ 私の父はその方に気に入られて、下人の身分で日本についていきました。(우리 부친은 그분의 눈에 들어서 하인의 신분으로 일본으로 따라갔습니다.)
- (58) 눈에 거슬리다 (憎まれる) ¶ ある作家の小説が、その当時、わが国を治めていた総督府の日本の検閲官に憎まれて、刑務所暮らしをしたことがある。(한 작가의 소설이 그 당시 우리 나라를 다수리던 총독부의 일본 검열관 눈에 거슬려 옥살이를 한 적이 있다.)
- (59) 뜯기다¹ ([小銭や物を] 奪われる) ¶ 以前は仕事に就くために日本に行って、苦勞を重ねながら飯屋の主人にお金をむしりとられ、麻薬中毒者になった人々がいたという。(이전에는 취업하러 일본에 가서, 고생고생하면서 밥집 주인에게 돈을 뜯기고 마약 중독자가 되는 사람들이 있었다고 한다.)
- (60) 모금 (募金) ¶ 彼は秘密裏に独立運動資金の募金を推し進めた。(그는 비밀리에 독립 운동 자금 모금을 추진하였다.)
- (61) 물의 (物議) ¶ 日本の外相の韓日関係に対する発言が、再び物議を醸しています。(일본 외상의 한일 관계에 대한 발언이 다시 물의를 일으키고 있습니다.)
- (62) 물질적 (物質的) ¶ 日帝は物質的にもひどい収奪政策を敢行し、わが民族の生存を脅かした。(일제는 물질적으로도 극단적인 수탈 정책을 감행하여 우리 민족의 생존을 위협했다.)
- (63) 발설하다 ([秘密を] 口外する) ¶ 彼は独立軍について、わずかな機密も口にしなかった。(그는 독립군에 대해 눈곱만큼의 기밀도 발설하지 않았다.)
- (64) 발악 (あがくこと) ¶ 危機に追い込まれるや、日帝は戦況を挽回するのだといって、最後のあがきをみせた。(위기에 몰리자 일제는 전세

를 만회해 보겠다고 최후의 발악을 했다.)

- (65) 발악하다 (아가く) ¶ 当時は日本の侵略者たちが、わが民族の文字とことばを抹殺してしまおうと아가いていた頃だった。(당시는 일본 침략자들이 우리 민족의 글자와 말을 없애 버리려고 발악하던 시절이었다.)
- (66) 발족하다 (發足する) ¶ 新幹会の發足は、当時の民族独立運動の一つの新たな活路を切り開いたものだった。(신간회를 발족한 것은 이 시기 민족 독립 운동의 하나의 새로운 활로를 개척한 것이었다.)
- (67) 변절자 (變節者) ¶ 最近、独立功勞者の内部から、變節者たちに対する褒賞を取り消さなければならないという運動がおこっている。(최근 독립 유공자들 내부에서 변절자들에 대한 포상을 취소해야 된다는 운동이 일고 있다.)
- (68) 변절하다 (變節する) ¶ はじめは愛国と独立を叫んではいたが、後になって変質した人も多い。(처음에는 애국과 독립을 부르짖다가 뒤에는 변절한 사람들도 많다.)
- (69) 부치다³ ([ある記念日を] 記念する) ¶ 1959年の3.1記念日に寄せる文。(1959년 삼일절에 부치는 글.)
- (70) 부치다⁴ ([田畑を] 耕す) ¶ 代々耕していた土地が日本の会社の手にわたると、おじいさんはそのショックで倒れられた。(대대로 부치던 땅이 일본 회사로 넘어가자 할아버지는 그 충격으로 쓰러지셨다.)
- (71) 부활되다 (復活する) ¶ 日帝の圧政で消えていた農樂が、解放を契機に再び復活し始めたのだった。(일제의 압제로 없어졌던 농악이 광복을 계기로 다시 부활되기 시작한 것이었다.)
- (72) 빛나다 (輝く) ¶ 青山里の戦いは、わが独立軍の活動の中で、もっとも輝かしい大勝利だった。(청산리 대첩은 우리 독립군의 활동 중 가장 빛나는 큰 승리였다.)
- (73) 빠지다¹ (抜ける) ¶ 独立功勞者名簿から自分の名前が抜け落ちてはいるが、私は全く気にしていない。(독립 유공자 명단에서 내 이름

이 빠져 있긴 하지만 난 하나도 신경 안 써.)

- (74) 살상하다 (殺傷する) ¶ 日本軍は朝鮮の民衆と兵士を無惨に殺傷した。(일본군은 조선의 민중과 병사를 무참히 살상했다.)
- (75) 살해되다 (殺害される) ¶ 明成皇后は日本人の手で殺害された。(명성 황후는 일인들의 손에 살해되었다.)
- (76) 삼차 (3度) ¶ 彼は壬申倭乱のあと、3度も燕京に行ったことがあった。(그는 임란 후에 삼차나 연경에 갔던 일이 있었다.)
- (77) 선창¹ (船倉) ¶ 亀甲船の船倉は後方が前方よりも、より深く水面下に沈む構造である。(거북선의 선창은 뒤쪽이 앞쪽보다도 더 물 속 깊이가 잠기게 되는 구조이다.)
- (78) 선형 (船型・船形) ¶ 亀甲船の船型は、高速を出すための目的にかなっている。(거북선의 선형은 빠른 속도를 내기 위한 목적에 알맞다.)
- (79) 선회 (旋回) ¶ 亀甲船は敵船に対する接近戦が主な得意技だと言えるので、旋回能力はさらに大きな比重を占める。(거북선은 적선에 대한 접근전이 주특기라 말할 수 있으므로 선회 능력은 더욱 큰 비중을 지닌다.)
- (80) 섬멸하다 (殲滅する) ¶ 独立軍を殲滅するため、満州出兵を敢行していた日帝は、満州一帯で非武装の韓人たちを無差別に虐殺した。(독립군을 섬멸하기 위해 만주 출병을 감행했던 일제는 만주 일대에서 비무장 한인들을 무차별 학살한다.)
- (81) 섬지기 ([1石の種粃を播く広さ] 田畑の広さの単位、マジキ) ¶ 面や郡から土地調査にやってきたときも、マンボクは1マジキの田が自分のものだと言った。(면이나 군에서 토지 조사를 나왔을 때도 만복은 논 한 섬지기가 자기 소유라고 말했다.)
- (82) 성과 (成果) ¶ 尹東柱が遺稿に遺した序詩は、詩人の姿勢を改めて正そうとした努力の貴重な成果である。(윤동주가 유고로 남긴 서시는 시인의 자세를 다시 가다듬고자 한 노력의 소중한 성과이다.)

- (83) 성명서 (聲明書) ¶ この声明書は西欧列強の植民勢力から侮辱されていた中国人たちの心を感動させた。(이 성명서는 서구 열강 식민 세력들로부터 수모를 받아 왔던 중국인들의 마음을 감동시켰다.)
- (84) 송환하다 (送還する) ¶ 日本はその時になってやっと、敗戦後、日本に戻れなかった残留日本人たちを本国に送還する措置を講じることができた。(일본은 그제서야 패전 후 일본으로 들어가지 못한 잔류 일본인들을 본국으로 송환하는 조치를 취할 수 있었다.)
- (85) 수감 (收監) ¶ 3.1運動直後、多くの愛国人士と夫人たちが日本の警察に捕まって監獄に収監され、ありとあらゆる苦しみを味わった。(3.1운동 직후에 많은 애국 인사들과 부인들이 일본 경찰에 붙잡혀 감옥에 수감되어 온갖 고추를 겪었다.)
- (86) 수감되다 (收監される) ¶ 十年ぶりに聞こえてきた夫の消息は、独立運動をしていてソウルの西大門監獄に収監されたというものだった。(십년 만에 들려온 남편 소식은 독립 운동을 하다가 서울 서대문 감옥에 수감됐다는 것이다.)
- (87) 수교하다² (手渡す) ¶ その日、私は総督に新たな犠牲者の名簿を手渡すために、総督府に向かう途中だった。(그 날 나는 총독에게 새로운 희생자의 명부를 수교하기 위하여 총독부로 가는 길이었네.)
- (88) 수구적¹ (守旧的) ¶ 東学は守旧的な封建秩序の打破と、外勢の干渉排除などを主張した。(동학은 수구적인 봉건 질서의 타파와 외세의 간섭 배제 등을 외쳤다.)
- (89) 수군 (水軍) ¶ 壬申倭乱当時、ここは朝鮮水軍の根拠地で、李舜臣が日本の水軍を撃破して降伏させたという。(임진왜란 당시 이 곳은 조선 수군의 근거지로서 이순신이 일본 수군을 격파하고 항복을 받았다고 한다.)
- (90) 수난 (受難) ¶ 解放後、朝鮮語を取り戻してから50年もたたずして、国語は再び他の文化的受難にさらされている。(해방 이후 우리 말과 글을 되찾은 지 50년도 지나지 않아 국어는 또 다른 문화적 수난을

겪고 있다.)

- (91) 수난기 (受難期) ¶ 日帝36年間の民族受難期に、私たちが丹齊¹⁰のような人物を有していたということは、大きな誇りである。(일제 36년간의 민족 수난기에 우리가 단재와 같은 인물을 가지고 있었다는 것은 자량이 아닐 수 없다.)
- (92) 시사² (時事) ¶ 総督府は官報を主とし、内外の時事も載せることを指示した。(총독부는 관보를 제일로 하고 내외의 시사를 아울러 실을 것을 지시했다.)
- (93) 시속 ([ある時代の風俗や流行] 時俗) ¶ 官職に就こうと決意したからには、時俗に従い、京城の開化紳士たちと交わって見分を広め、実務に慣れることが、まずやるべきことだった。(벼슬길에 오르기로 마음을 굳힌 바에야 시속을 따라 경성의 개화 신사들과 어울려 견문을 넓히고 실무를 익힘이 급선무였다.)
- (94) 시작하다 (始める) ¶ 集会を始める前に、今回の万歳運動で犠牲となった同胞たちのための黙とうを行います。(집회를 시작하기 전에 이번 만세 운동으로 희생된 동포들을 위한 묵념이 있겠습니다.)
- (95) 시해 ([大統領、国王などを] 殺すこと、弑害) ¶ 彼は日本人による国母殺害という噂を聞いて、激しく憤りもした。(그는 일인에 의한 국모 시해라는 소문을 접하고 분노를 표시하기도 했다.)
- (96) 시험하다 (試験する、試す) ¶ そして、亀甲船から大砲を撃つことも試した。(그리고 거북선에서 대포 쏘는 것도 시험하였다.)
- (97) 식민 통치 (植民地統治) ¶ いくら厳しい風が吹いても春は違うことなく来るように、日帝の植民地統治の下でも、わが民族の抵抗の意地は決してくじけることがなかった。(아무리 매운 바람이 불어도 봄은 어김없이 오듯이, 일제의 식민 통치 속에서도 우리 민족의 저항 의지는 결코 멈출 수 없었다.)

10 申采浩 (シン・スホ、1880-1936) の号。独立運動家、歴史家。

- (98) 아낌없다 (惜しみない) ¶ 彼らは誰もが義血青年尹奉吉¹¹の勇氣に惜しみなき賛辞を送った。(그들 모두는 의혈 청년 윤봉길의 용기에 아낌없는 찬사를 보냈다.)
- (99) 아나키스토 (アナキスト) ¶ 彼は季刊誌の次号に、日帝時代に活躍したアナキスト、あるいはテロリストに関する特集を組むため、既にずっと前から準備しているところだった。(그는 계간지의 다음 호에 일제 시대에 활약한 아나키스트 혹은 테러리스트에 대한 특집을 마련하기 위하여 벌써 오래 전부터 준비를 하는 중이었다.)
- (100) 약탈 당하다 (掠奪される) ¶ 壬申倭乱のとき、無数の陶工たちが盗賊たちに日本に連行され、多くの高麗磁器と朝鮮白磁が略奪された。(임진왜란 때, 무수한 도공들이 도적들에게 일본으로 끌려갔고 수많은 고려 자기와 조선 백자를 약탈 당했다.)
- (101) 양력 (陽曆) ¶ 陽曆 8月15日は光復節で、陰曆 8月15日は秋夕だ。(양력 8월 15일은 광복절이고, 음력 8월 15일은 추석이다.)
- (102) 역설하다 (力説する) ¶ 国を奪われた悲しい歴史を持つ国民だけが、自主独立の切実さを力説することができる。(나라를 빼앗긴 슬픈 역사를 간직한 국민만이 자주 독립의 절실함을 역설할 수 있다.)
- (103) 유기 (真鍮製の器) ¶ 任興淳 (임·퐁순) ¹²は686点の真鍮の器を京城府に献納した。(임흥순은 유기 686 점을 모아 경성부에 헌납했다.)
- (104) 유기 (真鍮製の器) ¶ 里長の一場の啓蒙演説が終わるや、何人かの住民たちが真鍮製の器を供出し始めた。(이장의 일장 계몽 연설이 끝나자, 몇몇 주민들이 유기를 공출하기 시작했다.)

11 尹奉吉 (윤·퐁길, 1909-1932)。獨立運動家。1932年 4月29日、上海での天長節祝賀会の壇上に爆弾を投げ、陸軍大将白川らを死傷させ、1932年12月19日処刑された。

12 任興淳 (1895-1971) は解放後、国会議員やソウル市長などを務めた。「親日派」の一人とされている。

- (105) 음으로 양으로 (陰に陽に) ¶ 彼は独立軍に対しては、陰に陽に協力を惜しまなかった。(그는 독립군에 대해서는 음으로 양으로 협조를 아끼지 않았다.)
- (106) 이끌다 (率いる) ¶ 当時は、李舜臣(イ・スンシン)が当時の主力艦隊をすべて統率していた。(당시엔 이순신이 당시의 주력 함대를 모두 이끌고 있었다.)
- (107) 일정 (日本の植民地統治) ¶ 彼は日本統治時代、満州で独立運動を行ったそうだ。(그 사람은 일정 때 만주에서 독립 운동을 했다고 한다.)
- (108) 일제 시대 (日帝時代) ¶ 日帝時代に流行歌が愛唱されたのは、亡国の民族の悲しい情緒を反映していたからだ。(일제 시대에 유행가가 애창된 것은 나라 없는 민족의 슬픈 정서를 반영해 주었기 때문이다.)
- (109) 일제 잔재 (日帝の残滓) ¶ 日帝時代に総督府として用いられていた建物の解体は、日帝残滓の清算という意味を込めている。(일제 시대에 총독부로 쓰였던 건물의 해체는 일제 잔재의 청산이라는 의미를 담고 있다.)
- (110) 일제 (日帝) ¶ そのときは、日帝の植民地統治が極みに達するときだった。(그 때는 일제의 식민 통치가 극에 달할 때였다.)
- (111) 일제 (日帝) ¶ 彼は日帝時代の手先のように装った。(그는 일제 때의 앞잡이처럼 꾸몄다.)
- (112) 일제 (日帝) ¶ そもそもやることなく、日帝の手先になっていたのか。(어디 할 것이 없어 일제의 앞잡이가 되었던 말인가.)
- (113) 일제 (日帝) ¶ 日帝末期には、国語〔朝鮮語〕抹殺政策が極に達していた。(일제 말기에는 국어 말살 정책이 극도에 달했다.)
- (114) 일종 (一種) ¶ この作品は植民地青年の憂鬱と不安、そして恐怖を暗示的に表現した一種の抵抗詩、愛国詩である。(이 작품은 식민지 청년의 우울과 불안 그리고 공포를 암시적으로 표현한 일종의 저

항시, 애국시이다.)

- (115) 잃다 (失う) ¶ 彼は学徒兵としてフィリピンまで引っ張って行かれ、左腕をなくした。(그는 학병으로 필리핀까지 끌려가 왼팔을 잃었다.)
- (116) 장갑² (装甲) ¶ 亀甲船として知られた軍船には装甲されていた。(거북선으로 알려진 군선에는 장갑이 있었다.)
- (117) 장기화되다 (長期化する) ¶ 太平洋戦争の初期、日帝はしばらく勝利したかのように見えたが、戦争が長期化する中で状況が変化しはじめた。(태평양 전쟁의 초기에 일제는 잠시 승리한 듯 보였으나 전쟁이 장기화되면서 상황이 달라지기 시작했다.)
- (118) 전초전 (前哨戦) ¶ 大部分の日本人は、これが間もなくやってくる大空襲の前哨戦であることに気づいていた。(대부분의 일본인은 이것이 곧 올 대공습의 전초전임을 짐작했다.)
- (119) 전투 (戦鬪) ¶ 間島独立軍は、このとき鳳梧洞の戦い¹³と青山里の戦いで大勝利を収めていた。(간도 독립군은 이 때 봉오동 전투와 청산리 전투에서 큰 승리를 거두고 있었다.)
- (120) 전함 (戦艦) ¶ 李舜臣 (イ・スンシン) 将軍はあらかじめ亀甲船のような戦艦をつくり、戦争に備えた。(이순신 장군은 미리 거북선과 같은 전함을 만들어 전쟁에 대비했다.)
- (121) 전향하다 (転向する) ¶ 今回の3.1記念日の特赦では、転向していない社会主義者たちは除外されるんですって? (이번 삼일절 특사에는 전향하지 않은 사회주의자들은 제외된다면서요?)
- (122) 전화⁴ (転化) ¶ 民族経済の基盤を確立するうえで、日本人資産の清算とこの民族資本への転化が切に求められる。(민족 경제의 기반을 확립하는 데는 일인 자산의 청산과 이의 민족 자본으로서의 전화

13 1920年6月4日、洪範図 (ホン・ボムド) と崔振東 (チェ・ジンドン) が率いる約30人の独立軍が豆満江を渡り、咸鏡北道鐘城郡江陽洞に駐留していた日本軍の国境歩哨所をゲリラ的に攻撃した戦い。

가 절실히 요구된다.)

- (123) 조선말 (朝鮮語) ¶ 学校で朝鮮語を教えなかったので、ハングル [朝鮮文字] を読み書きできる私と同輩の人は、非常にまれだった。(학교에서 조선말을 가르치지 않았기 때문에 한글을 읽고 쓸 줄 아는 내 또래는 아주 드물었다.)
- (124) 조선말 (朝鮮語) ¶ 解放を迎えると、私たちは朝鮮語を国語として取り戻すこととなった。(해방이 되어 우리는 조선말을 국어로 되찾게 되었다.)
- (125) 집약하다 (集約する) ¶ 彼は3.1運動を主導し、独立の根拠と理由を明らかにする論説を獄中で作成し、日帝の抑圧を論駁して民族の覚醒を集約した。(그는 삼일 운동을 주도하고서 독립의 근거와 이유를 밝히는 논설을 옥중에서 작성해 일제의 억압을 논박하고 민족의 각성을 집약했다.)
- (126) 짓다 (つくる) ¶ 「鳳仙花」は日帝の暗黒期に蘭坡¹⁴が民族を思って作った曲だそうだ。(‘봉성화’는 일제 암흑기에 난파가 민족을 생각하며 지은 곡이라고 한다.)
- (127) 짓밟히다 (踏みにじられる) ¶ 三国時代以来の燦爛としていた文化は、倭寇の侵入で踏みにじられ、民衆はしばらく息をつく暇もなしに、戦争準備に酷使されるほかなかった。(삼국 시대 이래의 찬란했던 문화는 왜구의 침입에 짓밟히고, 백성들은 잠시 숨돌릴 틈도 없이 전쟁 준비에 혹사당하지 않으면 안 되었다.)
- (128) 짓씹다 ([悲しみ、寂しさを] 骨にしみて感じる) ¶ 見知らぬ土地、肌をえぐる吹雪の中で、国のない悲しみをかみしめながら、彼女は祖国に戻る日だけを待っていた。(낯선 땅, 살을 에는 눈보라 속에서 나라 없는 설움을 짓씹으면서 그녀는 조국으로 돌아갈 날만을 기다렸다.)

14 洪蘭坡 (ホン・ナンパ, 1897~1941年)。作曲家。

- (129) 천시 (馬鹿にする、蔑視する、あなどる) ¶ 虐待と蔑視のもとで絶望に陥っていた人々が天主教を信じて希望を持つようになり、生きがいを見出したので、この世に怖いものはない。(학대와 천시 속에서 절망에 빠져 있던 사람들이, 천주교를 믿어 희망을 얻게 되고, 삶의 보람을 찾았으니 세상에 두려울 것이 없다.)
- (130) 천추 (千秋、長い歲月) ¶ 私は死んでも構わないが、お前たちは生きて、この世に積もった民族の恨みを必ず晴らさなければならない。(나야 죽어도 괜찮지만 너희들은 살아서 이 천지에 맺힌 민족의 한을 꼭 풀어야 한다.)
- (131) 천황 (天皇、「日本でいうところの、日本の」王) と語釈が付されている) ¶ 広島に原子爆弾が投下され、日本の天皇はすぐに降伏を宣言した。(히로시마에 원자 폭탄이 투하되고, 일본 천황은 곧바로 항복을 선언했다.)
- (132) 철갑 (鉄製の保護用覆い) ¶ まず結論から話すなら、遺憾にも元々の亀甲船には鉄の装甲はなされておらず、ただ木板の覆いの上に錐状の鉄くぎをたくさん打ち込んだだけのものだった。(결론을 미리 말한다고 하면, 유감스럽게도 원래의 거북선에는 철갑이 없었으며 다만 목판 덮개 위에는 쇠 송곳만을 많이 꽂았던 것이다.)
- (133) 취하다 ([ある方法・方式を] とる) ¶ 尹東柱 (윤·ドンジュ) の詩は、ほとんど大部分が内的葛藤の告白形式をとっている。(윤동주의 시는 거의 대부분 내적 갈등의 고백 형식을 취하고 있다.)
- (134) 편³ (篇) ¶ この一篇の論説は日帝はもちろん、アメリカの奴らの肝を冷やさせる一方、我が民族の愛国者たちの血を沸き立たせた。이 한 편의 논설은 일제는 물론 매국놈들의 간담을 서늘케 하였고 반면 우리 애국자들의 피를 끓게 하였다.
- (135) 편력하다 (遍歴する) ¶ そのあとすぐ彼は家を離れ、満州一帯を遍歴した。(그 길로 그는 집을 떠나 만주 일대를 편력하였다.)
- (136) 학도병 (学徒兵) ¶ 日帝時代、社会の指導者の中には挺身隊や学徒

兵に志願しろと、熱心に叫んでまわっていた人もいる。(일제 때, 사회 지도자들 중에는 정신대나 학도병에 지원하라고 열심히 외치고 다녔던 이도 있다.)

- (137) 학살하다 (虐殺する) ¶ 南京大虐殺は1937年12月、日本軍が中国の南京を占領する過程で、30万名の民間人を無惨にも虐殺した事件である。(남경 대 학살은 1937년 12월 일본군이 중국의 남경을 점령하면서 삼십만 명의 민간인을 무참하게 학살한 사건이다.)
- (138) 학살하다 (虐殺する) ¶ 独立軍を殲滅するため、満州出兵を敢行していた日帝は、満州一帯で非武装の韓人たちを無差別に虐殺した。(독립군을 섬멸하기 위해 만주 출병을 감행했던 일제는 만주 일대에서 비무장 한인들을 무차별 학살했다.)
- (139) 학살하다 (虐殺する) ¶ 日帝は平和的デモを繰り広げるわが朝鮮の同胞たちを、無差別に虐殺した。(일제는 평화 시위를 벌이는 우리 조선 동포들을 무차별로 학살했다.)
- (140) 학병 (学徒兵) ¶ 日帝時代、父は学徒兵を避け、学業を中断して故郷に身を隠した。(일제 때, 아버지는 학병을 피해 학업을 중단하고 고향으로 피신했다.)
- (141) 협공 (挟み撃ち) ¶ 義兵たちは官軍と日本の守備隊から挟み撃ちにあって四散してしまい、沸き立っていた世論もかなりしぼんでいった。(의병들은 관군과 일본 수비대의 협공을 받아 흩어져 버리고, 들끓던 세상 여론도 많이 수그러져 있었다.)
- (142) 협력하다 (協力する) ¶ 金(キム)君が学校の友だちと協力して読書倶楽部をつくったことを知った日本の警察は、彼を容赦しなかった。(김 군이 학교 친구들과 협력하여 독서 클럽을 만든 것을 안 일본 경찰은 그를 그대로 두지 않았다.)
- (143) 흡수 (吸収) ¶ 日帝のもとでの人口移動は、貧農の満洲と日本への第1次移動と、朝鮮北部地域の戦時工業化〔兵站基地化〕のための剰余農業労働力の吸収と徴兵、徴用による第2次移動に分けてみる

ことができる。(일제 하에서의 인구 이동은 빈농들의 만주와 일본으로의 1차 이동과, 북한 지역의 전시 공업화를 위한 잉여 농업 노동력의 흡수와 징병, 징용에 의한 2차 이동으로 나누어 볼 수 있다.)

- (144) 흥분(興奮) ㉠解放は、ただ漠然とした感激と興奮だけを村の人々にもたらしたのではなかった。人々の表情は一樣に明るく、ある種の興奮に沸き立っていた。(해방은 그저 막연한 감격과 흥분만을 마을 사람들에게 가져다준 것은 아니었다. 사람들의 표정은 한결 같이 밝았고 어떤 흥분에 들떠 있었다.)
- (145) 흥분되다(興奮する) ㉠解放と共に、興奮した社会の雰囲気は、やむなく治安の紊乱をもたらしていた。(해방과 동시에 흥분된 사회 혼위기는 어쩔 수 없이 치안의 문란을 자아내고 있었다.)

2. 日本関連の用例 (用例数 : 33)

日本帝国主義・植民地支配以外の日本関連の用例にみられる特徴的は、その用例数が少ないだけでなく、その中でも日本文化や現代日本社会に言及したものが少ない点である。これは、日本帝国主義・植民地支配関連の用例が多く採択されていることとは実に対照的であって、用例採択における偏向した側面がみられる。

また、「日本王 [天皇] が世宗大王に日本ツツジを貢ぎ物として捧げたという。」(5) とか、日本の民話は朝鮮に起源しているという前提のもとで、「日本から逆輸入」(24) しているという言説など、その真偽も定かでなく、民族的自尊心をくすぐる用例が採択されている。

〈用例〉

- (1) 개국(開国) ㉠日本はすでに壬申倭乱の時、開国していた。(일본은 이미 임진란 때 개국해 있었다.)
- (2) 개국하다(開国する) ㉠日本はその年、米国のペリー提督が率いる米艦隊の威嚇によって、やむなく開国することになった。(일본은 그

해 미국 페리 제독이 이끄는 미국 함대의 위협으로 부득이 개국하게 되었다.

- (3) 개봉하다 (封切る) ¶ 日本の場合、1篇の映画を数十か所の映画館で同時に封切る場合が珍しくない。(일본의 경우 한 편의 영화를 수십 군데의 영화관에서 동시에 개봉하는 경우가 흔하다.)
- (4) 결판나다 ([暮らし・社会・事業などが] だめになる) ¶ 日本が駄目になったのならテレビのせいで駄目になったのであり、わが国も駄目になったのならテレビのせいで駄目になったのです。(일본이 결판났다면 텔레비전 때문에 결판난 거고 우리 나라도 결판났다면 텔레비전 때문에 결판난 거요.)
- (5) 공물 (貢ぎ物) ¶ 記録によれば、日本の王 [天皇] が世宗大王に日本ツツジを貢物として捧げたという。(기록에 의하면 일본 왕이 세종 대왕에게 왜철쭉을 공물로 바쳤다고 한다.)
- (6) 공사⁴ (公使) ¶ 閣下、今や急いで駐日代表部公使を任命する時だと考えます。(각하, 이젠 서둘러 주일 대표부 공사를 임명할 때라고 생각합니다.)
- (7) 구입하다 (購入する) ¶ 日本は今年に入って、これまで50万トンの中国産トウモロコシを購入したと明らかにした。(일본은 금년 들어 지금까지 50만 톤의 중국산 옥수수를 구입했다고 밝혔다.)
- (8) 구전 (口錢、上前、コミッション) ¶ 彼はアワビ、ワカメなどをひどく安い値段で仲立ちし、日本の商人からコミッションを受け取った。(그는 전복, 미역 따위를 호되게 험한 값에 흥정 붙여 일본 상인으로부터 구전을 받았다.)
- (9) 급류 (急流) ¶ 日本の河川は、韓国のそれと比べるとはるかに流れが速く、川幅が狭くて短い。(일본의 하천은 한국의 그것에 비하면 훨씬 급류이며 하폭이 좁고 짧다.)
- (10) 기거하다 (しばらく他人の家で暮らす、起居する) ¶ 入学式があるその日から、ソウル出身の何人かを除いた私たち朝鮮人学生は、一人残

らず寄宿舎で暮らすことになった。(입학식이 있는 그 날부터 서울 출신 몇 명을 제외한 우리들 조선인 학생은 하나 빠짐 없이 기숙사에서 기거하게 되었다.)

- (11) 기거하다 (しばらく他人の家で暮らす、寄居する) ¶ 私はついに日本に無事たどり着き、木賃宿のはじっこに寄居しながら亡命要請の機会を狙っていた。(나는 마침내 일본에 무사히 당도하여 객주집 구석방 한모퉁이에 기거하며 망명 요청의 기회를 노리고 있었다.)
- (12) 기각 (棄却) ¶ 先生の発明品はすでに日本で特許が取られたものなので、認められないというのが、法廷で提示された棄却理由です。(선생의 발명품은 이미 일본에서 특허가 나온 것이므로 인정할 수 없다는 것이 법원에서 제시한 기각의 이유입니다.)
- (13) 꽃 (花) ¶ 冬も花と野菜を育てて、ソウルにまで出荷して売り、日本に輸出もしてもあるそうだ。(겨울에도 꽃과 채소를 가꾸어 서울까지 내다 팔고 일본으로 수출도 한단다.)
- (14) 만⁵ (「…に比べて劣る」の意味で) …ほどは、…よりも) ¶ アメリカや日本には及ばなくとも、最小限8チームだけあっても、十分な試合を展開できるだろう。(미국이나 일본만은 못하더라도 최소한 8개 팀만 있어도 충분한 경기를 벌일 수가 있을 것이다.)
- (15) 발상하다 (発想する) ¶ 日本資本の導入を発想したのは財務部長官だった。(일본 자본의 도입을 발상한 것은 재무부 장관이었다.)
- (16) 부흥 (復興) ¶ 戦争で廢墟となっていた日本が短期間にあんなに復興したが、私たちとて出来ないことがあるか! (전쟁으로 폐허가 돼 버렸던 일본이 단시일 내에 저렇듯 부흥을 했는데 우리라고 해서 못할 게 뭐야!)
- (17) 선주 (船主) ¶ プサン(釜山)港で、日本人船主と我々漁師の間に紛争が起こった。(부산항에서 일인 선주와 우리 어부 간에 분쟁이 일어났다.)
- (18) 선택 과목 (選択科目) ¶ 今年の大学入試は、外国語選択科目に漢文と日本語が追加された。(올해 대학 입시는 외국어 선택 과목에 한

문과 일본어가 추가되었다.)

- (19) 설욕하다 (雪辱する) ¶ 韓国のサッカーチームはチャムシル (蚕室) の競技場で日本に2対1で勝利して、前回の敗北を雪辱した。(한국 축구 팀은 잠실벌에서 일본에 2:1로 승리하면서 지난 번의 패배를 설욕하였다.)
- (20) 성공적² (成功的) ¶ 外務部はオリンピックを成功裡に開催するため、米、日とテロ防止協力体制を強化すると言った。(외무부는 올림픽의 성공적 개최를 위해 미, 일과 테러 방지 협력 체제를 강화하겠다고 하였다.)
- (21) 수교 (修交) ¶ 解放41年、韓日修交21年、私たちにとって日本文化とは何なのか。(해방 41년, 한일 수교 21년. 우리에게 일본 문화는 무엇인가?)
- (22) 시비하다 (是非をただす) ¶ これについて、私たちがアメリカの政策を批判もし、日本の態度の是非を正したりもする。(이에 대해 우리가 미국의 정책을 비판도 하며, 일본의 태도를 시비할 만도 하다.)
- (23) 역내 (域内) ¶ 欧州連合とアメリカが急速に域内市場への進出度を高め、次第に日本の対外依存型経済は大打撃を蒙るしかない。(유럽 연합과 미국이 급속도로 역내 시장으로의 진출을 늘려 갈수록 일본의 대외 의존형 경제는 큰 타격을 입을 수 밖에 없다.)
- (24) 역수입 (逆輸入) ¶ わが国の民話はほとんど衰え、むしろ日本から逆輸入してきている実状である。(우리 민화는 거의 거덜났고, 오히려 일본에서 역수입을 해오고 있는 실정이다.)
- (25) 와신상담하다 (臥薪嘗胆) ¶ 日本は第9回大会の時、中共 [中国のこと] に覇権を奪われ、この奪還のため臥薪嘗胆しているところである。(일본은 제9회 대회 때에 중공에게 패권을 빼앗겨 이의 탈환을 위해 와신상담하고 있는 중이다.)
- (26) 위탁 (委託) ¶ 韓国の国有鉄道の業務は1917年7月から日本の南満州鉄道株式会社に委託され始めた。(한국 국유 철도의 업무는 1917년

7월부터 일본의 남만주 철도 주식회사에 위탁되기 시작했다.¹⁵⁾

- (27) 위협하다 (威脅する、脅す) ¶ 彼は韓国が日本に対してとった敵対行為を、宣戦布告の十分な理由になると脅した。(그는 한국이 일본에 대해 취한 적대 행위를 선전 포고의 충분한 이유가 된다고 위협하였다.)
- (28) 장관 (長官) ¶ 彼は駐日大使を経て、外務部長官まで務めた人です。(그는 주일 대사를 거쳐 외무부 장관까지 지낸 사람입니다.)
- (29) 전파되다 (伝播する) ¶ この説話は新羅の文化が兄山江(ヒョンサンガン)に沿って下り、海を渡って日本に伝わったことを暗示している。(이 설화는 신라의 문화가 형산강을 타고 내려와 바다를 건너 일본으로 전파되었음을 암시하고 있다.)
- (30) 철거하다 (撤去する) ¶ 日本の山にも戦後、登山路ごとにゴミ箱を設置したが、そのことが却って山をより汚染させるという事実が明らかになり、すべて撤去したという。(일본의 산에도 전후에 등산로마다 쓰레기통을 설치했지만 그것이 오히려 산을 더 오염시킨다는 사실이 밝혀져 모두 철거했다고 한다.)
- (31) 편당 (ある党派に偏ること、偏った党派) ¶ 臣下たちは三千里江山[朝鮮の異称]を倭兵の手に明け渡し、義州の片隅に至っても、党派を組んで西人は東人をそしり、東人は西人をそしっていた。(신하들은 삼천리 강산을 왜병의 손에다 내놓고 의주 한구석에 와서도 편당을 지어 서인은 동인을 헐뜯고 동인은 서인을 헐뜯었다.)
- (32) 학관 (〔学校〕の名称を付すだけの条件を整えていない私立教育機関) 学院 ¶ 留学生たちが日本に行けば、ひとまず1年間は、日本語学校に通って日本語を学ぶことになっている。(유학생들이 도일하면 일단 1년간은 학관에 다니며 일본어를 배우게 되어 있다.)

15 朝鮮総督府が鉄道経営を南満州鉄道(満鉄)に委託し、満鉄京城管理局を設置したこと。明らかに史実と異なる「韓国の国有鉄道」と記述したことには、民族感情の歪みをうかがわせる。

- (33) 협상하다 (協商する、協議する、相談する) ¶ 韓日兩国外相は漁業協定改定問題を話し合う、実務協議の着手に合意した。(한일 양국 외상은 어업 협정 개정 문제를 협상할 실무 협의의 착수에 합의했다.)

3. 欧米関連の用例 (用例数：92)

用例でトピックとなっている国は、アメリカが全体の3分の1以上を占め、次いでイギリス、フランス、ドイツ、イタリア、ギリシャなどが比較的多い。日本関連の用例に比べると、韓国との比較に執着した、ねじれた感情の吐露はほとんど見られない。欧米に関する素直な肯定的言説が見られる点が、日本のことをトピックとした用例とは異なる。例えば、「[[ドイツは] 文学と哲学と芸術の偉大な文化を有している。」(27)、「[[前略] 17世紀の英国の先進的思想と文学の産物だった。」(38)、「筆者はあのちっぽけな島国の文化的底力に、驚嘆を禁じ得ない。」(42)、「ギリシャの首都アテネ空港は、美しいエーゲ海沿岸に位置している。」(48)、「英国の近代化過程での教育の役割についての考察は、韓国の学校教育の基本的方向を模索するうえで、良い示唆を与えるだろう。」(52)、「[[前略] 英国は彼らの植民地に解放と独立を付与した。」(56)、「[[前略] アメリカが今日のように超大国に発展できたのは、天然資源と労働力があったためである。」(59)、「1789年のフランスの歴史は、フランス史において栄光のページであるとともに、人類の歴史においても栄光のページでもある。」(83) などである。こうした何の変哲もない用例に筆者が着目するのは、日本のことがトピックに取り上げられた用例には、こうした肯定的色彩の内容がほとんど見られないためである。ただ、ナチズムに関しては、「ドイツ民族、国家至上主義は、ドイツ人のショービニズムを誕生させた」(45)、「ナチスの軍隊によって罪もないユダヤ人たちが600万人も大量虐殺された」(90) のような批判的言説が込められた用例が採択されている。

また、「わが国とは異なり、ドイツに駐屯している米軍の場合は、現行犯

は即時現場でドイツ警察に逮捕され、武器はいつでも警察によって取り上げることができる。」(47) という用例は、日米地位協定と同様、米側に有利な内容を「在韓米軍地位協定」も有しており、韓国でも解決を迫られている現在の問題であることを示している。

〈用例〉

- (1) 강압적 (強圧的) ¶ 数次にわたった対米協議の過程で、我が国政府が示した非自主的態度や、アメリカ側の強圧的姿勢のすべてに問題がある。(수차에 걸친 대미 협상 과정에서 우리 정부가 보인 비자주적 태도나 미국 측의 강압적 자세 모두에 문제가 있다.)
- (2) 강점 (優れた点、強味) ¶ 워터ゲート事件の論争を通じて、アメリカの体制は民主主義の優れた点を浮き彫りにしただけ、弱点も露呈させた。(워터게이트 사건 논쟁을 통하여 미국 체제는 민주주의의 강점을 부각시킨 그만큼 약점도 노출시켰다.)
- (3) 강호 (強豪) ¶ 스페인이去る 2 月の親善試合でベルギーに 3 対 0 で完勝したことがあるが、強豪スペインに 4 対 3 で逆転勝ちしたベルギーの底力も無視できない。(스페인은 지난 2월 친선 게임서 벨기에를 3:0으로 완파한 바 있지만 강호 프랑스에 4:3으로 역전승한 벨기에의 저력도 무시할 수 없다.)
- (4) 강화하다 (強化する) ¶ 私たちは対米通商協議を円満に打開するため努力を、より一層強化することになった。(우리는 대미 통상 협상을 원만히 태개하기 위한 노력을 한층 더 강화하게 되었다.)
- (5) 견인하다 (牽引する) ¶ 1980年代の世界經濟をけん引していたアメリカは、中心国としてその覇權を維持するため、みずから周辺部の安定的な消費者となった。(1980년대 세계 경제를 견인했던 미국은 중심국으로서 그 패권을 유지하기 위해 스스로 주변부의 안정적인 소비자가 되었다.)
- (6) 결원 (欠員) ¶ 英語科の金(キム)先生が急にアメリカ留学に出かけられることになったため、欠員が生じました。(영어과 김 선생님께서

서 갑자기 미국 유학을 떠나시게 되는 바람에 결원이 생겼습니다.)

- (7) 결의하다¹ (決議する) ¶ 世界考古学大会は来年西ドイツで、またほかの大会を持つと決議した。(세계 고고학 대회는 내년에 서독에서 또 다른 대회를 갖자고 결의했다.)
- (8) 결정적² (決定的) ¶ フランスは戦列から離脱し、ドイツは最後の決定的勝利に向けて突っ走った。(프랑스는 전열에서 이탈하고 독일은 최후의 결정적 승리를 향해 치닫게 되었습니다.)
- (9) 겸임하다 (兼任する) ¶ 英国では大法院長[最高裁判所長官]を上院議長が兼任し、9名の大法官は首相が国王に再請して任命する。(영국에서는 대법원장을 상원 의장이 겸임하고, 9명의 대법관은 수상이 국왕에게 재청하여 임명한다.)
- (10) 경고문 (警告文) ¶ 観光天国として知られている国スイスに、「泥棒に注意しろ」という6か国語からなる警告文が町のあちこちに貼られている。(관광 천국으로 알려진 나라 스위스에 '도둑을 조심하라'는 6개 국어로 된 경고문이 도시 곳곳에 붙어 있다.)
- (11) 공업국 (工業国) ¶ 工業化の前進は、英国が工業製品を世界市場に供給する工業国としての独占的地位を、保持できるようにした。(공업화의 진전은 영국이 공업 제품을 세계 시장에 공급하는 공업국으로서의 독점적 지위를 보유할 수 있게 해주었다.)
- (12) 구워삶다 ([ひとを] 説得する、丸め込む) ¶ 兄嫁がついに兄を説得して、アメリカ行きを実行に移すことになった。(형수가 기어이 형을 구워삶아서 미국행을 실행에 옮기게 되었다.)
- (13) 구제 사업 (救済事業) ¶ 16世紀以前、フランスの自治団体は貧民に対して、救済事業をたいして行わなかった。(16세기 이전 프랑스의 자치 단체는 빈민에 대하여 구제 사업을 별로 행하지 않았다.)
- (14) 국풍 (国風) ¶ ローマの諺には、素朴、勤勉で堅実なローマの国風がそのまま表れている。(로마의 속담에는 소박, 근면하고 건실한 로마)

마의 국풍이 그대로 나타나 있다.)

- (15) 군도¹ (群島) ¶ 英国は一つの島からなる島国ではなく、数多い島からなる群島である。(영국은 하나의 섬으로 된 섬나라가 아니라, 수많은 섬들로 이루어진 군도이다.)
- (16) 급선회 (急旋回) ¶ アメリカの東アジア輸出が、中国への進出の道が途絶えたといっても、韓国に向けた急旋回は容易に理解できない部分といわざるを得なかった。(미국의 동아시아 수출이 중국으로의 진출로가 막혔다 하더라도 한국을 향한 급선회는 쉽게 이해되지 않는 부분이 아닐 수 없었다.)
- (17) 급전 (急転) ¶ アメリカは社会的状況の急転で、危機的環境を迎えていた。(미국은 사회적 상황의 급전으로 위기적 환경을 맞이하고 있었다.)
- (18) 기록되다 (記録される) ¶ 当時、ポルトガル人たちは朝鮮の人々と接触した事実が、1513年に発送された一通の手紙に記録されている。(당시 포르투갈인들은 한국 사람들과도 접촉한 사실이 1513년 발송된 한 편지에 기록되어 있다.)
- (19) 눈¹ (目) ¶ ミラは韓国の子どもより大きく、目が青い子だ。(마리는 한국 아이들보다 크고 눈이 파란 아이다.)
- (20) 단파 (短波) ¶ 彼はアメリカの放送を短波ラジオで聞いており、当地の事情を詳しく知っているほうだ。(그는 미국 방송을 단파 라디오를 통해서 듣고 있어 그 곳 사정을 상세히 알고 있는 편이다.)
- (21) 모드 (モード) ¶ そこでは、韓国では見られないフランスの最新モードがある。(거기서는 한국에서는 구경할 수 없는 프랑스식의 최신 모드가 있다.)
- (22) 모르다 (知らない) ¶ 彼とは同じアメリカ国内に暮らしながらも、全く知らない他人のようにすごしてきた。(그와는 같은 미국 안에 살면서도 전혀 모르는 남처럼 지내 오고 있었다.)
- (23) 모르다 (知らない) ¶ フランス語を知らないために、仕方なく英語で

尋ねてみたそうです。(프랑스 말을 모르기 때문에 하는 수 없이 영어로 말을 물어 보았다고 합니다.)

- (24) 모반하다 (謀反を起こす) ¶ 彼は総督に、ローマ帝国に謀反を起こす連中がいると告発した。(그는 총독에게 로마 제국에 모반하는 무리가 있다고 고발하였다.)
- (25) 모빌 (モビール) ¶ アメリカのカルダーが、空間にボリュームを持たない薄い鉄板を付けて運動させるモビールを創案した。(미국의 칼더가 공간에 볼륨을 가지지 않은 얇은 철판을 매달아 운동시키는 모빌을 창안했다.)
- (26) 뮤지컬 (ミュージカル) ¶ 戦後、ハリウッドでは一時期、ミュージカル映画がブームを起こしたこともあった。(전후 할리우드에서는 한 때 뮤지컬 영화라 붐을 이루기도 했다.)
- (27) 발상지 (発祥地) ¶ ドイツは宗教改革の発祥地であるとともに、文学と哲学と芸術の偉大な文化を有している。(독일은 종교 개혁의 발상지인 동시에 문학과 철학과 예술의 위대한 문화를 지니고 있다.)
- (28) 발원하다 ([思想や社会現象などが] 源を発する、現れる、新たに発生する) ¶ ギリシャで現れた古典主義の精神がローマによって受け継がれて拡張、深化し得なかったが、連綿たる伝統として確立された。(그리스에서 발원한 고전주의 정신이 로마에 의하여 계승되어 확장, 심화되지는 못했으나 연면한 전통으로 확립되었다.)
- (29) 발생지 (発生地) ¶ イタリアは文芸復興運動の発祥地となった。(이태리는 문예 부흥 운동의 발생지가 되었다.)
- (30) 발전상 (発展相) ¶ 私たちの世代では、必ずアメリカを凌駕する自由民主主義国家としての発展した姿を示すことができるだろうと信じている。(우리들의 세대에는 반드시 미국을 능가하는 자유 민주주의 국가로서의 발전상을 보여 줄 수 있을 것이라 믿는다.)
- (31) 변용시키다 (変容させる) ¶ 英国教会はカトリックの教理を、それに合うように変容させた。(영국 교회는 가톨릭의 교리를 그에 맞게

변용시켰다.)

- (32) 부화하다 (孵化する) ¶ エジソンは自分で卵を孵化させようと、それを胸にしっかり抱いた。(에디슨은 직접 알을 부화하려고 그것을 가슴에 꼭 껴안았다.)
- (33) 부활제 (復活祭) ¶ アメリカにいる時、私たち家族は復活祭を利用して、何日間かキャンプに行くことにしていた。(미국에 있을 때, 우리 가족은 부활제를 이용해서 며칠 동안 캠핑을 가기로 했었다.)
- (34) 북구 (北歐) ¶ 北歐の夏は韓国の初秋のように肌寒いうえに、夜の気温はさらに下がり、薄いオーバーでもひっかけなければ外出できない。(북구의 여름은 한국의 초가을처럼 서늘한 데다가 밤 기온은 더욱 차가워서 가벼운 외투라도 걸쳐야만 외출을 할 수 있다.)
- (35) 빙하 (氷河) ¶ フランスの山には氷河が発達し、いくつかの有名な氷河があり、その雪解け水はナチュラル・ウオーターとして広く販売されている。(알프스 산에는 빙하가 발달하여 여러 개의 이름난 빙하가 있으며 그 눈 녹은 물은 생수로서 널리 팔리고 있다.)
- (36) 삼다¹ (みなす) ¶ 英国のような場合、最初からこの新たな宗教を国教とみなし、国民意識を覚醒させた。(영국 같은 경우 아예 이 새로운 종교를 국교로 삼으며 국민 의식을 일깨웠다.)
- (37) 상담 (相談) ¶ アメリカから来たあるバイヤーは取引先との相談で、私たちの側の商品価格を値引きしてくれと要求した。(미국에서 온 한 바이어는 거래처와의 상담에서 우리 쪽 물건 값을 깎아 달라고 요구했다.)
- (38) 선진적² (先進的) ¶ 18世紀の啓蒙哲学とアメリカの独立、およびフランス革命がすべて、17世紀の英国の先進的思想と文学の産物だった。(18세기 계몽 철학과 미국의 독립 및 프랑스 혁명이 모두 17세기 영국의 선진적 사상과 문학의 산물이었다.)
- (39) 선출되다 (選出される) ¶ 5年後、リンカーンはアメリカ大統領に選出された。(5년 후 링컨은 미국 대통령으로 선출되었다.)

- (40) 설명되다 (説明される) ¶ 英国における基本権の歴史は、遥かずっと昔にさかのぼると説明されている。(영국에 있어서의 기본권의 역사는 훨씬 더 먼 옛날로 소급된다고 설명되고 있다.)
- (41) 설봉 (雪に覆われた峰) ¶ 観光客たちは万古の雪を頂いたアルプスの雪の峰が見えるたびに、写真を撮るのに忙しい。(관광객들은 만고의 눈을 간직한 알프스의 설봉이 보일 때마다 사진 찍느라고 분주하다.)
- (42) 섬나라 (島国) ¶ 筆者はあのちっぽけな島国の文化的底力に、驚嘆を禁じ得ない。(필자는 그 조그만 섬나라의 문화적 저력에 경탄을 아낄 수 없다.)
- (43) 송환하다 (送還する) ¶ アメリカは不法滞在者を本国に送還するため、多大な努力を傾けた。(미국은 불법 체류자를 본국으로 송환하기 위해 많은 노력을 기울였다.)
- (44) 쇄국 정책 (鎖国政策) ¶ 日本軍のあとから朝鮮に入ってきた西洋人たちは、朝鮮政府の鎖国政策によって、誰もその目指すところを実現できなかった。(일본군을 따라 조선에 들어온 서양인들은 조선 정부의 쇄국 정책으로 말미암아 모두 그 뜻을 이루지 못하였다.)
- (45) 쇼비니즘 (ショービニスム) ¶ ドイツ民族、国家至上主義は、ドイツ人のショービニスムを誕生させた。(독일 민족, 국가 지상주의는 독일인의 쇼비니즘을 탄생시켰다.)
- (46) 수감하다 (収監する) ¶ ここは、フランス王の命令によって追放された者を収監していた監獄である。(여기는 프랑스 왕의 명령에 의해 추방된 자를 수감하던 감옥이다.)
- (47) 수거되다 ([主にごみや紙切れなどを] 持っていくこと、回収すること) ¶ わが国とは異なり、ドイツに駐屯している米軍の場合は、現行犯は即時現場でドイツ警察に逮捕され、武器はいつでも警察が取り上げることができる。(우리 나라와는 달리 독일에 주둔하는 미군의 경우에는 현행범은 즉시 현장에서 독일 경찰에게 체포되고 무기는

언제든지 경찰에 의해 수거될 수가 있다.)

- (48) 수도 (首都) ¶ ギリシャの首都アテネ空港は、美しいエーゲ海沿岸に位置している。(그리스의 수도 아테네 공항은 아름다운 에게해 연안에 위치해 있다.)
- (49) 시민 계급 (市民階級) ¶ 市民階級の台頭は、西洋社会に大きな変化をもたらしてきた。(시민 계급의 대두는 서방 사회에 큰 변화를 가져왔다.)
- (50) 시민권 (市民権) ¶ アメリカで市民権を得て定住している一番上の兄も、苦勞を全くしていないわけではない。(미국에서 시민권을 얻고 정착해서 사는 큰 형도 고생을 전혀 하지 않는 것은 아니다.)
- (51) 시민법 (市民法) ¶ 彼らは1924年の市民法によって、すべてアメリカ市民となった。(그들은 1924년의 시민법에 의해서 모두 미국 시민이 되었다.)
- (52) 시사¹ (示唆) ¶ 英国の近代化過程での教育の役割に関する考察は、韓国の学校教育の基本方向を模索するうえで、良い示唆を与えるだろう。(영국의 근대화 과정에서의 교육의 역할에 대한 고찰은 한국의 학교 교육의 기본 방향을 모색하는 데도 좋은 시사를 줄 것이다.)
- (53) 시험하다 (試す、試験する) ¶ 彼の心を最もいら立たせたのは、アメリカで学んだ英語を試してみたかったのに、実際に話そうとすると、口が固まってしまうことだった。(그의 마음을 가장 애타게 한 것은 미국에서 배운 영어를 시험하고 싶은데도 막상 말을 하려면 입이 굳어 버리는 일이었다.)
- (54) 식당 (食堂) ¶ 彼はアメリカに行って、食堂の皿洗いとして働きながら、お金を稼いだ。(그는 미국에 가서 식당의 접시닦이로 일해 가며 돈을 벌었다.)
- (55) 식도락 (食道樂) ¶ 食道樂を楽しんでいた昔のローマの貴族たちは、夜を徹して飲み食いを繰り返していたという。(식도락을 즐겼던 옛날 로마의 귀족들은 밤새워 먹고 마시고를 반복했다고 한다.)

- (56) 식민주의 (植民地主義) ¶ 20世紀に至って、植民地主義の時代が終焉を告げると、英国は彼らの植民地に解放と独立を付与した。(20세기에 이르러 식민주의 시대가 종언을 고하자 영국은 그들의 식민지에 해방과 독립을 부여했다.)
- (57) 식민지 (植民地) ¶ 西欧の産業革命は、結果的にその製品の販路と資源の持続的な供給源が必要だったのであり、そのために植民地の確保が必要だった。(서구의 산업 혁명은 결과적으로 그 제품의 판로와 자원의 지속적인 공급원이 필요했으며 그 때문에 식민지의 확보가 필요하였다.)
- (58) -아도 ([「ある時間が過ぎるまで」という意味で] …ても) ¶ その日、ニューヨークは前日に続く寒さで、午前7時を過ぎても温度計は零下4度を指したままだった。(그날 뉴욕은 전날에 이은 추위로 오전 7시가 지나도 온도계는 영하 4도를 가리킨 채로였다.)
- (59) -아도 ([「~の場合を例にとって言えば」の意味で] …ても) ¶ アメリカを見ても、アメリカが今日のように超大国に発展できたのは、天然資源と労働力があつたためである。(미국을 보아도 미국이 오늘날과 같이 초강대국으로 발전할 수 있었던 것은 천연 자원과 노동력이 있었기 때문이다.)
- (60) 아리아 (アリア) ¶ オペラのアリアの歌詞が美しいと思われていたのは、彼がまだイタリア語を知らなかった時のことだった。(오페라 아리아의 가사가 아름답게 생각되었던 것은 그가 아직 이탈리아말을 몰랐을 때의 일이었다.)
- (61) 약혼하다 (婚約する) ¶ 彼は家が選んでくれた女と婚約をし、アメリカに行けば結婚するだろうという噂だったんだ。(그는 집안에서 골라 준 여자와 약혼했고 미국에 가면 결혼할 거라는 소문이었지.)
- (62) 양담배 (外国製のたばこ、洋もく) ¶ 洋酒と外国たばこをテーブルの上に置いて、高級官吏がそこに座っていたのだ。(양주와 양담배를 탁자 위에 놓고 고급 관리가 거기에 앉아 있었던 것이다.)

- (63) 역설적² (逆說的) ¶ 武力で皇帝の地位にまで上ったナポレオンも戰爭を憎んだという逆說的な逸話があります。(무력으로 황제의 자리에까지 오른 나폴레옹도 전쟁을 저주했다는 역설적 일화가 있습니다.)
- (64) 의학도 (医學生) ¶ 히포크라테스의誓いは、医學生のための標準的指導規定と倫理的態度を示したものである。(히포크라테스의 선서는 의학도를 위한 표준적 지도 규정과 윤리적 태도를 보여준 것이다.)
- (65) 의회 민주주의 (議會制民主主義) ¶ 議會制民主主義が英国で開化したのは、偶然なことではない。(의회 민주주의가 영국서 개화한 것은 우연한 일이 아니다.)
- (66) 이⁹ (この) ¶ これらの別荘は、ギリシャの金持ちや外国人が保養するために建てたものだという話を聞いた。(이 별장들은 그리스의 부자나 외국인들이 휴양하기 위해서 지은 것이라는 얘기를 들었다.)
- (67) 이간 (離間) ¶ トルコは英国とフランスの離間を利用して、ギリシャと戦って勝った。(터어키는 영국과 프랑스의 이간을 이용하여 희랍과 싸워 이겼다.)
- (68) 이교 (異教) ¶ 彼は当時、ローマは異教の影響が大きかったので、そこから去って、キリスト教の中心地である東方へ移ってきた。(그는 당시 로마는 이교의 영향이 컸으므로 거기서 떠나 기독교의 중심지인 동방으로 옮겨왔다.)
- (69) 일주하다 (一周する) ¶ 彼は友だちとアメリカ、ヨーロッパを一周して戻ってきた。(그는 친구들과 미국, 유럽을 일주하고 돌아왔다.)
- (70) 일화 (逸話、エピソード) ¶ 去年の夏、イタリア旅行中にあったエピソードを紹介してみます。(지난 여름 이탈리아 여행 중 있었던 일화를 소개해 보겠습니다.)
- (71) 읽다 (読む) ¶ 今では私はロシア語を読むことができるようになった。(이제 나는 러시아어를 읽을 수 있게 되었다.)

- (72) 읽히다¹ (読まれる) ¶ この本は英語を学ぶ人々には広く読まれている本だ。(이 책은 영어 학도들에게는 널리 읽혀지는 책이다.)
- (73) 장관설 (饒舌によどみなく話す技量) ¶ 西ドイツの女子大生は、チーズの味について造詣が相当に深いようで、饒舌に長々と話した。(서독 여대생은 치즈 맛에 대한 조예가 상당한 듯 장관설을 편다.)
- (74) 전파하다 (傳播する) ¶ ローマはギリシャ文化を継承し、これを西欧に伝播する役割を果たした。(로마는 희랍 문화를 계승하여 이를 서구에 전파하는 역할을 하였다.)
- (75) 조선 (造船) ¶ わが社は造船産業に参入し、アメリカからタンカーを受注した。(우리 회사는 조선 산업에 뛰어들어 미국으로부터 유조선을 수주 받았다.)
- (76) 집정하다 (執政する) ¶ アクロポリスにはアテネを執政していた元老院と王宮がある。(아크로폴리스에는 아테네를 집정하던 원로원과 왕궁이 있다.)
- (77) 철광석 (鉄鉱石) ¶ アメリカ内陸で生産される鉄鉱石は、アメリカの港にある製鉄所に運ぶよりは、南米の港の近くにある鉄鉱石を輸入して使用するのが、採算上有利でありうるということです。(미국 내륙에서 생산되는 철광석을 미국 항구에 있는 제철소에 운반하는 것보다는 남미 항구 가까이 있는 철광석을 수입 사용하는 것이 채산상 유리할 수 있다는 것입니다.)
- (78) 취항 (就航) ¶ 韓国側は大韓航空のシカゴ就航を認めてくれることを、アメリカ協商団側に要請した。(한국 측은 대한 항공의 시카고 취항을 허용해 줄 것을 미국 협상단 측에 요청했다.)
- (79) 취항하다 (就航する) ¶ その飛行機は、少し前就航したオーストリア航空機のようなだった。(그 비행기는 얼마 전 취항한 오스트리아 항공기인 듯했다.)
- (80) 층수 (階数) ¶ パリやロンドンの都市建造物の平均階数は5.5階だという。(파리나 런던의 도시 건물 평균 층수는 5.5층이라 한다.)

- (81) 테스트 (テスト) ¶ アメリカで社員を採用する時、いつも適正テストをすることになる。(미국에는 사원을 채용할 때 으레 적성 테스트를 하게 된다.)
- (82) 페스트 (ペスト) ¶ 14世紀、ヨーロッパではペストの流行で、農村人口が激減し、労働力不足をもたらした。(14세기 유럽에는 페스트의 유행으로 농촌 인구가 많이 줄어들어 노동력의 부족을 가져왔다.)
- (83) 페이지 (ページ) ¶ 1789年のフランスの歴史は、フランス史において栄光のページであるとともに、人類の歴史においても栄光のページでもある。(1789년의 프랑스 역사는 프랑스 역사에서 영광의 페이지인 동시에 인류 역사에서도 영광의 페이지일 수도 있다.)
- (84) 편입하다 (編入する) ¶ 19世紀、ドイツ民族主義の課題は、ドイツ語を話すすべての人を一つの政治組織に編入することだった。(19세기 독일 민족주의의 과제는 독일어를 말하는 모든 사람을 하나의 정치 조직에 편입하는 것이었다.)
- (85) 하원 (下院) ¶ 英国のように、下院の優越的地位を認めている国がある一方、アメリカのように、下院の優越的地位を認めていない国もある。(영국과 같이 하원의 우월적 지위를 인정하는 나라가 있는가 하면 미국과 같이 하원의 우월적 지위를 부인하는 나라도 있다.)
- (86) 학대 (虐待) ¶ 英国では子供を虐待する父母は処罰される。(영국에선 자식들을 학대하는 부모들은 벌을 받는다.)
- (87) 학령 (學齡) ¶ 美国では學齡を滿4歲に早めようとする案が、真剣に議論されている。(미국에서는 학령을 만 4세로 내리려는 안이 심각히 논의되고 있다.)
- (88) 협력 (協力) ¶ 美国と私たちは、実際にお互い助け合って暮らす協力関係をなしている。(미국과 우리는 실제적으로 상호간에 돕고 사는 협력의 관계를 이루고 있어.)
- (89) 협약 (協約) ¶ 美国は工業所有權保護の為のパリ協定には加入しているが、著作権保護の為のベルヌ協約には未だ加入していない。(미

국은 공업 소유권 보호를 위한 파리 협정에는 가입하고 있으나 저작권 보호를 위한 베른 협약에는 아직껏 가입하고 있지 않다.)

- (90) 학살되다 (虐殺される) ¶ 第2次大戦の時は、ナチスの軍隊によって、罪もないユダヤ人たちが600万人も大量虐殺された。(2차 대전 때는 나치스 군대에 의하여 무고한 유대인들이 6 백만 명이나 대량 학살되었다.)
- (91) 협주곡 (協奏曲) ¶ 모차르트의 호른 협주곡의 활달하고 경쾌한 나팔 소리도 그녀의 생각을 단절시키지는 못했다。(モーツァルトのホルン協奏曲の闊達で軽快なラッパの音も、彼女の思いを断つことはできなかった。)
- (92) 협주 (協奏) ¶ 프로코피에프의 첼로 협주곡은 로스트로포비치와 베를린 필하모니의 협주로 듣고, 피아노 소나타는 독주로 들었다.)

4. 北朝鮮・アジア・アフリカ関連の用例 (用例数：34)

〈아프리카〉

以下の6例はいずれも、アフリカ社会の貧困、疾病、あるいは古代・先史時代の文明に言及したもので、韓国社会におけるアフリカ認識における偏りが反映された結果とみることもでき、前でも取り上げた欧米関連の用例が、西欧古典主義や欧米文明に対する高い関心と評価を示しているのとは、対照的である。

〈用例〉

- (1) 결심하다 (決心する) ¶ 彼は安寧を拒んで、アフリカで不幸な黒人たちの教育事業に一生を捧げようと決心した。(그는 안녕을 거부하고 아프리카에서 불쌍한 흑인들의 교육 사업에 일생을 바치기로 결심했다.)
- (2) 경계선 (警戒線) ¶ ソマリアは600万の人口のうち、450万名程度が生

と死の境目にいるという。(소말리아는 6 백만 인구중 4 백50만 명 정도가 죽음과 삶의 경계선에 있다고 한다.)

- (3) 덩덩 ([太鼓などを叩き続ける音] とんとん) ¶ 円を描いて立ち、トントンと太鼓を叩きながら踊るアフリカ密林の中の土人たちを見ると、いろいろ考えるようになる。(둘러서서 덩덩 북을 치며 춤추는 아프리카 밀림 속의 토인들을 보면 여러 가지 생각을 하게 된다.)
- (4) 변형되다 (變形される、變形する) ¶ エジプト美術には、多少変形したさまざまなスフィンクスが、たくさん出土する。(이집트 미술에는 다소 변형된 여러 스�핑크스가 많이 나온다.)
- (5) 약품 (藥品) ¶ 아프리카では、いま疾病を治療する薬品がとても必要である。(아프리카에서는 지금 질병을 치료하는 약품이 매우 필요하다.)
- (6) 조상 (彫像) ¶ 文化史研究者たちは、アフリカ北部地方で発見された土で作った女人の裸体の彫像を、その証拠に挙げている。(문화사 연구자들은 아프리카 북부 지방에서 발견된 흙으로 빚은 여인의 나체 조상을 그 증거로 들고 있다.)

〈中国〉

多くが前近代に関する内容で、現代中国社会を反映した内容の用例が非常に少ない。この『延世韓国語辞典』が編纂された時期が中韓修交後まもなくのことであったことも影響していると思われるが、近代以前の中国文明に対する関心の深さと、近現代の中国文化に対する相対的無関心が反映している。

〈用例〉

- (7) 견 (絹) ¶ 인도からは香料、綿、染料、中国からは中国の絹などを持って行って西方に伝播した。(인도에서는 향료, 면, 염료, 중국에서는 중국의 견 등을 가져다가 서방에 전파하였다.)
- (8) 공경하다 (慎んで敬うこと、恭敬) ¶ 堯舜の時代から中国でも、上に

天を崇め、祖先を敬い、下に人を愛し子孫を愛育する風俗が形成された。(요순 시대부터 중국에서도 위로 하늘을 위하고 조상을 공경하고, 아래로 사람을 사랑하고 자손을 애육하는 풍속이 세워졌다.)

- (9) 공언하다 (公言する) ¶ 中国は覇権主義を決して追求しないと、何度も公言してきた。(중국은 결코 패권주의를 추구하지 않겠다고 번번이 공언해 왔다.)
- (10) 공영 (共栄) ¶ 韓国と中国の両国が共存と共栄を模索することは、ただ両国だけではなく、東アジア全体に重要なことである。(한국과 중국 두 나라가 공존과 공영을 모색하는 일은 비단 두 나라만이 아니라 전체 동아시아에 중요한 것이다.)
- (11) 모반 (謀反) ¶ 中国の歴史は、数多くの易姓革命の連続であり、反逆と謀反の歴史のようにも見える。(중국 역사는 수많은 역성 혁명의 연속이고 반역과 모반의 역사같기도 보인다.)
- (12) 변발 (辮髮) ¶ 絶え間なく辮髮と衣服の変更を強要し、そうしなければ土地を没収するなど、少数の清人の横暴はとてもひどかったのである。(끊임없이 변발과 복색의 변경을 강요하며 그러지 아니할 때 땅을 몰수하는 등, 소수 청인들의 횡포는 격심했을 것이다.)
- (13) 둘러싸다 (取り囲む、取り巻く) ¶ 未だに十余名の中国人たちが、この奇異な訪問客を取り囲んでいた。아직도 십여 명의 중국인들이 이 기이한 방문객을 둘러싸고 있었다.
- (14) 부호 (富豪) ¶ 財力を身に付けた中国人の富豪たちは、時々中国人学生を招待して、彼らの困難をきいてあげ、激励してやったりもした。(재력을 모은 중국인 부호들은 가끔씩 중국인 학생들을 초대해 그들의 어려움을 들어 주고 격려를 해 주곤 했다.)
- (15) 왈자지껄 (がやがや、わいわい) ¶ 中国人船員たちがわいわい騒ぎながら出て行った。(중국인 선원들이 왈자지껄 떠들며 나갔다.)
- (16) 전토 (全土) ¶ 元の国が中国全土を統一した。(원나라가 중국 전토를 통일했다.)

- (17) 천제 (祭天) ¶ 中国では近世まで帝王が人民のために1年に一度ず祭天の儀式をおこなった。(중국에서는 근세까지 제왕이 백성을 위하여 한 해에 한 번씩 천제를 올렸다.)
- (18) 형식 (形式) ¶ 中国から初めて仏教が入ったときは、木造建築形式の木塔が流行し、皇龍寺の九層塔のような巨大な建物を建てたりするようにもなった。(중국에서 처음 불교가 들어올 때는 목조 건축 형식의 목탑이 유행하여 황룡사 구층탑 같은 거대한 건물을 세우기도 되었다.)
- (19) 흥기 ([国家や民族の] 勢力が顕著に強まること) ¶ 明の国の基盤は、外征の失敗、官吏の跋扈で紊乱し、さらに激烈な党争、満州族の勃興と内乱で衰退していった。(명의 국기는 외정의 실패, 관의 발호로 문란해졌고, 더욱이 격렬한 당쟁, 만주족의 흥기와 내란으로 쇠퇴해 갔다.)

〈ベトナム〉

ベトナムと韓国の関係では、ベトナム戦争参戦が最も大きな歴史的出来事で、延べ31万が派兵され、約5,000人が戦死している。さらに、多数のベトナム良民を虐殺した事実がある。こうした歴史を考える時、ベトナム戦争関連の用例が、少ないと言わざるを得ない。このことは、ベトナム戦争における韓国軍の不名誉な戦争犯罪行為を暴き立てることが、韓国社会においては、今もタブー視されていることを反映した結果とみることができる。朝鮮民族は古代から侵略をしたことがなく、度重なる外勢からの侵略に耐え忍んできたという、ステレオタイプの歴史観も影響しているように思われる。見出し語「강탈 (強奪)」の用例「朝鮮民族の歴史は、人類史上類例を見いだせないほど、異民族の政治的、経済的強奪に息をつくことすらままならない残酷な受難の歴史だった。」は、その一例である。

〈用例〉

- (20) 살빛 (肌の色) ¶ 베트남人というには背が高く、韓国人というには

肌の色が黒かった。(월남인이라기엔 키가 크고 한국인이라기엔 살 빛이 검었다.)

- (21) 살해 (殺害) ¶ 베트남의植民地化は、カトリック宣教師の殺害を口実にしたフランス艦隊の武力侵攻から始まった。(베트남의 식민지화는 가톨릭 선교사의 살해를 빌미로 한 프랑스 함대의 무력 침공에서 시작되었다.)
- (22) 펜팔 (펜팔) ¶ 彼はベトナムで勤務する時、ペン팔として付き合った女性と結婚した。(그는 월남에서 근무할 때 펜팔로 사귀어 가씨와 결혼했다.)
- (23) 집필자 (執筆者) ¶ その映画は、監督であり、シナリオ執筆者である彼の自叙伝的ベトナム戦参戦記である。(그 영화는 감독이자, 시나리오 집필자인 그의 자전적 월남전 참전기이다.)

〈北朝鮮〉

朝鮮戦争・南北分断関連の用例の多さに比べて、朝鮮民主主義人民共和国の現代社会に関するトピックを取り上げた用例がほとんど見られないことには、奇異な感が拭えない。これは、南北間の民衆レベルでの交流がほとんどないこととも関係している。しかし、朝鮮民主主義人民共和国における人権抑圧、思想弾圧、独裁体制、貧困問題などを批判する声が韓国内にも多いにもかかわらず、そうした内容の用例がみられないのは、朝鮮民主主義人民共和国に対する融和政策を考慮した編纂者たちの姿勢が、こうした形で現れているものと推測される。あとで紹介する朝鮮戦争・南北分断関連の用例では、朝鮮戦争中の朝鮮人民軍を批判的に扱った用例が多くみられるが、そうした批判は現代の話題にまでは、ほとんど及んでいない。

〈用例〉

- (24) 구조체 ([特に建物で] その構造の中心部分) ¶ そのとき建てられたピョンヤン教会を見ると、ㄱ字型の平屋の藁ぶき屋根だが、壁はレンガを重ねていた。(그 때 지어진 평양 교회를 보면 가자 평면 한옥

지붕인데 구조체는 별들로 쌓았다.)

- (25) 내다¹ (出す) ¶ 昔からピョンヤンは水が良く、キムチよりキムチの汁でうまみを出していたという。(예로부터 평양은 물이 좋아 김치보다 김치국으로 맛을 냈다고 한다.)
- (26) 두족류 (頭足類) ¶ 北朝鮮 [原文は「北韓」] の兼二浦地域で、珊瑚の化石と頭足類の化石がでた。(북한의 겸이포 지역에서 산호 화석과 두족류 화석이 산출되었다.)
- (27) 아로새기다 (刻み込む) ¶ 通溝地方 [吉林省南部にある] とピョンヤン地方でたくさん出土した瓦に刻まれた飾り模様や技術は、雄々しく雄渾な高句麗の気性を示す立派な工芸品だと言える。(통구 지방과 평양 지방에서 많이 나온 기와에 아로새긴 무늬 장식이나 솜씨는 씩씩하고 웅혼한 고구려의 기상을 보여 주는 좋은 공예품이라 할 수 있다.)
- (28) 치다² (1853) ¶ 北では生の魚を刺身にして食べるのは、特殊な身分の人々ぐらいしかいなかった。(북에서는 날생선을 회 처 먹는 것은 특수한 신분의 사람들에게나 있는 일이었다.)

〈その他〉

インドに関する内容の用例が比較的多くみられる。

〈用例〉

- (29) 국민감정 (國民感情) ¶ パキスタンとインドは互いに隣接しているが、國民感情は互いによくない。(파키스탄과 인도는 서로 인접해 있지만 국민감정은 서로 좋지 않다.)
- (30) 국부 (國の父) ¶ 新興インドの国父ガンジーは國民和合の実現のために、全力を傾けた。(신흥 인도의 국부 간디는 국민 화합의 실현을 위하여 온갖 힘을 기울였다.)
- (31) 설립하다 (設立する) ¶ イラク政府は石油の採掘開発を目的に、国営石油公社を設立した。(이라크 정부는 석유의 채광 개발을 목적으로

국영 석유 공사를 설립하였다.)

- (32) 시성 (詩聖) ¶ インドの詩聖タゴールは、「東方の灯」という詩を書いて、私たちの民族の精気を礼賛し、勇気を奮い起こさせてくれた。(인도의 시성 타고르는 ‘동방의 등불’이라는 시를 써서 우리의 민족의 정기를 예찬하고 용기를 불어넣어 주었다.)
- (33) 양녀 (養女) ¶ ガンジーが下層民出身の娘を自分の養女にしたのは、あまりにも有名な話である。(간디가 하층민 출신의 딸을 자기의 양녀로 삼은 것은 너무나 유명한 이야기다.)
- (34) 템포 (テンポ) ¶ 彼は韓国がインドネシアに比べて、賃金をはるかに速いテンポで上昇していると言った。(그는 한국이 인도네시아에 비해 임금이 월등히 빠른 템포로 상승하고 있다고 했다.)

5. 朝鮮戦争・南北分断関連の用例 (用例数 : 117)

朝鮮戦争が休戦状態にある朝鮮半島では、しばしば戦争のことが話題にならざるを得ない。したがって、1960年代以後の現代朝鮮語文献に基づく「延世言語コーパス」から用例を採取した『延世朝鮮語辞典』において、朝鮮戦争や南北分断状況を反映した文が多くみられることは、取り立てて奇異なことでもないだろう。反共を国是とする韓国で刊行された朝鮮語文献に基づくゆえ、南朝鮮労働党のパルチザン闘争、朝鮮人民軍を否定的に描いた例文が並ぶ結果となっている。

用例のジャンル別では、朝鮮人民軍占領下の状況 (14、19、20、23、29、32、59、64、93、102) が最も多く、朝鮮戦争による離散家族 (43、49、52、55、56、69、70)、解決課題としての南北統一 (3、12、31、41、51、62、98)、パルチザン (17、68、85、88、116) に言及した用例が比較的多くみられる。このほか、開戦直後の国連安保理事会 (6、42、115)、反託運動 (7、72、82)、南北政党社会团体代表者連席会議 (10、58)、理念対立による南北分断 (1、8、18)、休戦会談 (4、110)、中国人民志願軍 (86、100) などを取り上げた例文がみられる。さらに、建国準備委員会 (54) や

大韓航空機爆破事件（101）に関する用例も見られる。

〈用例〉

- (1) 강요 (強要) ¶ 理念に対する画一的な選択の強要が、むしろ38度線の分断を固定化させた。(이념에 대한 획일적인 선택의 강요가 오히려 삼팔선의 분단을 고착화시켰다.)
- (2) 강요되다 (強要) ¶ 何よりも私たちには分断の現実が強要され、その結果戦争が勃発し閉鎖的な状況が続いた。(무엇보다도 우리에게는 분단의 현실이 강요되었고、그 결과 전쟁이 터졌고 폐쇄적인 상황이 계속되었다.)
- (3) 같이 (…のように) ¶ 私たちが知っているように、我が国の現今のもっとも緊急で、重大な問題のうちの一つは南北統一であり、もう一つは経済安定策である。(우리가 아는 바와 같이 우리 나라 현금이 가장 급하고 중대한 문제 중의 하나는 남북 통일이요 또 하나는 경제 안정책이다.)
- (4) 격화되다 (激化する) ¶ 休戦會談が進むほど、李承晩政權の反対運動も激化した。(휴전 회담이 진전될수록 이승만 정권의 반대 운동도 격화되었다.)
- (5) 결렬되다 (決裂する) ¶ 南北朝鮮의 스포츠交流協議는、ついに決裂してしまった。(남북한의 스포츠 교류 협상은 끝내 결렬되고 말았다.)
- (6) 결석하다 (欠席する) ¶ 「安保理」理事国11か国のうち、ソ連が欠席し、ユーゴは棄権した。(‘안보리’ 이사국 11개국 중에서 소련이 결석하고 유고는 기권하였다.)
- (7) 결성하다 (結成する) ¶ 当時、学生たちは反託全国学生総連盟を結成し、反託運動の先頭で決起した。(당시 학생들은 반탁 전국 학생 총연맹을 결성하고、반탁 운동의 선두에서 쫓기하고 나섰다.)
- (8) 결속하다 (結束する) ¶ これまで国民を動員し、結束するイデオロギーとして作用していた經濟成長の論理と反共精神も、もはや人々を動

かすエネルギーとして機能し得ない。(그 동안 국민들을 동원하고 결속하는 이데올로기로 작용했던 경제 성장의 논리와 반공 정신도 더 이상 사람들을 움직이게 하는 에너지로 기능하지 못한다.)

- (9) 결의안 (決議案) ¶ この日、本会議では統一方案決議案をめぐって、大激論を繰り広げた。(이 날 본회의에서는 통일 방안 결의안을 가지고 일대 결론을 벌였다.)
- (10) 결행하다 (決行する) ¶ 統一は民族の至上命令であると、金九(キム・グ)は自らの北朝鮮行きを阻止しようとする反対者たちにこのように訴え、北朝鮮行きを決行した。(통일은 민족의 지상 명령이라며 김구는 그의 북행을 저지하려는 반대자들에게 이렇게 호소하고 북행을 결행했다.)
- (11) 경각 ([危険を知って] 気を引きしめること) ¶ 最近、朝鮮半島をめぐる列強の関係は、わが民族に高度の警戒を求める危険な状況である。(최근 한반도를 둘러싼 열강 관계는 우리 민족으로 하여금 고도의 경각을 요하는 위험한 상황이다.)
- (12) 경각심 (警戒心) ¶ 南北の指導層の警戒心を喚起させ、統一に向けた平和の道を共に模索しなければならない。(남북의 지도층의 경각심을 일깨워 통일을 향한 평화의 길을 같이 모색해야 한다.)
- (13) 경거망동 (輕挙妄動) ¶ 国家存亡の危機に輕挙妄動にもほどがあるのであって、社会の混乱を醸し出そうとする不純分子と行動を共にして良いのだろうか。(국가 존망의 위기에 경거망동도 유분수지, 사회 혼란을 조성하려는 불순분자들과 행동을 같이해서야 되겠는가.)
- (14) 공갈하다 (恐喝する) ¶ 敵どもは国民を欺瞞し恐喝しながら、占領地帯に多くの団体を組織した。(적들은 국민을 기만하고 공갈하면서 점령 지대에 많은 단체를 조직하였다.)
- (15) 공관 (公館) ¶ これはソウルとピョンヤンにそれぞれ公館を設置し、連絡をとる代表を常駐させるようにしようというものだった。(이것은 서울과 평양에 각기 공관을 설치하고 연락을 하는 대표를 상주

시키도록 하자는 것이었다.)

- (16) 공군 (空軍) ¶ 休戦後、全力を傾けて拡充、増強したのが空軍で、外国の援助もここに集中した。(휴전 후 전력을 경주하여 확충, 증강한 것이 공군이며 외국의 원조도 여기에 집중되었다.)
- (17) 공비¹ (共匪) ¶ 太白山方面の共匪は、わが軍の討伐作戦で大部分掃討された。(태백산 방면의 공비는 아군의 토벌 작전으로 대부분이 소탕되었다.)
- (18) 공산 진영 (共產陣營) ¶ 朝鮮半島の38度線は韓国と北朝鮮を分ける線ではなく、自由陣營と共產陣營の境界線である。(한반도의 삼팔선은 남한과 북한을 갈라놓은 선이 아니라 자유 진영과 공산 진영의 경계선이다.)
- (19) 공산² (共產) ¶ 都市とか邑、面の中心地域は、共產当局が陣を取っていた。(도시라든가 읍, 면의 중심 지역은 공산 당국이 진을 치고 있었다.)
- (20) 공산² (共產) ¶ 6.25戦争 [朝鮮戦争] の後、開城市は共產側の統治下に組み込まれた。(6.25전쟁 후 개성시는 공산 치하에 들어가게 되었다.)
- (21) 공산군 (共產軍) ¶ 私は私の父が6.25 [朝鮮戦争] の時、共產軍と対峙して戦い、壮烈に戦死されたものと思っていました。(나는 우리 아버지가 육이오 때 공산군과 맞서 싸우다가 장렬하게 돌아가신 걸로 알고 있었어요.)
- (22) 공산당 (共產党) ¶ 私たちも反共戦線に立ち、体が碎けるときまで共產党と対峙して戦うことを誓います。(우리도 반공 전선에 나가서 몸이 부서질 때까지 공산당과 맞서 싸울 것을 맹세합니다.)
- (23) 공산당원 (共產黨員) ¶ ある年の秋の日、この平和な村に赤い腕章をまいた共產黨員が現れました。(어느해 가을날, 이 평화로운 마을에 붉은 완장을 두른 공산당원이 나타났습니다.)
- (24) 공산화 (共產化) ¶ 以北 [北部朝鮮] を占領したソ連は、日本軍の武

装解除だけを目的とせず、占領と同時に共産化に着手した。(이북을 점령한 소련은 일본군의 무장 해제만을 목적으로 하지 않고 점령과 동시에 공산화에 착수했다.)

- (25) 공언하다 (公言する) ¶ 牧師出身の彼が泰然と、北には教会が一つもないと公言した。(목사 출신인 그가 태연스럽게 북에는 교회가 하나도 없다고 공언했다.)
- (26) 구조화 (構造化) ¶ 我が国の分断の構造化過程における主要な動因が何であったのかということについて、理解が必要である。(우리 나라 분단의 구조화 과정에서 주요 동인이 무엇이었는가 하는 것에 대한 이해가 필요하다.)
- (27) 구체화하다 (具体化する) ¶ 70年代に入り、文壇と学界は北に拉致されたり、北に渡った文人たちに対する解禁問題を具体化し始めた。(70년대에 들어 문단과 학계는 납북되거나 월북한 문인들에 대한 해금 문제를 구체화하기 시작했다.)
- (28) 구축함 (駆逐艦) ¶ この援護射撃は9月15日の上陸作戦の時まで続き、そのあいだに2隻の駆逐艦が砲撃の被害を受けもした。(이 지원 사격은 9월 15일 상륙 작전 시간까지 계속되었으며 그 기간 중에 2척의 구축함이 적의 포격으로 피해를 입기도 했다.)
- (29) 구출되다 (救出される) ¶ 父はなすすべもなく捕まっていき、人民裁判まで受けたが、まさに死ぬ直前に救出された。(아버지는 꼼짝없이 잡혀 들어가 인민 재판까지 받았으나 죽기 바로 직전에 구출되었다.)
- (30) 구획하다 (区画する) ¶ 著者は特異にも近代小説と現代小説の時代区分を6.25 [朝鮮戦争] で線を引いている。(저자는 특이하게 근대 소설과 현대 소설의 시대 구분을 6.25로 구획하고 있다.)
- (31) 국내적 (国内的) ¶ 若い世代は国際的にも国内的にも、分断を克服する共同の努力をしなければならない。(젊은 세대들은 국제적으로나 국내적으로 분단을 극복하는 공동의 노력을 해야 할 것이다.)

- (32) 국방군 (国防軍) ¶ 国防軍が勝てば、我々は人民軍から解放されるのだ。(국방군이 이기면 우리 인민군한테서 해방되는 거야.)
- (33) 국방비 (国防費) ¶ 私たちが分断された状態でなければ、国民総生産の30パーセントに達する巨額の国防費を節約することができるでしょう。(우리가 분단된 상태가 아니라면 국민 총생산의 삼십 퍼센트에 달하는 엄청난 국방비를 절약할 수 있을 것입니다.)
- (34) 국장³ (國章) ¶ 壁には共和国の國章と何枚かのスローガンが貼ってあった。(벽에는 공화국 국장과 몇 장의 구호들이 붙어 있었다.)
- (35) 군관 (軍官) ¶ 制服姿の大韓民国の將校が北朝鮮の將校と向かい合っ
て座り、會談をおこなっている光景がフィルムに収められていた。(정
복 차림의 대한민국 장교가 북한의 군관과 마주앉아 회담을 하고
있는 광경이 필름에 담겨 있었다.)
- (36) 군기³ (軍機、軍事機密) ¶ わが中隊の隊員も出発直前まで知らな
かった軍事機密を、共匪たちがなぜ知っていたのだろうか。(우리 중대
원도 출발 직전까지 몰랐던 군기를 공비들이 어떻게 알았을까?)
- (37) 군단¹ (軍團) ¶ 一個軍團程度の兵力が、いま仁川に上陸しつつある。
(일 개 군단 정도 병력이 지금 인천으로 상륙하고 있어.)
- (38) 군무¹ (軍務) ¶ 解放と共に、38度線を越えてソウルに來た彼は、陸
士8期として軍務に投身した。(해방과 함께 38선을 넘어 서울에 온
그는 육사 8기로 군무에 투신했다.)
- (39) 급변 (急變) ¶ 外では國際情勢の急變と、内では民族統一への意欲が
高まることによって、維新政策が台頭した。(밖으로는 국제 정세의
급변과 안으로는 민족 통일에의 의욕이 고조됨으로써 유신 정책이
대두되었다.)
- (40) 급전하다 (急轉する) ¶ 今や形勢が急轉し、とても監獄に入れること
で終わる気配ではなかった。(이제는 형세가 급전하여, 도무지 감옥
에 넣는 것으로 끝날 기미가 아니었다.)
- (41) 급진전하다 (急進展する) ¶ 4.19の後、急進展した統一運動は、5.16

クーデターによって、一切が非合法化された。(4.19 후에 근진전환 통일 운동은 5.16 정변으로 일체 불법화되었다.)

- (42) 기권하다(棄權する) ¶ 1国だけ棄權し、反対は1国もなく、すべての国が韓国を支援することに賛成した。(한 나라만 기권하고 반대는 한 나라도 없이 모든 나라가 한국을 지원하는 것에 찬성했다.)
- (43) 기다리다(待つ) ¶ 故郷を失った人々は、依然として故郷を忘れられず、戻る日を待っていることだろう。(실향민들은 여전히 고향을 잊지 못하고 돌아갈 날을 기다리고 있을 것이다.)
- (44) 기도(企図) ¶ 潜水艦を利用して東海岸に密かに侵入しようとする彼らの企ては、海洋警備隊の活躍によって挫折してしまった。(잠수함을 이용해 동해안으로 몰래 잠입하려는 그들의 기도는 해양 경비대의 활약으로 좌절되고 말았다.)
- (45) 피하다(企む) ¶ 果たして彼らは今も武力統一を企んでいるのだろうか。(과연 그들은 지금도 무력 통일을 피하고 있는가?)
- (46) 끊어지다(途絶える) ¶ 漢江橋が途絶する前に避難ができたのは、この上もない幸運だった。(한강다리가 끊어지기 전에 피난을 갈 수 있었던 것은 다시없는 행운이었다.)
- (47) 눈²(雪) ¶ 母は北に置いてきた息子が戻ってくる日だけを待ちながら、雪が降ろうが雨が降ろう가、毎朝井戸水を汲んで祈りをさげた。(어머니는 북에 두고 온 아들이 돌아올 날만을 기다리시며 눈이 오나 바가 오나 아침마다 정한수를 떠놓고 기도를 드리셨다.)
- (48) 막심하다(はなはだしい、ひどい) ¶ 海運業は特に動亂の被害がひどく、約46%の海岸施設が破壊された。(해운업은 특히 동란의 피해가 막심하여, 약46퍼센트의 해안 시설이 파괴되었다.)
- (49) 만⁵(…だけ) ¶ おじさんだけ南の方に避難されたみたいです。(아저씨만 남쪽으로 피난 가셨다나 봐요.)
- (50) 모순(矛盾) ¶ 現在、私たちの社会に現れている矛盾と葛藤の相当部分が、国土の分断とイデオロギーの分断に起因しているのは、あまり

にも自明のことだ。(현재 우리 사회에 나타나는 모순과 갈등의 상당 부분이 국토의 분단과 이데올로기의 분단에서 비롯된 것임을 너무나 자명하다.)

- (51) 모순되다 (矛盾する) ¶ 平和共存と統一は矛盾するものではなく、統一の前提条件である。(평화 공존과 통일은 모순되는 것이 아니며, 평화 통일의 전제 조건이다.)
- (52) 뭐니 뭐니 해도 (なんといっても) ¶ この時点で何と言っても最大の悩みは、北に置いてきた家族の問題だった。(이 시점에서 뭐니뭐니 해도 최대의 고민은 북에 두고 온 가족 문제였다.)
- (53) 발음하다 (発音する) ¶ 彼は咸鏡道方言の言葉づかいを、出来るだけ柔らかく聞こえるように注意して発音しているようだった。(그는 함경도 사투리의 말씨를 되도록 상냥히 들리도록 조심해서 발음하고 있는 것 같았다.)
- (54) 발족되다 (発足する) ¶ 結局、建国準備委員会というものが8月に発足した。(결국 건국 준비 위원회라는 것이 8월에 발족되었다.)
- (55) 북 (北) ¶ 雁が自分の故郷を探して北から飛んで来ていた。(기러기들이 제 고향을 찾아서 북에서 날아오고 있었다.)
- (56) 북 (北) ¶ 私自身もまた、故郷を北に持つ失郷民なので、あの方の心情は十分に理解できるように思えた。(나 자신 또한 고향을 북에 둔 실향민이라 그분의 심정은 충분히 이해할 것 같았다.)
- (57) 북괴 ([北傀という漢字語] 北朝鮮) ¶ このとてつもない逆説の結果が、つまり1950年6月25日に北傀[北朝鮮]の南侵によって、すぐにこの世に現れた。(이 어처구니없는 역설의 결과가 곧 1950년 6월 25일 북괴의 남침으로 해서 하루아침에 세상에 드러났다.)
- (58) 빛다 (醸し出す) ¶ 招請された人々の北行きの問題に対する意見が食い違い、大きな混乱を招いた。(초청된 인사들의 북행 문제에 대한 의견이 엇갈려 많은 혼선을 빚었다.)
- (59) 빨개이 ([共産主義者] アカ) ¶ 世の中がまた変わる予兆が明らかに

나ると、赤い腕章をまいたアカどもは、目にさらに殺気を漂わせてチャンマル(倉村)と春川にしきりに出沒した。(세상이 또 바뀔 징조가 분명해지자 붉은 완장을 찬 빨갱이들은 눈에 더욱 살기를 띠고 창말과 춘천을 들락거렸다.)

- (60) 살상(殺傷) ¶ 朝鮮戦争を通じてとてつもない同族の殺傷を経験したあとに現れた生命軽視の風潮が、今日に伝わっている。(6.25 전쟁을 통해 엄청난 동족의 살상을 겪은 후에 나타난 생명 경시 풍조가 지금까지 내려오고 있다.)
- (61) 살아생전(生前) ¶ あなたは生前、いつもよく戦争のさなかに失ってしまったお嬢さんの話をなさっていましたね。(당신께서는 살아생전 늘 전쟁통에 잃어버린 따님 얘기를 하시곤 했지요.)
- (62) 살아오다(生きてくる) ¶ 私たちは本当に、統一に向けた意識的努力の人生を歩んできたと言えるだろうか。(우리는 진정 통일을 향한 의식적 노력의 삶을 살아왔다고 말할 수 있을 것인가?)
- (63) 살육(殺戮) ¶ 想像だにできなかった残忍な殺戮の嵐のなかで、私は生き延びたのだった。(상상조차 할 수 없었던 잔인한 살육의 폭풍 속에서 나는 살아났던 것이다.)
- (64) 살해당하다(殺害される) ¶ 村では住民たちが共匪に殺された。(마을에서는 주민들이 공비에게 살해당했다.)
- (65) 살해하다(殺害する) ¶ 彼は大統領を殺害するために、ふところに銃を忍ばせて入っていった。(그는 대통령을 살해하기 위해 가슴에 총을 숨기고 들어갔다.)
- (66) 삼팔선(38度線) ¶ 38度線を越えてきた兄は、友だちの紹介で仁川の、ある中学校で教鞭を執ることになった。(삼팔선을 넘어온 형은 친구의 소개고 인천에 있는 한 중학교에서 교편을 잡게 되었다.)
- (67) 설정하다(設定する) ¶ そのような劇的な葛藤の構造を設定するうえでも、6.25はよい素材となり得ます。(그런 극적인 갈등 구조를 설정하는 데 있어서도 6.25는 좋은 소재가 될 수 있습니다.)

- (68) 선천적 (先天的) ¶ そんな人々は、パルチザン生活には先天的に向いていない人々だった。(그런 사람들은 빨치산 생활에는 선천적으로 부적합한 사람들이었다.)
- (69) 선험적² (先驗的) ¶ わが民族の未来の構想において、先驗的命題となるものは、分断自体の解消と民族統一成就の問題である。(우리 민족의 미래의 구상에 있어 선험적 명제가 되는 것이 분단 체제의 해소와 민족 통일의 성취 문제다.)
- (70) 설문 조사 (設問調査) ¶ 政府樹立後に行った設問調査を見ると、すでにそのとき大部分の知識人たちが、統一の展望について悲觀的な見解を示している。(정부 수립 이후 한 설문 조사를 보면 이미 그 때 대부분의 지식인들이 통일 전망에 대하여 비관적인 견해를 보인다.)
- (71) 성대히 (盛大に) ¶ 村内の劇場では功労者表彰授与式が盛大に挙行された。(읍내의 극장에서는 유공자 표창 수여식이 성대히 거행되었다.)
- (72) 성명하다 (声明する) ¶ 共産主義者たちは信託統治に反対する集会を開くといって10万の民衆を集めておき、いきなり信託統治を支持するという声明まで発したのではなかったかということだ。(공산주의자들은 신탁 통치를 반대하는 집회를 갖는다고 10만 군중을 모아 놓고는, 갑자기 신탁 통치를 지지한다고 성명하지 않았느냐 말이다.)
- (73) 송환 (送還) ¶すでに双方は、海外亡命および海外居住の人々に対する包摂と本国送還に熾烈な競争を繰り広げていた。(이미 쌍방은 해외 망명 및 거주 인사들에 대한 포섭과 본국 송환에 치열한 경쟁을 벌이고 있었다.)
- (74) 수교하다¹ (修交する) ¶ そのとき、スーダンは北朝鮮とは修交していたが、私たちとは外交関係がなかった。(그 때 수단은 북한과는 수교했지만, 우리와는 외교관계가 없었다.)
- (75) 수교하다¹ (修交する) ¶ いまや私たちは共産国家と修交し、散り散

りになった朝鮮民族の共同体形成を構想し、南北の統一を具体的に展望するようになった。(이제 우리는 공산 국가들과 수교하고, 흩어진 한민족 공동체 형성을 구상하고, 남북의 통일을 구체적으로 바라보게 되었습니다.)

- (76) 시사적³ (時事的) ¶ 新聞記者たちは6.25の時事的觀點の推移を説明する役割をになった。(신문 기자들은 6.25의 시사적 관점의 추이를 설명하는 역할을 담당했다.)
- (77) 시험장 (試驗場) ¶ 朝鮮半島を核戦争の試験場にしようとする南北朝鮮の政治的権力層の動きを、私たちは觀望してばかりはおれない。(한반도를 핵 전쟁의 시험장으로 만들려 하는 남북한의 정치적 권력층의 움직임을 우리는 관망만 할 수는 없다.)
- (78) 양극화하다 (兩極化する) ¶ 韓国の50年代は、共產主義陣營と反共陣營に兩極化した冷戦体制だった。(한국의 50년대는 공산주의 진영과 반공 진영으로 양극화된 냉전 체제였다.)
- (79) 양단 (兩斷、二つに分けること) ¶ 經濟的、社会的な多くの問題は、究極的にこの民族と国土の分割によるものである。(경제적, 사회적 인 많은 문제들은 궁극적으로 이 민족과 국토의 양단 때문이다.)
- (80) 양단되다 (兩斷される、二つに分割される) ¶ 38度線を境に南北が兩斷されたのは、1945年のことだった。(38선을 경계로 남북이 양단된 것은 1945년의 일이었다.)
- (81) 양단되다 (兩斷される) ¶ 解放後は国土が兩斷され、6.25事変ですべての産業施設が破壊された。(해방 후에는 국토가 양단되고 6.25 사변으로 모든 산업 시설이 파괴당하였다.)
- (82) 역도 (逆徒) ¶ 人々は信託統治反対に積極的に加担しない勢力に対して、民族反逆者、逆徒であるという批難をためらわなかった。(사람들은 신탁 통치 반대에 적극 가담하지 않는 세력에 대하여 민족 반역자, 역도라는 비난을 서슴지 않았다.)
- (83) 역학 관계 (力学關係) ¶ 政治や軍事の國際的力学關係で規定されて

きた朝鮮半島の分断は、文化的側面でも政治的影響、安保面での影響を受けざるを得ない。(정치나 군사의 국제적 역학 관계로 규정되어 온 한반도의 분단은 문화적 측면에서도 정치적, 안보적 영향을 받지 않을 수 없다.)

- (84) 역학적² (力学的) ¶彼の力学的解釈によれば、統一は遠くはないということだ。(그의 역학적인 해석에 의하면, 통일이 멀지는 않았다는 것이다.)
- (85) 완료되다 (完了する) ¶パルチザン闘争の組織化が完了するときまで、彼は仮の居場所に留まっていた。(유격 투쟁 조직이 완료될 때까지 그는 임시 거처에 머물러 있었다.)
- (86) 위축시키다 (萎縮させる) ¶中共軍は陣地からゴング、太鼓のような原始的騒音で、わが軍の士気を委縮させようとしてきた。(중공군은 진지에서 팽과리, 북 같은 원시적 소음으로써 아군의 사기를 위축시키려 들었다.)
- (87) 위치하다 (位置する) ¶国軍111連隊の作戦指揮所が化寧場の市場に位置していたという話もあった。(국군 111연대의 작전 지휘소가 화녕장 장터에 위치했었다는 얘기도 있었다.)
- (88) 유격대 (遊撃隊) ¶当時、湖南地区でも少数の人員で編成された遊撃隊があっただけで、全体的な遊撃隊勢力が極度に弱体化した状態だった。(당시 호남 지구에서도 소수 인원으로 평성된 유격대가 있었을 뿐 전체적인 유격대 세력이 극도로 약화된 상태였다.)
- (89) 이끌다 (率いる) ¶シム・ジェモは何ら格式ばることなく、部隊を率いて村の中に入ってきた。(심재모는 아무런 격식도 없이 부대를 이끌고 읍내로 들어왔다.)
- (90) 일조일석 (一朝一夕) ¶祖国統一を一朝一夕に成し遂げようとする性急な思いを抑え、一歩一歩踏み固めていく作業が行われなければならないと思われる。(조국 통일을 일조일석에 이룩하려는 성급한 마음을 억제하고 한걸음 한걸음 다져 가는 작업이 있어야 하리라고 생

각되다.)

- (91) 잡아들이다 (捕まえて閉じ込める、拘置する) ¶ これらの者を捕まえ、嚴重に取り調べたら、金九先生暗殺の背後は白日の下にさらされるだろうよ。(이들을 잡아들여 엄중 취조를 하면 김구 선생의 암살 배후는 백일하에 밝혀질 것이네.)
- (92) 장기수 (長期囚) ¶ 久しぶりに長期囚の暗かった顔が、明るくなるようだった。(오랜만에 장기수들의 어두웠던 얼굴이 밝아지는 듯했다.)
- (93) 전차² (戰車) ¶ ラジオニュースが米軍の釜山上陸を知らせたとき、私は北から来た戦車と人民軍が、そのうち追い払われるだろうと信じていた。(라디오 뉴스가 미군의 부산 상륙을 알려 주었을 때 나는 북에서 온 전차들과 인민군이 조만간 쫓겨갈 것이라고 믿었었다.)
- (94) 전화² (戰火) ¶ その頃は国中が戦火で疲弊していた時なので、教会といっても別に余裕があるはずがなかった。(그 무렵은 나라가 온통 전화로 피폐되어 있던 때라 교회라고 달리 여유가 있을 리 없었다.)
- (95) 전화³ (戰禍) ¶ ユンジュはまるで廢墟になったように戦禍を被った故郷興南と臨時首都の釜山を比較しながら、両親を回想した。(윤주는 폐허가 되다시피 전화를 입은 고향 흥남과 임시 수도의 부산을 비교하면서 부모님을 회상했다.)
- (96) 전후² (戰後) ¶ この小説は疲弊した戦後の韓国社会の暗くて重苦しい姿と、個人の疲弊した情緒をよく表現している。(이 소설은 피폐한 전후 한국 사회의 어둡고 답답함 모습과 개인의 피폐한 정서를 잘 표현하고 있다.)
- (97) 전후기 (前後期) ¶ 軍政下の教育課程は前期と後期に分け得る。(군정하의 교육 과정은 전후기로 나뉘어질 수 있다.)
- (98) 조명되다 (照らし出される、明らかにされる) ¶ 8.15後の3年の歴史を究明するうえでは、分断回避のための努力も同時に明らかにされな

- ければならない。(8.15 후의 3년사를 규명하는 데 있어서는 분단의 회피를 위한 노력들이 아울러 조명되지 않으면 안 된다.)
- (99) 조성시키다 (造成する) ¶ 分断による対外依存的經濟政策は、農民の離農を促進させることによって、都市貧民階層を形成させた。(분단으로 인한 대외 의존적 경제 정책은 농민의 이농을 촉진시킴으로써 도시 빈민 계층을 조성시켰다.)
- (100) 천지 ([天地という漢字語で] 世の中) ¶ 中共軍が押し寄せてきて、この国はふたたび人民軍の世の中になりそうだった。(중공군이 밀려오고, 이 나라는 다시 인민군 천지가 될 모양이었다.)
- (101) 테러리스트 (テロリスト) ¶ 事故が起った飛行機は、テロリストによって取り付けられた爆発物で空中爆発したのは、ほとんど間違いない。(사고가 난 비행기는 테러리스트들에 의해 장치된 폭발물로 공중 폭발됐음이 거의 틀림없다.)
- (102) 토굴 (土窟) ¶ 叔父は人民軍を避けて、土窟に隠れていた。(삼촌은 인민군을 피해 토굴에 숨어 있었다.)
- (103) 토막¹ (切れ端、断片) ¶ 国土が2つに切断された人々が味った悲しみを、彼がわかるはずがない。국토가 두 토막으로 잘린 사람들이 겪는 슬픔을 그가 알 리가 없다.
- (104) 편년체 (編年体) ¶ 大学の研究所で北朝鮮研究資料集を編年体で刊行した。(대학교 연구소에서 북한 연구 자료집을 편년체로 간행하였다.)
- (105) 편성되다 (編成される) ¶ 学徒兵が編成され、若者の血は祖国防衛の最前線で流されていった。(학도병이 편성되고 젊은이의 피는 조국 방위의 제일선에 뿌려져 갔다.)
- (106) 편입되다 (編入される) ¶ 休戦後、彼は国連軍傘下で韓国軍に編入されることになった。(휴전 이후로 그는 유엔군 산하에서 한국군으로 편입되게 되었다.)
- (107) 편입하다 (編入する) ¶ 私は避難民の青空学級に編入し、姉も私と

共に入学した。(나는 피난민 천막 학교에 편입했고 누이도 나와 함께 입학하였다.)

- (108) 학도병(学徒兵) ¶ 6.25事變がおこると、私は学徒兵に志願したが、体格不良で不合格となった。(6.25 사변이 일어나자 나는 학도병을 지원했으나 체격 미달로 불합격되었다.)
- (109) 학살되다(虐殺される) ¶ その少女の父は山にたき木を伐りに行ったとき、退却中の人民軍に虐殺された。(그 소년의 아버지는 산에 나무하러 갔다가 후퇴 중인 인민군에게 학살되었다.)
- (110) 협상하다(協商する) ¶ 李承晩(イ・スンマン)はソ連と協議することを好ましく思っていなかった。(이승만은 소련과 협상하는 것을 못마땅하게 여기고 있었다.)
- (111) 협정되다(協定が成立する) ¶ ヤルタ会談末期、連合国総参謀共同協議で、北部朝鮮はソ連の占領下に置き、南部朝鮮は米軍の占領中に置くことで協定が成立した。(알타 회담 말기 연합국 참모장 공동 협의에서 북한은 소련 점령하에 두고 남한은 미군 점령 중에 두기로 협정되었다.)
- (112) 휘날리다(なびく) ¶ 青い屋根の上には、赤旗が風になびいていた。(푸른 지붕 위에는 붉은 기가 바람에 휘날리고 있었다.)
- (113) 흥분되다(興奮する) ¶ 間もなく南北赤十字会談が実現するというニュースを聞くと、夫は興奮したようだった。(곧 남북 적십자 회담이 이루어진다는 소식을 듣게 되자 영감은 흥분되는 것 같았다.)
- (114) 흥정(駆け引き) ¶ 現在、日本と北朝鮮の間の駆け引きの渦中で、不当にも犠牲となっているのが関洪九(ミン・ホング)下士です。(현재 일본과 북한과의 흥정의 와중에서 부당하게 희생되고 있는 것이 민홍구 하사입니다.¹⁶⁾
- (115) 국([国の数]…国) ¶ 国連本部には50余か国の世界代表がひしめい

16 1983年に起った「第十八富士山丸事件」のこと。

ていた。(유엔 본부에는 50여 국의 세계 대표가 응성거렸다.)

(116) 설치하다 (設置する) ♯ 今度も司令部を筏橋に設置します。(이번에도 사령부를 벌교에 설치하겠소.)

(117) 북단 (北端) ♯ 私は一時期、東海岸北端の海岸にある哨所で勤務したこともあった。(나는 한때 동해안 북단 해안 초소에 근무한 적도 있었다.)

6. 労働運動関連の用例 (用例数：52)

朴正熙政権から全斗換政権へと、四半世紀の長期にわたるファッショ的軍事独裁の下で、開発独裁政策が展開され、労働者の権利が抑圧されていた。これを打倒した1987年の韓国民主化闘争のうねりのなかで民主的・戦闘的労働運動が強化され、広範な労働者を結集した戦闘的な大型争議を積み重ね、1995年には民主労働組合総連盟(民主労総)が結成されるに至った。1980年代には、「運動圏」(活動家)の大学生や知識階層の若者たち数千人が、中卒などと学歴を偽って労働現場に偽装就業し、現場労働者たちを組織し始めていた。筆者は1987年8月、外信記者の補助員として、釜山沖合に浮かぶ巨濟島にある大宇造船の労働争議の現場に入ったことがあったが、造船所全体を実力封鎖・占拠した労働者たちは労働歌もよく知らず、歌謡曲に合わせた替え歌をリーダーの指導の下で歌っているような未熟な状態にあった。しかし、民主労総が結成された頃には、すでにどの現場でも偽装就業した知識人・学生の支援なしに、労働者自らの力で労働運動を展開しうる組織力を有するほど、急成長していた。

また、学校の教員たちは1989年に全国教職員労働組合(全教組)を結成し、1500人余りの教員たちに対する一斉大量解雇、400人余りに対する逮捕攻撃にも屈しなかった。

こうした時代背景を反映して、多くの労働運動関連の用例が採択されている。ジャンル別では、団交・労使協議(5、6、22、26、48、49)、労働者に対する非人間的待遇(4、14、15、19、24)、スト(7、10、17、31、

43)、組合分裂工作 (28、44、37)、賃上げ (28、44、47)、教職員労組 (3、8、9)、座り込み闘争 (13、52)、労組結成 (16、45)、紛争による経営悪化 (34、35) などに関する用例がみられる。

〈用例〉

- (1) 강요당하다 (強要される) ♯彼らは正座をして黙想を強要されたり、勤労者の倫理綱領などをいやというほど聞かなければならなかった。(그들은 무릎을 꿇고 목상을 강요당하거나 근로자의 윤리 강령 따위를 지루하도록 들어야 했다.)
- (2) 강요되다 (強要される) ♯經濟成長だけを優先した結果、労働者たちに低賃金が押し付けられ、農民たちは低穀価政策で生産費にも満たないほどではなかっただろうか。(경제 성장만을 앞세운 결과로 노동자들에게 저임금이 강요되고, 농민들은 저곡가 정책으로 생산비에도 못 미칠 정도는 아니었는가?)
- (3) 격하하다 (格下げする) ♯教職団体を労働団体に格下げしようとすることに、容易に同意することはできない。(교직 단체를 노동 단체로 격하하려는 일에 쉽게 동의할 수 없다.)
- (4) 격화시키다 (激化させる) ♯勤労者に対する非人間的な待遇は、労使間の対立をさらに感情的な次元に激化させる要因である。(근로자에 대한 비인격적인 대우는 노사간의 대립을 더욱 감정적인 차원으로 격화시키는 요인이다.)
- (5) 결렬 (決裂) ♯交渉決裂の責任を、労組側は会社側にあると主張した。(협상 결렬의 책임을 노조측은 회사측에 있다고 주장했다.)
- (6) 결렬되다 (決裂する) ♯両者はいったん引き下がったあと再協議に入ったが、要求条件が前と同じで、また決裂した。(양측은 일단 후퇴한 후 재협상에 들어갔으나 요구 조건이 전과 동일하여 또 결렬되었다.)
- (7) 결사대 (決死隊) ♯決死隊闘争が長期間のストに疲れている組合員たちに、最後の希望となっていた。(결사대 투쟁이 장기간의 파업에 지

쳐 있는 조합원들에게 마지막 희망이 되고 있었다.)

- (8) 결성되다 (結成される) ¶ 昨年、全国的な教師団体が結成されたとき、私たちの学校でも平教師たちの団体がつくられた。(작년에 전국적인 교사 단체가 결성될 때 우리 학교에서도 평교사들의 모임이 만들어졌다.)
- (9) 결성하다 (結成する) ¶ 最近、教師たちが教員労組を結成したという話を聞いていることと思う。(요즘 교사들이 교원 노조를 결성했다는 소식은 들었을 줄 안다.)
- (10) 결의되다 (決議される) ¶ 労組員たちの徹夜会議の結果、明日からストに入ることが決議された。(노조원들의 밤샘 회의 결과, 내일부터 파업에 들어가기로 결의되었다.)
- (11) 결의하다 1 (決議する) ¶ 明日も工場の正門前に集結することを決議したあと、集会を終えた労働者たちは、各自、家に帰って行った。(내일도 공장 정문 앞에서 집결할 것을 결의한 뒤 집회를 마친 노동자들은 각자 집으로 돌아갔다.)
- (12) 겸직하다 (兼職する) ¶ 管理職にある人が、どうして労働組合の幹部職を兼職することができるのですか。(관리직에 있는 사람이 어떻게 노동 조합의 간부직을 겸직할 수 있겠습니까?)
- (12) 경감시키다 (軽減させる) ¶ 政府は失業者たちの苦痛を軽減させるための、各種の対策を打ち出した。(정부는 실업자들의 고통을 경감시키기 위한 각종 대책을 내세웠다.)
- (13) 경과하다 (経過する、過ぎる) ¶ 座り込みが10日を過ぎたときから、ぶつぶつ言いながら離脱する組合員が現れた。(농성이 열흘을 경과하면서부터 투덜대며 이탈하는 조합원들이 생겨났다.)
- (14) 공돌이 ([工場で男子勤労者を俗にいう語] 男子工具) ¶ いまや、蔑視されるコンドリ [男子工具]、コンスニ [女子工具] ではない、真の労働者として、私たちの権利を取り戻す時が来た。(이제는 천시 받는 공돌이 공순이가 아닌 진정한 노동자로서 우리의 권리를 되

찾을 때가 되었다.)

- (15) 공순이 ([工場で女子勤労者を俗にいう語] 女子工員、女工) ♯ 勤労者たちが社会でコンドリ、コンスニだといって馬鹿にされ、管理者たちからも人格的に尊重されない時があった。(근로자들이 사회에서 공들이 공순이라고 무시당하고 관리자들한테도 인격적인 대우를 못 받는 때가 있었다.)
- (16) 공식화하다 (公にする、公然化する) ♯ 従業員たちは自分たちの集まりを公然化し、労働組合を結成することにした。(종업원들은 자신들의 모임을 공식화하여 노동 조합을 결성하기로 했다.)
- (17) 국면 (局面) ♯ ストは新たな局面に差し掛かっていた。(파업은 새로운 국면으로 접어들고 있었다.)
- (18) 국회 (国会) ♯ 通常国会で新たな労働法案を処理することにしたので、もう少し待ってみましょう。(정기 국회에서 새 노동법안을 처리하기로 했으니 좀더 기다려 봅시다.)
- (19) 급증하다 (急増する) ♯ 産業化の進行に伴い、我が国にも精神病患者が急増している。(산업화의 진행에 따라 우리 나라에도 정신병 환자가 급증하고 있다.)
- (20) 내다¹ (ある状態にするという意味) ♯ 社長の机をぶち壊わしかけてやめた。(사장 책상을 박살 내려고 하다가 참았다.)
- (21) 단체 (団体) ♯ あいつらが組合員を扇動して、団体行動をとろうとしているのは明らかです。(애들이 조합원을 선동하여 단체 행동을 하겠다는 게 분명해요.)
- (22) 단체교섭 (団体交渉) ♯ 労組の団体交渉は、いまや一般的給与水準の決定において、最も重要な要因の一つとして登場することとなった。(노조의 단체 교섭은 이제 일반적 봉급 수준의 결정에 있어서 가장 중요한 요인의 하나로 등장하게 되었다.)
- (23) 단축 (短縮) ♯ 社会構造が大衆化し、権利と所得が次第に増大することによって、労働時間短縮が実現するようになる。(사회 구조가 대

중화되고 권리와 소득이 차츰 증대됨으로써 노동 시간 단축이 이루어지게 된다.)

- (24) 단축시키다 (短縮させる) ¶ 夜間作業は、疲労を積もらせ、寿命を縮めるかもしれない。(야간 작업은 피로를 쌓이게 하고 수명을 단축시킬지 모른다.)
- (25) 달갈로 바위 치기 ([卵で岩叩き] とうろうの斧、かなわない相手に飛び掛かる無謀な行動) ¶ あんな強大な権力を持っている社長と対決するというのは、卵で岩を叩くようなものだった。(그런 막강한 권력을 가지고 있는 사장과 맞선다는 것은 달갈로 바위 치기였다.)
- (26) 둘째 (二番目) ¶ まず、外部勢力とは一切結託してはならず、二番目には会社側は現労組が実質的で合理的な代表となれるように支援し、賃上げなどの懸案事項を協議した。(첫째는 외부 세력과 일체 결탁하지 않아야 하며, 둘째로는 회사측은 현 노조가 실질적이고 합리적인 대표가 될 수 있도록 지원하고 임금 인상 등의 현안 문제를 협의했다.)
- (27) 막후 ([政治や事業の] 裏舞台) ¶ 키의うの非公式接触で、会社側がした約束を信じて気を抜いている間にあんなことが起っていたのである。(어제의 막후 접촉에서 회사측이 한 약속을 믿고 방심해 있는 사이 그런 일들이 벌어졌던 것이다.)
- (28) 성과급 (出来高払いの賃金) ¶ 会社では基本給に加えて出来高払い制を実施すると宣言したが、この制度の実施は事実上の賃上げと変わらなかった。(회사에서는 기본급에다 성과급을 실시하겠다고 선언하였는데, 이 제도의 실시는 사실상 임금 인상이나 다름없었다.)
- (29) 솟아나다 (沸き起こる、湧き出る) ¶ 給料はけちりながら、たくさん仕事をしろと言うと、おのずから仕事に対する意欲が湧いてこないものです。(봉급은 작게 주면서 일을 많이 하라고 하면 자연 일에 대한 의욕이 솟아나지 않을 것입니다.)
- (30) 시의 (時宜、時がちょうどよいこと) ¶ 労働関係法も、今後さらに時

宜にかなった形で、勤労者の權益を保証する方向で改善されていくものと期待される。(노동 관계법들도 앞으로 더욱 시의에 맞게 근로자의 권익을 보장하는 방향으로 개선되어 갈 것으로 기대된다.)

- (31) 위험성 (危險性) ♯ 私たちのストは大きな打撃を与えないだけでなく、むしろ彼らに利用される危険性がある。(우리의 파업은 큰 타격을 주지 않을 뿐만 아니라, 오히려 그들에게 이용될 위험성이 있다.)
- (32) 이간질시키다 ([關係を] 分裂させる、引き裂く) ♯ 工場には、会社側に引っ付いて、組合員を分裂させることに忙しい班長がいる反面、良心的な班長もいた。(공장에는 회사측에 붙어 조합원들을 이간질시키기에 바쁜 반장이 있는 반면 양심적인 반장들도 있었다.)
- (33) 이간질하다 ([關係を] 引き裂く、分裂策動を行う) ♯ 組合長は何人かの組合員が外部からそそのかされて、組合員たちを分裂させる策動をやっていると糾弾した。(조합장은 몇몇 조합원들이 외부의 사주를 받아 조합원들을 이간질하고 있다고 성토했다.)
- (34) 잡지 (雑誌) ♯ この雑誌は特集記事を通して、韓国の労働実態を酷評した。(이 잡지는 특집 기사를 통해 한국의 노동 실태를 혹평했다.)
- (35) 장기화 (長期化) ♯ 紛糾の長期化が憂慮される自動車産業、電子産業などの新規投資は、下方調整が避けられない。(분규의 장기화가 우려되는 자동차 산업, 전자 산업 등의 신규 투자는 축소 조정이 불가피하다.)
- (36) 장기화하다 (長期化する) ♯ 労使紛争が長期化する場合、倒産する事業体が発生する可能性が高い。(노사 분규가 장기화할 경우 도산하는 업체들이 발생할 소지가 높다.)
- (37) 전체적¹ (全体的) ♯ この文は韓国社会の階級分析のための基本的視覚を提示し、労働者たちの現在の状態を全体的に照らし出そうとしたものである。(이 글은 한국 사회의 계급 분석을 위한 기본 시각을

제시하고 노동자들의 현재의 상태에 대한 전체적인 조망을 하고자 한 것이다.)

- (38) 전출되다 ([勤務していたところから] 転出する) ¶ 労組幹部として活動していた同僚たちが、次々と転出し始めた。(노조 간부로 활동하던 동료들이 하나둘 전출되기 시작했다.)
- (39) 전표 (工事現場などで、現金を約束する代わりに渡すチケット) ¶ この労働者たちが受け取るチケットを直ちに必要な現金に換えるためには、多額の割引料を支払わなければならない。(이 곳 노동자들이 받는 전표를 당장 필요한 현금으로 바꾸기 위해서는 비싼 할인료를 지불해야 한다.)
- (40) 전화하다² (転化する) ¶ 労働者の自然発生的な階級闘争は、このような条件の下で意識的な闘争に転化する。(노동자의 자연 발생적인 계급 투쟁은 이런 조건 속에서 의식적인 투쟁으로 전화한다.)
- (41) 중소 기업 (中小企業) ¶ 劣悪な労働環境は、大企業よりは中小企業と零細企業であればあるほど、更に深刻な様相を帯びている。(열악한 근로 환경은 대기업보다는 중소 기업과 영세 기업일수록 더욱 심각한 양상을 띠고 있다.)
- (42) 중재하다 (仲裁する) ¶ 労使間に紛争が起こると、労働争議委員会がその紛争を仲裁する役割を担う。(노사간에 분쟁이 생기면 노동쟁의 위원회가 그 분쟁을 중재하는 역할을 맡는다.)
- (43) 집회장 (集会場) ¶ スト当日、彼は組合員たちを集会場に呼び集めた。(파업 당일 그는 조합원들을 집회장으로 불러모았다.)
- (44) 하향 (下降、下向き) ¶ 最初、労組は賃金引上げ率を12パーセントから10パーセントに下方調整した。(처음에 노조는 임금 인상률을 12 퍼센트에서 10퍼센트로 하향 조정했다.)
- (45) 협의체 (協議体) ¶ 彼はいくつかの工場で、100名の労働者あたり1ずつ代議員を選出して、協議体を構成した。(그는 여러 공장에서 1백 명의 노동자에 대해 1명 꼴로 대의원들을 선출해서, 협의체를

구성했다.)

- (46) 협력하다 (協力する) ¶ 使用者側と労組側は労働組合のため、互いに協力し合わなければならない。(사용자측과 노조측은 노동 조합을 위해 상호 협력해야 한다.)
- (47) 협상하다 (協商する、協議する) ¶ 会社で方針を決めれば、会社側と労組側は賃金引上げ案について協議することになるだろう。(회사에서 방침을 정하면, 회사측과 노조측은 임금 인상안을 놓고 협상하게 될 것이다.)
- (48) 협상하다 (協議する、相談する) ¶ 彼らは会社の幹部陣と3度にわたって協議し、その大会を招集することにした。(그들은 회사 간부진과 세 차례에 걸쳐 협상하여 그 대회를 소집하기로 하였다.)
- (49) 협의하다 (協議する) ¶ 執行部の7名は協議の内容を話し合うため、食堂の一角に集まった。(집행부 7명은 협상의 내용을 협의하기 위해 식당 한 쪽에 모였다.)
- (50) 협잡 (詐欺、いかさま、ペテン) ¶ 会社側に付いて、あらゆるペテンを先頭に立って働いてきた金(キム)課長が委員長に罵声を浴びせかけるや、隊員たちは持っていた机を置いて、金課長に飛び掛かった。(회사측에 붙어 온갖 협잡에 앞장서 온 김 과장이 위원장에게 욕설을 퍼붓자 대원들이 들고 있던 책상을 놓고 김 과장에게 덤벼들었다.)
- (51) 협정하다 (協定を結ぶ、協議して決定する) ¶ 団体協約は、労使間の団体交渉によって協議決定する合意でもって成立する。(단체 협약은 노사간의 단체 교섭에 의하여 협정하는 합의로서 성립한다.)
- (52) 형⁴ (かたち) ¶ 座り込みメンバーたちは戦闘態勢をとって、放物線状に布陣した。(농성자들은 전투 태세를 갖추고 포물선 형으로 포진을 취했다.)

7. 貧富格差・社会的不平等関連の用例（用例数：49）

貧しい社会的弱者の悲哀と、それでも暖かい家族愛に囲まれて生きる人間の姿を描いた用例が多数採択されている。次のような用例は、当時、社会的に不平等に抗して立ちあがった民衆が、「人間らしく生きたい！」（인간답게 살고 싶다!）と叫んでいた姿を彷彿させる。

「故郷で中学校を卒業した妹がソウルのある工場に就職して、むしろ私を援助してくれた。」(15)、「ひどく貧しいフンボの身なりが、故郷にいる父のみすぼらしい姿と重なって、思わず涙がこぼれたりもした。」(16)、「外食といっても、すいとんや麺類や、あるいは焼き飯やどんぶり物がせいぜいのところだったが、家族みんなが一緒に外出することだけでも嬉しかった。」(18)、「たとえ、土方をしている身の上ではあっても、人間としての自尊心を守ろう。」(23)、「一日中汗とほこりにまみれて働いて帰ってきた父を囲んで、家族全員が車座になって座った。」(36)、「彼女は糸くずと端切れに埋もれ、夜昼なくパンパンに腫れ上がった足で、ミシンのペダルを踏んでいた。」(45)

本稿「はじめに」でも紹介したように、「この辞書では自然に書かれた文章から直接取り出した用例であり、[中略] この辞書の多くの部分は、今日の韓国人が共に書いたものであるとみなすことができる」と論じているが、執筆者たちの共通した思いが、こうした用例採択によく表現されているように思われる。

〈用例〉

- (1) 격하되다 (格下げされる) ¶ その当時だけをとっていても、族譜がなければ常民に格下げされ、軍役を課されるなど社会的差別がひどかった。(그 당시만 해도 족보가 없으면 상민으로 격하돼 군역을 맡는 등 사회적 차별이 심했다.)
- (2) 격화되다 (激化する) ¶ 資本主義が高度に発達するのに伴って、社会的、経済的矛盾が激化し、これに対処するために国家の権力が強大化する。(자본주의가 고도로 발달됨에 따라 사회적 경제적 모순이

격화하며 이것에 대처하기 위해서 국가의 권력이 강대해진다.)

- (3) 견지하다 (堅持する) ¶ 個人の自由と創意性を尊重する基本的立場を堅持しながら、同時にそれが富の集中を招いて権力化することがあってはならない。(개인의 자유와 창의력을 존중하는 기본 입장을 견지하면서 동시에 그것이 부의 집중을 초래하여 권력화되지 않아야 한다.)
- (4) 곱다² ([寒くて手や足の] 感覚がマヒする、思い通り動かなくなる) ¶ ある時は、夜明けの4時に起きて、母と2人で白菜を洗うと、手が寒さにしびれて、指を動かすことさえ難しかった。(어떤 때는 새벽 4시에 일어나 어머니와 들어서 배추를 씻으면 손이 곱아 손가락을 움직이기조차 어려웠다.)
- (5) 공납금 (画工に収める授業料、実習費など) ¶ 彼はやっとのことで大学に入ったが、学費が払えず今度の学期には受講申請もできなかった。(그는 간신히 대학에 들어갔는데 공납금을 못 내 이번 학기엔 등록도 하지 못했다.)
- (6) 공부방 (工夫房) ¶ 家庭の状況ゆえに勉強部屋がない生徒、読書室[勉強用の貸しブース]にも行けない生徒の状況は考えないで、ただ自律学習[放課後、教室で行う自習]を廃止するようなことはできない。(집안 형편 때문에 공부방이 없는 학생, 독서실에도 갈 수 없는 학생의 형편은 생각하지 않고 무조건 자율 학습을 폐지할 수는 없다.)
- (7) 곳간 (穀物置き場、物置、倉庫) ¶ あの時暮らし向きもよく、秋になると穀物倉庫には米のカマスを積み上げて暮らし、春の端境期を経験しなかった。(그 때는 살림이 짬짬하여 가을이면 곳간에 쌀가마를 쌓아 두고 살아 춘궁기를 몰랐었다.)
- (8) 공수표 (空手形) ¶ その自由は新たな特権層の独占物となり、その平等は紙の上にかかれただけの空手形となってしまった。(그 자유는 새 특권층의 독점물이 되었고 그 평등은 문서에만 기록된 공수표

가 되고 말았다.)

- (9) 구제품 (救濟物資) ¶ 救濟物資がきちんと配られさえすれば、孤兒院の子どもたちの苦勞も少しは軽減されるだろう。(구제품이 제대로 돌기만 한다면 고아원의 아이들이 덜 고생을 할 것이다.)
- (10) 급급하다 (汲々とする) ¶ 空腹を満たすために汲々としている人々が、栄養価が高い食べ物を食べられるはずなど、全くなかった。(주린 배를 채우기에 급급한 사람들이 영양가 많은 음식을 먹을 수 있을 리가 만무했다.)
- (11) 급기야 (ついに、あげくの果てに) ¶ 彼は3日にあけず無断欠席をしていたが、あげくの果てに靴磨きの箱1つを準備して近くの大都市に逃げ出した。(그는 사흘이 멀다 하고 무단 결석을 하더니, 급기야 구두닦이 통을 하나 장만해 가지고 가까운 대도시로 달아났다.)
- (12) 급료 (給料) ¶ 新聞社は再び財政難に陥り、社員の給料も支払えなくなった。(신문사는 또다시 재정난에 빠져 사원들의 급료도 지불치 못하게 되었다.)
- (13) 급진적² (急進的) ¶ このような急進的な高度成長の陰には、今も多くの社会問題が残っています。(이와 같은 급진적 고도 성장의 그늘에는 아직도 많은 사회 문제가 남아 있습니다.)
- (14) 누비다 (繕う) ¶ かつて、擦り切れたズボンのおしりとひざを繕って着て、暮らしていた頃を思ってみなさい。(그 옛날 떨어진 바지 엉덩이와 무릎을 누벼 입고 살던 시절을 생각해 보라.)
- (15) 누이동생 (妹) ¶ 故郷で中学校を卒業した妹がソウルのある工場に就職して、むしろ私を援助してくれた。(고향에서 중학교를 졸업한 누이동생이 서울 어느 공장에 취직해서 오히려 나를 도와 주었다.)
- (16) 누추하다 ([家・身なり가] 미すばらしい) ¶ ひどく貧しいフンボの身なりが、故郷にいる父のみすばらしい姿と重なって、思わず涙がこぼれたりもした。(찢어지게 가난한 흥보의 행색이 고향에 있는 아버지의 누추한 모습에 겹쳐 그만 눈물이 흐르기도 했다.)

- (17) 눈을 돌리다 (関心を注ぐ) ¶ 自分の家庭や隣人の暮らしに関心を注ぐことができる社会が、望ましいと言えるだろう。(자기 가정이나 이웃의 삶으로 눈을 돌릴 수 있는 사회가 바람직하다고 하겠다.)
- (18) 덮밥 (どんぶり物) ¶ 外食といったところで、すいとんや麺類や、あるいは焼き飯やどんぶり物がせいぜいのところだったが、家族みんなと一緒に外出することだけでも嬉しかった。(외식이라야 봤자 수제비나 국수가 아니면 볶음밥이나 덮밥이 고작이었지만 온 식구가 함께 밖에 나가는 것만으로도 기분이 좋았다.)
- (19) 뛰어오르다 (跳ね上がる、高くなる、上昇する) ¶ より広い家に住むために懸命に努力する私たちは、下流から中流に上昇する小市民の素朴な夢を実現させるためなのである。(집을 늘리기 위해서 안간힘을 다 쓰는 우리들은 하류에서 중류로 뛰어오르는 소시민의 소박한 꿈을 실현시키기 위한 것이다.)
- (20) 막노동 (- 労働 650) ¶ 私は18歳の時に故郷を離れ、波止場での土方仕事、建設現場での石運びなど、あらゆる仕事をやってみた。(나는 열여덟 살 때부터 객지로 나와 부둣가 막노동, 건설 현장 돌나르기 등 안 해 본 일이 없다.)
- (21) 막노동자 (肉体労働者、土方) ¶ その次の年、工事場の土方だった父まで、肝硬変症で急死してしまった。(이듬해 공사관의 막노동자였던 아버지마저 간경화증으로 갑자기 사망하고 말았다.)
- (22) 막노동하다 (肉体労働をする、土方をする) ¶ 4度目の家出で、仁川の埠頭で土方をしたとき、そこの労務者宿所はシラミ地獄そのものだった。(네 번째 가출로 인천 부두에서 막노동할 때, 그곳의 노동자 합숙소는 그야말로 빈대 지옥이었다.)
- (23) 막노동하다 (肉体労働をする、土方をする) ¶ たとえ、土方をしている身の上ではあっても、人間としての自尊心を守ろう。(비록 막노동하는 처지이긴 해도 인간으로서의 자존심을 지키자.)
- (24) 발상¹ (発想) ¶ 民衆を蔑視し、農作業をすることを賤しい職業だと

みなそうとする発想は、実に遺憾です。(백성을 멸시하고 농사 짓는 것을 천한 직업으로 인정하려는 발상은 심히 유감스럽다.)

- (25) 빠지다² (陥る) ¶ 植民地農業政策の結果、絶対的貧困に陥った農民たちは、結局、農村を離れざるを得なかった。(식민지 농업 정책의 결과로 절대적인 빈곤에 빠진 농민들은 결국 농촌을 떠나지 않을 수 없었다.)
- (26) 상류층 (上流層) ¶ 貧しい国家であるにも拘わらず、上流層の衣食住は、どの先進国の富豪も羨ましくないほど豪華である。(빈곤한 국가임에도 불구하고 상류층의 의식주는 어느 선진국의 부호가 부럽지 않을 만큼 호화롭다.)
- (27) 선행하다 (先行する、先だつ) ¶むしろ困窮している人間の生存権回復こそ、福音の伝道に先立つキリスト教の責務である。(오히려 핍박 받는 인간들의 생존권 회복이야말로 복음의 전파에 선행하는 기독교의 책임이다.)
- (28) 성년 (成年) ¶幼い頃から苦しい労働に明け暮れていた兄さんは、成人する前に死んでしまい、彼女は未成年の女工として、紡績工場で働いた。(어려서부터 고된 노동에 시달린 오빠는 성년이 되기 전에 사망해 버려 그녀는 미성년의 여공으로서 방직 공장에서 노동을 하였다.)
- (29) 송금 (送金) ¶一日でも送金が遅れるようなことがあれば、その当時、私が学費を工面するために通っていた職場に、よく電話がかかって来たものだった。(하루라도 송금을 늦추는 날이면 그 당시 내가 학비 조달을 위해 다니고 있던 직장으로 전화가 오곤 했다.)
- (30) 송금하다 (送金する) ¶彼らは劣悪な労働条件のもとで、労働で稼いだ収入を故郷に送金した。(그들은 열악한 노동 조건 밑에서 노동으로 벌어들인 수입을 고향으로 송금하였다.)
- (31) 송금하다 (送金する) ¶私は工事場で1年間懸命に働き、ほとんど1千万ウォン近くのお金を妻に送金することができた。(나는 공사장에

서 일 년을 뺀 빠지게 일해 거의 천만원 가까운 돈을 아내에게 송금할 수 있었다.)

- (32) 송금하다 (送金する) ¶ スンニヨは毎月故郷に送金したお金は、ただか6万ウォンに過ぎなかった。(순녀가 매달 고향에 송금한 돈은 고작 육 만원에 불과했다.)
- (33) 수기¹ (手記) ¶ この手記には女工たちの哀歓が、生き生きと描かれている。(이 수기에는 여공들의 애환이 생생하게 표현되어 있다.)
- (34) 시름 (心配、悩み) ¶ わが国の農民たちは農作業の苦しさを暫くでも忘れるため、農謡を歌った。(우리 농민들은 고된 농사일의 시름을 잠시라도 잊기 위해 농요를 불렀다.)
- (35) 시민 (市民) ¶ 不幸や貧困に直面している人を助けてあげるのが、社会の責任であり、市民の義務です。(불행이나 가난에 처한 사람을 돌보아 주는 것은 사회의 책임이요, 시민들의 의무입니다.)
- (36) 아버지 (父) ¶ 一日中汗とほこりにまみれて働いて帰ってきた父を囲んで、家族全員が輪になって座った。(하루 종일 땀과 먼지 속에서 일을 하고 돌아온 아버지를 둘러싸고 온 가족이 둘러앉았다.)
- (37) 위화감 (違和感) ¶ 資本主義が発展した社会であればあるほど、貧富の格差が広がり、貧しい者と富める者の間の違和感が醸成される。(자본주의가 발전한 사회일수록 빈부의 격차가 커지고 빈부간에 위협감이 조성된다.)
- (38) 일터 (仕事場、職場) ¶ 両親は明け方から夜中まで、仕事場に出て暮らしている。(부모님은 새벽부터 밤중까지 일터에 나가 사신다.)
- (39) 장가가다 ([男が] 結婚する) ¶ 最近は農村の独身男性は、結婚することすら難しい状況です。(요즘은 농촌 총각들은 장가가기조차 힘든 형편입니다.)
- (40) 조명하다 (照らし出す、光を当てる) ¶ 貧しい人々の暮らしに光を当てているという趣旨から、副題を付けたのだった。(가난한 사람들의 삶을 조명하고 있다는 취지로 부제를 붙인 것이었다.)

- (41) 조성시키다 (生み出す、作り出す) ¶ 学内に車が多いと、騒音公害を引き起こすだけでなく、学友たちの間で違和感を生み出すことが、強く憂慮されます。(학내에 차들이 많으면 소음 공해를 일으킬 뿐만 아니라 학우들 사이에 위화감을 조성시킬 우려가 큼니다.)
- (42) 집중화 (集中化) ¶ 最近の階層構造から露呈している問題点の一つとして、富の偏在と集中化現象が指摘されている。(최근의 계층 구조에서 드러나고 있는 문제점의 하나로서 부의 편재와 집중화 현상이 지적되고 있다.)
- (43) 철거되다 (撤去される) ¶ この丘のスラムにある無許可のバラックも、間もなく撤去されるだろう。(이 산동네 무허가 판잣집도 곧 철거될 것이다.)
- (44) 철거민 (撤去民) ¶ 再開発地域の撤去民を入居させるために建てた市営アパートは、その位置が大部分、高台や外郭の道路沿いなど、居住にふさわしくないところだった。(재개발 지역의 철거민을 입주시키기 위해 세운 시영 아파트는 그 위치가 대부분 고지대, 또는 외곽 도로변 등 주거에 부적합한 곳이었다.)
- (45) 페달 ([自転車やミシンの] 베달) ¶ 彼女は糸くずと端切れに埋もれ、夜昼なくパンパンに腫れ上がった足で、ミシンのペ달を踏んでいた。(그녀는 실밥과 천조각에 파묻혀 불철주야 통통 부은 발로 미싱의 페달을 밟았다.)
- (46) 편재 (偏在) ¶ 高金利政策で、富の偏在は日増しにひどくなった。(고금리 정책으로 부의 편재는 갈수록 심해졌다.)
- (47) 편중 (偏重) ¶ 富の偏重現象は、昨日今日になって認識された事新しい現象ではない。(부의 편중 현상이 어제오늘에 와서 인식된 새삼스런 현상은 아니다.)
- (48) 하층민 (下層民) ¶ この作家は疎外された下層民の悲惨な狀況を示すことによって、この社会の深層に横たわる矛盾を明らかにしようとした。(이 작가는 소외된 하층민들의 비참한 상황을 제시함으로써 이

사회의 심층적 모순을 밝히려 했다.)

- (49) 학내 (学内) ¶ 最近は学内で車が多く騒音公害を引き起こし、学友たちの間に違和感を醸成している。(요즘은 학내에 차들이 많은 소음 공해를 일으키며 학우들 사이에 위화감을 조성하고 있다.)

8. 民主主義・民主化関連の用例 (用例数：184)

1980年代に激しく闘われた韓国民主化闘争の影響で、権力による民主化運動に対する弾圧を内容とする用例が最も多い(29、30、45、61、62、67、75、115、128、139、140、142、151、153、155、158、165、182、184)。韓国民主化闘争は圧倒的多数の民衆から支持され、だからこそ、民主社会実現に対する堅固な信念と、手に持てるものといえ石ころと火炎瓶だけで、強権的軍事独裁政権を打倒し得たのだった。(1980年5月の光州民主抗争では、小銃で武装した市民軍が銃撃戦の末、韓国国軍によって鎮圧された。) 当時、韓国社会の民主化のために闘う人々が、重装備の戦闘警察を前にして、しばしば歌っていた「灼けつく渴きで」(타는 목마름으로)は、^{キム・ジ}金芝河の詩をリライトしたもので、次のように、「民主主義万歳！」(민주주의여 만세!)と厳かに歌い上げるものだった。

1. 私の脳裏がお前の名を忘れて久しく、私の歩みもお前を忘れてあまりに久しい／ただ一筋の灼けつく胸の渴きの記憶がお前の名を書く／灼けつく渴きで、灼けつく渴きで、民主主義万歳！
2. あの青々とした自由の追憶がよみがえる／連行された友の血まみれの顔がよみがえる／震える手震える胸 怒りに歯を震わせながら、白墨で書いた不慣れた文字／灼けつく渴きで、灼けつく渴きで、民主主義万歳！(1. 내 머리는 너를 잊은지 오래／내 발길도 너를 잊은지 너무도 오래／오직 한 가닥 타는 가슴 속 목마름의 기억이 네 이름 남몰래 쓴다／타는 목마름으로 타는 목마름으로 민주주의여 만세！
2. 살아오는 저 푸르른 자유의 추억／되살아나는 끌려가던 벗들의 피문은 얼굴／떨리는 손 떨리는 가슴 치떨리는 노여움이 서툰 백목

글씨로 쓴다／타는 목마름으로 타는 목마름으로 민주주의여 만세!)

こうした民主化を求める汎国民的な民衆の叫び声は、この辞書の編集者のものでもあったに違いない。

また、権力者や特権階層による不正蓄財など、社会的不正を批判する内容の例文(26、38、49、53、63、73、85、112、113、129)、社会的非道徳性を批判する内容の用例(9、28、41、52、71、117、119)、権力との結託を批判する内容の用例(25、27、33、35)、国民の基本権を求める内容の用例(10、15、44、54、164)などが採択されている。「工場の労働者が機械を動かしている間も、功利的計算を超えた喜びを覚える社会が、人間の本性を取り戻した社会だろう。」(42)などは、マルクスの労働疎外論を連想させるような内容となっている。

〈用例〉

- (1) 강연회(講演會) ¶ 3年ぶりに開かれる大衆集會だったからか、講演會にはなんと3万余名のとてつもない聴衆が集まった。(3년 만에 열리는 군중 집회여서 그랬는지 강연회에는 무려 3만여 명의 엄청난 청중들이 모여들었다.)
- (2) 강제되다(強制する) ¶ どんないさしい思想も暴力で強要してはならないように、どんな深い愛も強制することはできない。(어떤 옳은 사상도 폭력으로 강요해서는 안 되듯이, 어떤 지극한 사랑도 강제될 수는 없다.)
- (3) 개방성(開放性) ¶ 開放性が認められる社会こそ、本当の民主社会である。(개방성이 인정되는 사회야말로 진정한 민주 사회이다.)
- (4) 개방적¹(開放的) ¶ 社会が開放的で民主化すればするほど、人間的な絆と同志的な絆で、父母と子供、もしくは兄弟姉妹の關係を結ぶ場合が増えることだろう。(사회가 개방적이고 민주화되어 갈수록 인간적 유대와 동지적 유대로서 부모 자녀 또는 형제 자매의 관계를 맺는 경우가 많아질 것이다.)

- (5) 개방적² (開放的) ¶ 自分子どもや若い世代と打ち解けて話し合う開放的な文化が家庭内で確立し、家庭の外に広がって行かなければならない。(자식과 젊은 세대와 격의 없이 대화하는 개방적 문화가 가정 안에서 확립되어 가정 밖으로 먼저 나가야 한다.)
- (6) 개방적² (開放的) ¶ 自由で平等な開放的人間関係は、社会発展の原動力であり、基盤となる。(자유롭고 평등한 개방적 인간 관계는 사회 발전의 원동력이요 기틀이 된다.)
- (7) 개선시키다 (改善させる) ¶ 人権状況を改善させる意思是、これっぽっちもないみたいだなあ。(인권 상황을 개선시킬 의사는 전혀 없는 모양이군.)
- (8) 개선책 (改善策) ¶ 障害者福祉の向上のための改善策を準備することが望まれる。(장애자 복지의 향상을 위한 개선책을 마련하는 것이 바람직하다.)
- (9) 결여 (欠如) ¶ 未だに私たちの社会には、合理性の欠如のために生じる非道徳的な事件が乱舞している。(아직도 우리의 사회에는 합리성의 결여 때문에 생기는 비도덕적 사건들이 난무하고 있다.)
- (10) 견고하다 (堅固だ) ¶ 国民の基本権はしっかりと保障されなければならない。(국민의 기본권은 견고하게 보장돼야 한다.)
- (11) 견제하다 (牽制する) ¶ 自由の観念ばかりが発達し、それをけん制する秩序の観念がなければ、民主主義社会は到底実現できない。(자유 관념만이 발달하고 그것을 견제하는 질서의 관념이 없으면 민주주의 사회를 도저히 이룩할 수 없다.)
- (12) 견지하다 (堅持する) ¶ 政府が対外的に国家のプライドと自主性を堅持すれば、世論というものは穏健になったり、低姿勢を示すものである。(정부가 대외적으로 국가적 긍지와 자주성을 견지하면 여론이란 온건해지거나 저자세를 보이기 마련이다.)
- (13) 결별하다 (訣別する) ¶ 互いに癒着し密着していた金権とも訣別した政府ならば、もはや完全な地方自治による小さな政府を嫌う理由はな

いだろう。(서로 유착되어 맞물렸던 금력과도 결별한 정부라면 이제 완전한 지방 자치에 의한 작은 정부를 마다할 이유가 없을 것이다.)

- (14) 결부하다 (結びつける) ¶ 小説を金銭と結びつけず、重労働をするかのように書いてきたことも、私はその作業を通じて正しく生きる道を常に鍛えようと考えてきた。(소설을 돈과 결부하지 않고 중노동하듯 써 온 것도, 나는 그 작업을 통해 바르게 사는 길을 늘 훈련한다고 생각해 왔다.)
- (15) 결사¹ (結社) ¶ 基本的人権にとって、言論、出版、集会、結社の自由実現も、身体的自由と全く同様に重要な課題である。(기본적 인권에 있어서 언론, 출판, 집회, 결사의 자유 실현도 신체적 자유와 똑같이 중요한 과제다.)
- (16) 결사² (決死) ¶ 命をかけて反対すると叫んでいた人々が、その対象がなくなったあと、為すべきことすら失ったかのように、虚脱状態に陥る場合を目にする。(결사 반대를 외쳐 대던 이들이, 그 대상이 사라지고 나면 할 일마저 잃은 듯 허탈에 빠지는 경우를 목격한다.)
- (17) 결여하다 (欠如する、欠く) ¶ 民衆の自覚を欠いた民主主義というのは、気の抜けた操り人形の戯れでしかないだろう。(백성의 자각을 결여한 민주주의란 얼빠진 꼭두각시의 장난밖에 안 될 것이다.)
- (18) 결의하다² (決意する) ¶ それは、むしろ自らの信念をさらに固める契機となり、いかなる弾圧が加えられようとも、後に引かないことを決意させた。(그 일은 오히려 나의 신념을 더욱 굳히는 계기가 되어 어떠한 탄압이 가해진다고 해도 물러서지 않을 것을 결의하게 만들었다.)
- (19) 결의하다² (決意する) ¶ 私たちはいかなる弾圧が加えられようとも、前進していくことを決意した。(우리는 어떠한 탄압이 가해진다 해도 밀고 나가기로 결의했다.)
- (20) 결의하다² (決意する) ¶ 会長は今回のデモで、自分が先鋒に立つと

決意しつつ、血書をしたため始めた。(회장은 이번 시위에서 자신이 선봉에 서겠다고 결의하면서 혈서를 쓰기 시작했다.)

- (21) 결정적² (決定的) ¶ 彼らを殺したところで、米軍にいかなる決定的打撃を与えるものでもなかった。(그들을 죽인다고 해서 미군에게 어떤 결정적 타격을 줄 수 있는 것도 아니었다.)
- (22) 결정짓다 (決定する) ¶ 政治というものは、民心から出発し、民心で決定するものでなければならない。(정치란 민심에서 출발하여 민심으로 결정짓는 것이어야 한다.)
- (23) 결집되다 (結集する) ¶ 国家は堅固な自主、自立、自衛の意志が結集した、国民主体意識の求心体にならなければならない。(국가는 굳건한 자주, 자립, 자위의 의지가 결집된 국민 주체 의식의 구심체가 되어야 한다.)
- (24) 결집하다 (結集する) ¶ 国民運動本部 [民主憲法戦取国民運動本部 (1987年5月27日結成)] のある関係者は、全国の反独裁勢力を結集し、地域組織を全国的に組織していくと明言した。(국민 운동 본부의 한 관계자는 전국의 반독재 세력을 결집하여 지역 조직을 전국적으로 조직해 나갈 것이라고 밝혔다.)
- (25) 결탁 (結託) ¶ 出世するためには、政治的権力者との結託も躊躇しなかった。(출세를 하기 위해서는 정치 권력자와의 결탁도 서슴지 않았다.)
- (26) 결탁하다 (結託する) ¶ 清潔な企業風土を実現し、政治と経済が結託する非道理をなくすようにするためには、不正蓄財者の何人かは、その見せしめとしてでも嚴罰に処さなければならないと考えます。(깨끗한 기업 풍토를 이루고 정치와 경제가 결탁하는 비리를 척결하기 위해서는 부정 축재가 몇 사람은 본보기로라도 엄벌로 처해야 할 줄로 압니다.)
- (27) 결탁하다 (結託する) ¶ 政党や政治家は企業家と結託して資金をかき集めているために、かならずトラブルが発生する。(정당이나 정치인

은 기업가와 결탁해서 자금을 끌어들이고 있기 때문에 말썽이 일지 않을 수가 없다.)

- (28) 겸허 (謙虛) ¶ 国内の現実を見、今日の時局をよくよく見ると、謙虚さと反省のない私たちの生き方が悲しい。(국내의 현실을 보며 오늘의 시국을 되짚어보니 겸허와 반성을 모르는 우리네 삶이 안쓰럽다.)
- (29) 경계 (警戒) ¶ 彼らは警察の厳しい警戒の下、学校を抜け出した。(그들은 경찰의 삼엄한 경계 아래 학교를 벗어났다.)
- (30) 경계망 (警戒網) ¶ 街には憲兵を巡回させ、2人が話をしただけでも、すぐに検問を実施するなどの厳しい警戒網を敷いた。(거리에는 헌병을 순회시켜 두 사람이 얘기만 하여도 곧 건문을 하는 등의 삼엄한 경계망을 폈다.)
- (31) 경고하다 (警告する) ¶ 彼は自分の本で、「民衆のために」というスローガンの危険性を警告したことがある。(그는 그의 책에서 '민중을 위하여'라는 구호의 위험성을 경고한 바 있다.)
- (32) 경구 (警句) ¶ 自由共和国の自由市民は、自らが自由であるためにも、一定の拘束を受けなければならないという民主主義の思想家ルソンの警句を、私たちは忘れてはならない。(자유 공화국의 자유 시민은 스스로 자유롭기 위해서도 일정한 구속을 받아야 한다는 민주주의의 사상가 루소의 경구를 우리는 잊어서는 안 된다.)
- (33) 공개 (公開) ¶ 官製言論は歪曲報道を直ちに是正し、公けに謝罪しなければならないだろう。(관제 언론은 왜곡 보도를 즉각 시정하고 공개 사과하여야 할 것이다.)
- (34) 공개적 (公開の) ¶ 民主的政党になるということは、党がオープンな性格を持たなければならないという意味である。(민주적 정당이 된다는 것은 당이 공개적 성격을 가져야 한다는 뜻이다.)
- (35) 공격하다 (攻撃する) ¶ 私を御用だと攻撃したことに對して、正式に謝罪広告を出さなければ、ただでは置かない。(나를 어용이라고 공

격한 데 대해 정식으로 사과 공고를 내지 않으면 가만 안 뒤.)

- (36) 공공(公共) ¶ 公共の所有制のもとで、公共のために各自が心一つにして働くのが、大同社会である。(공공의 소유제 아래서 공공을 위하여 각자가 합심하여 노동을 하는 것이 대동 사회이다.)
- (37) 공과(功過、功罪) ¶ 国内で起こるすべての現象は、国政を担っている政府にその功罪と責任がある。(나라 안에서 일어나는 모든 현상은 국정을 맡고 있는 정부에 그 공과와 책임이 있다.)
- (38) 공금(公金) ¶ 賭博にのめり込み、公金を横領したのは、泥棒でなくて何なのか。(도박에 미쳐서 공금을 횡령한 것은 도둑질이 아니고 뭔가.)
- (39) 공당(公党) ¶ 民主主義のために働くという公党の黨員たちが、暴力行使をためらわなかったり、他党に謀略を仕掛けた非民主的意識が嘆かわしい。(민주주의를 위해 일하겠다는 공당의 당원들이 폭력 행사를 서슴지 않거나, 타당을 모함하던 비민주적 의식이 한심스럽다.)
- (40) 공동적(共同的、共通の) ¶ この試練は私たちだけの試練ではなく、自由世界全体に共通した試練である。(이 시련은 우리만의 시련이 아니고 자유 세계 전체의 공동적 시련이다.)
- (41) 공리¹(公利、公益) ¶ ある社会の一員としての各個人は、私利私欲を満たすことよりは、公共の利益を優先する生き方をしなければならない。(한 사회의 일원으로서의 각 개인은 사리 사욕을 채우기보다는 공리를 앞세우는 삶을 살아야 한다.)
- (42) 공리적²(功利的) ¶ 工場の労働者が機械を動かしている間も、功利的計算を超えた喜びを覚える社会が、人間の本性を取り戻した社会だ。(공장의 일꾼이 기계를 돌리는 중에도 공리적 계산을 초월한 즐거움을 느끼는 사회가 인간의 본성을 되찾은 사회일 것이다.)
- (43) 공민(公民) ¶ 有能な公民を育てることを重要な目標とする民主教育が、政治に関する教育を等閑視したり、除外したりしてはいけないの

はもちろんである。(유능한 공민을 기르는 것을 중요한 목표로 하는 민주 교육이 정치에 관한 교육을 등한시하거나 제외할 수 없는 것은 물론이다.)

- (44) 공민권 (公民權) ¶ 民主國家の公民は、民主的方法による選挙を通じて、公民権を正当に行使しなければなりません。(민주 국가의 공민은 민주적인 방법의 선거를 통하여 공민권을 정당히 행사해야 합니다.)
- (45) 공방 (攻防) ¶ その日のデモは、幾多の攻防と催榴弾が乱舞する中で、孔徳洞ロータリーに拡がった。(그 날의 데모는 술한 공방과 최루탄의 난무 속에 공덕동 로터리로 이어졌다.)
- (46) 공복² (公僕) ¶ 指導者とは、ほかでもなく民衆の代弁者であり、公僕である。(지도자란 틀림없이 민중의 대변자요 공복이다.)
- (47) 공식 (公式) ¶ 権力闘争は公式通りに進んでいます。おかしな話のようですが、三国時代以来今日まで、わが国の歴史がその公式から少しも外れたことはありません。(권력 투쟁은 공식대로 되어 갑니다. 이상스런 얘기 같지만, 삼국 이래로 지금까지 우리 나라 역사가 그 공식에서 조금도 어긋나지 않았어요.)
- (48) 공약하다 (公約する) ¶ 大統領は自ら権威主義を清算し、清潔な政治の実現を公約した。(대통령은 스스로 권위주의를 청산하고 깨끗한 정치의 실현을 공약했다.)
- (49) 공여 (供与) ¶ 公務員が不正な請託を受け、第三者にわいろを供与させたり要求したりすれば、法の処罰を受けることになる。(공무원이 부정한 청탁을 받고 제 3 자에게 뇌물을 공여하게 하거나 공여를 요구하면 법의 처벌을 받게 된다.)
- (50) 공용 (公用) ¶ ある役員たちは公用の自動車を、いつも私的な用途に用いていた。(어떤 임원들은 공용의 자동차를 개인적인 용도에 쓰는 것을 예사로 했다.)
- (51) 구축되다 (構築される) ¶ 独裁君主制は貴族ではない官僚制におい

て、しっかりと構築された。(독재 군주제는 귀족 아닌 관료제에서 견고히 구축되었다.)

- (52) 구축되다 (駆逐する) ¶ 金さえあれば何だってできるという低俗な哲学は、駆逐されなければならない。(돈이면 무엇이든지 된다는 저속한 철학은 구축되어야 한다.)
- (53) 구태 (旧態) ¶ その後も貪官汚吏たちの旧態は依然として改善されておらず、民心は再び揺ぎはじめた。(그후로도 탐관오리들의 구태는 여전히 개선되지 않아 민심은 다시 동요하기 시작하였다.)
- (54) 구태여 (強いて、わざわざ) ¶ 憲法で厳然と保障された自由を、どうしてわざわざ作家が渾身の力を込めて主張しなければならないのか。(헌법에 엄연히 보장된 자유를 왜 구태여 작가가 발 벗고 나서서 주장해야 하는가?)
- (55) 구태의연하다 (旧態依然としている) ¶ 政治家たちは、もう旧態依然たる権謀術数に執着した政治形態から脱皮しなければならない。(정치인들은 이제 구태의연한 권모술수에 집착하는 정치 행태에서 벗어나야 한다.)
- (56) 구현 (具現、実現) ¶ 政府は国民の幸福と繁栄のため、民主・正義・福祉社会実現に努力している。(정부는 국민의 행복과 번영을 위해, 민주, 정의, 복지 사회 구현에 힘쓰고 있다.)
- (57) 구호 (スローガン) ¶ 私たちも一度スローガンを、力強く叫んでみましょう。(우리도 구호 한번 힘차게 외쳐 봅시다.)
- (58) 국가주의 (國家主義) ¶ 強力な中央集権的國家主義は、地域の価値観をもともと認めていなかった。(강력한 중앙 집권적인 국가주의는 지역의 가치관을 아예 인정하지 않고 있었다.)
- (59) 국익 (國益) ¶ 非民主的國家では政權の安定のために、國益は後回しにされるほかなかった。(비민주 국가에선 정권의 안정을 위해 국익은 뒷전으로 밀릴 수밖에 없었다.)
- (60) 급습 (急襲) ¶ 昨夜、情報機関の急襲によって、書類を奪取されてし

まった。(어젯밤 정보 기관의 급습으로 서류를 탈취당하고 말았다.)

- (61) 급전 (急電、至急電報) ¶ その年の5月、光州で大変なことが起こった何日か後に、末の息子から至急電報が飛び込んできた。(그 해 5월, 광주에서 큰일이 벌어진 며칠 뒤에 막내아들한테서 급전이 날아왔다.)
- (62) 급행료 ([早く処理してもらうために、担当者に渡すわいろ] 急行料金) ¶ 이かに切羽詰っているからとて、住民サービス担当者たちが急行料金として賄賂を取ることまでしていたのだろうか。(오죽하면 민원 담당자들이 급행료를 뇌물로 받아 먹기까지 했겠는가.)
- (63) 급행료 ([早く処理してもらうために、担当者に渡すわいろ] 急行料金) ¶ 本當に恥ずべき賄賂だなあと思ったが、いわゆる急行料金というものの効果も無視できないところだから、仕方ないと思った。(정말 치사한 뇌물이구나 싶었지만 소위 급행료란 것의 효과도 무시 못할 터라 별수없다고 생각했다.)
- (64) 긍정되다 (肯定される) ¶ 教育の自治性が民主教育の樹立において絶対的な条件になるということは、理論上あます所なく肯定されてきたことである。(교육의 자치성이 민주 교육에 [의의誤植か?] 수립에 있어 절대적인 여건이 된다는 것은 이론상으로 얼마든지 긍정되어 온 일이다.)
- (65) 기 (를) 피다 ([抑圧や困境から脱却して] 安心する) ¶ 庶民が安心して生きられる世の中になることを願う。(서민들이 기를 피고 살 수 있는 세상에 오기를 바란다.)
- (66) 기관원 ([情報機関で働く公務員] 情報機関員) ¶ 言論機関に情報機関員が隨時出入りするのはもちろん、すっかり常駐するようになり、そのようにしながら社説や記事の一つ一つに干渉をしていたのです。(언론사에 기관원이 무상 출입하는 것은 물론, 아주 상주하게 되고 그러면서 사설이나 기사 하나하나에 간섭을 했던 것이다.)

- (67) 기념탑 (記念塔) ¶ 学生たちは大学構内にあった4月学生革命記念塔の前に集まり、自由守護決起大会を開いた。(학생들은 대학 구내에 있던 4월 학생 혁명 기념탑 앞에 모여 자유 수호 쫓기 대회를 열었다.)
- (68) 기득 (既得) ¶ 新たな改革が既存の支配層の既得権益を脅かす場合、支配層は保守的な立場を固守しようとする。(새로운 개혁이 기존 지배층의 기득의 이익을 위협할 경우 지배층은 보수적인 입장을 고수하려고 한다.)
- (69) 꽃피다 (花咲く、花開く) ¶ 君たちは希望が花開いていた春に大学に入り、あの残忍な5月の流血を体験しなければならなかった世代だ。(너희들은 희망이 꽃피던 봄에 대학에 들어와 그 잔인한 오월의 피흘림을 겪어야 했던 세대다.)
- (70) 꿈쩍도 못하다 (微動だに出来ない) ¶ 詐欺師、俗物、怪物だとか言いながらも、一杯の酒に微動だに出来ない私たちは、果たして何者だろうか。(사기꾼, 속물, 괴물이니 하면서도 한 잔의 술에 꿈쩍도 못하는 우리들은 과연 무엇일까?)
- (71) 누르다¹ (抑圧する、押さえつける) ¶ 支配し抑圧する人々は、そんな悔しい感情は理解できないだろう。(지배하고 누르는 사람들은 그런 억울한 감정은 못 느낄 것이다.)
- (72) 누리다 (享受する) ¶ 貴族は社会的に利益と特権を数多く享受した特権階級だった。(귀족은 사회적으로 이익과 특권을 많이 누렸던 특권 계급이었다.)
- (73) 누리다 (享受する) ¶ 人は誰でも、最大限の自由を享受したがる。(사람은 누구나 최대한의 자유를 누리고 싶어한다.)
- (74) 누설하다 (漏えいする、[機密が] 漏れる) ¶ 当局は国家の機密を漏えいしたり、政府に対して謀略を企てて、大韓民国を転覆させようとする一切の言論を取り締まる姿勢で臨んだ。(당국에서는 국가의 기밀을 누설한다든가 정부를 모략하여 대한 민국을 정복하려는 일체

의 언론을 단속하는 태도로 나왔다.)

- (75) 눈 (을) 뜨다 (目覚める) ¶ どの民族であれ国であれ、人間の尊厳性に目覚め、人間性回復のために努力しないところはない。(어느 민족이나 나라든 인간의 존엄성에 눈 뜨고 인간성 회복을 위해 노력하지 않는 곳은 없다.)
- (76) 눈¹ (目) ¶ 彼らの非道理にわざと目をつぶってきたのが、私たちの現実である。(그들의 비리에 짐짓 눈을 감아 온 것이 우리의 현실이다.)
- (77) 눈이 트이다 (わかっているところがある、判断できる) ¶ 国民は政治家や政治的指導者を見る目が相当にあり、政治を見る目も相当に成熟していた。(국민은 정치인이나 정치 지도자를 보는 눈이 그만큼 트여 있었고 정치를 보는 눈 또한 그만큼 성숙되어 있었다.)
- (78) 단정되다 (断定される) ¶ 労働者には、私の構想がブルジョア的なものとして、十分に断定されうるものだった。(노동자에게는 내 구상은 부르주아적인 것으로 단정되기에 아주 알맞다.)
- (79) 단죄하다 (断罪する) ¶ 彼らは、民衆による最も頑強な民族運動を、野蛮的な行動だと断罪した。(그들은 민중에 의한 가장 완강한 민족 운동을 야만적인 행동이라고 단죄했다.)
- (80) 단합 (團結、結束) ¶ 今は、国民の結束がさらに求められる時だ。(지금은 국민의 단합이 더욱 요청되는 때이다.)
- (81) 단합하다 (團結する、結束する) ¶ この難局を克服するために、私たちは力を養い、民主的に結束しなければなりません。(이 난국을 이겨 내기 위해서 우리는 힘을 기르고 민주적으로 단합해야 하겠습니다.)
- (82) 달다⁵ ([…して]くれ) ¶ 私に自由を、でなければ死を与えよ！(나에게 자유가 아니면 죽음을 달라!)
- (83) 달달³ ([すっかり覚えるさま] すらすら、さらっと) ¶ どういう意味なのかも知らずに、韓国的民主主義がああだこうだ、10月維新がああ

だこうだと、丸のみで覚えていたことが思い起こされる。(무슨 말인지도 모르면서 한국적 민주주의가 어떻고, 10월 유신이 어떻고 하면서 달달 외웠던 기억이 난다.)

- (84) 덮어놓다 (覆い隠す) ¶ 政府は世論のために、一部公職者の不動産投機疑惑を、もはや覆い隠すことはできなかった。(정부는 여론 때문에, 일부 공직자의 부동산 투기 의혹을 더 이상 덮어놓을 수는 없었다.)
- (85) 데모 (デモ) ¶ 学生時代はいつもデモの先頭に立っていた彼だったが、いまでは平凡な小市民として暮らしている。(학생 시절에는 항상 데모의 선봉에 서던 그였지만 이제는 평범한 소시민으로 살고 있다.)
- (86) 데모대 (デモ隊) ¶ 市民が集まり始めたのだが、午後4時ごろになると、市内はデモ隊で満ち溢れた。(시민이 모여들기 시작하는데, 오후 네 시쯤 되자 시내는 데모대로 꽉 찼다.)
- (87) 데모하다 (デモをする) ¶ デモをして阻止しなければならないことがあるなら、誰もが起ち上がらなければならない。(데모해서 막아야 할 일이 있다면 누구든 나서야지.)
- (88) 데모하다 (デモをする) ¶ 自分と考えることが違うとしても、必ずしもあのようにデモをする学生たちを非難するわけではない。(자기와 새각하는 것이 다르다고 꼭 그렇게 데모하는 학생들을 비난할 바는 아닙니다.)
- (89) 둔감하다 (鈍感だ) ¶ 長く権力の座にいと、妥協を拒否し、国民の与論に鈍感になる。(오래 권력에 있다 보면 타협을 거부하며 국민의 여론에 둔감하게 된다.)
- (90) 막이 내리다 (幕を下ろす) ¶ 韓国 [原文は「南韓」] は長い軍事政権による統治の時代が幕をおろし、文民政府が成立した。(남한은 오랜 군사 정권 통치 시대가 막을 내리고 문민 정부가 들어섰다.)
- (91) 막판 (めっちゃくちゃな局面) ¶ 作業服の袖をたくし上げて、めっちゃく

ちな局面にも飛び込む勇気がなくっちゃあ。(노동복으로 소매 걷어 붙이고 막판에도 뛰어들 배짱이 있어야지.)

- (92) 막가다 (前後をわきまえず行動する) ¶ こりゃ実にめちゃうちな国だ。(이건 정말 막가는 나라야.)
- (93) 모든 (すべての) ¶ 本人たちは、法が全ての人々に公平に適用されることを望む。(이들은 법이 모든 사람에게 공평하게 적용되기를 바란다.)
- (94) 모략 (謀略) ¶ あの混乱の中で、耐えがたい中傷と謀略の犠牲となった人が数限りなくいる。(그 혼란 가운데서 억울한 중상과 모략의 희생이 된 사람이 부지기수다.)
- (95) 뭉치다 (団結する、結束する) ¶ 私たちの地位向上のために、なぜ共に結束しようとしらないのか、理解できません。(왜 함께 우리들의 지위 향상을 위해 뭉치려 들지 않는가 이해하지 못하겠습니다.)
- (96) 발족하다 (発足する) ¶ 農民総同盟は全国の農民運動の総本山として発足した。(농민 총동맹은 전국 농민 운동의 총본산으로 발족했다.)
- (97) 변혁되다 (変革される) ¶ 主体的な努力なしに、どうして社会が変革されるというのですか。(주체적인 노력이 없이 어떻게 사회가 변혁된다는 말이에요?)
- (98) 변혁시키다 (変革させる) ¶ 社会と歴史を変革させる力がない文化は、軽視されても仕方ない。(사회와 역사를 변혁시켜 줄 능력이 없는 문화는 경시당하는 것이 마땅하다.)
- (99) 변혁적 (變革的、變革を起こす) ¶ 守旧の姿勢は変革を起こす現実を拒否しながら、昔のものを大切にしようとする態度である。(수구의 자세는 변혁적 현실을 거부하면서 옛 것을 아끼려는 태도이다.)
- (100) 부패 (腐敗) ¶ 当時、政権の腐敗および不正選挙が横行していたのに、大多数の宗教家たちは沈黙を守っていた。(당시 정권의 부패 및 부정 선거가 자행되고 있음에도 대다수 종교인들은 침묵을 지켰

다.)

- (101) 부패상 ([政治・文化・道徳などが] 腐敗した様相) ¶ 毎日のように報道される、政権党と公務員たちの腐敗した様子をみて、市民たちは驚愕の念を禁じ得ないでいる。(매일같이 보도되는 집권당과 공무원들의 부패상을 보며 시민들은 경악을 금치 못하고 있다.)
- (102) 부합하다 (符合する、一致する) ¶ 法は時代の流れに沿って変えられなければならない、政治というものは現在の緊迫した状況にかなったものでなければならない。(법은 시대의 흐름에 따라 바뀌어야 하고 정치란 현재의 긴박한 사정에 부합해야 한다.)
- (103) 빙자하다 ([他の者の力に] 頼る) ¶ 彼らは公権力を盾にした残忍な報復行為と不正を招いてしまった。(그들은 공권력을 빙자한 잔인한 보복 행위와 비행을 초래하고 말았다.)
- (104) 빛을 보다 ([世に] 認められる) ¶ この措置以後、放送が禁止された歌謡837曲も、再び日の目を見ることになりそうだ。(이 조치 이후 방송이 금지된 가요 837곡도 다시 빛을 볼 수 있게 될 것 같다.)
- (105) 살포 (撒布、まき散らすこと) ¶ その年の選挙は、前例のない大量の金品ばらまきと謀略デマ宣伝を生んだ。(그 해 선거는 유례 없는 대량 금품 살포와 흑색 선전을 낳았다.)
- (106) 살포되다 (撒布される、まき散らされる) ¶ この日まかれたビラの中には、学内問題と関連したスローガンも含まれている。(이 날 살포된 유인물 가운데는 학내 문제에 관련된 구호도 포함돼 있다.)
- (107) 살포하다 (撒布する、まき散らす) ¶ 彼はこの前の選挙の際、軒並みお金の封筒をばらまくなどの不法行為を働いた。(그는 지난번 선거 때 집집마다 돈 봉투를 살포하는 등의 불법을 저질렀다.)
- (108) 삼키다 (横領する) ¶ 国民の税金を密かに着服しても、何事もないとでも思っているのなら大変な誤算である。(국민의 세금을 몰래 삼키고도 무사할 줄 알았다면 큰 오산이다.)
- (109) 선출 (選出) ¶ 民衆を統治する人は、民衆の選出によって存在しう

るのである。(민중을 통치할 사람은 민중의 선출에 의해서 존재할 수 있는 것이다.)

- (110) 선출되다 (選出される) ¶ 民主主義とは、本質的に一般大衆によって政治指導者が選出される方式である。(민주주의란 본질적으로 일반 대중에 의해서 정치 지도자가 선출되는 방식이다.)
- (111) 선출하다 (選出する) ¶ 町民たちの徹底した民主的方式によって、議員5名を選出した。(동민들의 철저한 민주 방식에 의하여 의원 다섯 명을 선출해 내었다.)
- (112) 선회하다 (方向を変える、旋回する) ¶ 金(キム)教授は総長選挙の候補から下りるなかで、評議会の教授たちは崔(チュ)教授を支持する方向に転換した。(김 교수는 총장 후보를 사퇴하면서 평의회 교수들은 최 교수를 지지하는 쪽으로 선회하였다.)
- (113) 성공 (成功) ¶ この期間の闘争が最も大きな成功を取めた理由は、民衆の絶対的支持と参加にある。(이 기간의 투쟁이 가장 큰 성공을 거둔 것은 민중의 절대적 지지와 동참에 있다.)
- (114) 성별 (性別) ¶ 平等とは、身分や階級を始めとし、人種、性別、宗教およびあらゆる分野で、差別の制度化をなくさなければならないことを意味する。(평등이란 신분이나 계급을 위시하여 인종, 성별, 종교 및 모든 분야에서 차별의 제도화를 없애야 하는 것을 의미한다.)
- (115) 성진¹ (先進) ¶ 社会のもっとも目につかないところで、人間の尊厳性が本当に保障されるとき、それが真に先進的であり、民主化なのだ。(사회의 가장 가려져 있는 곳에서 사람의 존엄성이 진실로 보장될 때 그것이 진정한 선진이고 민주화인 것이다.)
- (116) 솔직하다 (率直だ) ¶ 10年が過ぎた今は、死者のための復讐より、生きている者に対する同情の方に傾いているというのが、率直な心情だった。(십 년이 지난 지금은 죽은 자를 위한 복수보다 살아 있는 자에 대한 동정 쪽으로 기울고 있는 것이 솔직한 심정이었다.)

- (117) 솟구치다 ([激しい感情が急に] 込み上げる) ¶ 彼は新聞紙上をにぎわしている高位高官たちの悪行に、怒りが込み上げたようだった。(그는 신문 지상에 떠들썩한 고관대작들의 행패에 부아가 솟구친 모양이었다.)
- (118) 쇄신 (刷新) ¶ 教育部はこの日、各大学に勉学の雰囲気刷新と学園の安定に関する公文を送付した。(교육부는 이 날 각 대학에 면학 분위기 쇄신과 학원 안정에 관한 공문을 보냈다.)
- (119) 수구¹ (守旧) ¶ 守旧の姿勢は変革を起こす現実を拒否しつつ、昔のものを大切に思いつつ人生を成就しようとする。(수구의 자세는 변혁적 현실을 거부하면서 옛 것을 아끼고 그 속에서 삶을 성취하려고 한다.)
- (120) 수구파 (守旧派) ¶ 独立新聞は不正な官吏を攻撃し、守旧派を忌憚なく批判した。(독립신문은 부정한 관리를 공격하였고 수구파를 기탄 없이 비판하였다.)
- (121) 수권 (投票を通じて政權をとる) ¶ 政治的後進性から脱却できず、国民和合には関心もなく、政權欲だけに執着する政治家たちの姿勢が、実に嘆かわしい。(정치적으로 후진성을 면치 못하고 국민 화합에는 관심도 없이 수권 욕심만 내세우는 정치인들의 자세는 정말 한심하다.)
- (122) 수난사 (受難史) ¶ 与野が国会で合意した改憲案を議決することによって、私たちは憲政の受難期にピリオドを打ち、民主化への第1歩を堂々と歩みだすこととなった。(여야가 국회에서 합의 개헌안을 의결함으로써 우리는 헌정의 수난기에 종지부를 찍고 민주화로의 첫 걸음을 당당하게 내디딜 수 있게 됐다.)
- (123) 수라장 (修羅場) ¶ 壇上の横にいた、がっしりした体格の青年たちが、声がする方に向かって駆け寄り、まもなく遊説場は修羅場に一変した。(단상 옆에 있던 어깨 벌어진 청년들이 소리 나는 쪽을 향하여 달려가고 이어서 유세장은 수라장으로 변하였다.)

- (124) 수락되다 (受諾される) ¶ 私たちの要求条件が全面的に受諾されるまで、戦うつもりだ。(우리의 요구 조건이 전면 수락될 때까지 투쟁할 것이다.)
- (125) 시민 사회 (市民社会) ¶ 市民社会は、万人に自由と平等を約束することから始まった。(시민 사회는 모든 사람에게 자유와 평등을 약속하면서 출발하였다.)
- (126) 시위 (デモ、示威) ¶ 20日も500余名が沈黙デモを行った。(20일에도 500여 명이 침묵 시위를 하였다.)
- (127) 시위 (デモ、示威) ¶ 키의う学校でデモがあったんだが、ピラを配っていて捕まったんです。(어제 학교에서 시위가 있었는데, 전단을 뿌리다가 붙잡힌 거예요.)
- (128) 시위대 (デモ隊) ¶ 街に進出していたデモ隊が警察に追われて、校門の中になだれ込んだようです。(거리로 나섰던 시위대가 경찰에 쫓겨 교문 안으로 밀려 들어간 모양이다.)
- (129) 시위하다 (デモをする) ¶ 彼は激しくデモをする学生を眺めながら、自分の無力感を感じた。(그는 격렬하게 시위하는 학생들을 바라보며 자신의 무력감을 느꼈다.)
- (130) 시작 (始まり、最初) ¶ 警察官たちの介入で戦いはやっとのことで鎮圧されたが、問題はその時からが始まりだった。(경찰관들의 개입으로 싸움은 겨우 진압되었으나 문제는 그 때부터 시작이었다.)
- (131) 아로새기다 (刻み込む) ¶ 蒙昧な民衆の啓蒙が何よりも必要であることを、深く心に刻んだ。(몽매한 민중의 계몽이 무엇보다 필요함을 깊이 아로새기다.)
- (132) 연결시키다 ([交流關係を持つように] 結びつける、連結する) ¶ 民衆と社会事業団体を結合しようとする運動が、多様に展開されている。(민중과 사회 사업 단체를 연결시키려고 하는 운동이 다양하게 펼쳐지고 있다.)
- (133) 옹호하다 (擁護する) ¶ 彼らは自らの權益を擁護し維持するために、

- このような制度をつくった。(그들은 자신들의 권익을 옹호하고 유지하기 위해 이러한 제도를 만들었다.)
- (134) 옹호하다 (擁護する) ¶ 学生たちは民主主義という基本的な秩序を擁護するために立ち上がりました。(학생들은 민주주의라는 기본적인 질서를 옹호하기 위해서 나섰습니다.)
- (135) 유급 (留年) ¶ 活動家 (原文は「運動圏」といわれる彼らは、留年が心配されるほど、ほとんど単位が取れていなかった。(운동권이라는 그들은 유급이 걱정될 만큼 학점이 엉망이었다.)
- (136) 유년기 (幼年期) ¶ わが国の民主主義は、まだ幼年期に留まっていると見るほうが良いでしょう。(우리 나라의 민주주의는 아직 유년기에 머물러 있다고 보는 편이 나올 거요.)
- (137) 옹호 (擁護) ¶ 地主の権益擁護ばかり優先させた農地改革は、全面的に無効だ。(지주의 권익 옹호에만 앞장선 농지 개혁은 전면 무효다.)
- (138) 이간하다 (離間させる、分裂させる、分断する、仲たがいさせる) ¶ 彼らは権勢と金の前にこびへつらって、分裂させる連中だ。(그들은 권세와 돈 앞에 아첨하고 이간하는 무리들이다.)
- (139) 이골 (とても慣れていること) ¶ ソギルは催涙弾には慣れてはいたが、こんなにひどく浴びたのは初めてだった。(석일은 최루탄에는 이골이 나 있었지만 이렇게 지독하게 뒤집어 쓴 경우는 처음이었다.)
- (140) 일차 (第1段階の、最初の) ¶ まず最初の目標は、中央庁 [政府中央庁舎] 前までだ。(일차의 목표는 중앙청 앞까지다.)
- (141) 일파 (一派) ¶ 柳志光 (ユ・ジゲン) 一派は4.19デモの直前、高大生 [高麗大学学生] たちを襲撃して、4.19の火をつけた。(유지광 일파는 4.19 직전 고대생들을 습격함으로써 4.19에 불씨를 당겼다.)
- (142) 장⁸ (長) ¶ 政府は地方自治制度実施と同時に、これらの団体の首長直選制を実施する計画だと明らかにした。(정부는 지자체 실시와 때

- 를 맞추어 이들 단체의 장을 직접 뽑도록 할 계획이라고 밝혔다.)
- (155) 장갑차 (装甲車) ¶ 鎮圧軍は装甲車で道路を遮断し、解散しようとするデモ隊を孤立させた。(진압군은 장갑차로 길을 차단해서 해산하려는 데모대를 고립시켰다.)
- (156) 전철² (前轍) ¶ 民主主義の発展を妨げていた、かつての前轍を踏んではならない。(민주 발전을 저해시켰던 지난날의 전철을 되풀이해서는 안 된다.)
- (157) 전환점 (轉換点) ¶ 6月抗争は韓国の政治、社会、経済など、すべての部門の轉換点となった。(6월 항쟁은 한국의 정치, 사회, 경제 등 모든 부문의 전환점이 되었다.)
- (158) 전횡¹ (專横) ¶ 君が言っていることこそ、暴力による強圧であり、專横であって、善意の支配なんかではない。(자네가 말하는 것이야말로 폭력에 의한 강압이요 전횡이지, 무슨 선의의 지배인가.)
- (159) 조무래기 (チンプラ、小物) ¶ 大物の強盜はぬくぬくと暮らしているのに、俺たちみたいな小物だけがムシヨ暮らしをやらなきゃならないんですか。(큰 강도들은 잘 먹고 잘 사는데 우리 같이 조무래기들만 감옥살이를 해야 하는 겁니까?)
- (160) 조사되다 (調査される) ¶ 韓国の中産層は、民主化と持続的成長と分配、福祉社会建設に最も関心が高いとの調査結果が出た。(한국의 중산층은 민주화와 지속적 성장과 분배, 복지 사회 건설에 가장 관심이 많은 것으로 조사되었다.)
- (161) 조성되다 ([ある雰囲気]가) 醸成される、醸し出される) ¶ 多数は少数の権利を尊重し、少数は多数の決定に従う政治風土が醸成されなければならない。(다수는 소수의 권리를 존중하고 소수는 다수의 결정에 승복하는 정치 풍토가 조성되어야 할 것이다.)
- (162) 조성하다 ([雰囲気・与件などを] 醸成する、醸し出す) ¶ 私たちは信頼しあう風土を醸成するために、努力しなければなりません。(우리는 서로 신뢰의 풍토를 조성하기 위해 노력해야 합니다.)

- (163) 중의 (衆意、多くの人々の意見) ¶学生会は学生たちの衆意を代弁し、学内のすべての学生活動をとりまとめ、調整していく名実相伴う学生団体でなければならない。(학생회는 학생들의 중의를 대변하고 교내 모든 학생 활동을 종합하고 조절해 나가는 명실상부한 학생 단체이어야 한다.)
- (164) 집회 (集會) ¶集會の自由には集會を開催する自由、集會に参加する自由のいずれも含まれる。(집회의 자유에는 집회를 개최하는 자유, 집회에 참여하는 자유가 모두 포함된다.)
- (165) 짓밟다 (踏みつける、踏んづける) ¶軍人は倒れた男を軍靴で何度かささらに踏みつけてから、暴行をやめた。(군인은 쓰러진 남자를 군화발로 몇번인가 더 짓밟고 나서 폭행을 멈추었다.)
- (166) 짓밟다 (踏みつける、踏んづける) ¶彼は弱者を好き放題踏んづけ、搾取するこの連中を、けだものと呼んだ。(그는 약자를 멋대로 짓밟고 착취하는 이들을 짐승이라고 불렀다.)
- (167) 징계 (懲戒) ¶反省文を書いた学生たちは救済されたが、反省文を書くことを拒んだ残りの4名は懲戒処分を受けなければならなかった。(반성문을 쓴 학생들은 구제되었지만, 반성문 쓰기를 거부했던 나머지 네 명은 징계를 받아야만 했다.)
- (168) 징계하다 (懲戒する) ¶政府は時局宣言をする教師たちを懲戒すると脅しつけた。(정부는 시국 선언을 하는 교사들을 징계하겠다고 엄포를 놓았다.)
- (169) 천편일률적 (千篇一律的、一本調子な、単調な) ¶一本調子に、全く同じ話ばかり繰り返す言論に対する不信感が極に達した。(천편일률적으로 똑같은 소리만 되풀이하는 언론에 대한 불신감이 극도에 이르게 되었다.)
- (170) 철거반원 (撤去作業員) ¶彼らは再開発するということところに行き暮らしていたようだが、撤去作業員たちが押しかけて、借家人たちと肉弾戦をやったそうだなあ。(그 사람들은 재개발한다는 곳에 가서

살았던 모양인데, 철거반원들이 들이닥쳐서 세입자들하고 같이 몸싸움을 벌였다고 하더군.)

- (171) 철권 (鉄拳、とても強い力、力強いこぶし) ¶ 銃剣で政權を奪い取った連中が、その政權を手放さないために憲法をいじって、強權政治をふるった。(총칼로 정권을 탈취한 자들이 그 정권을 놓치지 않으려고 헌법을 뜯어고치고, 철권 정치를 휘둘렀다.)
- (172) 취합하다 ([さまざまな意見などを] 集約する) ¶ 政策決定に各界各層の人々の幅広い参与が実現しなければならず、広範な国民の意見を集約できる門戸が広く開かれなければならない。(정책 결정에 각계각층의 폭넓은 참여가 이루어져야 하며 국민들의 의견을 광범위하게 듣고 취합할 수 있는 문호가 널리 개방되어야 한다.)
- (173) 치다² (攻撃する) ¶ 爆発的な大衆の力だけ信じて、強硬に攻めすぎたばかりに、かえって恥さらしな目にあった。(폭발적인 대중의 힘만 믿고 너무 세게 치고 나갔다가 도리어 망신만 당했다.)
- (174) 텃세 (先に住みついた者が力を行使すること) ¶ 彼は高位官吏の親戚だという理由だけで、その地の人々に対して威張り続けてきた。(그는 고위 관리의 친척이라는 이유만으로 고장 사람들에게 텃세를 부려 왔다.)
- (175) 테러 (テロ) ¶ 政治部の某記者が自宅近くの路地で、2人の怪漢にテロられた。(정치부 모 기자가 자택 가까운 골목길에서 괴한 두 명에게 테러를 당했다.)
- (176) 편¹ ([何組かに分けた時の、一つの] グループ、側) ¶ 自分たち側でなければ敵だという考え方は、捨てなければならない。(우리 편이 아니면 적이라는 사고 관념은 버려야 한다.)
- (177) 편의주의 (便宜主義) ¶ 官僚たちが安逸と便宜主義にとらわれて、公僕意識を忘却している。(관료들이 안일과 편의주의에 사로잡혀 공복 의식을 망각하고 있다.)
- (178) 하위 (下位) ¶ 工場労働者たちは、社会的地位に対する評価や収入

の程度において、最も下位の職業とみなされている。(공장 노동자들은 사회적 지위 평가나 수입 정도에 있어서 가장 하위의 직업으로 평가되고 있다.)

- (179) 협동 (協同) ¶ 未来の社会においては、強要された秩序よりは、協同と共同体意識が重要視されるだろう。(미래의 사회에서는 강요된 질서보다는 협동과 공동체 의식이 중요시될 것이다.)
- (180) 협동적 (協同的) ¶ 韓国社会の各界各層の人々が協同して、新たな政治体制を創造するように促す。(한국 사회의 각계 각층이 협동적으로 새 정치 체제를 창조하도록 독려한다.)
- (181) 협의 (協議) ¶ 協議は民主主義のプロセスにおいて、必須の要素なのです。(협의는 민주주의 과정에 있어 필수 요소지요.)
- (182) 휘덮다 (覆い尽くす) ¶ 催涙弾の破片が額をかすめ、それと同時に刺激的なガスが周りを覆い尽くした。(최루탄 파편이 이마를 스쳤고 그와 동시에 매운 가스가 사방을 휘덮었다.)
- (183) 흠모 (深く尊敬すること、欽慕) ¶ これまで民族的に尊敬された方々は、必ず民衆と結びついた広い政治的活動に参加したという特徴を有している。(지금까지 민족적 흠모를 받은 분들은 모두 민중과 결합된 넓은 정치적 활동에 참가했다는 특징을 가지고 있다.)
- (184) 흡사 (あたかも) ¶ 市役所と駅間の4車線道路上には、まるでローマの拳闘士のような戦闘警察が布陣したまま、デモ隊の方を見つめていた。(시청과 역 사이의 4차선 도로 위에는 흡사 로마의 검투사 같은 전경들이 포진한 채 시위대 쪽을 응시하고 있었다.)

9. 民族主義・民族的プライド関連の用例 (用例数：112)

スポーツにかかわる用例が最も多くみられる(6、8、10、13、30、40、41、47、60、65、68、75、81、89、111、112)。韓国でも、スポーツが民族主義感情を喚起させる触媒として、大きな機能を果たしている側面が反映されたものといえるだろう。次いで、国旗(太極旗)・国歌(愛国歌)にか

かわる用例（17、36、49、53、69）、民族語にかかわる用例（14、15、52、61、90）が多くみられる。

用例（61）の「私たちはハングルを創制してくれた先祖のおかげで、世界のどの国よりも文盲率が低い」などという根拠のない言説も、朝鮮民族の優秀性を誇る限りにおいては、鷹揚に許される文化的風土がみられる。ちなみに、『延世韓国語辞典』刊行より4年後の2002年に行われた調査（韓国教育開発院、19歳以上を対象とした調査）でも、非文解者（＝非識字者）は8.4%、半文解者（小学校6年水準の読み書きや計算が困難で、手紙の読み書きなど文字生活に相当な支障をきたす者）は16.2%だった。最近の調査（国立国語院、2008年）によれば、非文解者（＝非識字者）は1.7%、半文解者は5.3%にまで減少している。

「この歌の内容や、現在残っている端午の節句における行事の習俗の名残りからみて、私たちの先祖は遙か遠い昔からこの日を節句と見なして、[後略]」（77）、「わが国の端午の風習は、農作業に従事する私たちの暮らしと関連が深い。」（107）のように、端午の節句が朝鮮固有の民俗であるとみなす例文が採択されている。2005年、江陵端午祭が韓国の民間伝統文化として、ユネスコの世界無形文化遺産に選定されたが、本来、端午の節句は中国伝統文化であって、韓国が文化伝統を詐取したという批判が展開されている。類似の例は、剣道の起源は新羅時代の「花郎^{フアラン}剣道」であると主張したり、解放後1950年代の「倭色追放」の社会的雰囲気のもとで、従来からの日本の「コンス（空手）」という呼称で空手道場を開くのはまずいと判断して、韓国人の空手の師範たちがこれを改称して始められたのが「テコンド」なのだが、後になって、「テコンド」は朝鮮の伝統武芸「テッキョン」に起源があると歴史が捏造されたことなど、行き過ぎた民族主義に対する論難が絶えない。こうした歴史的検証に堪えそうにもない主張がまかり通る現代韓国社会は、わきの甘いショービニズムに陥っていると言わざるを得ない。それは、「昔の朝鮮人の服は、この世で最も手が込んでいて、最も多くの手間をかけなければ作れない服だった。」（67）といった用例にも、

同様の傾向がうかがわれる。

「白頭山の頂上に旗を立てた。」(36) という用例があるように、中韓修交後、中国側から白頭山(長白山)の頂上に上った韓国人が太極旗を立てて「万歳！」を叫ぶなど、領土紛争につながる韓国人の行為が中国側を刺激し、入山の際には「太極旗」の持ち込み禁止措置が取られるなどした。こうしたナショナリズムの行き過ぎは、国際的批判にさらされているが、一向に収まる兆しが見えない。これらの行為は、本来、国際的共感を得ることもできるはずの韓国ナショナリズム全体に、みずから泥を塗るものだと憂慮される。ただ、採択された用例の中に、「不幸にも、主体性なき外国崇拜思想と偏狭な国粹主義が、ともに私たちを混乱させている。」(29) というショービニズムを警戒する言説も見られるのであって、韓国社会を画一的に把握することは、韓国社会に対する偏見を助長するだけである。

〈用例〉

- (1) 강산(山河) ¶ 暗くてとてもつらいなあ、夜は長かったが、夜明けがやって来たなあ。(어둡고 괴로워라, 밤이 길더니 삼천리 이 강산에 먼동이 텃네.)
- (2) 강제되다(強制される) ¶ たとえ、外圧と危機に強いられた改革だとはいえ、いま再び躊躇するならば、私たちには二度と同じチャンスは与えられないでしょう。(비록 외압과 위기에 강제된 개혁일지라도 이제 또 주저한다면 우리에게는 다시는 같은 기회가 주어지지 않을 거요.)
- (3) 강탈(強奪) ¶ 朝鮮民族[原文は「韓國民族」]の歴史は、人類史上類例を見いだせないほど、異民族の政治的、経済的強奪に息をつくことすらままならない残酷な受難の歴史だった。(한국 민족의 역사는 인류사에서 유례를 찾을 수 없을 만큼 이민족의 정치적, 경제적 강탈에 숨조차 제대로 쉬지 못한 참혹한 수난사였다.)
- (4) 강토(国の領土、疆土) ¶ 私が暮らしている国は私の祖国であり、私が立っている土地は私の領土であり、私の隣人たちはみな私の同胞な

のです。(내가 사는 나라는 내 조국이요、내가 디딘 땅은 내 강토요、내 이웃들은 모두 내 동포인 것입니다.)

- (5) 강하다 (強い) ¶ 韓国人ほど国民性の強い民族は、他にはないでしょう。(한국 사람만큼 국민성이 강한 민족은 다시 없을 거요.)
- (6) 개가 (凱歌) ¶ 韓国バトミントンが、このバトミントン大会で史上初めて5種目中4種目をかさらい、凱歌を上げた。(한국 배드민턴이 배트민턴 대회서 사상 처음으로 5종목 중 4개 종목을 휩쓰는 개가를 올렸다.)
- (7) 개관 (開館) ¶ 保守的で権威主義的なシカゴ現代美術館が韓国の画家を招待し、展示会を企画したのは、開館以来初めてのことだった。(보수적이며 권위주의적인 시카고 현대미술관이 한국 화가를 초대, 전시회를 기획한 것은 개관 이후 처음 있는 일이었다.)
- (8) 개막 (開幕) ¶ 漢江からオリンピックの開幕を告げる大太鼓が響いたとき、誰もが胸躍る思いでテレビの前に集まった。(한강으로부터 올림픽의 개막을 알리는 큰 북소리가 울렸을 때, 모두는 두근거리는 가슴으로 텔레비전 앞에 모여들었다.)
- (9) 개선하다² (凱旋する) ¶ オリンピック本大会出場権を勝ち取ったわが国の代表チームが凱旋する金浦空港は、非常に混雑した。(올림픽 본선 진출권을 딴 우리 대표팀이 개선하는 김포 공항은 매우 혼잡했다.)
- (10) 견인¹ (牽引) ¶ 彼は去年、世界選手権大会で一人で4勝をあげ、韓国チーム準優勝の牽引役を果たした。(그는 지난해 세계 선수권 대회에서 혼자 4승을 견져내 한국 팀 준우승의 견인 역할을 했다.)
- (11) 견인차 (牽引車) ¶ 民族の伝統演戯と民衆意識は、世界文化を新たな活力で導く牽引車の役割を果たすことになるだろう。(민족의 전통 연희와 민중 의식은 세계 문화를 새로운 활력으로 이끄는 견인차 역할을 하게 될 것이다.)

- (12) 견학하다 (見学する) ¶我が校では自動車工場を見学して戻って生徒たちに、わが国自動車工業の発展する姿についての感想を書かせて提出させた。(우리 학교에서는 자동차 공장을 견학하고 돌아온 학생들에게 우리 나라 자동차 공업의 발전상에 대한 느낌을 적어 내게 했다.)
- (13) 결승점¹ (ゴール) ¶3千メートル競走で、ゴールに向かって疾走する韓国選手の姿に、観衆たちは立ち上がって歓声を上げた。(3천 미터 경주에서 결승점을 향해 질주하는 한국 선수의 모습에 관중들은 일어나 함성을 질렀다.)
- (14) 결정² (結晶) ¶その民族の言語は、まさにその民族のすべての歴史的経験の蓄積であり、文化の結晶であり、知恵と誇りの表現である。(그 민족의 언어는 바로 그 민족의 모든 역사적 경험의 축적이며 문화의 결정이며 지혜와 긍지의 표현이다.)
- (15) 결정체 (結晶体) ¶言葉は民族精神の結晶体である。(말은 민족적 정신의 결정체이다.)
- (16) 겸허하다 (謙虚だ) ¶私たちは歴史の教訓を大切に考える、賢明で謙虚な民族にならなければならない。(우리는 역사의 교훈을 소중히 생각하는 슬기롭고 겸허한 민족이 되어야 하겠다.)
- (17) 경건하다 (敬虔である) ¶市民の皆さんは立ち止まって、厳粛かつ敬虔な心で国旗の方に向いてください。(시민 여러분들은 발걸음을 멈추고 엄숙하고 경거한 마음으로 국기를 향해 주시길 바랍니다. 17)
- (18) 공고하다 (強固だ) ¶民族文化の共通の関心事を確認し、互いに絆を

17 1976年3月から官公署で「国旗降下式」が行われ、夕方(夏期は午後6時、冬期は午後5時)になると「国家に対する誓い」(국가에 대한 맹세문)とともに国歌(愛国歌)がスピーカーから流され、街中を歩いているものも立ち止まらなければならなかった。この用例のことばは、その際に流されたものだった。しかし、民主化闘争勝利の後、次第に国民はこれに従わなくなり、1989年1月に廃止された。当時の「国家に対する誓い」は、「私は誇らしい太極旗の前で、祖国と民族の限りなき栄光のため、身と心を捧げて忠誠を尽くすことを固く誓います。」という内容だった。

強めるための作家会議がしばしば開かれる。(민족 문화의 공동 관심사를 확인하고 서로 유대를 공고하게 하기 위한 작가 회의가 자주 열린다.)

- (19) 공동체적² (共同体的) ¶ 元來、綱引きは豊作を祈る日で、共同体的な暮らしと直結した遊戯だったのです。(원래 줄다리기는 풍년을 비는 날이로서 공동체적 삶과 직결된 놀이였지요.)
- (20) 공소하다 (空疎だ) ¶ それらは愛国・愛族を鼓舞するという意図で書いた文で、詳しく読んでみると内容は空疎だった。(그들은 애국 애족을 고취한다는 뜻으로 쓴 글로 자세히 읽어 보면 내용이 공소했다.)
- (21) 공언하다 (公言する) ¶ 親米派である彼は、韓国に対するすべての恩恵はアメリカが与えたということを公言したために、厳しく批難された。(친미파인 그는 한국에 대한 모든 은혜는 미국이 주었다는 사실을 공언하는 통에 호된 비난을 받았다.)
- (22) 공연 예술 (公演芸術) ¶ 民衆遊戯の伝統が断絶したということは、わが国の公演芸術の発達に支障を与えた。(민중 놀이의 전통이 단절되었다는 사실은 우리 나라 공연 예술의 발달에 지장을 주었다.)
- (23) 구원하다 (救援する) ¶ なにがこの国を絶望のどん底から救い出し、今の繁栄をもたらしたのだろうか。(무엇이 이 나라를 절망의 구렁텅이에서 구원하여 오늘의 번영을 누리게 하였을까?)
- (24) 구원하다 (救援する) ¶ 一時的な敵愾心をかき立てるだけで、民族を救うことはできないというのが、先生の一貫した考えだった。(일시적인 적개심의 자극만으로 민족을 구원할 수 없다는 것이 선생의 변함없는 생각이었다.)
- (25) 국란 (国内の動乱) ¶ わが民族は、過去に何度か国内の動乱に直面し、その度にこれを克服するための民族中興の努力がなされた。(우리 민족은 과거에 여러 번 국란에 직면하였으며, 그 때마다 이를 극복하기 위한 민족 중흥의 노력이 있었다.)

- (26) 국산 (國産) ¶ 國産農産物を愛用しようという運動が、徐々に広がっている。(국산 농산물을 애용하자는 운동이 점차 확산되고 있다.)
- (27) 국산 (國産) ¶ 最近、國産のほうが品質が良くなったなあ。(요즘 국산이 더 품질이 좋더군.)
- (28) 국산품 (國産品) ¶ 現在の經濟的危機を克服する道は、國産品を愛用する道のほかにない。(현재의 경제적 위기를 극복하는 길은 국산품을 애용하는 길밖에 없다.)
- (29) 국수주의 (國粹主義) ¶ 不幸にも、主体性なき外国崇拜思想と偏狭な國粹主義が、ともに私たちを混乱させている。(불행하게도 주체성없는 외국 숭배 사상과 편협한 국수주의가 동시에 우리를 혼란시키기 있다.)
- (30) 국위 (國威) ¶ 國家代表選手たちは、今回のオリンピックで良い成績でもって國威を宣揚した。(국가 대표 선수들은 이번 올림픽에서 좋은 성적으로 국위를 선양하였다.)
- (31) 국적¹ (國籍) ¶ アメリカ人と結婚して、この国の國籍を持ったとしても、血まで入れ替えたわけではない。(미국인과 결혼해 이 곳 국적을 가졌다고 피까지 갈아치운 것은 아니다.)
- (32) 국적² (國賊) ¶ 彼らは自分たちと反対の立場にある人々を、國賊だと批難した。(그들은 자신들과 반대의 입장에 있는 사람들을 국적으로 몰았다.)
- (33) 국채 (國債) ¶ 國民が金を売って國債を償還する運動が展開された。(국민들이 금을 팔아 국채를 갚는 운동이 전개되었다.)
- (34) 국한하다 (局限する) ¶ 彼らは韓国人の實力がいくら優れていても、朝鮮語が必要な職業にだけ韓国人を採用した。(그들은 한국인의 실력이 아무리 좋아도 한국말이 필요한 직업에만 한국인을 채용했다.)
- (35) 긍지 (矜持) ¶ みずからの民族に誇りが持て、みずからの民族史に誇りを持つ民族のみが民族文化を正しく発展させ、外来文化を主体的に

受容できる。(자기 민족에 긍지를 가질 수 있고 자기 민족사에 긍지를 느끼는 민족만이 민족 문화를 옹기 발전시키고 외래 문화를 주체적으로 받아들일 수 있다.)

- (36) 기 (旗 253) ¶ 白頭山の頂上に旗を立てた。(백두산 정산에 기를 꽂았다.)
- (37) 기능적 (機能的) ¶ わが国の建築は秀麗かつ優雅で、アメリカの建築は現実的で、機能的だと言える。(우리 나라 건축은 수려하고 우아하며, 미국의 건축은 현실적이고 기능적이라 할 수 있다.)
- (38) 기도하다¹ (祈る、祈禱する) ¶ 私もあなたの祖国が一日も早く解放されることを、神に心から祈ります。(나도 당시의 조국이 하루 속히 해방되기를 하느님께 간절히 기도하졌어요. ¹⁸)
- (39) 기독교인 (キリスト教信者、プロテスタント) ¶ 当時のプロテスタントたちは、民族と祖国を護ろうとする民衆的な救国の理念を強く抱いていた。(당시의 기독교인들은 민족과 조국을 보호하려는 민중적 구국의 이념을 강하게 가졌다.)
- (40) 기동력 (機動力) ¶ 韓国チームはゲームを続けるなかで、次第に機動力が向上していた。(한국팀은 경기를 계속하면서 점점 기동력이 좋아지고 있었다.)
- (41) ([時間などを] 長くかけさせる、引き延ばす) ¶ 4時間余りかけた退屈な試合の結果、韓国が逆転勝ちした。(4 시간여를 끄는 지루한 경기 끝에 한국이 역전승하였다.)
- (42) 끌다 ([人氣・関心を] 集める) ¶ 今日、韓国人の海外進出は世界的な耳目を集めている。(오늘날 한국인의 해외 진출은 세계적인 이목을 끌고 있다.)
- (43) 단지 (団地) ¶ ソウルの江南一帯のマンション群は、まさに世界的であると言えるだろう。(서울의 강남 일대 아파트 단지는 가히 세계

18 당시는당신의誤植だと思われる。

적이라고 할 수 있을 것이다.)

- (44) 단합되다 (團結する、結束する) ¶ 国民すべてが心を一つにして、新たな国家建設のために結束していた。(국민들은 모두가 한마음으로 새로운 국가 건설을 위하여 단합되어 있었다.)
- (45) 단합되다 (團結する、結束する) ¶ 全世界に私たちの結束した姿を示そう。(온 세계에 우리의 단합된 모습을 보여 줍시다.)
- (46) 덮씌우다 ([罪を] なすりつける) ¶ 教室で盗難事件が起こると、ただ一人の韓国人だった私に、その事件の濡れ衣を着せられた。(교실에서 도난 사건이 일어나자, 유일한 한국인이었던 나에게 그 사건의 죄를 덮씌웠다.)
- (47) 덮이다 (覆われる) ¶ 韓国全土がオリンピックでの勝利の喜びに覆われていた。(한국은 온통 올림픽에서의 승리의 기쁨에 덮여 있었다.)
- (48) 두호하다 (かばう、保護する) ¶ 私たちは私たち自身がわが国を守り、保護し、発展させなければならない。(우리는 우리 스스로 우리 나라를 지키고 두호하고 길러야 한다.)
- (49) 막대기 (棒、棒切れ) ¶ 彼らは2枚の太極旗を棒に掲げて、愛国歌を歌った。(그들은 두 개의 태극기를 막대기에 매달아 놓고 애국가를 불렀다.)
- (50) 막판 (終わりかけ、終局、土壇場) ¶ 外国に暮らすわが国の人々は、ほかの歌を歌っていても、最後は決まってアリアンの合唱でしめるのですよ。(외국에 사는 우리 나라 사람들은 다른 노래를 부르다가도 막판에 가면 으레 아리랑 합창으로 마무리를 짓는다죠.)
- (51) 모국 (母国) ¶ 移民してきた両親は、母国に対する愛着の念を捨てられない。(이민 온 부모들은 모국에 대한 애착심을 버리지 못한다.)
- (52) 모국어 (母国語) ¶ 私たちの母国語は、私たちの思考と意識に通じる架け橋の役割をしている。(우리 모국어는 우리의 생각과 이식으로 통하는 다리 노릇을 한다.)

- (53) 모르다 (わからない) ¶ 数万里離れた異国で太極旗を目にすると、思わず目頭が熱くなる。(수 만 리 떨어진 이국에서 태극기를 보니, 나도 모르게 눈시울이 뜨거워진다.)
- (54) 모방 (模倣) ¶ 新たな民族文化創造が、単なる過去の墨守ではないのと同様に、単なる外来文化の模倣でもないであろうことは明らかだ。(새로운 민족문화 창조가 단순한 과거의 묵수가 아닌 것과 마찬가지로, 단순한 외래 문화의 모방도 아닐 것임은 명백한 일이다.)
- (55) 살맛 (生きがい) ¶ 生きがいのない世の中でも、この地に最後までとどまって、生きがいのある国にするのが真の愛国者ではないだろうか。(살맛이 나지 않는 세상이라도 이 땅에 끝까지 남아서 보다 살맛 나는 나라로 만드는 게 진정한 애국자가 아닐까요.)
- (56) 삼창 (三唱) ¶ 徐載弼(ソ・ジェピル)가音頭を取ると、同胞たちは皆一斉に大韓独立万歳を三唱した。(서재필의 선창이 끝나자 동포들이 다 함께 대한 독립 만세 삼창을 했다.)
- (57) 삼천리 (三千里、朝鮮、朝鮮の国土) ¶ 三千里錦繡江山 [朝鮮の異称] を、すべての国民が樂園にするために絶えない努力を注ぐよう、心から願う。(삼천리 금수강산을 모든 국민의 낙원으로 만드는 줄기찬 노력이 있기를 간절히 바란다.)
- (58) 쇠국 (鎖国) ¶ かつては興宣君の鎖国が国の将来を滅ぼしそうだったが、最近はまだ外勢と西洋文物の氾濫が、国の大きな心配の種になっている。(한때는 흥선군의 쇠국이 나라의 장래를 망치는 듯하더니 요즘은 또 외세와 서양 문물의 범람이 나라의 큰 걱정거리가 되어 있다.)
- (59) 선전물 (宣傳物) ¶ 最近は、映画の宣伝物や看板が、すっかり外国語一色だ。(요즘은 영화 선전물이나 간판이 온통 외국어 일색이다.)
- (60) 선전하다 (善戰する) ¶ わが国の選手たちは格段の実力差にもかかわらず、最善を尽くして期待以上に善戦した。(우리 선수들은 현격한 실력 차이에도 불구하고 최선을 다하여 기대 이상으로 선전했다.)

- (61) 선조 (先祖) ¶ 私たちはハングルを創制してくれた先祖のおかげで、世界のどの国よりも文盲率が低い。(우리는 한글을 창제해 준 선조들 덕분에 세계 어느 나라보다 문맹률이 적다.)
- (62) 선진국 (先進国) ¶ わが国の商品は先進国のそれに比べて、全く質が劣らない。(우리 상품들은 선진국의 그것에 비해 전혀 질이 떨어지지 않는다.)
- (63) 섭생하다 ([体に良い食品を選んで摂取し] 健康維持と増進に努める) ¶ わが民族が何千年の間、厳選して摂取してきた私たちの食べ物には、わが国の人々だけが感じ、味わうことができる真心のこもった味がするものである。(우리 민족이 여러 천년을 두고 섭생하여 온 우리 음식에는 우리 나라 사람만이 느끼고 맛볼 수 있는 간절한 맛이 담겨 있는 법이다.)
- (64) 섭섭하다 (残念だ、惜しい、さびしい) ¶ 民族精神を守っていたあと、変節したのはとても寂しいことだった。(민족 정신을 고수하다가 나중에 변절한 일은 섭섭한 일이 아닐 수 없었다.)
- (65) 성공적¹ (成功的) ¶ 今年、88年オリンピックの開催成功は、わが国の世界的な位置をさらに確固なものとする決定的な契機となるだろう。(금년 88올림픽의 성공적인 개최는 우리 나라의 세계적인 위치를 더욱 굳히는 결정적인 계기가 될 것이다.)
- (66) 성군 (聖君) ¶ 5千年 [原文は「半万年」] の悠久な歴史を通してみると、聖君と賢臣、そして善良な人民がいて、同じ気持で国を大事にし、愛していた時代は、国が美しくて良かった。(반만 년 장구한 역사를 통해 보건데, 성군과 현신, 그리고 착한 백성이 있어 한 마음으로 나라를 위하고 사랑하던 시대에는, 나라가 아름답고 좋았다.)
- (67) 수공 (手仕事、手間、手工) ¶ 昔の朝鮮人の服は、この世で最も手が込んでいて、最も多くの手間をかけなければ作れない服だった。(옛 한국인의 옷은 이 세상에서 가장 복잡하고 가장 많은 수공을 필요로 하는 옷이었다.)

- (68) 수구² (水球) ¶ 韓国の水球チームがアジア大会史上、初めて銀メダルを獲得した。(한국 수구 팀이 아시안 게임 사상 처음으로 은메달을 획득했다.)
- (69) 시상식 (施賞式) ¶ 射撃場で挙行された授賞式では愛国歌が続けざまに4度響き渡り、授賞式を見つめていた応援団の人々は、一様に感激に満ちた表情だった。(사격장에서 거행된 시상식에서는 애국가가 연속 4번 울려 퍼져 시상식을 지켜본 응원단들은 한결같이 감격스런 표정들이었다.)
- (70) 시점² (視点) ¶ この国を導く知識層は、肯定的な視点で私たちの民族性の長所をほめたたえ、覇気を持たせるようにしなければならない。(이 나라를 이끄는 지식층은 긍정적인 시점으로 우리 민족성의 장점을 기려 기부터 퍼게 해야 한다.)
- (71) 시책 (施策) ¶ できるだけ変則的な方法を避け、憲法の枠内ですべての施策を遂行していく姿勢を持たなくてはならない。(가능한 한 변칙적인 방법을 피하고 헌법의 테두리 안에서 모든 시책을 수행해 나가는 자세를 취해야 한다.)
- (72) 아득히 (遙かに) ¶ この歌の内容や、現在残っている端午の節句における行事の習俗の名残りからみて、私たちの先祖は遙か遠い昔からこの日を節句と見なして、みんなが楽しんできたと推測できる。(이 노래의 내용이나 현재 남아 있는 단오절 행사 습속의 자취로 보아 우리 조상들은 아득히 먼 옛날부터 이 날을 명절로 삼아 모두가 즐겨 온 것을 짐작할 수 있다.)
- (73) 아류 (亜流) ¶ 韓国文化を単に儒教や中国文化の亜流と考えるのは皮相な推測で、危険な断定だ。(한국 문화를 단순히 유교나 중국 문화의 아류로 생각하는 것은 피상적인 추측이며 위험한 단정이다.)
- (74) 아름다움 (美しさ、美) ¶ チョゴリは私たちだけが持つ独特な美であり、また誇りである。(저고리는 우리만이 지닌 독특한 아름다움이며 또한 자랑이다.)

- (75) 양궁 (洋弓) ¶ 韓国のアーチェリー選手団は、国民の声援に励まされ、最多の金メダルを獲得した。(한국 양궁 선수단은 국민들의 성원에 힘입어 최다 금메달을 획득했다.)
- (76) 양놈 ([西洋人の蔑称。「洋+奴」という語構成] 毛唐) ¶ よく髪の毛が黄色い人を指してヤンノム (毛唐)、日本人を指してウェノム (日本人野郎) と見下している。(흔히 머리칼 노란 사람보고는 양놈, 일본 사람보고는 왜놈이라고 얕잡아 말한다.)
- (77) 역동적 (力動的) ¶ カンガンスウォルレはわが国女性の遊戯の中で、最も情緒のかつダイナミックな遊戯だ。(강강수월래는 우리 나라의 여성 놀이 가운데 가장 정서적이면서도 역동적인 놀이이다.)
- (78) 역사적² (歴史的) ¶もしかすると、この国がこのようになったのは、指導者の歴史的認識が足りなかったせいかも知れない。(어쩌면 이 나라가 이렇게 된 것은 지도자들의 역사적 인식이 부족한 탓인지도 모른다.)
- (79) 역설¹ (逆説) ¶民族的でなければ世界的ではありえないという逆説に、とても重要な暗示が含まれている。(민족적이지 않고서는 세계적인 수 없다는 역설에 매우 중요한 암시가 들어 있다.)
- (80) 역설하다 (力説する) ¶彼は自分の過ちの深刻さを深く悟っており、新しい祖国で熱心に働く覚悟ができていと力説したりもした。(그는 자신의 과오의 심각성을 깊이 뉘우치고 있으며, 새 조국에서 열심히 일할 각오가 되어 있다고 역설하기도 했다.)
- (81) 역주 (力走) ¶リレー競技で中国の追撃を2番走者と最終走者の力走で振り切り、1位になった。(계주 경기에서 중국의 추격을 2번 주자와 최종 주자의 역주로 뿌리치고 1위를 차지했다.)
- (82) 역학적¹ (力学的) ¶韓国の木製工芸品は材質と力学的な点を考慮し、代々受け継いで用いられる家具としての条件を、すべて兼ね備えている。(한국의 목공예품은 재질과 역학적인 점을 고려하여, 대대로 물려 쓰는 가구로서의 요건을 다 갖추고 있다.)

- (83) 역행되다 (逆行する) ¶ 그러한行動は、倫理道德を尊ぶわが民族の慣習に逆行する、人の道理に反することである。(그러한 행동은 윤리 도덕을 숭상하는 우리 민족의 관습에 역행되는 패륜이 아닐 수 없다.)
- (84) 연결 (連結) ¶ 今日の望ましい民族主義は、必ず民衆が中心となる民主主義と結合していなければならない。(오늘날에 바람직한 민족주의는 반드시 민중이 중심이 되는 민주주의와 연결이 되어야 한다.)
- (85) 완결 (完結) ¶ 近代化の完結と高度産業社会を志向しながら、私たちはまた一方では、伝統文化と固有の生活様式の消滅をもどかしく思う。(근대화의 완결과 고도 산업 사회를 지향하면서 우리는 또 한편 전통 문화와 고유한 생활 양식의 소멸을 안타까워한다.)
- (86) 위태 (危險で安心できないこと、困難な状況) ¶ 私たちが愛国者の鑑として、危機に陥った祖国を守ろうと命を捧げた人を取り上げるのは、正しいことだと言えるだろう。(우리가 애국자의 본보기로서 위태에 빠진 조국을 지키고자 목숨을 바친 사람을 드는 것은 바른 일이라 할 것이다.)
- (87) 위태하다 (危うい) ¶ 民衆がその国を愛さなければ、その国は危うい。(백성이 그 나라를 사랑하지 아니하면, 그 나라는 위태하다.)
- (88) 유구하다 (悠久だ) ¶ 悠久の歴史を有する私たちが民族的主体性を失ったまま、外勢によって右往左往することはあってはならない。(유구한 역사를 가진 우리가 민족적 주체성을 잃은 채 외세에 의해 우왕좌왕하는 일은 있을 수가 없다.)
- (89) 유니버시아드 (ユニバーシアード) ¶ 韓国は67年の東京ユニバーシアードに初めて参加、女子バスケットボールで優勝した。(한국은 67년 동경 유니버시아드에 처음 참가, 여자 농구에서 우승했다.)
- (90) 의태어 (擬態語) ¶ わが国の詩は、現代西洋各国のことばより音声的表現、すなわち擬声語、擬態語において、より能動的である。(우리 나라 시는 현대 서양 각국의 말보다 음성적 표현, 즉 의성어, 의태

어에 있어 보다 적극적이다.)

- (91) 이구동성 (異口同音) ¶ 多くの外国人たちは口を揃えて、韓国の活気に満ちた姿に感嘆の言葉を惜しまない。(많은 외국인들은 이구동성으로 한국의 활기찬 모습에 감탄의 말을 아끼지 않는다.)
- (92) 이끌다 (リードする) ¶ 現代的様式に整えられたマダン劇は、80年代をリードする世界演劇の主流となった。(현대적 양식으로 다듬어진 마당극은 80년대를 이끄는 세계 연극의 주류가 되었다.)
- (93) 일제 (日本製) ¶ 彼女は下着まで日本製を使っているという。(그녀는 속옷까지 일제를 쓴다고 한다.)
- (94) 일제 (日本製) ¶ 彼女は日本製には目がない。(그녀는 일제라면 사 죽을 못쓴다.)
- (95) 일천하다 (日が浅い) ¶ 近代工業の歴史が日が浅いにもかかわらず、私たちは技能オリンピックで優勝し続けている。(근대 공업의 역사가 일천한데도 우리는 기능 올림픽에서 계속 우승하고 있다.)
- (96) 일체감 (一体感) ¶ 全ての分野で一体感と自信を持って努力すれば、私たちの国力が日を追って高まりうると確信している。(모든 분야에서 일체감과 자신감을 갖고 노력을 하면 우리의 국력이 갈수록 커질 수 있다고 확신한다.)
- (97) 일치되다 (一致する) ¶ 彼が主張する世界平和は、まさにわが民族の理想とも一致するものだった。(그가 주장하는 세계 평화는 바로 우리 민족의 이상과도 일치되었던 것이다.)
- (98) 일컬다 (呼ぶ、称する) ¶ 彼は民族という言葉を好んで口にしながら、自分を偽装する手段と見なしていた。(그는 민족이라는 말을 즐겨 일컬으면서 자기 위장의 수단으로 삼았다.)
- (99) 일편단심 ([変わる事のない、いちずな] 真心) ¶ 国を取り戻そうとする真心で、長い歳月、悪戦苦闘なさったあの方々の勇氣は尊敬に値する。(나라를 찾으려는 일편단심에 지나긴 세월, 악전고투하신 그 어른들의 용기는 우러러 보인다.)

- (100) 장군 (將軍) ¶ わが国の歴史でも多くの將軍たちが、国が危ういと
き国を救い、後世の人々に尊敬されている。(우리의 역사에서도 많
은 장군들이 나라가 위급할 때 나라를 구하여 후세들에게 높임을
받고 있다.)
- (101) 전화³ (戰禍) ¶ 長い間の外勢からの圧迫と戦禍に苦しめられたわが
国民は、おのずと委縮し、しばらく厭世的で消極的な事なかれ主義に
流れていた。(오랜 외세의 핍박과 전화에 시달린 우리 국민은 자연
위축되어 한동안 염세적이고 소극적 무사안일주의에 흘렀다.)
- (102) 조마조마하다 (はらはらする、ひやひやする) ¶ 南宮 (ナムゲン)
さんは、わが同胞が馬鹿にされるさまを見ることにならないかと、は
らはらした。(남궁 씨는 혹시 우리 동포가 무시당하는 꼴을 보게
될까 봐 조마조마했다.)
- (103) 조선소 (造船所) ¶ 私たちは、世界のどの造船所でも作るのが難し
い大型船舶も作りうる実力を備えている。(우리는 세계 어떤 조선소
에서도 만들기 힘든 대형 선박도 만들 수 있는 실력을 갖고 있다.)
- (104) 조선족 (朝鮮族) ¶ わが国の国名は大韓民国であり、わが民族は朝
鮮族ではなく韓民族である。(우리 나라의 국명은 대한민국이며 우
리 민족은 조선족이 아니라 한민족이다.)
- (105) 조성되다 (生み出される、作り出される) ¶ 東洋の数多くの仏像が
数多くの国土で作られてはいるが、わが国の石窟庵の本尊に匹敵する
ほどの遺品は、どこにも見出すことができない。(동양에 수많은 불
상이 수많은 국토에서 조성되기는 하였으나 우리 석굴암 본존을
따를 만한 유품은 그 어디에서도 찾을 수 없다.)
- (106) 조성되다 (生み出される、作り出される) ¶ 体面よりも内実を大切
に思う文化が形成されてこそ、韓国も富かで強い国になるだろう。(체
면보다는 내실을 소중히 여기는 문화가 조성되어야 한국도 부강한
나라가 되리라.)
- (107) 짓다 ([農作業を] する) ¶ わが国の端午の風習は、農作業に従事す

る私たちの暮らしと関連が深い。(우리 나라의 단오 풍습은 농사를 짓는 우리의 삶과 관련이 깊다.)

- (108) 철군 ([軍隊の] 撤退) ¶ 結局、私たちも究極的には、米軍撤退を念頭に置いた自主国防に力を注がなければならない。(결국 우리도 궁극적으로는 미군 철군을 염두에 둔 자주 국방에 힘써야 한다.)
- (109) 측량 (測量) ¶ 大東輿地図は、測量技術と科学が高度に発達した今日から見ても、その正確さと詳しさに驚きを禁じ得ない。(대동여지도는, 측량 기술과 과학이 고도로 발달된 오늘날 보아도 그 정확함과 상세함에 놀라움을 금할 수가 없다.)
- (110) 측은하다 (哀れだ、不憫だ) ¶ よその国に来て馬鹿にされながら、その国の人のように生きていくことを願う彼女が、人間的に不憫だった。(남의 나라에 와서 무시당하면서 그 나라 사람처럼 살아가기를 원하는 그녀가 인간적으로 측은했다.)
- (111) 토너먼트 (トーナメント) ¶ 女子バスケットボール・チームが英国チームを破り、決勝トーナメントに進出した。(여자 농구팀이 영국팀을 누르고 결승 토너먼트에 진출했다.)
- (112) 편성되다 (編成される) ¶ 韓国チームはキューバ、メキシコ、カナダ、イタリアと同じグループに編成されており、世界最強のキューバに続いてイタリアとグループ2位を争うことになると予想される。(한국 팀은 쿠바, 멕시코, 캐나다, 이탈리아와 같은 조에 편성돼 있어 세계 최강 쿠바에 이어 이탈리아와 조 2위를 다투게 될 전망이다.)

10. 共産主義関連の用例 (用例数：17)

1989年に起きたベルリンの壁崩壊が影響して、冷戦崩壊に関する用例が比較的多く採択されている(1、7、8、11、12、15)。また、ためにする共産主義批判や、露骨な反共主義的言説を含んだ用例がみられないのも、民主化闘争以後に生じた韓国社会の変化を象徴している。

〈用例〉

- (1) 개방 정책 (開放政策) ¶ ソ連の開放政策が、あの冷戦の壁を壊した。
(소련의 개방 정책이 그 냉전의 벽을 허물었다.)
- (2) 결정하다 (決定する) ¶ マルクスによれば、社会の現実が人間の意識を決定し、支配するという。(마르크스에 의하면 사회 현실이 사람의 의식을 결정하고 지배한다고 한다.)
- (3) 공산² (共産) ¶ 私たちが共産主義独裁者を憎むだけは、彼らの世界には如何なる自由もないからである。(우리가 공산 독재자들을 미워하는 까닭은 그들의 세계에는 아무런 자유도 없기 때문이다.)
- (4) 공산 국가 (共産国家) ¶ 中国を含め、アジアの共産国家と我々との間に公式、非公式の接触が相当に多くなった。(중국을 포함해서 아시아의 공산 국가들과 우리 사이에 공식 비공식의 접촉이 상당히 많이 늘어났다.)
- (5) 공산권 (共産圏) ¶すでに私たちは第3国を通じて、共産圏との交易を着実に増大させてきた。(이미 우리는 제3국을 통해 공산권과 교역을 꾸준히 증가시켜 왔다.)
- (6) 공산당 (共産黨) ¶お母さんがお兄さんの思想に必死の思いで干渉したのは、共産主義や共産党について何かを知っているからではなかったようだ。(엄마가 오빠의 사상에 기를 쓰고 간섭한 것은 공산주의나 공산당에 대해서 뭘 알아서가 아니었던 듯하다.)
- (7) 국교 (国交) ¶ 両国間に經濟協力の必要性がなかったら、ソ連はおそらく国交正常化に冷淡だっただろう。(양국간에 경제 협력의 필요성이 없었다면 소련은 아마도 국교 정상화에 냉담했을 것이다.)
- (8) 국제 정세 (國際情勢) ¶ 第2次大戦後、両極化していく国際情勢の下で、ある一方の偏向したイデオロギーが選択、強要された。(2차대전 후 양극화되어 가는 국제 정세 속에서 어느 한 쪽의 편향된 이데올로기가 선택, 강요되었다.)
- (9) 국제주의 (國際主義) ¶ ソ連の東欧に対する干渉は、国際主義という

美名のもとに繰り広げられたものだった。(소련의 동구 유럽에 대한 간섭은 국제주의라는 미명하에 펼쳐진 것이었다.)

- (10) 군경 (軍隊と警察、軍警) ¶ 国防部スポークスマンは、今回の共匪討伐作戦で軍警5名と民間人1名が死亡したと発表した。(국방부 대변인은 이번 공비 토벌 작전에서 군경 다섯 명과 민간인 한 명이 사망했다고 발표했다.)
- (11) -데² ([自分の経験を回想し、初めてそう思うようになったことを表して]…だったよ) ¶ その話を聞くと、自分も本当に共産主義について何かちょっと知っているかのように思えたよ。(그 말을 듣고 보니 나도 정말 공산주의에 대해 뭘 좀 아는 것 같이 느껴지네.)
- (12) 성립하다 (成立する) ¶ どんな角度から解釈しようと、東欧社会主義改革がすなわち西欧資本主義の勝利だという等式は、成立しがたいように思われる。(어떤 쪽으로 해석하건 동구 사회주의 개혁이 곧 서구 자본주의의 승리라는 등식은 성립하기 어려워 보인다.)
- (13) 시사² (時事) ¶ 画面には、全国的に拡がった東独の大規模デモの場面と、時事専門家が深刻そうに説明する姿が映っていた。(화면에는 전국적으로 번진 동독의 대규모 시위 장면과 시사 전문가가 심각하게 설명하는 모습이 비쳤다.)
- (14) 시설하다 (施設する) ¶ 自由陣営はソ連の膨張を防ぐために、中東に軍事基地を置こうとしている。(자유 진영은 소련의 팽창을 막기 위해서 중동에 군사 기지를 시설하려고 한다.)
- (15) 전호 (前号) ¶ これらの見解は、私が本誌前号で説明した社会主義リアリズム文学とさして違いがない。(이들의 견해는 내가 본지 전호에서 설명한 사회주의 리얼리즘 문학과 크게 다르지 않다.)
- (16) 철 (鉄) ¶ 社会主義は鉄のカーテンのなかで政体の停滞を逃れえず、ついに落伍をみずから認め、市場経済を採択せざるを得なかった。(사회주의는 철의 장막 안에서 정체의 담보를 면치 못했고, 끝내는 낙후를 스스로 인정하여 시장 경제를 채택하지 않을 수 없었다.)

- (17) 협상하다 (協商する、協議する) ¶彼らがみずから韓国を訪問し、航空機不時着問題などの懸案事項を協議することにした。(그들이 직접 한국을 방문하여 항공기 불시착 문제 등 협안 사항을 협상하기로 하였다. 19)

11. 議会・政治関連の用例 (用例数：31)

「すぐに票につながるのなら、実現不可能なことでも公約するのが、最近の選挙風土だ。」(10)のような政治風土は、日本ともよく似ている。用例(2)、(6)のような、体を張った与野党の肉弾戦は、日本では最近かなり影をひそめているが、「上品」になったからといって、政治が良くなったとも言えないだろう。韓国の政党政治は、日本よりも院外大衆行動と強く結びついており、「有権者」が選挙期間以外は「観客」となってしまった今日の日本の「代議」的政治風土とは異なる。

〈用例〉

- (1) 강성 (強く攻撃的な性格、強硬) ¶与野間の強硬な対応は、二党の不参加のもとで院構成を行う、正常でない様相を呈してしまった。(여야간의 강성 대응은 두 당의 불참 속에 원 구성을 하는 과정의 모습만 보여 주고 말았다.)
- (2) 강행 (強行する) ¶国会に対して、一方では強行と抜き打ち採決を批難するかと思えば、他方では座り込み、退場、乱闘ばかりやっていると非難した。(국회에 대하여 한 쪽에서는 강행과 날치기 통과를 탓하는가 하면 다른 쪽에서는 농성, 퇴장, 난동을 일삼는다고 비난했다.)
- (3) 개별 (個別) ¶投票戦略で功を奏したのは、各国の国際オリンピック委員会委員たちについての精密な身上調査で性向を分析し、競争誘致

19 1985年8月24日、中国海軍の双発ジェット爆撃機が、全羅北道裡里市に不時着した事故を指していると思われる。国交のなかった中韓間で、互いに接触を持つ機会として活用された。

国の活動状況まで分析し、個々にロビー活動をしたことだった。(투표 전략에서 주효했던 것은 각국 국제 올림픽 위원회 위원들에 대한 세밀한 신상 파악으로 성향 분석을 하고 경쟁 유치국의 활동 상황까지 분석해서 개별로 로비를 한 것이었다.)

- (4) 격하시키다 (格下げする) ¶ 国会議員が学生たちの前で嘘を言ったということは、理由が何であれ国会の威信を自ら失墜させる行為だった。(국회 의원이 학생들 앞에서 거짓말을 했다는 것은 이유야 어찌 됐든 국회의 위신을 스스로 격하시키는 행위였다.)
- (5) 견문 (見聞) ¶ 国会議員が海外に出かけて見聞を広め、国政資料を収集してくることをよく思わない人がいるだろうか。(국회 의원들이 해외에 나가 견문을 넓히고 국정 자료를 수집해 오는 일을 누가 마다하겠습니까?)
- (6) 결사적¹ (決死の) ¶ 在野勢力はこの方案の国会通過を阻止しようと、議事堂の中で座り込むなど、必死に反対した。(제야 세력은 이 법안의 국회 통과를 저지시키고자 의사당 안에서 농성하는 등 결사적으로 반대했다.)
- (7) 결속되다 (結束する) ¶ 国際関係も私たち自身が安定し、結束してこそ、有利に利用することができる。(국제 관계도 우리 자신이 안정되고 결속되고 있어야 유리하게 이용할 수 있다.)
- (8) 결속하다 (結束する) ¶ 互いに色彩を異にする2つの政党が結束して、連立政権を打ち立てることに合意したのは、我が国の政治史において非常に模範的な試みであると言える。(서로 색깔이 다른 두 정당이 결속하여 연합 정권을 창출하기로 합의한 것은 우리 정치사에서 매우 모험적인 시도라고 할 수 있다.)
- (9) 공감대 (共感帯) ¶ 彼らは政治問題で共感帯を形成できたため、互いの親交が保たれたのだった。(그들이 정치 문제에 있어 공감대를 형성할 수 있었기에 그들의 친분이 유지될 수 있었던 것이다.)
- (10) 공약하다 (公約する) ¶ ひとまず票につながるのなら、実現不可能な

ことでも公約するのが、最近の選挙風土だ。(당장 표로 연결만 된다면 실현 불가능한 일이라도 공약하는 것이 요세 선거의 풍토이다.)

- (11) 공언 (公正な) ¶ 彼の著述は民主主義に対する真摯な公正な話で一貫しており、その真摯さについては疑う余地がない。(그의 저술은 민주주의에 대한 진지한 공언으로 꼭 차 있으며 그 진지성에 대해서는 의심할 바가 없다.)
- (12) 구축하다 (構築する) ¶ 当然、与党は強い政府を築く計画でしょう。(당연히 여당은 강력한 정부를 구축할 계획일 거예요.)
- (13) 구축하다 (構築する) ¶ 悪条件の下で安定の基盤を構築したければ、何よりも国民融和が絶対に必要だ。(악조건 속에서 안정의 기반을 구축할 수 있으려면 무엇보다 국민 단합이 절대 필요하다.)
- (14) 국제 (國際) ¶ この人を好き勝手に処刑して、あとで国際問題になれば大変です。(이 사람을 마음대로 처형하였다가 나중에 국제 문제가 일어나면 큰일이지요.)
- (15) 끌다 (率いる、導く) ¶ ひたすら強力にその道に国民を導いていくのが良い。(그저 강력하게 그 길로 국민을 끌고 가는 것이 좋다.)
- (16) 끌어가다 ([その状態のまま維持したり、持続させるという意味]引っ張る) ¶ 彼は何時間も一人で集会を引っ張るほど、大衆演説に秀でた腕前を發揮していた。(그는 몇 시간이고 혼자서 집회를 끌어갈 만큼 대중 연설에 뛰어난 솜씨를 발휘하고 있었다.)
- (17) 내각 책임제 (内閣責任制) ¶ 民主党は大統領の独裁を防ぐために、内閣責任制に政治制度を変えなければならぬと主張した。(민주당은 대통령의 독재를 막기 위해서 내각 책임제로 정치 제도를 바꾸어야 한다고 주장하였다.)
- (18) 내각제 (内閣制) ¶ 野党議員たちは、内閣制に改憲することを要求した。(야당 의원들은 내각제로 개헌할 것을 요구했다.)
- (19) 내국 (内國) ¶ 過度に外国法尊重主義を採用しても、それはまた国内

의立法主權을無視することになるので良くない。(지나치게 외국법 존중주의를 채용하여도 그 또한 내국의 입법 주권을 무시하는 것이 되므로 좋지 않다.)

- (20) 막강하다 (非常に強力である、強大である) ¶それほど司法部の権益は強大で、ある意味では立法府や行政府より上位に位置している感じがします。(그만큼 사법부의 권익은 막강하고 어떤 의미에서는 입법부나 행정부보다 위에 위치하는 느낌을 주는데요.)
- (21) 부치다³ ([ある問題を] 議論の対象にする) ¶翌日には軍政を4年間延長する問題を、国民投票に付すという発表があった。(다음 날에는 군정을 4년간 연장하는 문제를 국민 투표에 부치겠다는 발표가 있었다.)
- (22) 삼권 (三權) ¶国家の権力を立法、行政、司法の3權に分け、それらの間に牽制と均衡が実現するように制度化しなければならない。(국가의 권력을 입법, 행정, 사법의 삼권으로 나누어 그들간에 견제와 균형이 이루어지게 제도화해야 한다.)
- (23) 선포되다 (宣布される) ¶この地に犯罪との戦争が宣布された後も、人間性を喪失した犯罪が絶えない理由はなんだろうか。(이 땅에 범죄와의 전쟁이 선포된 후에도 인간성이 상실된 범죄가 끊이지 않는 까닭이 무엇일까?)
- (24) 선포하다 (宣布する) ¶政府も犯罪との戦争を宣布したが、未だにこれといった効果がみられない実情だ。(정부도 범죄와의 전쟁을 선포했지만 아직은 이렇다 할 만한 효력이 없는 실정이다.²⁰)
- (25) 선행되다 (先行する) ¶彼は、当時の現実では、経済的自由が政治的自由より先行しなければならない、という信念を抱いていた。(그는 당시의 현실에서는 경제적 자유가 정치적 자유보다 선행되어야 한다는 신념을 가지고 있었다.)

20 「犯罪との戦争」は1990年に盧泰愚政權が暴力団壊滅のために打ち立てた政策。

- (26) 시장³ (市長) ¶ 最近になって、民選市長と中央行政部との間の葛藤がひどくなっているという。(최근 들어 민선 시장과 중앙 행정부 간의 갈등이 심해지고 있다고 한다.)
- (27) 위탁 (委託) ¶ 彼らは国民から委託された権利を、自分の党派に属する特定の候補者に選挙で当選させることに用いた。(그들은 국민에게서 위탁을 받은 권리를 자기 당파에 속하는 특정한 후보자를 선거에서 당선시키는 데 사용하였다.)
- (28) 의회 제도 (議會制度) ¶ 選挙制度は議會制度と共に、民主主義の最も基礎的な制度の一つである。(선거 제도는 의회 제도 함께 민주주의의 가장 기초적인 제도의 하나이다.)
- (29) 의회주의 (議會主義) ¶ 議會主義を標榜する国で、政治の中心はあくまでも国会でなければならない。(의회주의를 표방하는 나라에서 정치의 본산은 어디까지나 국회여야 한다.)
- (30) 조삼모사 (朝三暮四) ¶ 問題は、朝三暮四に明け暮れる大統領にだけあったのではなく、政治家たち自身にもある。(문제는 조삼모사를 일삼는 대통령에게만 있었던 것이 아니라 정치인들 자신에게도 있다.)
- (31) 중상 (中傷) ¶ 政党は謀略、中傷と嘘でなければ、政治がやれないと思っているようだった。(정당들은 모략, 중상과 거짓이 아니면 정치를 못하는 줄 알고 있는 것 같았다.)

12. 拘留・刑務所関連の用例 (用例数：44)

日本では70年安保闘争、成田闘争以後は、大量の検挙者を生むような事態は生じていないが、韓国では民主化闘争や労働争議で1990年代に至っても、多くの人が検挙された。用例にもこのことが反映されている。「母は私の獄中支援をしていて道で倒れ、死境をさまよった末、背中がせむしのよう曲がってしまった。」(10) や「お前の母さんが朝夕、獄中にお前のことを想っていて失神し、そのままお亡くなりになってしまった。」(41)

のような用例は、子を想う母親の姿を描いたもので、この辞書の読者たちにも共感を持って読まれているだろう。このほか、拷問による訊問（2, 21）、獄中闘争（8）、法廷闘争（24）、不法拘禁（29）、でっち上げ（40）などを内容とする例文が採録されている。

〈用例〉

- (1) 개봉 (開封) ¶ もちろん検査をするために封筒は開封されていたが、チュンホは一瞬見慣れた名前に思わず緊張していた。(물론 검사하기 위해 봉투는 개봉이 되어 있었지만 중호는 순간 낯익은 이름에 자신도 모르게 긴장을 하고 있었다.)
- (2) 견디다 (耐える) ¶ それはおそらく肉体的苦痛に耐えきれず、虚偽の陳述をしたのだろう。(그건 필시 육체적 고통에 못 견디 허위 진술한 것일 것이다.)
- (3) 견책 (譴責) ¶ その派出所は何の根拠もなくホテル、旅館の一斉点検を実施して譴責を受けた。(그 파출소는 아무 근거 없이 숙박 업소 일제 점검을 실시했다가 견책을 받았다.)
- (4) 결단 (決断 102) ¶ 社会では良心囚釈放の世論が湧きおこり、ついに当局は決断を下した。(사회에선 양심수 석방의 여론이 비등해졌고 마침내 당국은 결단을 내렸다.)
- (5) 결박 (縛り付けること) ¶ 白黒写真なので、捕縄がことさらに白く鮮明に浮き出て、まるで自分が縛られているかのようでぞっとした。(흑백 사진이라서 포승줄이 유난히 희고 선명하게 드러나 마치 내가 결박을 당해 있는 듯 섬뜩하다.)
- (6) 결박당하다 (縛り付ける) ¶ 学生たちは両手足を縛られ、全く身動きが取れなかった。(학생들은 양손과 발을 결박당하여 움짱달짝할 수 없었다.)
- (7) 결박되다 (縛り付けられる) ¶ 手足が縛られると、それぞれが叫び声をあげながら最後まで抵抗していた。(손과 발이 결박되자 입으로 소리소리 지르며 끝까지 저항하고 있었다.)

- (8) 결성하다 (結成する) ¶ 彼らは、私たちがちょっと目を離したすきに地下組織を結成して、獄中闘争を扇動した。(그들은 우리가 잠깐 한 눈을 파는 사이에 지하 조직을 결성하고 옥중 투쟁을 선동하였다.)
- (9) 경과 (経過) ¶ これまでの捜査と、その記録を整理した方 (パン) 刑事が報告を兼ねて、これまでの経過を説明した。(지금까지의 수사와 그 기록을 정리한 방 형사가 보고를 겸해서 그 동안의 경과를 설명했다.)
- (10) 굽추 (せむし) ¶ 母は私の獄中支援をしていて道で倒れ、死境をさまよった末、背中がせむしのように曲がってしまった。(어머니는 내 옥바라지를 하시다 길에 쓰러져 사경을 헤맨 끝에 등이 굽추처럼 굽어버렸다.)
- (11) 구인 ([檢事や警察が嫌疑のある者を連行すること] 拘引) ¶ 拘引、拘留など、あらゆる人身の拘束は判事の令状なしには執行できないようにした。(구인, 구류 등 모든 인신의 구속은 판사의 영장 없이는 집행할 수 없게 하였다.)
- (12) 구치소 (刑務所) ¶ 彼の母と私は刑務所に囚われたアン・ジョンपालに面会しに行ったことがあった。(그의 모친과 나는 구치소에 갇힌 안정팔에게 면회를 간 적이 있었다.)
- (13) 구형하다 (求刑する) ¶ この4つの罪目を総合すれば極刑相当だとして、検察でも死刑を求刑することになった。(이 네가지의 죄목을 종합하면 사형감이라 해서 검찰에서도 사형을 구형하게 되었다.)
- (14) 급여하다 ([ある集団に金品を] 与える、給与する) ¶ 刑務所で出される食事は、本当に人間が食べるようなものではなかった。(교도소에서 급여하는 식사는 정말 사람이 먹을 것이 못 되었다.)
- (15) 급파 (急派) ¶ 警察庁長官はユ氏検挙を支援するため、義務警察1個中隊兵力の急派を指示した。(경찰청장은 유 씨 검거를 지원하기 위해 의무 경찰 1 개 중대 병력의 급파를 지시했다.)

- (16) 기각되다 (棄却される) ¶ 弁護人側が提出した公判調書閲覧申請と、この申請は棄却されてしまった。(변호인 측이 제출한 공판 조서 열람 신청과 이의 신청은 기각되고 말았다.)
- (17) 기각하다 (棄却する) ¶ 弁護人の申請を棄却することは、法自体を無視する処置だった。(변호인의 신청을 기각하는 것은 법 자체를 무시하는 처사입니다.)
- (18) 기결수 (既決囚) ¶ 今では未決囚ではない既決囚で、正真正銘の囚人となった身の上そのものだった。(이제는 미결수가 아닌 기결수로 완전한 죄수가 되어 있는 몸이나 진배가 없었다.)
- (19) 기도하다² (図る、企む) ¶ 彼は国家転覆を図ったという嫌疑を受けていた。(그는 국가 전복을 기도했다는 혐의를 받고 있었다.)
- (20) 끌리다 (引きずる) ¶ 呉 (オ) 班長と王 (ワン) 刑事が両脇を抱えて歩いているのに、両足はずるずる引きずっている。(오반장과 왕형사가 양 겨드랑이를 끼고 걷는데도 두 발은 질질 끌린다.)
- (21) 덮다 (覆い隠す) ¶ 一度やらかした拷問は、それを覆い隠すために二度やらかす。(한 번 저질러진 고문은 그걸 덮기 위해 두 번 저질러진다.)
- (22) 데리다 ([目下の者を] ついてこさせる、連れて行く) ¶ 私の息子がデモやらなんやらをしていて、ここに捕まえられてきたようですが、そいつを引き取りに来ました。(내 아들이 데몬지 뭔지 하다가 여기로 붙잡혀 온 모양인데 그 놈을 데리러 왔어요.)
- (23) 만⁴ (満) ¶ ある事件に連座したオ・ドンチュンは監獄に入ってから満3か月ぶりに出獄した。(모종의 사건에 연루된 오동준은 감옥에 들어갔다가 만 3개월 만에 출감하였다.)
- (24) 모독하다 (冒瀆する) ¶ 本法廷を冒瀆する発言は慎んでください。(본법정을 모독하는 발언은 삼가 주십시오.)
- (25) 송사리 ([核心人物や主犯ではない、逮捕された] ざこ、小物) ¶ 贈収賄事件に対する捜査が大掛かりに始まったが、結局は小物だけを処

罰する格好になった。(뇌물 사건에 대한 수사가 거창하게 시작됐지만, 결국은 송사리들만 처벌한 꼴이 되었다.)

- (26) 송치되다 (送致される) ¶ 警察署に収監されていた彼らは、収監12時間後に検察に送致され、刑務所に移監された。(경찰서에 수감됐던 그들은 수감 12시간 만에 검찰로 송치돼 교도소에 이감됐다.)
- (27) 송치되다 (送致される) ¶ 事件全般に関する書類が検察に送致されるにともない、公判日程が決定された。(사건 전반에 관한 서류가 검찰로 송치됨에 따라 재판 날짜가 결정되었다.)
- (28) 송치되다 (送致される) ¶ ヒョンチョルが検察に送致された日、ヘインはヒョンチョルの姿を見て涙を流した。(현철이가 검찰에 송치되던 날, 헤인이는 현철이의 모습을 보고 눈물을 흘렸다.)
- (29) 송치하다 (送致する) ¶ ソ・ジュンヒョクを2か月あまり検察に送致しないで、警察署の留置場に閉じ込めておいた。(서준혁을 두 달이 넘도록 검찰에 송치하지 않고 경찰서 유치장에 가둬 놓았다.)
- (30) 송치하다 (送致する) ¶ 私たちを警察署に送致する時、捜査官たちがしていた話が思い浮かんだ。(우리를 경찰서로 송치할 때 수사관들이 하던 이야기가 떠올랐다.)
- (31) 시찰구 ([刑務所の監房内を覗き見するための四角形の穴] 視察窓) ¶ 彼は視察窓を通して、鋭くにらみつける看守の冷たいまなじりを意識しないわけにはいかなかった。(그는 시찰구를 통하여 날카롭게 쏘아보는 간수의 차가운 눈초리를 의식하지 않을 수 없었다.)
- (32) 알팍하다 (厚みがすこし少ない、薄めの、薄っぺらい) ¶ 彼の手には薄めの調書の束が握られていた。(그의 손에는 알팍한 조서 뭉치가 들려 있었다.)
- (33) 양⁸ (兩) ¶ 判事は兩告訴人をかわるがわる見つめながら、彼らの表情にはお構いなく首をこっくりとしてみせて、口を開いた。(판사는 양 고소인을 번갈아 쳐다보면서 그들의 표정에는 상관없이 머리를 까딱해 보이고 입을 열었다.)

- (34) 역력히 (ありありと、歴然と) ¶ 檢察捜査の結果、発表文には刺激的な表現を避けるために苦心した痕跡が歴然と表れていた。(검찰 수사 결과 발표문에는 자극적인 표현을 피하기 위해 고심한 흔적이 역력이 나타났다.)
- (35) 역사적² (歴史的) ¶ 過去の事実が法廷を通じて明らかにされ、国民がこれを歴史的教訓として受け入れるならば、むしろ有益なことです。(과거의 사실이 법정을 통해 밝혀지고 국민이 이를 역사적 교훈으로 받아들인다면 오히려 유익한 것입니다.)
- (36) 이감 (移監) ¶ 私はソウル拘置所に移管されて行くことになったが、そのときは暑気が襲ってきた頃だった。(나는 서울 구치소로 이감을 가게 되었는데 그 때는 무더위가 한창 몰려오던 참이었다.)
- (37) 이감 (移監) ¶ チュンホが他の刑務所に移監されるという噂が飛び交った。(준호가 다른 교도소로 이감을 간다는 소문이 나돌았다.)
- (38) 조사관 (調査官) ¶ 彼は調査官の前で、陳述書を書けという要求を拒否した。(그는 조사관 앞에서 진술서를 쓰라는 요구를 거부했다.)
- (39) 조사관 (調査官) ¶ これまで友好的な態度をとっていた調査官が、いら立っているかのように、声を高めはじめた。(이제까지 우호적으로 나오던 조사관이 초조한 듯 언성을 높이기 시작했다.)
- (40) 조서 (調書) ¶ 学生、労働者のデモ事件も、事件自体は情報課や対共課で扱うが、調書だけは調査係ででっち上げた。(학생, 노동자 시위 사건들도 사건 자체는 정보과나 대공과에서 다루지만 조서만은 조사계에서 꾸몄다.)
- (41) 조석 (朝夕) ¶ お前の母さんが朝夕、獄中にいるお前のことを想っていて失神し、そのままお亡くなりになってしまった。(네 어머니가 조석으로 옥중에 있는 너를 그리다가 실신해서 그만 돌아가시고 말았다.)
- (42) 짓다 ([結末を] しめす、[決定を] 下す)
すでに事件は終結したのに、再び拘束しろというので納得できません。

(이미 사건은 종결을 지었는데 다시 구속하라고 하니 납득할 수가 없습니다.)

- (43) 취하 (取り下げ) ¶ 選挙事犯は、だいたい証拠不十分や告訴取り下げなどで、釈放されるのが常だった。(선거 사범은 대개 증거 불충분이나 고소 취하 따위로 풀려나게 마련이었다.)
- (44) 형량 (刑罰の種類や期間、量刑) ¶ 共犯として捕まった友だちはすでに何人か釈放されたので、彼の刑も軽いだろう。(공범으로 잡혀간 친구들은 벌써 여럿 석방되었으니 그 친구 형량도 낮을 겁니다.)

13. 警察関連の用例 (用例数 : 42)

明らかに政治・社会運動がらみの用例が全体の4割を占めている(1、2、4、6、8、11、16、17、18、25、28、30、31、33、35、37、38)。警察事案全体に占める比率からみれば、この数値は相当に高いものと思われる。それだけ、社会的に関心が注がれていることを示すものである。拷問・暴力行使による自白強要(15、25、39)を内容とする用例も見られるが、民主化闘争の過程では、取調室では日常茶飯事に繰り返されていた。そうした中で、ソウル大学言語学科学生だった朴鐘哲^{パク・ジョンチョル}氏が、1987年1月13日に治安本部対共分室捜査官6名に連行され、拷問で翌日殺されたことが暴露されたことが、民主化闘争を同年6月の絶頂期へと導いた。また、延世大学学生李韓烈^{イ・ハンニョル}氏が同年6月9日、延世大正門付近で戦闘警察が撃った催涙弾で死亡した事件も、民主化闘争をさらに燃え上がらせた。

〈用例〉

- (1) 강압하다 (力で抑え込む) ¶ 警察の起源は、歴史的に労働大衆の騷擾を力で抑え込み、あるいは貴族政治の保護策として始まった。(경찰의 기원은 역사적으로 노동 대중의 소요를 강압하고 또는 귀족 정치의 확보책으로 출발되었다.)
- (2) 공공 건물 (公共建造物、公共の建物) ¶ 警察は市役所など公共の建物に対する警備を強化している。(경찰은 시청 등 공공 건물에 대한

경비를 강화하고 있다.)

- (3) 공공연하다 (公然として) ¶ 彼の話のように、それは警察内部でも公然たる秘密だった。(그의 말처럼 그것은 경찰 내부에서도 공공연한 비밀이었다.)
- (4) 구출하다 (救出する) ¶ 集団的になぐられ、食堂の床に倒れていた同志を救出しつつ、[戦闘警察] 隊員たちは胸の中で鬱憤をこらえなければならなかった。(집단 구타를 당해 식당 바닥에 쓰러져 있던 동지를 구출해 나오면서 대원들은 속으로 울분을 삼켜야 했다.)
- (5) 급습하다 (急襲する) ¶ 警察が市内のホテルのナイトクラブを急襲して、オレンジ族を取り締まったそうだ。(경찰이 시내 호텔 나이트 클럽을 급습해 오렌지족들을 단속했다.)
- (6) 꼬나풀 (手先) ¶ 監房の同房者だと欺いていた青年は、情報隊の手先に違いない。(감방 동료라고 속이던 청년은 정보대 꼬나풀이 틀림없다.)
- (7) 꼬집다 (つかみ寄せる) ¶ 警官たちが近づいてきて、私の首筋をつかみ寄せるときまでは、できる限り抵抗しようと決意した。(경찰들이 다가와서 내 등덜미를 잡아 꼬집을 때까지는 버틸 대로 버티자고 마음을 먹었다.)
- (8) 덧씩우다 (かぶせる) ¶ どの窓にも鉄の網をかぶせた戦闘警察輸送用バス2台が、校門近くに待機していた。(창문마다 철망을 덧씩운 전투 경찰 수송용 버서 두 대가 교문 근처에 대기하고 있었다.)
- (9) 두드러기가 나다 (鳥肌が立つ) ¶ 私は刑事を見ただけでも鳥肌が立つから。(나는 형사만 봐도 두드러기가 나니까.)
- (10) 두절 (杜絶) ¶ 厳しい検問検索で、一時交通が麻痺状態だった。(심한 검문 검색으로 일시 교통 두절 상태였다.)
- (11) 막히다 ([道が] 混む、渋滞する) ¶ 兵力の支援を受ける警察署は地団太を踏まなければならなかったが、国道が渋滞した状態で支援兵力がやってくることもできなかった。(병력을 지원 받는 경찰서는 말

만 동동 굴러야 했지만, 국도가 막힌 상태여서 지원 병력이 내려올 수도 없었다.)

- (12) 물어내다 (弁償する) ¶ 露天商のおじさん、おばさんたちは壊れた板切れを持って、鎮圧する警察に弁償しろと抗議した。(노점상 아저씨 아주머니들은 부셔진 목판을 들고 진압하는 경찰에게 물어내라고 항의하였다.)
- (13) 변사 (變死) ¶ 五大洋集團變死事件を捜査中の警察は31日、死亡した32名の死体を司法解剖した。(오대양 집단 변사 사건을 수사중인 경찰은 31일 숨진 32명의 사체를 부검했다. ²¹⁾)
- (14) 변형시키다 (變形させる) ¶ カン・ヒョンピルは筆跡が逮捕のきっかけとにならないようにするため、文字を出来るだけ変形して書いていった。(강현필은 필적이 체포의 단서가 되지 않도록 하기 위해 글씨를 최대한으로 변형해서 써 나갔다.)
- (15) 빗다 ([物議を] 醸す) ¶ 真犯人が捕まったために、捜査機関の拷問が事実として明らかになり、物議を醸すケースはあまりにも多かった。(진범이 잡히는 바람에 수사 기관의 고문이 사실로 밝혀져 물의를 빚는 예는 너무도 많이 있었다.)
- (16) 상당수 (相当数) ¶ デモを鎮圧する中で、警官たちも相当数負傷した。(시위를 진압하면서 경관들도 상당수 부상을 입었다.)
- (17) 선회하다 (旋回する) ¶ その事件を契機に、政府は警察の力を借りて強硬路線に転換した。(그 사건을 계기로 정부는 경찰의 힘을 빌어 강경 노선으로 선회하였다.)
- (18) 수거 (収去) ¶ 警察は印刷所などを搜索し、ビラの押収作業を行った。(경찰은 인쇄소 등을 수색하여 유인물 수거 작업을 했다.)
- (19) 아닌 밤중에 (いきなり) ¶ いくら権勢を振う警察だとしても、いきなり現れて有無を言わずついて来いというのは、道理にかなわない

21 1987年 8月29日に発生したカルト教団による変死事件。

仕打ちです。(아무리 세도 등등한 경찰이라 하더라도 아닌 밤중에 불쑥 나타나서 무조건 따라나서라 함은 도리에도 맞지 않는 처사입니다.)

- (20) 아랑곳하다 (他人ごとを知りたがったり、干渉したり、気かけたりする) ¶ ヨンホは崔(チュ) 捜査官の納得がいかないような目つきも気かけなかった。(영호는 최 수사관의 못마땅해 하는 눈초리에도 아랑곳하지 않았다.)
- (21) 아무² (いかなる) ¶ 警察は何の情報もにぎっていないと、しらを切った。(경찰은 아무 정보도 가진 바 없다고 잡아뗐다.)
- (22) 양⁶ (…のように) ¶ 郭(クァク) 刑事と安(アン) 刑事は互いに知らない間柄でもあるかのように、距離を置いて別々に離れて、奴の後をつけた。(곽 형사와 안 형사는 서로 모르는 사이인 양 거리를 두고 따로 떨어져 놈의 뒤를 밟았다.)
- (23) 와글거리다 (わいわい騒ぐ) ¶ 警察が確認をしようとする、その場にいた人々全員が騒ぎ立てた。(경찰이 확인을 하려고 들자 자리에 있던 사람들이 모두들 와글거렸다.)
- (24) 완력 (腕力) ¶ 彼は警察の腕力に押さえつけられ、びくりともできなかった。(그는 경찰의 완력에 눌려 꼼짝 못했다.)
- (25) 유관하다 (互いに関係がある、互いに関連している) ¶ 私は同胞を拷問できる心と、花を愛する心が、なぜ共存するのだろうかと考えてみたことがある。(나는 동포를 고문할 수 있는 마음과 꽃을 좋아하는 마음이 어떻게 유관할까 하고 생각해 본 적이 있다.)
- (26) 이끌리다 (連れられる、引かれる、導かれる) ¶しばらく後、ユンスは崔(チュ) 捜査官に連れられて入ってきた。(잠시 후 윤수는 최 수사관에게 이끌려 들어왔다.)
- (27) 일체¹ (一切) ¶ 彼に金(キム) 刑事は起った一切の事実を秘密にしてくれと要求した。(그에게 김 형사는 일어난 일체의 사실들을 비밀로 해 달라고 요구했다.)

- (28) 잡혀가다 (捕まってい) ¶ あちこちでテロがおこり、警察に捕ま
ていく人々も多くなった。(이곳 저곳에서 테러가 일어나 경찰에 잡
혀가는 사람들도 많아졌다.)
- (29) 잡히다¹ ([秩序などが] 保たれる) ¶ 交通巡査によってある程度秩序
が戻ると、車の流れが円滑になった。(교통 순경에 의해 어느 정도
질서가 잡히자, 차들이 원활해졌다.)
- (30) 전화하다 (電話をする) ¶ 吳 (オ) 班長はすぐに警察署の調査係に電
話をした。(오 반장은 곧바로 경찰서 조사계로 전화했다.)
- (31) 조문하다 (弔問する) ¶ 朴 (パク) 1 警²²の殯所が設けられた靈安室
には、内務部長官が弔問したのをはじめとして、警察公務員たちの弔
問が相次いだ。(박 일경의 빈소가 마련된 영안실에는 나무부 장관
이 조문한 것을 비롯, 경찰 공무원들의 조문이 잇따랐다.)
- (32) 13조서 (調書) ¶ そとと首を回してみると、以前金 (キム) 刑事から
調書を受け取ったあの人だった。(슬쩍 고개를 돌려 보니, 전에 김
형사한테서 조서를 받던 그 사람이었다.)
- (33) 중립화 (中立化) ¶ 政府は警察の政治的中立化のための委員会制度を
採択した。(정부는 경찰의 정치적 중립화를 위해 위원회 제도를 택
했다.)
- (34) 집중되다 (集中する) ¶ 警察は、容疑者として目を付けていた人物の
身元を把握することに、捜査力を集中していると話した。(경찰은 용
의자로 지목되었던 사람의 신원을 파악하는 데에 수사력을 집중시
키고 있다고 했다.)
- (35) 짓다 ([列に] 並ぶ、[列を] なす) ¶ 整列して立っている戦闘警察の
目に緊張が走った。(열을 지어 서 있는 전투 경찰들의 눈에 긴장감
이 돌았다.)
- (36) 치다² (叩く) ¶ 保安課長が相手をしたくないかのように、机をガン

22 作戦戦闘警察で、下から2番目の階級。

- と叩いた。(보안과장이 상대하기 싫다는 듯이 책상을 팡하고 쳤다.)
- (37) 치다² (攻める) ♯ 半時間あと、本当に戦警たちがあちこちから攻めこんで来た。(반 시간 후 정말로 전경들이 사방에서 치고 들어왔다.)
- (38) 테러범 (テロ犯) ♯ 警察は空港の検問検索を強化し、テロ犯の入国を封鎖することにした。(경찰은 공항의 검문 검색을 강화하여 테러범들의 입국을 봉쇄키로 했다.)
- (39) 혐의자 (容疑者) ♯ 容疑者を捕まえて殴りつけても自白しないので、彼の母親をつれてきて、息子の前で滅多打ちにして苦しめた。(혐의자를 잡아 족치는데 자백을 하지 않자 그의 어머니를 데려다가 아들 앞에서 난장을 치고 주리를 틀었다.)
- (40) 협조하다 ([ほかの人の仕事を] 助ける、協力する) ♯ 調査団の活動に警察が協力するとお考えですか。(조사단 활동에 경찰이 협조하리라고 생각하십니까?)
- (41) 형사 (刑事) ♯ 待合室を行き来する刑事たちの視線が、しばしば私をにらみつけているみたいだった。(대합실을 왔다 갔다 하는 형사들의 눈초리가 자꾸만 나를 쏘아보는 것만 같았다.)
- (42) 휘갈기다 ([文字を] なぐり書きする) ♯ 金 (キム) 刑事には落書きや書きなぐったメモのようなものも、重要な糸口になるだろう。(김 형사에게는 낙서라든가 휘갈겨 쓴 메모 같은 것도 중요한 단서가 될 것이다.)

14. 戦争・軍隊・軍事関連の用例 (用例数：223)

本稿で用例を分類した20項目の中で、戦争や軍隊や軍事関連の用例が最も多いことは、注目に値する。朝鮮戦争で朝鮮半島全土が内戦の戦火にさらされ、一般民を巻き込む激戦が展開された。この戦争は現在も「休戦」状態にあり、いまだ終結したわけではない。常に軍事的緊張が続く南北関

係を反映して、戦争、軍隊に関する話題は日常化している。例文に朝鮮戦争を背景にしたものが多くみられるのはそのためである。

また、今も徴兵制度が施行されており、軍隊経験は韩国人の日常生活に深く溶け込んでいる。日本のように、自衛隊が多く的一般市民の人生からは半ば隔絶した存在としてあるのとは異なる。したがって、韓国は軍隊での経験談が日常的な話題になる世界である。「おそらく、大韓民国の若者たちに最も普遍的な成人式があるとすれば、それは軍への入隊だろう。」(112)、「彼は軍隊に入って苦勞をしているが、恋人はそのあいだ待ちきれず、心変わりして去った。」(92) などという例文に込められた内容は、韩国人にとって現在進行形の現実である。

韓国民主化闘争が闘われた1980年代でも、大学内では軍事教練が行われていた。学生たちは教練服を着用して、キャンパス内で匍匐^{ほふく}前進の訓練をしたり、休戦ライン近くでの前線訓練に派遣されたりしていた。軍事教練は南北間の分裂を助長し、北朝鮮に対する憎悪をかき立てる「安保論理」に基づくものどとして、反軍事ファッション独裁闘争の一環として闘われ、激しい学生闘争を展開して廃止に追い込んだのも、韓国民主化闘争の成果の一つだった。

〈用例〉

- (1) 강타 (大打撃を与えること、強打) ♯兵力が集結した直後、これが空軍に発見され、爆撃機によるすさまじい攻撃を受けて、大部分が凄惨な死にかたをした。(병력이 집결된 직후에 이것이 공군에 발견되어 폭격기에 의한 강타를 당하여 대부분이 참혹하게 죽었다.)
- (2) 강행되다 (強行する) ♯昼は飛行機の爆撃を避けて山の中に隠れ、夜は休むことなく行軍を強行したものだ。(낮이면 비행기 폭격을 피해 산속에 숨고 밤이면 휴식 없는 행군이 강행되곤 했다.)
- (3) 갖추다 (備える、整える) ♯出勤準備を整えて待機しろという命令が下った。(출동 준비를 갖추고 대기하라는 명령이 내렸다.)
- (4) 개머리관 (銃床) ♯銃を撃つとき、銃床を肩と頬に密着させずにい

て、怪我をした。(총을 쏠 때 개머리판을 어깨와 볼에 밀착시키지 않았다가는 다쳤다.)

- (5) 결박당하다 (きつく縛られる) ¶ 敵のアジトに縛られたまま監禁されているわが軍を救出するための作戦が、緻密に展開されていた。(적의 아지트에 결박당한 채 감금되어 있는 아군을 구출하기 위한 작전이 치밀하게 전개되고 있었다.)
- (6) 결빙 (水が凍ること、結氷) ¶ 部隊の前に沿って流れていた川が結氷によって、その流れをすっかり止めてしまった。(부대 옆을 끼고 흘러내리던 강이 결빙으로 인해 그 흐름을 완전히 멈추어 버렸다.)
- (7) 결정적¹ (決定的) ¶ その頃、戦況は勝利が決定的だったので、大学生に対する徴兵は暫定的な保留状態にあった。(그 즈음 전세는 승리가 결정적이어서 대학생에 대한 징병은 잠정적인 보류 상태에 있었다.)
- (8) 곱살하다 ([容姿・顔つきが] 優しい、きれいだ、かわいらしい) ¶ 中隊長は26歳の若くて優しい現役中尉だった。(중대장은 26살의 젊고 곱살한 현역 중위였다.)
- (9) 공격 (攻撃) ¶ 敵軍はわが軍の攻撃に負け、日が暮れたころには、みな逃亡した。(적군은 아군의 공격에 패하여 날이 저문 무렵에는 모두 도망갔다.)
- (10) 공격적 (攻撃的) ¶ 司令官は防衛的作戦を攻撃作戦に変更するよう命令した。(사령관은 방어적 작전을 공격적 작전으로 바꾸도록 명령했다.)
- (11) 공교롭다 (折悪い、意外だ) ¶ 泣きっ面に蜂というか、折悪くとか、トクスはその1か月後に軍に入隊した。(설상가상이라고 할지 공교롭다고나 할지, 덕수는 그 일이 있고 한 달만에 군에 입대했다.)
- (12) 공방전 (攻防戦) ¶ 数次にわたる攻防戦で、その高地はとても平べったくなってしまった。(수차에 걸친 공방전으로 그 고지는 아주 납

작하게 되어 버렸다.)

- (13) 공병 (工兵) ¶ 彼は主に装備検閲官として勤務し、兵科も歩兵から工兵にあっさり変えてしまっていた。(그는 주로 장비 검열관으로 근무했으며, 병과도 아예 보병을 공병으로 고쳐 놓았었다.)
- (14) 공사⁵ (空軍士官学校、空士) ¶ 長男もあの方のように空士 [空軍士官学校] に送り、操縦士にしたいです。(큰 애도 그이처럼 공사로 보내 조종사를 만들고 싶어요.)
- (15) 공세 (攻勢) ¶ このような状況では、米軍側でも積極的な攻勢をかけることができなかった。(이런 상황에서는 미군측에서도 적극적인 공세를 취하지 못했다.)
- (16) 공수 (空輸) ¶ 塹壕にうずくまって、からからになった喉の渴きに堪えながら、ヘリコプターの水の空輸を首を長くして待っていた。(매복호에 웅크리고 타들어 오는 갈증을 참으면서 헬리콥터의 물 공수를 목이 빠지도록 기다리고 있었다.)
- (17) 공습 경보 (空襲警報) ¶ 空襲警報が鳴るとすべての仕事を中断し、近くにある防空壕に退避しなければならない。(공습 경보가 울리면 모든 일을 중단하고 가까운 곳에 있는 방공호로 대피해야 한다.)
- (18) 공습 (空襲) ¶ このように何日か空襲が続いてみると、村の人々も今では戦争がかなり実感を伴って感じられるようだった。(이렇게 며칠 공습이 계속되고 나니 마을 사람들도 이제는 전쟁이 꽤 실감나게 느껴지는 듯싶었다.)
- (19) 공습 경보 (空襲警報) ¶ 飛行機と誘導弾の攻撃が切迫したり、または攻撃がある時は、空襲警報を出すことになる。(비행기와 유도탄의 공격이 급박하거나 또는 공격이 있을 때에는 공습 경보를 나리게 된다.)
- (20) 구직 (求職) ¶ 街を歩き回っていた私は、職を求めて歩き回っていた貧しい除隊軍人の彼と偶然出会った。(거리를 돌아다니던 나는 구직을 하러 다니던 가난한 제대 군인인 그와 마주쳤다.)

- (21) 구축되다 (構築される) ¶ 高地の随所に国軍の防衛陣地が構築されていた。(고지의 이곳 저곳에 국군의 방어 진지가 구축되어 있었다.)
- (22) 구축하다 (構築する) ¶ 当時、部隊では大部分の兵力が陣地を構築するために外に出ていた。(당시 부대에선 대부분의 병력이 진지를 구축하기 위해 밖으로 나가 있었다.)
- (23) 구호 (スローガン) ¶ 「戦闘態勢完備」というスローガンが書かれた軍部隊を通り過ぎると、鉄条網が見えた。(‘전투 태세 완비’라는 구호가 적힌 군부대를 지나자 철조망이 보였다.)
- (24) 국군 (国軍、韓国軍) ¶ 長男は国軍に入隊して戦争中に戦死をし、二男は招集を免除されて、急いで結婚した。(큰아들은 국군에 입대하여 전쟁 중에 전사를 했고, 작은아들은 징집이 면제되어 서둘러 장가를 들었다.)
- (25) 국무 총리 (國務総理、首相) ¶ 第2共和国の時は、国軍統帥権が大統領と國務総理のどちらのほうに帰属しているのかはっきりしていなかった。(제2 공화국 때에는 국군 통수권이 대통령과 국무 총리 어느 쪽에 귀속돼 있는지 명확하지가 않았다.)
- (26) 국민되다 (国民の資格を持っている、国民として当然守るべき) ¶ 国民たる者の3大義務の一つである兵役を忌避するということは、あってはならないことである。(국민된 자의 3대 의무의 하나인 병역을 기피한다는 것은 있을 수 없는 일이다.)
- (27) 국방 장관 (国防長官) ¶ 全国戒厳令が下されると、戒厳司令官は国防長官の指揮を受けず、大統領の直接指揮を受けることになる。(전국 계엄이 되면 계엄 사령관은 국방 장관의 지휘를 받지 않고 대통령의 직접 지휘를 받게 된다.)
- (28) 국방 (国防) ¶ 国防は社会的に必ず必要なものであるだけに、企業に代わって政府という巨大な事業体が、その仕事を引き受けたわけである。(국방은 사회적으로 꼭 필요한 것인 만큼 기업을 대신해서 정부라는 거대한 업체가 그 일을 맡고 나선 셈이다.)

- (29) 국방력 (国防力) ¶ 私たちは鉄壁の国防力を育成し、初戦で敵を粉碎しうる臨戦態勢を備えなければなりません。(우리는 철통 같은 국방력을 배양하여 초전에 적을 박살낼 수 있는 임전 태세를 갖춰야 하겠습니다.)
- (30) 국방부 (國防部) ¶ 國防部は休暇中の国軍將兵に、すぐさま所属部隊に帰隊することを命令した。(국방부는 휴가 중인 국군 장병에게 즉시 소속 부대에 귀대할 것을 명령했다.)
- (31) 국지전 (局地戰) ¶ アメリカは今後、アジアの局地戰に地上兵力を二度と投入しないでであろうというニクソン・ドクトリンを發表した。(미국은 앞으로 아시아의 국지전에 지상 병력을 다시는 투입하지 않을 것이라는 닉슨 독트린을 발표했다.)
- (32) 군¹ (軍) ¶ 近くに(陸軍) 3軍司令部があつたので、街はいつも軍人たちでにぎわっていた。(근처에 3군 사령부가 있었으므로 거리에는 항상 군인들이 들끓고 있었다.)
- (33) 군¹ (軍) ¶ 折よく、軍で服務している弟が休暇をもらって出てきた。(마침 군에 복무하는 동생이 휴가를 받아 나왔다.)
- (34) 군¹ (軍) ¶ 政局の不安定が長期化するや、軍の動きが怪しいという情報が入り始めた。(정국의 불안정이 장기화되자 군의 움직임이 수상하다는 첩보가 들어오기 시작했다.)
- (35) 군가 (軍歌) ¶ わが中隊は練兵場の方へ、一齊に軍歌をうたいながら行進しはじめた。(우리 중대는 연병장 쪽으로 일제히 군가를 부르며 행진해가기 시작했다.)
- (36) 군기¹ (軍紀) ¶ 古參兵たちは、最初から軍紀をただそうとするかのように、暖かい歓迎の言葉もなしに、新兵たちにつらく当たった。(고참병들은 처음부터 군기를 잡으려는 듯, 따뜻한 환영의 인사도 없이 신병들을 암하게 대했다.)
- (37) 군기² (軍旗) ¶ 風になびく軍旗のあとを、力強い軍樂に合わせて行進する部隊を思い浮かべてごらんなさい。(바람이 나무기는 군기를

따라 힘찬 군악에 맞춰 행진하는 부대를 떠올려 보시오.)

- (38) 군대 (軍隊) ¶ その方は、私が軍隊にいた時の小隊長だったのだ。(그분은 내가 군대에 있을 때 소대장님이셨지.)
- (39) 군대식 (軍隊式) ¶ 金(キム)さんは暇な時は、いつも軍隊での思い出を話すことを趣味にして生きているが、口ぶりもいつも軍隊式だった。(김 씨는 틈이 날 때마다 군대에서의 추억을 늘어놓는 것을 취미로 사는데 말투도 항상 군대식이었다.)
- (40) 군도² (軍刀) ¶ 隊長が先頭に立ち、軍刀を抜いて喚声とともに高地に向かって駆けて行った。(대장이 선두에 서서 군도를 뽑아 들고 함성과 함께 고지를 향해 달려나갔다.)
- (41) 군력 (軍隊の力量) ¶ 新兵訓練所、士官学校、国防大学院などは、その規模からみても、軍隊の力量に与える影響から見ても、国防力増強において重要な位置を占めている。(신병 훈련소, 사관 학교, 국방대학원 등은 그 규모로 보나, 군력에 주는 영향으로 보나, 국방력 증강에서 중요한 위치를 차지하고 있다.)
- (42) 군령 (軍令、軍の命令) ¶ 軍の命令に反する兵士は、地位の如何にかかわりなく処刑する。(군령을 어기는 병사는 지위를 따지지 않고 처형하겠다.)
- (43) 군림하다 (君臨する) ¶ そう、私は上に君臨してお前たちを苦しめる小隊長ではなく、お前たちとともに苦楽を共にする小隊長になるつもりだ。(그래, 난 위에서 군림해서 너희들을 괴롭히는 소대장이 아니라 너희들과 함께 동고동락하는 소대장이 되리라.)
- (44) 군마 (軍馬) ¶ 川は深かったが、戦場に慣れた軍馬なので、大して苦勞しないので渡っていった。(강물이 깊었지만, 전장에 길들여진 군마라 별로 힘들이지 않고 건너갔다.)
- (45) 군무¹ (軍隊に関する事務、軍務) ¶ 11年間の軍隊生活で、彼は驚くほど軍務に明るい。(11년 동안의 군대 생활로 그는 놀랄 만큼 군무에 밝다.)

- (46) 군문 (軍人の道、軍人の身分、軍門) ¶ 自分は大韓民国の穩健な思想をもった国民として、今は軍人の身分となって、将校となるための教育を受けている者です。(본인은 대한민국의 온건한 사상을 지닌 국민으로서 지금은 군문에 들어가 장교 복무를 위해 교육 중에 있는 사람입니다.)
- (47) 급서하다 ([地位の高い人が] 急に亡くなる、急逝する) ¶ そのころ、李(イ)中將が前線視察の途中、自動車事故で急逝したのである。(그 무렵 이 중장이 전선 시찰 도중 자동차 사고로 급서한 것이다.)
- (48) 급식 (給食) ¶ 醫師と看護兵たちは紀律の下で誠意を尽くしており、給食もあの程度なら十分な方だった。(의사와 간호병들은 규율 속에서 성의를 다하고 있었고, 급식도 그만하면 풍족한 편이었다.)
- (49) 급여하다 (給与する) ¶ 少將は捕虜たちには食糧と被服を与えながらも、收容所を警備する韓国軍には十分でない補給品しか与えなかった。(소장은 포로들에게는 식량과 피복을 급여하면서도 수용소를 경비하는 한국군에게는 충족치 못한 보급품을 지급하였다.)
- (50) 급유 (給油) ¶ 奇襲要員を乗せたヘリコプターは途中で一度着陸し、給油をしたのち東の方に飛んで行った。(기습 요원을 태운 헬리콥터는 도중에 한 번 착륙하여 급유를 한 다음 동쪽으로 비행했다.)
- (51) 기 (旗) ¶ 軍人たちは旗を押し立てて行進していた。(군인들은 기를 앞세우고 행진하고 있었다.)
- (52) 기간 (基幹) ¶ 防衛産業の基幹である機械工業は、技術の蓄積と資本の懷妊期間が長いので、發展が遅いという。(방위 산업의 기간인 기계 공업은 기술 축적과 자본의 회임 기간이 길어 발전이 더디다고 한다.)
- (53) 기거하다 ([ある所で臨時に暮らすこと] 仮住まいする、起居する) ¶ チャンユンは隊長の部屋から少し離れた、狭いがこじんまりとした部屋で住むことになった。(창윤이는 대장의 방에서 조금 떨어진 좁으나 아담한 방에 기거하게 되었다.)

- (54) 기계적¹ (機械的) ¶ 陸地の白兵戦とは異なり、海戦は船舶、火器の操縦を媒介としたものだから機械的であり、したがって近代的だと言えます。(육지의 백병전과는 달리 수전은 선박, 화기의 조종을 매개로 한 것이니까 보다 기계적이고 따라서 근대적이랄 수 있소.)
- (55) 기관총 (機関銃) ¶ 橋の真ん中では、分隊兵力が機関銃を据えて、まばらに散開していた。(다리 가운데는 분대 병력이 기관총을 걸어 놓고 띄엄띄엄 엮드려 있었다.)
- (56) 기관포 (機関砲) ¶ 高性能無線と機関砲を搭載した護送船が見えた。(고성능 무전망과 기관포가 탑재돼 있는 호송선이 보였다.)
- (57) 기관포 (機関砲) ¶ 軍艦から照明弾が発射され、続いて機関砲がダダッと撃たれる音がした。(군함에서 조명탄이 발사되고 곧이어 기관포가 탕탕 터지는 소리가 났다.)
- (58) - 기는커녕 (...どころか、...はおろか) ¶ 訓練中の事故でベトナムに行くどころか、病氣も重なり3か月の期限付き生命を維持していた。(훈련 중의 사고로 월남에 가기는커녕, 병이 겹쳐 석 달의 시한부 목숨을 지키고 있었다.)
- (59) 기다 (這う) ¶ 僕は鉄のヘルメットを脱ぎすてて、垣根の横を這った。(나는 철모를 벗어 던지고 울타리 옆을 기었다.)
- (60) 기도하다² (企てる) ¶ 彼らの中の多くの人々が訓練中に死んだり、障碍者になったりし、ある人々は自殺を図ったりもしたという噂が聞こえた。(그들 중에 많은 사람들이 훈련 중에 죽거나 병신이 되었고, 어떤 사람들은 자살을 기도하기도 했다는 소문이 들렸다.)
- (61) 기동 (機動) ¶ 機動訓練を終えて戻ってみると、父の訃報が届いていた。(기동 훈련을 마치고 돌아와 보니까 부고가 와 있었다.)
- (62) 꼬지 (尾、事物の一番はしっこ) ¶ 輸送機や連絡機が低く尾翼を振りながら、着陸する姿が見えた。(수송기나 연락기들이 나자막하게 꼬지를 흔들며 착륙하는 모습이 보였다.)
- (63) 꽂다 (挿す) ¶ 高地を占領した小隊長が、頂上に旗を立てた。(고지

를 점령한 소대장이 정상에 깃발을 꽂았다.)

- (64) 끈적하다 (ねばねばする) ¶ 銃身を握った左の手のひらに、粘っこい汗がにじみ出た。(총신을 잡은 왼쪽 손바닥에 끈적한 땀이 내뿐었다.)
- (65) 내갈기다 ([銃を] 乱射する、やたら撃ちまくる) ¶ 彼らは住民たちを脅しつけるように、闇に向けて銃を乱射した。(그들은 주민들을 위협할 요령으로 어둠 속에다 총을 대중없이 내갈겼다.)
- (66) 내갈기다 ([銃を] 乱射する、やたら撃ちまくる) ¶ 敵の戦車が撃ちまくる機関銃と手榴弾の反撃を受け、わが軍の肉弾攻撃隊が全滅してしまった。(적 전차에서 내갈기는 기관총과 수류탄의 반격을 받아 아군의 육탄 공격대가 전멸하고 말았다.)
- (67) 내갈기다 ([銃を] 乱射する、やたら撃ちまくる) ¶ 誰かが自分の鉄のヘルメットを蹴飛ばして小銃を乱射していたが、あごをガタガタ震わせながら、虚空に銃口を構えていたのはユ下士だった。(누군가가 자신의 철모를 걷어차며 소총을 내갈기고 있었는데, 턱을 덜덜거리며 허공에다 총구를 치켜든 것은 유 하사였다.)
- (68) 내다¹ (出す、提出する) ¶ サンジュンは学校に休学届を出して、まず徴集志願書を提出してしまったのです。(상준은 학교에 휴학계를 내고 우선 징집 지원서를 내 버린 겁니다.)
- (69) 내다¹ (出す) ¶ わが軍は激戦をくぐって勝利したが、多くの死傷者を出してしまった。(우리 군은 격전을 치르고 승리하였으나, 많은 사상자를 내고 말았다.)
- (70) 내다¹ ([あることを] おこす) ¶ 本当に銃でも握らせば、何かやりかねないようなところがあった。(정말 총이라도 쥐어주면 무슨 일을 낼 것 같은 데가 있었다.)
- (71) 내다¹ (出す) ¶ 今は犠牲を少なくして退却することが目的である。(지금은 희생을 덜 내고 후퇴를 하는 것이 목적이다.)
- (72) 누설되다 ([秘密・機密が] 漏れ出る) ¶ 今度の措置は、敵に情報が

漏れた万一の事態に備えるものである。(이번 조치는 적에게 정보가 누설된 만일의 사태에 대비하는 것이다.)

- (73) 누진 (地位などが立て続けに上昇すること) ♯ 常識に反して昇進を重ね、ついに彼は参謀総長にまで上り詰めた。(상식을 벗어나게 누진을 거듭하여 끝내는 그가 참모총장에까지 올랐다.)
- (74) 눈이 뒤집히다 (理性を失する、正気を失う) ♯ 復讐の念に正気を失した兵士たちが、もぬけの殻になったも同然の村を探し回り、家に火を放った。(복수심에 눈이 뒤집힌 병사들이 빈 동네나 다름없는 부락들을 뒤지고, 집에 불을 질렀다.)
- (75) 단체적² (団体的) ♯ 彼らは普段は商人として、有事の時は兵士としての団体的活動ができるようにした。(그들은 평소에는 상인으로서, 유사시에는 병사로서의 단체적 활동을 할 수 있도록 하였다.)
- (76) 둔중하다 ([音が] 鈍くて重々しい、鈍重だ) ♯ そのとき、「ドーン、ガン」と重々しい大砲の音が山全体を揺り動かした。(그 때 “쿠탕쨍!” 하고 둔중한 대포 소리가 온 산들을 진동시켰다.)
- (77) 둘러쓰다 (頭に巻く、全身を包み隠す) ♯ 私は怪漢のうち、軍用ジャンパーに防寒帽を深くかぶった方を追いかけて行った。(나는 귀한중 군대 잠바에 방한모를 둘러쓴 쪽을 쫓아갔다.)
- (78) 막대하다 (莫大である) ♯ 民兵隊の創設には、教育費、糧穀、俸給、そして戦争物資がとてつもなく多く必要だろう。(민병대의 창설에는 교육비, 양곡, 봉급, 그리고 전쟁 물자가 막대하게 필요할 것이다.)
- (79) 막료 (幕僚) ♯ 司令官は周囲の幕僚たちと、政治的策略を練っていた。(사령관은 주위 막료들과 함께 정치적 책략을 꾸미고 있었다.)
- (80) 막사 (幕舎、軍人が寝起きする建物) ♯ 深夜2時ごろになって、やっと私たちは幕舎に戻り、洗面道具と訓練服を整理して寢床に就いた。(새벽 2시경에야 우리는 막사로 들어가 세면 도구와 훈련복을 정리하고 잠자리에 든다.)
- (81) 막장¹ (鉦山の坑道のなか、坑道の先端) ♯ 除隊したのち3か月間、

鉦山の運搬員として働いていた炭鉦での経験が、大変役立った。(제대를 한 뒤 석 달 동안 막장 운반공으로 일했던 탄광에서의 경험이 좋은 보탬이 되었다.)

- (82) 모계 (はかりごと、謀計) ♯ もどかしいことに、わが軍が敵の謀略に引っかかり、生け捕りにされてしまった。(안타깝게도 아군이 적의 모계에 빠져 사로잡히고 말았다.)
- (83) 모두² (すべて、全部で) ♯ 選抜された兵力は全部で15名だった。(차출된 병력은 모두 십오 명이었다.)
- (84) 모략하다 (謀略を巡らす、はかりごとをする) ♯ 軍部の軍事クーデターの陰謀に彼も加担しているという謀略をめぐる者どもがいるので、そうではないということを予め明らかにしておこうと、長官を訪ねて行ってお会いした。(군부의 군사 쿠데타 음모에 그도 가담되어 있다고 모략하는 자들이 있기에 그렇지 않다는 것을 미리 밝히고자 장관을 찾아뵈었다.)
- (85) 발사 (発射) ♯ 砲弾やミサイルの発射を命じた現代戦の将軍たちに、如何なる責任も問わない。(포탄이나 미사일의 발사를 명한 현대전의 장군들에게 아무도 책임을 묻지 않는다.)
- (86) 발사되다 (発射される) ♯ 金 (キム) 兵長は砲弾が発射された直後、大砲の砲身の反動を全身で感じた。(김 병장은 포탄이 발사되고 난 직후, 대포 포신의 반동을 온몸으로 느꼈다.)
- (87) 발사하다 (発射する) ♯ 正午になるや、彼らは射程距離9キロのロケット砲を発射した。(정각이 되자 그들은 사정 거리 9킬로미터의 로켓포를 발사했다.)
- (88) 발신 (発信) ♯ 切手もない軍事郵便で、某部隊医務中隊の二等兵チ・スピンの発信だった。(우표도 없는 군사 우편이었고 모 부대 의무 중대 이병 지수빈의 발신이었다.)
- (89) 발진하다 (発進する) ♯ 18機の戦闘爆撃機が往復8,600キロのとても遠方のトリポリに向けて発進している。(18대 전폭기가 왕복 8천 6

백 킬리미터의 멀고 먼 트리폴리를 향해 발진하고 있다.)

- (90) 발진하다 (発進する) ♪ 英国内の米軍基地で、アメリカ空軍の爆撃機が出撃のために発進しようとしている。(영국 내 미군 기지에서 미 공군 폭격기가 출격을 위해 발진하려 한다.)
- (91) 발진하다 (発進する) ♪ いったん飛行機が発進したあとは、飛行に必要なことは金(キム)中領[中佐]が処理した。(일단 비행기가 발진한 다음엔, 비행에 필요한 일들은 김 중령이 처리했다.)
- (92) 변심하다 (変心する) ♪ 彼は入隊して苦勞しているが、恋人はそのあいだ待ちきれず、心変わりして去った。(그는 군대에 들어가 고생을 하고 있는데, 애인은 그 동안을 못 참아서 변심해서 떠났다.)
- (93) 빛 (輝き) ♪ そういえば、彼はいつも色あせたズボンと染まった軍用ジャンパーばかり着ていた。(그리고 보니 그는 언제나 빛 바랜 바지와 물들인 군용 점퍼만을 입고 다녔다.)
- (94) 빠지다³ ([ある状態に] 陥る) ♪ 彼は染まった軍用ジャンパーと白っぽく擦り切れた古いジーンズを履いていた。(그는 물들인 군용 점퍼와 희끄무레하게 닳아 빠진 낡은 청바지를 입고 있었다.)
- (95) 반짝이다 (輝く) ♪ 黄色いユニフォーム、陽光に輝く肩章。あなたは誇らしい大韓民国の少尉だったんだなあ。(누런 유니폼, 햇빛에 반짝이는 어깨의 표지. 그대는 자랑스런 대한민국의 소위였구나!)
- (96) 살상하다 (殺傷する) ♪ 彼らは無垢な農民と婦女子を殺傷する蛮行を働いた。(그들은 무고한 농민과 아녀자들을 살상하는 만행을 저질렀다.)
- (97) 삼군 (三軍) ♪ 国防長官と三軍参謀総長が大統領にお会いすると訪ねてきた。(국방 장관과 삼군 참모 총장이 대통령을 뵈겠다고 찾아왔다.)
- (98) 삼엄하다 (ものものしい、厳しい) ♪ 軍人たちが銃器まで手にして、厳しく検問をしていた。(군인들이 총기까지 들고 삼엄하게 검문하고 있었다.)

- (99) 상급 (上級) ¶ 上級の部隊で何らかの検閲があるというときは、部隊の将兵たちは恐ろしくて震えていた。(상급 부대에서 무슨 검열이 있다 할 때에는 부대 장병들이 무서워 떨었다.)
- (100) 상등병 (上等兵) ¶ 来週には上等兵になる金 (きむ) 一等兵は、朴 (パク) 二等兵に自慢をしている。(다음 주면 상등병이 되는 김일병은 박 이병에게 자랑을 하고 있다.)
- (101) 선진 (先遣隊、先陣) ¶ 彼らは隊を分け、先遣隊は九月山を越えてサンチェを急襲し、後続部隊はソンファからスレ峠を越えて、タブ峠を襲撃した。(그들은 대를 나누어 선진은 구월산을 넘어 산채를 급습하고 후진은 송화로부터 수레고개를 넘어서 탐 고개를 덮쳤다.)
- (102) 선천성 (先天性) ¶ 大部分の病氣は先天性疾患や体質的な素因を除けば、ほとんどが自分の体を粗末に扱ったことから発症する。(대부분의 병은 선천성 질환이나 체질적인 소인을 제외하면, 거의가 자기 몸을 함부로 굴린 데서 온다.)
- (103) 선포 (宣布) ¶ 戒嚴令의 宣布によって、国会と内閣が解体された。(계엄령의 선포에 따라 국회와 내각이 해체되었다.)
- (104) 선포 (宣布) ¶ 全国に非常戒嚴令が宣布された。(전국에 비상 계엄이 선포됐다.)
- (105) 선포되다 (宣布される) ¶ 住民のみなさん、この地域は作戦区域に宣布されました。(주민 여러분, 이 지역은 작전 구역으로 선포되었습니다.)
- (106) 선포하다 (宣布する) ¶ その日は政府が釜山地域に限って非常戒嚴令を宣布した日だった。(그 날은 정부가 부산 지역에 한해서 비상 계엄령을 선포한 날이었다. ²³⁾

23 朴正熙政權末期の1979年10月16日、釜山大学学生4,000人の校内デモを皮切りに、反政府デモが釜山市内に拡大し、「維新体制撤廢、独裁打倒、野党彈圧中止」をスローガンとするデモが高揚した。これに対し、同年10月18日午前零時を期して、釜山直轄市全域に宣布された非常戒嚴令のこと。

- (107) 선포하다 (宣布する) ¶ この時期に戒嚴令をやたらに宣布した大統領が退陣すれば、なにか事態を收拾するすべでもあるというのですか。(이 시기에 계엄을 막 선포한 대통령이 물러나면 무슨 재간으로 사태를 수습하겠다는 거요.)
- (108) 선회 (旋回) ¶ 編隊は急降下、急上昇、旋回飛行を繰り返しながら、爆弾を全部ばらまいた。(편대는 급강하, 급상승, 선회 비행을 되풀이하며, 폭탄을 모조리 내리퍼부었다.)
- (109) 선회하다 (旋回する) ¶ 警察へりは事故地域の上を旋回しながら、着陸する場所を探していた。(경찰 헬기는 사고 지역 위를 선회하면서 착륙 자리를 찾고 있었다.)
- (110) 선회하다 (旋回する) ¶ 偵察機が獲物を狙うトビのように、高地と溪谷の上を旋回していた。(정찰기가 먹이를 노리는 솔개처럼 고지와 계곡 위를 선회하고 있었다.)
- (111) 설복하다 (説き伏せる、説得する) ¶ 私があれほど懇切に憲兵たちを説得したのは、決して私たちが川を渡るための方便だけではなかった。(내가 그토록 간절히 헌병들을 설복한 것은 결코 우리가 강을 건너기 위한 방편만은 아니었다.)
- (112) 성인식 (成人式) ¶ おそらく、大韓民国の若者たちに最も普遍的な成人式があるとすれば、それは軍への入隊だろう。(아마도 대한민국 젊은이들에게 가장 보편적인 성인식이 있다면 그것은 군 입대일 것이다.)
- (113) 송골송골 ([小さな汗のしずくや鳥肌などが] ぷつぷつ) ¶ 大尉は額の上に冷や汗がぷつぷつ滲んでいたのに、悪寒で布団をかぶって震え続けていた。(대위는 이마 위에 식은땀이 송골송골 맺혀 있었는데도 오한으로 이불을 뒤집어쓰고 끊임없이 떨고 있었다.)
- (114) 송송 ([小さな穴がたくさん開いて] ぽつぽつ) ¶ どのガラス窓も弾痕が蜂の巣のように穴がぽつぽつ開いていた。(유리창마다 탄흔이 벌집같이 송송 뚫려 있었다.)

- (115) 송신하다 (送信する) ¶ 通信兵が無電機に寄りかかって送信するあいだ、黃 (ファン) は米軍の操縦士からビールを貰って飲んだ。(통신병이 무전기에다 대고 송신하는 동안, 황은 미군 조종사에게서 맥주를 얻어 마셨다.)
- (116) 송장¹ (しかばね, 死体) ¶ 壊れた家財道具と、死んで倒れた死体が道端に散らばっていた。(부서진 세간과 죽어 넘어진 송장들이 길가에 널려 있었다.)
- (117) 송환되다 (送還される) ¶ 戦争が終息した直後、戦争捕虜たちが本国に送還されなければならないということは、国際的に約束されている。(전쟁이 종식된 직후 전쟁 포로들이 본국으로 송환되어야 한다는 것은 국제적으로 약속되어 있다.)
- (118) 송환하다 (送還する) ¶ 1949年のジュネーブ条約は、戦争が終結した直後、戦争捕虜を本国に送還しなければならないと規定したことがあった。(1949년 제네바 협약은 전쟁이 종식된 직후 전쟁 포로들을 본국으로 송환해야 한다고 규정한 바 있었다.)
- (119) 쇠갈고리 (手鉤) ¶ 彼は軍に入って、片腕を失った代わりに、手鉤を付けて出てきた。(그는 군에 나가 한 쪽 팔을 잃고 대신 쇠갈고리를 달고 나왔다.)
- (120) 수고롭다 (大変だ, 骨が折れる) ¶ ソギョンが任 (イム) 大領 [大佐] と結婚する時、誰よりも喜び、努めて骨の折れることを引き受けてくれた人がハン・サン Chol だった。(서경이 임 대령과 결혼할 때 누구보다도 기뻐하고 애써 수고로운 일을 도맡아 준 사람이 한상철이었다.)
- (121) 수기² (手旗) ¶ 2隻の軍艦の間で休みなく手旗信号が交わされ、双方の水兵たちが互いに歓声を上げながら、力一杯に手を振った。(두 군함 사이에 쉴새없이 수기 신호가 오고가고 양쪽 수병들이 서로 함성을 지르며 손을 흔들어 댔다.)
- (122) 수뇌부 (首脳部) ¶ 反乱軍の首脳部がこのように隊列を離脱した状

態で、兵士たちはそれも知らないまま命令を待って立っていた。(반란군의 수뇌부가 이처럼 대열을 떠난 상태에서 병사들은 그것도 모르는 채 명령을 기다리며 서 있었다.)

(123) 시범하다 (模範を示す) ¶ 射撃の模範を示すため、拳銃を抜いて手に持っていた任(임) 중尉가目の前に近づいてきた。(사격을 시범하기 위해 권총을 꺼내 들었던 임 중위가 눈앞으로 다가왔다.)

(124) 시원히 (すっきりと、さっぱりと、はばかることなく) ¶ 大砲一発思い切り撃つこともなく、戦闘で敗けるなんて。(대포 한 방 시원히 쏘아 보지 못하고 전투에서 졌다니.)

(125) 시절 (ころ、時期) ¶ ほとんどは古参になると、自分たちはまるで一兵卒の時期も経ず、すぐに古参になったかのように振る舞う。(대부분 고참이 되고 나면 자신들은 마치 졸병 시절 없이 곧바로 고참이 된 것처럼 행동한다.)

(126) 식량 (食糧) ¶ 敵軍に包囲されたわが軍は、食糧が絶対的に足りなかった。(적군에 포위된 아군은 식량이 절대적으로 부족하였다.)

(127) 아² ([感嘆詞] あ、ああ) ¶ あ、そうです。娘が一人いますよ。大隊長は一度奥様をなくされたんです。(아, 그래요 딸이 하나 있지요. 대대장이 한 번 상처했거든요.)

(128) 아로새기다 (肝に銘じる、(胸に) 刻みこむ) ¶ 金(キム) 兵長は、李(イ) 少尉の言葉を胸に刻み込んだ。(김 병장은 이 소위의 말을 가슴에 깊게 아로새겼다.)

(129) 약하다 (弱い) ¶ 朴(パク) 中佐は怒りっぽいけど、喧嘩は弱いんだ。(박 중사는 성질만 급했지 주먹은 약하거든.)

(130) 양⁶ (…するつもりで) ¶ 解放直後、うろろうさまよっていて、飯でも食べさせてもらうつもりで国防警備隊に入った。(해방 직후에 어정어정하고 돌아다니다가 밥이나 얻어먹을 양으로 국방 경비대에 들어갔다.)

(131) 양도하다 (譲り渡す) ¶ 彼は1着の作業服だけ残して、残りの作業

- 服、軍靴などは崔(チェ)兵長に譲り渡した。(그는 작업복 한 벌만 남기고 나머지 작업복, 군화들은 최 병장에게 양도했다.)
- (132) 양동작전(陽動作戰) ¶ 大々的に展開された肅軍運動は、実は軍事クーデターを成就させるための一種の陽動作戰だったのである。(대대적으로 벌어진 정군 운동은 실은 군사 쿠데타를 성사시키기 위한 일종의 양동작전이었던 것이다.)
- (133) 엇친데 덮치다(泣きっ面に蜂) ¶ 泣きっ面に蜂さながら、その年の春、ただ一人の息子の奴まで軍隊に行ってしまった。(엇친 데 덮친 격으로 그 해 봄 하나밖에 없는 아들놈마저 군대에 가고 말았다.)
- (134) 역병(疫病) ¶ 戦争をやっている時に疫病と洪水が重なると、地上は一瞬にして地獄となる。(전쟁을 치르는 중에 역병과 홍수가 겹치게 되면 지상은 삼시간에 지옥이 된다.)
- (135) 역연하다(歴然としている、ありありとしている) ¶ 青白い先生の顔には、彼がいつも銃声に驚いているかのような気配がありありとうかがわれた。(창백한 선생의 얼굴에는 그가 언제나 총소리에 놀라고 있다는 듯한 기색이 역연했다.)
- (136) 역전³(歴戦) ¶ 金(キム)氏だけが前線の指揮官経験がなだけで、大半が何百回も死線を越えた歴戦の勇士たちだった。(김 씨만이 일선 지휘관 경험이 없을 뿐, 태반이 사선을 넘어도 골백번 넘은 역전의 용사들이었다.)
- (137) 역하다¹(逆らう) ¶ チェソクの行為は上司の命令に逆らうものなので、更に問題となった。(재석의 행위는 상사의 명령에 역하는 것이어서 더욱 문제가 되었다.)
- (138) 왁자지껄하다([何人がが集まって]가야가야話す、騒ぎ立てる) ¶ 彼が本部に入ってみると、憲兵たちがガヤガヤと話していた。(그가 본부로 들어서 보니 헌병들이 왁자지껄하고 있었다.)
- (139) 완비(完備) ¶ このような冷戦体制のもとでは、独自のな戦争遂行能力の完備が絶対に必要である。(이런 냉전 체제하에서는 독자적인

전쟁 수행 능력의 완비가 절대적으로 필요하다.)

- (140) 완비하다 (完備する、完璧に備える) ♯ 私たちは作戦体制を完備し、上部の命令を待っていた。(우리는 작전 태세를 완비하고 상부의 명령을 기다리고 있었다.)
- (141) 위협적 (威嚇的) ♯ その偵察機は威嚇的な音を立てて、低空を長い間ぶんぶん飛び回ってから、悠然と消えた。(그 정찰기는 위협적인 소리를 내며 낮게 떠서 오래 빙빙 돌다가 유유히 사라졌다.)
- (142) 유격 (遊撃) ♯ 軍隊にいるとき、毎年一回ずつ遊撃訓練を受けた。(군대에 있을 때 해마다 한 차례씩 유격 훈련을 받았다.)
- (143) 이간시키다 (離間させる) ♯ ソン・インギュは、彼が自分と巡察将校を離間させようと、こんな話をしているのではないかと思った。(송 인규는 그가 자기와 순찰 장교를 이간시키려고 이런 말을 하는 것이 아닌가 생각했다.)
- (144) 이끌다 (率いる、導く) ♯ 召集を避けるため、東北の方に家族を率いて逃亡するものも多かった。(징집을 피하기 위해 동북방으로 식구들을 이끌고 도망을 가는 자도 많았다.)
- (145) 일제 (一斉) ♯ 一斉点検を実施するという話に、私たちはあたふたと内務班の掃除に取り掛かった。(일제 점검을 실시한다는 말에 우리는 부랴부랴 내무반 청소애 들어갔다.)
- (146) 일직 (日直) ♯ 私は軍にいる時、先輩の日直を代りにやっていて、嫌な経験をしたことがあったんです。(저는 군에 있을 때 선배 일직을 대신 하다가 껏은 일을 치른 적이 있었지요.)
- (147) 일테면 (たとえば) ♯ 軽い罪質、たとえば通行禁止違反のような形式的な罪は、その場で釈放されるでしょう。(가벼운 죄질, 일테면 통금 위반 같은 의례적인 죄는 즉석에서 풀려나게 될 것이다.)
- (148) 일평생 (一生涯) ♯ 部下の心情を理解できない上官は、一生涯本当の尊敬を受けられないものである。(부하의 심정을 이해 못하는 상관은 일평생 참다운 존경을 못 받는 법이다.)

- (149) 일환 (一環) ¶ 그러한 임무의 일환으로
그런 임무의 일환으로, 部隊付き의 牧師には、
また兵士を善導する任務が与えられていた。(그런 임무의 일환으로
군복에게는 또한 사병을 선도하는 임무가 주어져 있었다.)
- (150) 일환 (一環) ¶ わが中隊ではセマウル事業の一環として、遊んでい
る土地にスイカを育てた。(우리 중대에서는 새마을 사업의 일환으
로 남아 돌아가는 땅에 수박을 가꾸었습니다.)
- (151) 임관 (任官) ¶ 今や、遊撃訓練さえ終えることになれば任官だったので、学内での行動もある程度自由さを感じることができた。(이제
유격 훈련만 마치게 되면 임관이었기 때문에 학교 내에서의 행동
도 어느 정도 자유로움을 느낄 수가 있었다.)
- (152) 임관하다 (任官する) ¶ 彼は空軍士官学校を卒業して任官したあと、
空軍の要職をあまねく経て、総司令官に昇進した。(그는 공군 사관
학교를 졸업하고 임관한 다음 공군의 요직을 두루 거쳐 총사령관
에 올랐다.)
- (153) 임관하다 (任官する) ¶ 彼は士官学校を卒業して少尉として任官し、
前方哨所で初めての勤務に就くことになったのである。(그는 사관
학교를 마치고 소위로 임관하여 전방 초소에서 첫 근무를 하게 되
었던 것이다.)
- (154) 임관하다 (任官する) ¶ 明日午後5時、このたび任官した学軍団
(ROTC) の少尉たちが、各自の勤務地に出発するそうだ。(내일 오
후 5시, 이번에 임관한 학군단 소위들이 각자의 근무지로 떠난다
고 한다.)
- (155) 잡역 (雜役) ¶ 彼は海軍に配属され、軍艦の船底でエンジンを清掃
する雑役をまかされた。(그는 해군에 배속되어 군함의 밑바닥에서
엔진을 청소하는 잡역을 맡았다.)
- (156) 잡히다¹ (捕まる) ¶ デマなのかも知れないが、隊長が捕まったとい
う噂を耳にする。(듣소문인지는 모르지만, 대장이 잡혔다는 소문이
들립니다.)

- (157) 장교 (將校) ¶ 部隊に責任を持ちうる將校が一人もいないとでもい
うのか。(부대를 책임질 만한 장교가 한 사람도 없단 말이야!)
- (158) 장교단 (將校団) ¶ 一つの体系化された將校団を創出するため、軍
事教育制度のピラミッド式体系が樹立された。(하나의 체계화된 장
교단을 만들기 위해 군사 교육 제도의 피라미드식 체계가 수립되
었다.)
- (159) 장기전 (長期戰) ¶ 短期間のうちに敵の侵略を阻止できないように
なると、長期戦に移行する。(단시일 안에 적의 침략을 저지할 수 없
게 되면, 장기전으로 들어간다.)
- (160) 장기전 (長期戰) ¶ 梅雨時が近づけば、戦いは長期戦に突入するだ
ろうし、軍糧米も足りないだろう。(장마철이 다가오면 싸움은 장기
전으로 돌인한 것이고²⁴, 군량미 또한 부족할 것입니다.)
- (161) 전초 (前哨、前哨基地、バンカー) ¶ 前哨基地で気が付かないうち
に、後方では一大攻防戦が繰り広げられていた。(전초에서 알지도
못하는 사이에 후방에서는 일대 공방전이 벌어지고 있었다.)
- (162) 진출되다 (転出する) ¶ 彼は前方の部隊に転出した。(그는 전방부
대로 진출되었다.)
- (163) 진출되다 (転出する) ¶ 私が後方に転出した時、同僚の將校たちは
みな、良かったと言わずつ言ってくれた。(내가 후방으로 진출되었
을 때 동료 장교들은 모두들 잘 되었다고 한 마디씩 해 주었다.)
- (164) 전투 (戦闘) ¶ チョンスが戦闘で敵に向かって実弾射撃を試みる
のは、そのときが初めてだった。(정수가 전투에서 적을 향해 실탄
사격을 해 보는 것은 그 때가 처음이었다.)
- (165) 전투기 (戦闘機) ¶ 彼らはけたたましい音を立てながら飛来する2
機の新型戦闘機を発見した。(그들은 요란한 소리를 내며 날아오는
두 대의 신형 전투기를 발견했다.)

24 돌입할 것이고의誤植だと思われる。

- (166) 전투력 (戰鬪力) ¶ 軍人にとって、補給品は戰鬪力につながる重要な物品である。(군인에게 있어 보급품은 전투력과 연결되는 중요한 물품이다.)
- (167) 전투모 (戰鬪帽) ¶ 彼はヘルメットをかぶり、黄色い軍服に革のブーツを履いている。(그는 전투모를 쓰고 누런 군복에 가죽 장화를 신고 있다.)
- (168) 전투복 (戰鬪服) ¶ 校門の外にはカーキ色の戰鬪服姿の軍人たちが集まっていた。(교문 밖에는 초록색 전투복 차림의 군인들이 모여 있었다.)
- (169) 전투복 (戰鬪服) ¶ 彼らは同じ国防色の戰鬪服を着ていた。(그들은 동일한 국방색 전투복을 입고 있었다.)
- (170) 전투적¹ (戰鬪的) ¶ 軍人出身らしく、彼の説明は戰鬪的な用語に満ちていた。(군인 출신답게 그의 설명은 전투적인 용어로 가득했다.)
- (171) 전투적² (戰鬪的) ¶ 戦争が頻繁な社会では、男たちの戰鬪的役割が強調される。(전쟁이 빈번한 사회에서는 남자들의 전투적 역할이 강조된다.)
- (172) 전투하다 (戰鬪を行う、戦う) ¶ ここは山の地形が戰鬪を行うのに良いうえに、村人たちの後方支援で軍糧や人員を得ることができそうだった。(이 곳은 산세가 전투하기에 좋은 데다가 부락민들의 후원으로 군량이나 인력의 동원을 얻을 수 있을 것이었다.)
- (173) 전투하다 (戰鬪を行う、戦う) ¶ 海軍の艦艇といえば、戰鬪を行う船とばかり思いがちだが、物資や人員を輸送する船の方が多い。(해군 함정이라고 하면 전투하는 배로만 생각하기 쉬우나 물자나 인원을 수송하는 배들이 더 많다.)
- (174) 전 (파되다 (傳播する、伝わる) ¶ このような噂が陰で伝わる中、私たちの部隊には危機感と切迫感が漂っていた。(이러한 소문이 은밀히 전파되는 가운데 우리 부대에는 위기감과 절박함이 감돌고

있었다.)

- (175) 전화질 ([特に用事にもないのに、しばしば] 電話をかけること) ¶
そのときサンジョは除隊を目前にした古参兵だったので、手持ち無沙汰を慰めようと、3日にあげず電話をかけていた。(그 때 상조는 제대를 눈앞에 둔 고참병이었으므로 무료를 달래느라고 사흘이 멀다 하고 전화질이였다.)
- (176) 전후기 (前後期) ¶ 軍政下の教育課程は前期と後期に分けられる。
(군정하의 교육 과정은 전후기로 나뉘어질 수 있다.)
- (177) 전후좌우 (前後左右) ¶ 上官の命令ならば、後先も考えないで何が何でも服従する者が非常に多い。(상관의 명령이면 전후좌우도 생각하지 않고 무조건 복종하는 자들이 꽤 많다.)
- (178) 조명탄 (照明弾) ¶ 照明弾の光の下、さまざまな格好で死んで倒れた百余名の姿がくっきりと現れた。(조명탄 불빛 아래 각양 각색으로 죽어 넘어진 백여 명의 모습들이 숨김없이 드러났다.)
- (179) 조세 (租税) ¶ 国防費は毎年増え、国民の租税負担も重くなった。
(국방비는 해마다 늘었고, 국민들의 조세 부담도 커졌다.)
- (180) 중무장 (重武装) ¶ 歩哨たちは防寒服、防寒帽、防寒靴で重武装をしていたが、こんな寒波を防ぐことなんか到底できなかった。(초병들은 방한복, 방한모, 방한화로 중무장을 했지만 이런 강추위를 막아내기에는 어렵도 없었다.)
- (181) 중무장 (重武装) ¶ クーデター勢力は重武装したタンクで政党の党本部と国会を占拠した。(쿠데타 세력은 중무장을 한 탱크로 정당 당사와 국회를 점거했다.)
- (182) 중사 ([かつての軍曹に相当する階級] 中士) ¶ 一階級特進して、今や中士 [軍曹] となった故人の略歴紹介が続いた。(일 계급 특진해서 이전 중사가 된 고인의 약력 보고가 이어졌다.)
- (183) 중상 (重傷) ¶ 当時、彼は市街戦に参加していて重傷を負い、自分の家の前で戦死していたのである。(당시 그는 시가전에 참가하였다

가 중상을 입고 자기 집 앞에서 전사하였던 것이다.)

- (184) 중위 (中尉) ¶ 後ろから中尉が止まれと叫びましたが、私は歩き続けました。(뒤에서 중위가 정지하라고 외쳤지만 나는 그냥 걸었습니다.)
- (185) 중위 (中尉) ¶ 私、中尉に昇進しました。(저 중위로 진급했습니다.)
- (186) 중장 (中將) ¶ その当時の階級章は、現在の国軍の階級のように、少将は星二つ、中將は星三つ、大將は星三つを肩に付けていた。(그 당시의 계급장은 현재의 국군 계급과 같이 소장이 별 둘, 중장이 셋, 대장이 넷을 어깨에 달았다.)
- (187) 집어던지다 (やめてしまう) ¶ 敵軍はこの何日かの間、全面攻撃はすっかりやめ、偵察機だけ飛ばしてきている。(적군은 요 며칠 사이 전면 공격은 아예 집어던지고 정찰기만 날려 보내고 있다.)
- (188) 집중 (集中) ¶ 彼は集中射撃を受けて、釘付けになったまま伏せていた。(그는 집중 사격을 받아 꼼짝 못하고 엎드려 있었다.)
- (189) 집합 (集合) ¶ 内務班長は内務班員たちに集合を命じた。(내무반장은 내무반원들에게 집합을 명했다.)
- (200) 집합 (集合) ¶ 集合が終わると、すぐに中隊員たちは一斉に軍歌を歌いながら行進しはじめた。(집합이 끝나자 곧 중대원들은 일제히 군가를 부르며 행진하기 시작했다.)
- (201) 집합시키다 (集合させる) ¶ 少尉が小隊員全員を練兵場に集結させ、簡素な歡送式を開いてやった。(유 소위가 소대원 전원을 연병장에 집합시켜 간소한 환송식을 마련해 주었다.)
- (202) 잡히다¹ ([方向・航路などが] 定められる、決められる、定まる、決まる) ¶ 進軍の方向が北方に決まると、彼らは緊張し始めた。(진군 방향이 북쪽으로 잡히자, 그들은 긴장하기 시작했다.)
- (203) 짓이기다 ([非常に強く] 踏みつける) ¶ 訓練助教は私がひざまずいた膝を、靴をはいた足で踏みつけた。(훈련 조교는 내 꿇어앉은 무

를을 구똥발로 짓이겼다.)

- (204) 측은 (不憫、いたましさ) ¶ チョン一等兵の顔を眺める母の、涙がにじんだ目を見ると、胸の底から込み上げるいたたましい思いを抑えることができなかった。(정 일병의 얼굴을 건너보는 어머니의 눈물 어린 눈을 보고는 가슴 밑바닥에서 솟아오르는 측은의 정을 가누지 못했다.)
- (205) 치다² ([無電を] 打つ) ¶ 小隊長は本部に無電を打って、作戦状況を報告した。(소대장은 본부에 무전을 쳐서 작전 상황을 보고했다.)
- (206) 편대 (編隊) ¶ 突然、爆撃機の編隊が南方の空に現れた。(돌연 폭격기의 편대가 남쪽 하늘에 나타났다.)
- (207) 편법 (法を悪用して自らを利する方法) ¶ 高位層の子弟たちは、法を悪用し策を弄して軍隊に行かなかったことが明らかになり、多くの市民の怒りを買っている。(고위층 자제들이 편법으로 군대를 가지 않은 것으로 밝혀져 많은 시민들의 분노를 사고 있다.)
- (208) 편성하다 (編成する) ¶ わが軍は三つの組で部隊を編成し、夜間を利用して敵掃討作戦に出た。(아군은 삼 개 조로 부대를 편성하고 야간을 이용하여 적 소탕 작전에 나섰다.)
- (209) 편제 (編制) ¶ 一個小隊は3個の分隊と火器部隊の編制となっている。(일 개 소대는 3 개의 분대와 화기 분대의 편제로 되어 있다.)
- (210) 학살 (虐殺) ¶ 私は残酷な虐殺の現場を見つめながら、人間に対する期待を捨てた。(난 참혹한 학살의 현장을 지켜보면서 인간에 대한 기대를 버렸다.)
- (211) 혐오하다 (嫌悪する、憎み嫌う) ¶ 彼はこの戦争を嫌悪している。(그는 이 전쟁을 혐오한다.)
- (212) 협정 (協定) ¶ 捕虜収容所に後送され、ジュネーブ協定の規約通り応分の待遇を受けることになるかと安心させ、彼にたばこを勧めた。(포로 수용소에 후송되어 제네바 협정의 규약대로 응분의 대우를 받

- 게 된다고 안심시키고 그에게 담배를 권했다.)
- (213) 형³ ([姓や名に付け、友だちやよく似た年の者同士が相手を高めて] …さん) ¶ 金さん、兵士たちの士気をちょっと高めてやる必要があるようです。(김 형, 병사들의 사기를 좀 복돋워 줘야 할 것 같소.)
- (214) 형⁴ (かたち) ¶ 漢江の橋に至ると、軍用トラックが漢江の橋のど真ん中に八の字の形に並んだ。(한강 다리에 이르자 군용 트럭들이 한강 다리 한복판에 여덟 팔자 형으로 늘어 섰다.)
- (215) 형구 ([処刑や拷問に使う道具] 刑具) ¶ 倉庫に使えそうな武器は少なかったが、こん棒から斧に至るまで刑具は種類も多く、よく保管されていた。(창고에 쓸 만한 무기들은 드물었어도, 몽둥이에서 나무칼에 이르기까지, 형구들은 가지도 많았고 잘 간수되어 있었다.)
- (216) 형설 ([苦勞しながら、粘り強くする勉強] 螢雪) ¶ 4年間の螢雪の功を積んだ卒業生たちは、輝かしい少尉の階級章を誇らしげに肩に付けた。(4년간 형설의 공을 닦은 졸업 새도들은 빛나는 소위 계급장을 자랑스럽게 어깨에 달았다.)
- (217) 휘갈기다 (乱射する) ¶ 脱營兵が乱射した銃で、何人かの村人が負傷した。(탈영병이 휘갈긴 총에 마을 사람 여럿이 부상을 입었다.)
- (218) 흡사하다 (よく似ている) ¶ 彼の声は、まるで憲兵や警察官の声のように聞こえた。(그의 목소리는 헌병이나 경찰관의 목소리와 흡사하게 들렸다.)
- (219) 뜸하다 (まれだ、しばらく途絶える) ¶ 何日間か途絶えていた空襲が、また始まった。(며칠 동안 뜸하였던 공습이 다시 시작되었다.)
- (220) 발언권 (発言権) ¶ 我々が今度の戦争でなしたことがないため、今後、国際会議で発言権が弱いだろう。(우리가 이번 전쟁에 한 일이 없기 때문에 장래에 국제 회의에서 발언권이 약할 것이다.)
- (221) 와중 (渦中) ¶ 戦亂の渦中で、彼は財宝を奪って急に金持ちになった。(전란의 와중에 그는 보물을 훔쳐 내어 갑자기 부자가 되었다.)

(22) 유공자 (功勞者) ¶ 報勲病院は国家功勞者の治療を受け持つ機関である。(보훈 병원은 국가 유공자의 치료를 맡은 기관이다.)

(23) 중소도시 (中小都市) ¶ 政府は地方の中小都市と農漁村の遅れた地域經濟を活性化するために、対策の準備に長い間腐心してきた。(정부는 지방 중소 도시와 농어촌들의 낙후 지역 경제를 활성화하기 위해 대책 마련에 오랫동안 고심해 왔다.)

15. 經濟関連の用例 (用例数：40)

經濟関連の用例は、当時の韓国經濟の狀況を反映して、外国農産物輸入の全面開放 (5、33)、外国資本の自由參入問題 (12、35)、國際収支の赤字 (21)、外貨切り上げ・ドル為替レートの急落 (12、24)などを内容とするものがみられる。經濟は比較的短期間に變化を繰り返すものなので、辭典編纂当時の現狀を反映した用例も、すぐに古いものになりがちである。

1980年代の韓国民主化闘争の時代、一人当たり国民総生産 (GNP) が3,000ドルを超えれば、全国民レベルの不満が相当に解消され、反政府デモも減少するだろうと、しばしばマスコミが報道していた。「物価が上がり、安定が崩れる時、国民総生産3千ドル時代は見かけ倒しのものにすぎず、貧富の格差はさらにひどくなるかも知れない。」(31)という用例は、そうした時代を反映したものだが、この指摘のように、その後も貧富格差問題はますます深刻となっている。国民一人当たり国民総生産は1970年代後半期に1,000ドルを越え、1983年には2,020ドル、1992年には7,183ドルとなったが、まさに国民一人当たり国民総生産3,000ドル水準を超えた時代に民主化闘争が闘われていた。なお、今では2万ドルを越えている。

〈用例〉

(1) 강세 ([価値や機運が高まること] 強勢、上がり気味、強含み) ¶ 円高で対日輸出が大変有利になった。(엔화 강세로 대일 수출이 크게 유리해졌다.)

(2) 개도국 (開發途上國) ¶ 先進国はともすればダンピング提訴を行い、

新興工業国や開発途上国の輸入を規制する手段として活用してきた。(선진국들은 특하면 덤핑 제소를 해서 신흥 공업 국가들이나 개도국들의 수입을 규제하는 수단으로 활용해 왔다.)

- (3) 개발비 (開發費) ¶ 開發費もかけないで、外国から持ってきた図面と部品だけで組立てて売れば、技術が発達しない。(개발비도 들이지 않고 외국에서 가져온 도면과 부품으로만 조립을 해서 팔면 기술이 발달되지 않는다.)
- (4) 개발하다 (開發する) ¶ 河をせき止めて水源地を開發し、山を開墾して農地を広げることは、政権の次元ではなく、国家的次元で推進されなければならないだろう。(강을 막아 수자원을 개발하고 산을 개간해서 농토를 넓히는 일은 정권의 차원에서가 아니라 국가적 차원에서 추진돼야 할 것이다.)
- (5) 개방 (開放) ¶ 外国農産物輸入の全面的開放で、農民の憂いが深まった。외국 농산물의 수입 전면 개방으로 농민들의 시름이 깊어졌다.)
- (6) 개선³ (改選) ¶ 今年、市中銀行のうち、朝興、商業、韓一銀行は1名の役員改選もなく、第一銀行も退任監事のポストを埋める小幅の人事に止まった。(올해 시중 은행 중 조흥, 상업, 한일 은행은 1명의 임원 개선도 없었고 제일 은행도 퇴임 감사 자리를 메우는 소폭 인사에 그쳤다.)
- (7) 개설 (開設) ¶ 中国は貿易事務所開設などの関係拡大の意志を伝えた。(중국은 무역 사무소 개설 등의 관계 확대 의사를 전달했다.)
- (8) 견고히 (堅固である) ¶ 韓国經濟が持続的な発展の基盤を堅固にしようと思えば、まず私たちにない資源を恒久的に確保しなければならない。(한국 경제가 지속적인 발전의 기틀을 견고히 하려면 우선 우리에게 없는 자원을 항구적을 확보해야 한다.)
- (9) 견본 (見本、サンプル) ¶ 外国に行き来して貿易をしている人々も、見本と実物があまりに違っていて、とても失望するそうだ。(외국을

드나들며 무역을 하는 사람들도 견본과 실제 물건이 너무 차이가 있어 무척 실망한다.)

- (10) 견본 (見本) ¶ 資源開発は、世界市場で韓国の建設業界が最も成功した見本だと話した。(자원 개발은 세계 시장에서 한국의 건설업계가 가장 성공한 견본이라고 말했다.)
- (11) 견실하다 (堅実である) ¶ 給与生活者が貯蓄を通じて財産を形成し、経済的基盤を安定させえない条件のもとで、中産層を堅実に育成することはできない。(봉급 생활자들이 저축을 통해 재산을 형성하고 경제적 기반을 안정시킬 수 없는 조건에서 중산층의 견실한 육성은 불가능했다.)
- (12) 결정¹ (決定) ¶ 私たちは、外国資本が自由に参入できるようにしようという決定に対して、強く反対した。(우리는 외국 자본이 자유롭게 들어올 수 있도록 하자는 결정에 대해 크게 반대했다.)
- (13) 경감하다 (輕減する) ¶ 国会の使命は政府で使おうとする金額を出来るだけ削減し、国民の負担を輕減しようというところにある。(국회의 사명은 정부에서 사용하려는 금액을 될 수 있는 데까지 삭감하여 국민의 부담을 경감하려는 데에 있다.)
- (14) 경감하다 (輕減する) ¶ 中小企業に対する各種の税金を輕減することによって、資金難にあえぐ中小企業に活力を注ぎ込む措置が必要である。(중소 기업에 대한 각종 세금을 경감함으로써 자금난에 허덕이는 중소기업에 활력을 불어넣는 조치가 필요하다.)
- (15) 공개 (公開) ¶ 政府は経済力の集中、および濫用を解消するため、企業公開および有償増資は積極的に誘導することにした。(정부는 경제력의 집중 및 남용을 해소하기 위해 기업 공개 및 유상 증자는 적극 유도하기로 했다.)
- (16) 공공 요금 (公共料金) ¶ そのうえ、鉄道と地下鉄の料金、上下水道料金、バス料金のような公共料金がまた引き上げられるようです。(거기다가 철도와 지하철 요금, 상하수도 요금, 버스 요금 같은 공공

요금이 또 인상될 모양입니다.)

- (17) 공공성 (公共性) ¶ 土地はもともと、その性格上、公共性が強調されなければならない。(토지는 원래 그 성격상 공공성이 강조되어야 한다.)
- (18) 공급 (供給) ¶ このような諸政策で、需要と供給が価格決定で主導的な役割を遂行できなくなった。(이러한 정책들로 말미암아 수요와 공급이 가격 결정에서 주도적 역할을 수행하지 못하게 되었다.)
- (19) 공기 (工期) ¶ 工期は短縮しても工事の内容が充実してこそ、国家と会社に有益なものとなる。(공기는 단축하되 공사 내용은 충실해야만 국가와 회사에 유익한 일이 된다.)
- (20) 국유 (国有) ¶ 国防上、緊急の必要があるときは、民間企業を国有に移転することができる。(국방상 긴급한 필요가 있을 때에는 사영 기업을 국유로 이전할 수 있다.)
- (21) 국제 경쟁력 (國際競争力) ¶ 私たちは生産性を高め、國際競争力を強化しなければならない。(우리는 생산성을 높이고 국제 경쟁력을 강화해야 한다.)
- (22) 급등하다 (急騰する) ¶ 國際収支の赤字が拡大し、物価が急騰する事態が発生した。(국제 수지 적자가 확대하고, 물가가 급등하는 사태가 발생했다.)
- (23) 급락 (急落) ¶ 最近、ドル為替レートの急落で貿易企業の各種の契約が取り消されたり、撤回される事例が続出している。(최근의 달러 환율 급락으로 무역 업체의 각종 계약이 취소되거나 철회되는 사례가 속출하고 있다.)
- (24) 급부 (給付) ¶ 現在支給されている年金は、決して納付された保険金に似合った給付がなされる年金ではない。(현재 지급되고 있는 연금은 결코 납부된 보험료에 알맞는 급부가 되는 연금이 아니다.)
- (25) 급선회하다 (急旋回する、急転する) ¶ 經濟は外貨切り上げ、労賃上昇、意欲喪失によって、赤字に急転しました。(경제는 외환 절상,

노임 인상, 의욕 상실로 인해 적자로 급선회했습니다.)

- (26) 급성장 (急成長) ¶ 短期間の急成長による我が国経済の内部的に脆弱な点が、顕著にあらわれ始めた。(짧은 기간 동안의 급성장으로 인한 우리 경제의 내부적 취약점이 최근 두드러지게 나타나기 시작했다.)
- (27) 급성장하다 (急成長する) ¶ 近年、わが国には毒キノコのような有害な企業が急成長しています。(근래에 우리 나라에는 독버섯 같은 유해 업소가 급성장하고 있습니다.)
- (28) 누적 (累積) ¶ 外資は対外債務の累積と不実企業を発生させた。(외자는 대외 채무의 누적과 부실 기업을 발생시켰다.)
- (29) 누증 (累増) ¶ 債務国に転落した加盟国は、いま債務の累増にあいでいる。(채무국으로 전락한 회원국들은 이제 채무의 누증으로 허덕이고 있다.)
- (30) 둔갑시키다 (偽装する、変身させる) ¶ その会社はタイから安いパイナップルの缶詰を購入し、アメリカ製と称して、市価より倍以上の価格で売ってきた。(그 회사는 태국에서 값싼 파인애플통조림을 사다가 미제로 둔갑시켜 시가보다 2 배 이상의 가격으로 팔아 왔다.)
- (31) 발주하다 (発注する) ¶ 紛糾に巻き込まれている某グループも、すでに発注した設備投資は予定通り行うことに決定した。(분규에 휘말려 있는 모 그룹도 이미 발주한 시설 투자는 예정대로 진행하는 것으로 결정했다.)
- (32) 빛 좋은 개살구 (見かけ倒し) ¶ 物価が上がり、安定が崩れる時、国民総生産3千ドル時代は見かけ倒しのものにすぎないだろうし、貧富の格差はさらにひどくなるかも知れない。(물가가 오르고 안정이 무너질 때 국민 총생산 3천 불 시대는 빛 좋은 개살구에 불과할 것이며 빈부의 격차는 더욱 심해질지도 모른다.)
- (33) 살아남다 (生き残る) ¶ 日々熾烈になっている国際競争社会で生き残るためには、政府と全国民の意識転換が必要である。(날로 치열해지

고 있는 국제 경쟁 사회에서 살아남기 위해서는 정부와 온 국민의 의식 전환이 필요하다.)

- (34) 선택권 (選擇權) ¶たとえ輸入たばこと牛肉の流通を完全な自由競争に任せるとしても、商品の選擇權は最終消費者が握っている。(비록 수입 담배와 쇠고기의 유통을 완전한 자유 경쟁에 맡긴다 하더라도 상품의 선택권은 최종 소비자들이 쥐고 있다.)
- (35) 성진 공업국 (先進工業國) ¶我が國經濟が規模や體質において、まだ先進工業國に比べてはるかに遅れているのも事實だ。(우리 경제가 규모나 체질에 있어서 아직 선진 공업국에 비해 훨씬 뒤떨어져 있다는 것도 사실이다.)
- (36) 약화시키다 (弱化させる、弱める、弱体化させる) ¶外国資本を無分別に導入すれば、國民經濟の對外競争力を弱めることになる。(외국 자본을 무분별하게 도입하면 국민 경제의 대외 경쟁력을 약화시키게 된다.)
- (37) 집적되다 (集積する) ¶未だ資本が集積していない後發國としては、巨大な規模の社會間接資本を外國資本に依存するしかなかった。(아직 자본이 집적되지 않은 후발국으로서 거대한 규모의 사회 간접 자본을 외국 자본에 의존할 수밖에 없었다.)
- (38) 편승하다 (便乘する) ¶先月の消費者物価は、物価上昇心理に便乗した一部市民たちの無分別な買いだめで、大きく上昇した。(지난달의 소비자 물가는 물가 오름세 심리에 편승한 일부 시민들의 무분별한 사재기로 크게 올랐습니다.)
- (39) 공급지 (供給地) ¶植民地社會は植民地本國の工業製品生産のための原料供給地であるとともに、そのような工業製品の消費市場だった。(식민지 사회는 식민지 본국의 공산품을 생산을 위한 원료 공급지이며 동시에 그러한 공산품의 소비 시장이었다.)
- (40) 편재 (偏在) ¶ある大學教授は利潤の偏在が犯罪を誘發したと主張した。(어느 대학 교수는 이윤의 편재가 범죄를 불렀다고 주장했다.)

16. 女性問題・フェミニズム関連の用例（用例数：42）

韓国におけるフェミニズム運動は、1987年の民主化闘争勝利の後、1990年代に韓国社会の民主化が進展する中で活発になっていった。この辞書はそうした時期に編纂されたもので、用例（17、26、31、41）にも反映されている。特に、「フェミニズム運動はある種の差別主義、帝国主義などに対する抵抗を筆頭として起こった、各種の社会運動という大きな脈絡の中で考察しうるだろう。」（41）という用例での指摘は、単に伝統的儒教倫理の克服、家父長的社会秩序からの解放、父系血統主義の克服といった次元を乗り越え、反帝運動の流れの中でフェミニズム運動をとらえている点が注目される。

用例には伝統的儒教倫理に関する内容のものが多くみられ、女性の再婚に対する否定的観念、女性にのみ純潔を求める観念、女性をイエに閉じ込めて社会活動を封じる観念、もっぱら男性に仕える存在として女性を落とし込める観念に対する批判が込められている（2、3、4、5、11、21、25、32、33、39）。男児選好に関する用例（23、35）も儒教倫理と重ね合わせて考えることができる。

〈用例〉

- (1) 강연（講演） ¶ 独立協會運動に参加した開化派の人々の講演、および討論會を通じて、女性開化思想は波及し始めた。（독립 협회 운동에 참여한 개화파 인사들의 강연 및 토론회를 통해 여성 개화 사상은 파급되기 시작하였다.）
- (2) 강요되다（強要される） ¶ 家門の存続と安定は、女性の義務と役割として強要されるほかなかった。（가문의 존속과 안정은 여성의 의무와 역할로서 강요될 수밖에 없다.）
- (3) 강요하다（強要する） ¶ この純潔という価値は、男性が自分たちの満足のために一方的に女性に強要したものである。（이 순결이라는 가치는 남성이 자기들의 만족을 위해 일방적으로 여성에게 강요한 것이다.）

- (4) 개가 (再婚) ¶ 昔は寡婦が再婚すれば、とても大きな罪惡と考えた。(옛날엔 과부가 개가를 하면 커다란 죄악으로 알았다.)
- (5) 하다 (再婚する) ¶ 高麗初期以来、妾であっても妻と同様、やたらに外出したり、再婚したりできなかった。(고려 초 이래 첩이라 할지라도 처와 마찬가지로 함부로 나가거나 개가하지 못했다.)
- (6) 개발 (開發) ¶ 女性の能力開發と女性労働力を活用するプランが整えられなければならない。(여성의 능력 개발과 여성 인력을 활용하는 방안이 마련되어야 한다.)
- (7) 견지 (見地) ¶ 女性自身の福祉、および家庭の安定性という見地から見ると、女性の役割に関する偏見の修正がさらに要請される。(여성 자신의 복지 및 가정의 안정성이라는 견지에서 볼 때 여성의 역할에 관한 편견의 수정은 더욱 요청된다.)
- (8) 결연 (近い關係を結ぶこと) ¶ 最近の新聞を見ると、少年部の支援が淪落女性を善導するために、社会福祉団体と連携を取り始めたという話だった。(최근 신문을 보면 소년부 지원이 윤락 여성을 선도하기 위해서 사회 복지 단체와 결연을 맺어 주기 시작했다는 소식이 있었다.)
- (9) 결정론 (決定論) ¶ 男女はそれぞれ異なって生まれたために、互いに異なるほかはないという主張は、生物学的決定論である。(남녀는 각기 다르게 태어났기 때문에 서로 다를 수밖에 없다는 주장은 생물학적 결정론이다.)
- (10) 결혼관 (結婚觀) ¶ 農村を忌避する現代の若い女性たちの結婚觀のせいで、農村の独身男性たちは結婚ができないまま、毎日のように両親の顔色をうかがいながら、脇部屋暮らしをしているありさまだった。(농촌을 기피하는 현대 젊은 아가씨들의 결혼관 탓으로 농촌 총각들은 결혼도 못한 채 매일같이 부모의 눈치나 보면서 골방 신세만 지고 있는 터였다.)
- (11) 공간적 (空間的) ¶ かつての女性たちは、空間的に隔離されたアンパ

ン(主婦部屋)のなかに閉じ込められ、片務的に結婚と家族生活を守ってきた。(지난날의 여성들은 공간적으로 격리된 안방 속에 갇혀 일반적으로 결혼과 가족 생활을 지켜왔다.)

- (12) 공식화되다(公式化される) ¶ 男性が支配している現実、法や公式化された制度と規範にのみ限られたものではない。(남성이 지배하는 현실은 법이나 공식화된 제도와 규범에만 한정된 것이 아니다.)
- (13) 공신²(人間をいけにえとして捧げる儀礼) ¶ 未開社会の娘の生贄は、すべての不幸の原因を神の怒りと受け取り、その怒りを鎮めるための捧げものとして人間を犠牲にさせる行為である。(미개 사회의 처녀 공신은 모든 불행의 소치를 신의 노여움으로 받아들이고 그 노여움을 가라앉히기 위한 공물로서 사람을 희생시키는 행위이다.)
- (14) 구조적(構造的) ¶ よくよく考えてみれば、この世の構造的矛盾は男性の、もしくは女性の一方的な役割分担から始まっていると言える。(따지고 보면 이 세상의 구조적인 모순은 남성의、또는 여성의 일방적인 역할 분담에서부터 싹텄다고 할 수 있다.)
- (15) 국가적(国家的) ¶ 大学教育を受けて社会に出た女性が、社会で自らの機能を発揮できないなら、国家的にも巨大な損失である。(대학 교육을 받고 사회에 나온 여성이 사회에서 제 기능을 발휘하지 못한다면 국가적으로도 커다란 손실이다.)
- (16) 국한되다(局限される、限られる) ¶ いまや家事労働は家庭に限られないで、社会全体と深く結びつくようになった。(이제 가사 노동은 가정에 국한되지 않고 사회 전체와 깊숙하게 연결되게 되었다.)
- (17) 급진적¹(急進的) ¶ 急進的な女性解放主義者たちは、科学技術の発展によって妊娠と出産が女性の体外でなされると、女性が解放されるだろうと主張したりもした。(급진적인 여성 해방주의자들은 과학 기술의 발전으로 임신과 출산이 여성의 몸 밖에서 이루어질 때 여성이 해방될 수 있을 것이라고 주장하기도 하였다.)
- (18) 기고하다(寄稿する) ¶ 彼は女性がはやく新しい教育を受け、平等を

実現することを切に願う立場から激励する文を新聞に寄稿した。(그는 여성이 빨리 새로운 교육을 받아 평등을 이루기를 간절히 바라는 입장에서 격려하는 글을 신문에 기고하였다.)

- (19) 모순적¹ (矛盾したこと) ¶ 資本主義經濟は女性の家事労働と性別分業を基盤としながらも、限りなく女性の生産労働を求めるという点に於いて矛盾している。(자본주의 경제는 여성의 가사 노동과 성별 분업을 기반으로 하면서도 끊임없이 여성의 생산 노동을 요구한다는 점에서 모순적이다.)
- (20) 변심 (變心、心変わり) ¶ 現行親族法がある限り、女性はいくら家庭において着実に忠実な妻の役割と母の役割を果たしても、夫の変心によってたちまち追い出される身の上からのがれられない。(현행 친족법이 있는 한, 여성은 아무리 가정에서 착실하고 충실한 아내 노릇과 어머니 노릇을 하더라도 남편의 변심에 의해 하루아침에 쫓겨나는 신세를 면치 못한다.)
- (21) 삼종 (三從。幼少時は父に、結婚後は夫に、夫の死後は息子に仕える女の儒教的道理) ¶ 朝鮮時代に至ると、儒教思想の影響によって婦女子の三從の道を強調するようになった。(조선 시대에 들어와서는 유교 사상의 영향으로 부녀의 삼종의 도를 강조하게 되었다.)
- (22) 선호하다 (選好する、えり好みする) ¶ 普通、一般会社は男子社員を好む。(보통 일반 회사는 남자 사원을 선호한다.)
- (23) 선호하다 (選好する、えり好みする) ¶ この地は、男の子を好む伝統が根深く続いてきた国です。(이 땅은 남자아이를 선호하는 전통이 뿌리 깊게 이어져 온 나라입니다.)
- (24) 수구적² (守旧的) ¶ わが国にはいまだに守旧的な男尊女卑思想が根深く宿っている。(우리 나라에는 아직도 수구적 남존여비 사상이 깊이 뿌리 박혀 있다.)
- (25) 시앗 (めかけ) ¶ 息子を産めなかったおばあさんが、妾でも囲って子どもを持って話した時、おじいさんは何を言うかといって、むくっと

立ちあがった。(아들을 낳지 못한 할머니가 시앗이라고 봐 자식을 보라고 했을 때 할아버지는 무슨 소리냐고 펄쩍 뛰었다.)

- (26) 시험적¹ (試驗的) ♯ フェミニズム批評は、その真摯な努力にもかかわらず、未だに試験的な運動段階から完全に抜け出したものではない。(페미니즘 비평은 그 진지한 노력들에도 불구하고 아직도 시험적인 운동 단계를 완전히 벗어난 것은 아니다.)
- (27) 양계 (兩系) ♯ アメリカは兩系親族制なので、父系と母系を区別することなく、同じ称号を用いている。(미국은 양계 친족 제도이어서 부계와 모계를 구별함이 없이 같은 칭호를 사용한다.)
- (28) 양민 ([兩班と賤民の中間に属す、主に農民や商人] 良民) ♯ 昔は兩班と良民の間、良民と賤民の間、嫡子と庶子の間、婚姻は禁止されていた。(옛날에는 양반과 양민 사이, 양민과 천민 사이, 적자녀와 서자녀 사이의 혼인이 금지되었다.)
- (29) 역학적³ (力学的) ♯ 男性支配文化の問題は、生産とイデオロギーとの力学的關係を歴史的に照明、分析することによって、はじめて適切に説明され得る。(남성 지배 문화의 문제는 생산과 이데올로기와의 역학적 관계를 역사적으로 조명, 분석함으로써 비로소 적절하게 설명될 수 있다.)
- (30) 연결하다 (連結する) ♯ 女性たちも、今では重い荷物も運ぶことができ、自分で電線をつないだり、コンピューター端末コードをはんだ付けする仕事ができなければならない。(여성들도 이제 무거운 짐도 옮길 줄 알고 스스로 전기선을 연결하거나 컴퓨터 단말기 선을 납땜하는 일을 할 줄 알아야 한다.)
- (31) 완성시키다 (完成させる) ♯ 彼女は闘争に積極的に参加し、女性解放の大事業を完成させることを誓った。(그녀는 투쟁에 적극적으로 참가하여 여성 해방의 대업을 완성시킬 것을 다짐하였다.)
- (32) 유교적 (儒教的) ♯ 朝鮮は農民と女性の犠牲を強要する儒教的イデオロギーを絶対化させた。(조선은 농민과 여성들의 희생을 강요하는

유교적 이데올로기를 절대화시켰다.)

- (33) 일차 (一次) ¶ 結婚生活を維持しようとする以上、夫は職業上での成功を、最も優先される目的とみなさなければならないだろう。(결혼 생활을 유지하고자 하는 이상 남편은 직업적 성공을 일차 목적으로 삼아야 할 것이다.)
- (34) 전체적¹ (全体的) ¶ 韓国の教会を全体的にみる時、その行政機構や教権が男性中心的事実であることは事実である。(한국 교회를 전체적으로 볼 때 그 행정 기구나 교권이 남성 중심적인 것이 사실이다.)
- (35) 조속하다 (速やかである) ¶ 現行家族法が改訂されない限り、男兒選好の觀念は速やかに是正されることは難しいとみられる。(현행 가족법이 개정되지 않는 한 남아 선호의 관념은 조속한 시일 내에 시정되기는 힘들 것으로 보인다.)
- (36) 중역 (重役) ¶ 他国では女性が企業の重役や社長、更には会長に就いている場合が多くある。(다른 나라에서는 여성들이 기업의 중역이나 사장, 심지어 회장을 맡고 있는 경우가 많이 있다.)
- (37) 집중되다 (集中する) ¶ 政治に傾いている関心の一定部分は、当然女性問題に集中されなければならない。(정치에 기울이는 관심의 일정 부분은 마땅히 여성 문제에 집중되어야 한다.)
- (38) 천시하다 (賤視する、見下げる) ¶ 人間社会は女性を差別し、貧しい人を蔑視し、特定の職業を賤しいものとみるなど、さまざまな不平等がある。(인간 사회는 여자를 차별하며, 가난한 사람을 멸시하고, 특정한 직업을 천시하는 등 여러 가지 불평등이 있다.)
- (39) 층층 (幾重もの層) ¶ むかしの女性たちは幼いころに父母と兄弟姉妹から離れ、見知らぬ地に嫁に行けば、嫁ぎ先の数々の年配者と義理のいとこや甥たちにまで仕えて暮らさなければならなかった。(옛날 여자들은 어린 나이에 부모와 동기간을 떠나 낯설고 물 설은 땅으로 시집을 가면 층층의 시대 어른과 사촌 동기간에 조카들까지 받들어 모시고 살아야 했다.)

- (40) 페미니스트 (フェミニスト) ¶ 私がかたいへんなフェミニストでもあるかのように思われているようだけど、私は何が何でも女性側に付くというのではない。(내가 무슨 대단한 페미니스트라도 되는 것 같겠지만 내가 무작정 여성 편을 들겠다는 건 아니다.)
- (41) 페미니즘 (フェミニズム) ¶ フェミニズム運動はある種の差別主義、帝国主義などに対する抵抗を筆頭として起こった、各種の社会運動という大きな脈絡の中で考察しうるだろう。(페미니즘 운동은 일종 차별주의, 제국주의 등에 대한 저항을 필두로 해서 일어난 각종 사회 운동이라는 큰 맥락 속에서 살펴질 수 있을 것이다.)
- (42) 편견 (偏見) ¶ 男女平等に障害となる要素が、男たちの女性たちに対する偏見でありうるとともに、女たちの愚昧の場合もある。(남녀 평등에 장애가 되는 요소들이 남자들의 여성에 대한 편견일 수도 있지만 여자들의 우매인 경우도 있다.)

17. 教育関連の用例 (用例数：19)

韓国では国是として反共主義、北朝鮮主敵論があるため、このことが教育内容を大きく規定している。用例(7)や用例(12)は、教育の「政治性」や教育の「中立性」に関する内容であるが、これは反共主義政治思想教育が公然と是認される状況に対する批判である。これとは反対に、日本社会で深刻度を増しつつある教育の「政治性」や「中立性」ということばは、「国旗・国歌」の教育現場への押し付けなど、日本の教育が国家主義的教育に舵を切りかねない状況下で、これに抵抗する人々に対する批判的言辭として「政治的」、「中立性」からの逸脱として用いられることが多い。

〈用例〉

- (1) 강요당하다 (強要される) ¶ 誰も、宗教的な授業を受けるよう強要されない。(어느 누구도 종교적인 수업을 받도록 강요당하지 않는다.)
- (2) 강제 (強制) ¶ 高校生の際は、地域の大きな行事に生徒たちの強制動

員は日常茶飯事だった。(고등 학교 때는 지역의 큰 행사에 학생들의 강제 동원은 다반사였다.)

- (3) 강행하다 (強行する) ¶子どもたちの現実を心配することなく、おとなが一方的に強行する教育、おとなが好き勝手に作って与える文学は、子供たちを害するだけである。(아이들의 현실을 걱정함이 없이 어른이 일반적으로 강행하는 교육, 어른이 제멋대로 만들어 주는 문학은 아이들을 해칠 뿐이다.)
- (4) 개선하다¹ (改善する) ¶政府は卒業定員制²⁵の不合理な点を部分的に改善する方針を立てた。(정부는 졸업 정원제의 불합리한 점을 부분적으로 개선하는 방침을 세웠다.)
- (5) 공공 (公共) ¶ある国民の文化の尺度として最も重要な公共図書館が、我が国では如何に貧弱なことか！(한 국민의 문화적 척도로서 가장 중요한 공공 도서관이 우리 나라에는 얼마나 빈약한가！)
- (6) 공교육 (公教育) ¶家庭教師をはじめとする私教育にかかる費用が過度に増えることによって、一般の父兄たちは公教育を強化してくれることを期待している。(과외를 비롯한 사교육에 드는 비용이 지나치게 많아짐으로써, 일반 학부모들은 공교육을 강화시켜 줄 것을 기대하고 있다.)
- (7) 긍정되다 (肯定される、正しいと認められる) ¶教育の政治性が民主教育の樹立において、絶対的な条件となるということは、理論上いくらでも肯定されてきたことである。(교육의 자치성이 민주 교육에 [의의誤植?] 수립에 있어 절대적인 여건이 된다는 것은 이론상으로 얼마든지 긍정되어 온 일이다.)
- (8) 기계적² (機械的) ¶このような社会教育手段が成果を表せば表すほど、民衆は機械的反應の奴隷になってしまうかもしれない。(이러한

25 卒業定員より30%程度多くの新入生を入学させ、成績不良者を除籍する制度。全斗煥政權が1981年度入試から適用したが、学生たちからの激しい反発に会い、1985年には有名無実化した。

사회 교육 수단들이 성과를 나타낼수록 민중은 기계적 반응의 노예가 되고 말지도 모른다.)

- (9) 단정적 (斷定的) ¶ 幼稚園に通った児童が、幼稚園に通わなかった児童より、より良いだろうということについては、断定しうる如何なる根拠もない。(유치원에 다닌 아동들이 유치원을 다니지 않은 아동들보다 더 나을 것이라는 데 대해서는 아무런 단정적 근거가 없다.)
- (10) 두어 (二つぐらいの) ¶ 一般の人々が利用する小さな図書館が、区ごとに2か所ぐらいあるべきではないでしょうか。(일반 사람들이 이용할 작은 도서관이 구마다 두어 개는 있어야 되지 않을까요?)
- (11) 발족하다 (發足する) ¶ ソウルでは中等学校を残留学生総合訓練所として發足し、ソウル残留学生と一部復帰学生たちを收容して教育した。(서울에서는 중등 학교를 잔류 학생 종합 훈련소로 발족하여 서울 잔류 학생과 일부 복귀 학생들을 수용, 교육했다.)
- (12) 삽입되다 (挿入される) ¶ わが国の憲法に教育の中立性を保証する条項が挿入されれば、それほど良いことはないだろう。(우리 헌법에 교육의 중립성을 보장하는 조항이 삽입되었으면 그보다 더 좋은 일이 없을 것이다.)
- (13) 상대성 (相對性) ¶ 文化の相對性は、教育において、ある一定の文化の絶対性を強要することを不可能にする。(문화의 상대성은 교육에 있어서 어느 문화의 절대성을 강요할 수가 없게 한다.)
- (14) 시립 (市立) ¶ ソウルには市立図書館が2カ所しかない。(서울에는 시립 도서관이 두 군데밖에 없다.)
- (15) 중요성 (重要性) ¶ 私たちの社会は教育の重要性とともに、教師の重要性を認識することによって、彼らの社会的待遇を高めることに消極的であってはならない。(우리 사회는 교육의 중요성과 더불어 교사의 중요성을 인식함으로써 그들의 사회적 대우를 높이기 위해 노력해야 하겠다.)

- (16) 집중되다 (集中する) ㉠ 結局、文教政策は首都圏人口を分散させるどころか、地方にいる学生たちまで首都圏に集中させ、首都圏をつなぐ交通を混雑させるだけの結果となった。(결국 분교 정책은 수도권 인구를 분산시키기는커녕 지방에 있는 학생들까지 수도권에 집중시키고 수도권을 드나드는 교통만 혼잡하게 만든 꼴이 되었다.)
- (17) 편승하다 (便乗する) ㉠ 大学と大学人の使命が時代の潮流に便乗して、少しずつ変質しつつある。(대학과 대학인의 사명이 시대의 조류에 편승해 조금씩 변질되어 가고 있다.)
- (18) 편수 (編修) ㉠ これは教科書編修が誤ったものだというよりは、我が国の児童文学と音楽の貧困状態を物語っているのである。(이것은 교과서 편수가 잘못된 것이라기 보다는, 우리의 아동 문학과 음악의 빈궁 상태를 말해 주는 것이다.)
- (19) 학규 ([学事行政と学生生活に関する規定] 学事規定、学内規定) ㉠ 今学期から学内規定に違反する学生は嚴重に処罰します。(이번 학기부터 학규를 어기는 학생을 엄중 처벌하겠습니다.)

18. 現存する個人名・組織名など固有名詞関連の用例 (用例数：22)

この辞書は朝鮮語コーパスから抽出した用例をそのまま採択するようにしているため、現存する個人、スポーツチーム名、大学名などの固有名詞も現れることになる。大学名は延世大学と高麗大学だけがみられたが、この辞書が延世大学で編纂されたことによる恣意性が感じられる。

〈用例〉

〈野球〉

- (1) 강속구 (剛速球) ㉠ 롯데はアウエー・ゲームで超特急剛速球投手を投入し、6日ぶりに単独首位に復歸した。(롯데는 원정 경기에서 초특급 강속구 투수를 투입해 6일 만에 단독 선두에 복귀했다.)
- (2) 강타자 (強打者) ㉠ ジャイアンツが強打者金用熙(キム・ヨンヒ)のサヨナラホームランで辛勝した。(자이언츠가 강타자 김용희의 끝내

기 홈런으로 힘겨운 승리를 거두었다.)

- (3) 강판 (降板) ¶ 宣銅烈 (ソン・ドンヨル) は3回になる前に、すでにホームラン2発を浴びて降板しなければならなかった。(선동열은 3회가 채 되기도 전에 홈런 두 발을 맞고 강판을 당해야 했다.)
- (4) 결승점² (決勝点) ¶ ヘツテは4回表、キム・ジョンモのホームランで決勝点をあげ、宣銅烈 (ソン・ドンヨル) の好投で青宝 (チョンボ) に1対0で完封勝ちした。(해태는 4회 초 김종모의 홈런으로 결승점을 뺏고 선동열의 호투로 청보에 1:0로 완봉승했다.)
- (5) 선점하다 (他者より先に占める、先制する) ¶ 金奉淵 (キム・ボンヨン) は、李万洙 (イ・만스) の負傷の隙間を縫って、ホームラン100号高地を先制しようとした。(김봉연은 이만수의 부상을 틈타 홈런 1백 호 고지를 선점하려고 하였다.)
- (6) 선취하다 (先取する) ¶ そのチームは金容哲 (キム・ヨンチョル) のヒットで2点を先取した。(그 팀은 김용철의 안타로 2점을 선취하였다.)
- (7) 역투¹ (力闘、渾身の力を込めて戦うこと) ¶ オービー・ベアーズはチャン選手の渾身のプレーに助けられ、再び13日ぶりに首位に復帰した。(오비 베어스는 장 선수의 역투에 힘입어 다시 13일 만에 선두 자리에 복귀했다.)
- (8) 역투 (力投) ¶ 蚕室での試合で、OB (オービー) はチョン選手の今シーズン初の完投勝利をおさめる力投と、代打の集中5安打で6点をとったことにより、ヘツテを7対1で大破した。(잠실 경기에서 오비는 정 선수가 올시즌 첫 완투승을 따내는 역투와 대타의 집중 5안타로 6득점한 데 힘입어 해태를 7대1로 대파했다.)

〈サッカー〉

- (9) 견책하다 (譴責する) ¶ サッカー協会は今度の大会の低調な成績を譴責して、車 (チャ) 監督を更迭した。(축구 협회는 이번 대회 저조한 성적을 견책하여 차감독을 경질하였다.)

- (10) 선착하다 (他者より早く到着すること) ¶ 大統領杯サッカー大会で寿城高と忠南商高がベスト4にまず勝ち残った。(대통령배 축구 대회에서 수성고와 충남 상고가 4강 고지에 선착했다.)

〈バスケットボール〉

- (11) 강압 수비 (全コートプレス) ¶ 敗色が濃厚だった三星電子は全コートプレスで最後の総反撃を展開し、試合終了1分10秒前に77対74までびつたりと追い上げた。(패색이 짙던 삼성 전자는 강압 수비로 마지막 총반격을 전개하여 경기 종료 1분 10초 전 77:74까지 바짝 뒤쫓았다.)

- (12) 결장 (欠場) ¶ ミラー・ディフェンスで勝負をかけなければならないが、チョ・ドンウの欠場は大きな損失だと専門家たちは指摘している。(수비 농구로 승부를 내야 하는데 조동우의 결장은 큰 손실이라고 전문가들은 지적하고 있다.)

- (13) 결정되다 (決定される、決まる) ¶ 스카ウト騒動で問題になっていた女子高卒業のバスケットボール選手ハ・ミン스크の進路が、コーロンに決定した。(스카웃 파동으로 말썽을 빚었던 여고 졸업 농구 선수 하민숙의 진로가 코오롱으로 결정됐다.)

〈その他〉

- (14) 같이하다 (同じくする、共にする) ¶ 在野勢力だけではなく、政権党である民主党もこの問題に対して見解を同じくしていた。(재야 세력 뿐만 아니라 집권당인 민주당도 이 문제에 대해서 견해를 같이하고 있었다.)

- (15) 개막되다 (開幕する) ¶ 4日、ソウル・ギャラリーで開幕した李馬銅(イ・マドン)画伯の回顧展は至大な関心を集めた。(4일 서울 갤러리에서 개막된 이마동 화백의 회고전은 지대한 관심을 모았다.)

- (16) 결선 (決勝戦) ¶ エアピストルでは京畿道のユ・ヒジョンと忠北のキム・ Gumsonが決勝で金メダルと銀メダルを取った。(공기 소총에서는 경기도의 유희정과 충북의 김금선이 결선에서 금메달과 은메달

을 뺐다.)

- (17) 결승 (決勝) ¶ 이·ボンゴルはこの日の準決勝でコ・ギョン Chol을破って決勝に勝ち上がった。(이봉걸은 이 날 준결승서 고경철을 꺾고 결승에 올랐다.)
- (18) 성가 (名声) ¶ 林 (イム) 監督は国際映画祭でグランプリをもらったあと、より一層名声が高まった。(임 감독은 국제 영화제에서 대상을 받은 뒤로 더욱 더 성가가 높아졌다.) *映画監督林権澤 (イム・グォンテク) のこと。
- (19) 아마¹ (アマ、アマチュア) ¶ 이·ボンゴルはアマとプロを合わせた新正月ボンイル天下壮士大会で優勝した。(이봉걸은 아마와 프로를 합친 신정 봉일 천하 장사 대회에서 우승했다.)
- (20) 양교 (兩校) ¶ 延高戦の開幕で延世大学と高麗大学の兩校はすっかり祝祭ムードだった。(연고전 개막으로 연세대와 고려대 양교는 온통 축제 분위기였다.)
- (21) 역사 (秀でていて力の強い人) ¶ 韓国ウエイト・リフティングの看板選手李享根 (イ・ヒョングン) は、一人で5つの韓国新記録を打ち立てた。(한국 역도의 간판 역사 이형근은 혼자서 다섯 개의 한국 신 기록을 만들어냈다.)
- (22) 역전승 (逆転勝) ¶ 延世大は高麗大に半ゴール差の逆転勝ちを収め、決勝に勝ち上がった。(연세대는 고려대에 반 골 차의 역전승을 거두고 결승에 올랐다.)

19. 言語解説関連の用例 (用例数 : 20)

朝鮮語の文法・音声などに関する解説を用例で示した例がみられる (8、9、11、12、13、16)。その他、識字運動に関する用例 (4、5、6)、識字運動に関する用例 (1、2) がみられ、朝鮮語学者の個人名では、周時経、崔鉉培が現れている。

〈用例〉

- (1) 강습 (講習) ¶ 近代文学の基盤拡大とともに、国文講習が僻村まで活発に行われた。(근대 문학의 기반 확대와 더불어 국문 강습이 벽촌까지 활발하게 이루어졌다.)
- (2) 강습소 (講習所) ¶ 卒業後、母の実家に行って、村に講習所を作り子供たちを教えた。(졸업 후 외가로 가서 마을에 강습소를 차리고 아이들을 가르쳤다.)
- (3) 겸용하다 (兼用する) ¶ ハングル混じりの平易な小説類は、婦人たちが居間の脇部屋でそっと読む程度に過ぎなかった。(한글을 겸용한 쉬운 소설류는 아낙들이 골방에 숨어서 읽을 정도에 지나지 않았다.)
- (4) 급진전하다 (急進展する) ¶ 準備作業として、朝鮮語標準語彙集、外来語表記法統一案が発表されることによって、辞典編纂事業が急進展した。(준비 작업으로서 조선어 표준말 모음, 외래어 표기법 통일안이 발표됨으로써 사전 편찬 사업은 급진전했다.)
- (5) 단행 (斷行) ¶ 新聞が果たすべき課題のうちの一つが、ハングル専用の断行である。(신문이 수행해야 할 과제 중 하나가 한글 전용 단행이다.)
- (6) 설치하다 (設置する) ¶ 私たちの先祖は国文研究所を設置し、当面する国語、国字の問題を真摯に扱ったことがあった。(우리 선조들은 국문 연구소를 설치하고 당면한 국어, 국문자의 문제를 진지하게 다룬 적이 있었다.)
- (7) 성경 (聖書) ¶ 宣教師たちによって、翻訳と出版が主管されていた聖書と讚美歌の翻訳と改編作業が、韓国の教会の独立した事業として始まった。(선교사들에 의해 번역과 출판이 주관되었던 성경과 찬송가의 번역과 개편 작업이 한국 교회의 독립된 사업으로 시작되었다.)
- (8) 수² (數) ¶ 朝鮮語にも名詞の数に伴う単数形と複数形の区別があり

ますか。(한국어에도 명사의 수에 따른 단수형과 복수형의 구별이 있습니까?)

- (9) 시제(時制) ¶ 文法に合った正確な文を書こうと思えば、助詞、語尾、叙述語、時制などの形態と役割に留意しなければならない。(문법에 맞는 정확한 글을 쓰려면, 조사, 어미, 서술어, 시제 등의 형태와 구실에 유의해야 한다.)
- (10) 완결되다(完結する) ¶ 国語文法は崔鉉培(チュ・ヒョンベ)の『ウリマルボン』(「朝鮮語文法」)の出版が完結し、ひとしきり本格的な整理がなされた。(국어 문법은 최현배의 '우리말본'의 출판이 완결되어 한 차례 본격적인 정리가 이루어졌다.)
- (11) 의하다(依る) ¶ ことばは音声による思想の表現形態であり、文字とは記号を借りてことばを表記したものである。(말은 음성에 의한 사상의 표현 형태이며 글자란 기호를 빌려 말을 표기한 것이다.)
- (12) 조사(助詞) ¶ 朝鮮語は助詞が文法的に重要な役割を果たす。(우리말은 조사가 문법적으로 중요한 역할을 한다.)
- (13) 조사(助詞) ¶ 助詞「이」は名詞に付け、だいたい主語を形成する役割をする。(조사 '이'는 명사에 붙어 대개 주어를 만드는 일을 한다.)
- (14) 조선어(朝鮮語) ¶ 周時経(チュ・シギョン)先生は朝鮮語教育を更に強化し、言語学者たちを養成して朝鮮語を發展させなければならぬと主張した。(주시경 선생은 조선어 교육을 더욱 강화하고 언어학자들을 양성하여 우리말을 발전시켜야 한다고 주장하였다.)
- (15) 중부(中部) ¶ 高麗の建国にともない、朝鮮半島の中部に位置する開城地方のことばがわが国の中央語として登場することとなった。(고려의 건국으로 말미암아, 한반도의 중부에 위치한 개성 지방의 말이 우리나라의 중앙어로 등장하게 된 것이다.)
- (16) 중성([音節の核をなす母音] 中声) ¶ ハングルは、まず1つの音節を初、中、終の三つの音に分け、初声の文字はそれが発せられる発音

器官の形をまね、中声の文字は、天、地、人をまねて作った。(한글은 먼저 한 음절을 초, 중, 종의 세 소리로 나누고, 초성의 글자는 그 나는 발음 기관의 모양을 본뜨고, 중성의 글자는 하늘, 땅, 사람을 본떠서 만들었다.)

- (17) 중세 (中世) ¶ 16世紀は中世国語から近世国語につながる過渡期だった。(16세기는 중세 국어에서 근세 국어로 이는 과도기였다.)
- (18) 하이픈 (하이픈) ¶ 一つの単語が2行にわたった時は、前の行にハイ픈を付す。(한 단어가 두 줄에 걸쳐진 때는 앞줄에 하이픈을 붙인다.)
- (19) 학리 (学理) ¶ いま私たちが持っている文字は、その発達と学理において、人類史上最初の人造文字である。(지금 우리가 가진 문자는 그 발달과 학리에서 인류사 최초의 인조 문자이다.)
- (20) 흡수되다 (吸收する) ¶ 朝鮮語が慶州語を中心に統合され、中世国語の基盤をなすようになったが、高句麗や新羅系統の文化は新羅文化の中に吸収されたり、あるいは姿を消した。(한국어가 경주어를 중심으로 통합되어 중세 국어의 밑을 이루게 되었으며, 고구려나 백제 계통의 문화는 신라 문화 속에 흡수되거나 아니면 인멸되었다.)

20. その他の用例 (一般的言説、教訓的言説など) (用例数: 33)

「見聞が狭い人は心も狭く、自分の常識が全てであるかのように考え、愚かに生き、哀れに死ぬ。」のような教訓的言説の用例が散見される(6、7、12、30、31)。また、文化的退廃に関する言説(11、17、18、25)や、交通秩序に関する言説(1、8)なども見られる。

〈用例〉

- (1) 강요하다 (強要する) ¶ 自動車の秩序を守るようにするのではなく、歩行者にだけ秩序を守るように強要するのが、果たして先進的な秩序なのだろうか。(자동차 질서를 지키도록 하는게 아니라 보행자에게만 질서를 지키도록 강요하는 것이 과연 선진 질서일까요?)

- (2) 같이 (...のように) ¶もう少し詳しく話すならば、宗教はある人々が国家や個人に利用される機械であるかのように考えることができるが、そのような人の宗教という宗教は、本当の宗教ではない。(좀더 자세히 말한다면 종교는 어떤 사람들이 국가나 개인에게 이용되는 기계와 같이 생각하는 수가 있지만은 그런 사람의 종교라고 하는 종교는 참종교가 아니다.)
- (3) 개방화 (開放化) ¶私は開放化という次元を、社会的近代化過程の重要な特色であると考え。(나는 개방화라는 차원을 사회적 근대화 과정의 중요한 특색으로 본다.)
- (4) 개소주 ([犬肉に漢方薬剤を加えて煮詰めたエキス] ケソジュ) ¶犬を食べる野蛮人だと、人々が私たちをあざけっているのに、公々然とケソジュ営業を許可した理由は何なのか。(개를 잡아먹는 야만인이라고 남들이 우리를 조롱하는데, 공공연하게 개소주 영업을 허가한 이유가 무엇인가?)
- (5) 격화되다 (激化する) ¶過度に速い社会変動の渦の中で、競争が激化しているのが私たちの現実である。(지나치게 빠른 사회 변동의 소용돌이 속에서 경쟁이 격화되고 있는 것이 우리의 현실이다.)
- (6) 견문 (見聞) ¶見聞が狭い人は心も狭く、自分の常識が全てであるかのように考え、愚かに生き、衰れに死ぬ。(견문이 좁은 사람은 마음도 좁아서 자기 상식이 전부인 줄 알고 미련하게 살다 불쌍하게 간다.)
- (7) 견식 (見識) ¶信頼されうる教養を備えたければ、豊かな常識と総合的で健全な見識を備えなくてはならない。(신뢰를 받을 만한 교양을 갖추려면, 풍부한 상식과 종합적인 건전한 견식을 지녀야 한다.)
- (8) 견인¹ (牽引) ¶最近は駐車 of 秩序がめっちゃくちゃで、レッカー業務を担う業者が増えつつある。(요즈음은 주차 질서가 엉망이어서 자동차 견인을 담당하는 업체가 늘어 가고 있다.)
- (9) 결국 (結局) ¶自然を破壊したり、汚染する行為は、結局私たちの体

内に重金属を流し込むのである。(자연을 파괴시키거나 오염시키는 행위는 결국 우리의 체내에 중금속을 밀어 넣는 것이다.)

- (10) 공명(功名) ¶もし、私たちが出世し、富と功名を得るために学問を
すると言ったとしても、間違いだということとはできない。(만약 우리
가 출세하여 부귀와 공명을 누리기 위해서 학문을 한다고 하여 잘
못이라고 할 수는 없다.)
- (11) 급속하다(急速である) ¶最近、私たちの社会は急速に価値観を喪失
しながら、レベルの低い外来思想に私たちの本質を奪われたかのよう
です。(최근 우리 사회는 급속하게 가치관을 잃으면서 저급한 외래
사상에 우리의 본질을 빼앗긴 것 같습니다.)
- (12) 끊다(切る) ¶電話をするときは、必ず目上の人が受話器を置くとき
まで待ってから切るのが礼儀です。(전화할 때는 반드시 웃어른이 수
화기를 놓을 때까지 기다렸다 끊는 것이 예절입니다.)
- (13) 내다버리다(外に投げ捨てる) ¶私たちはいつから、傷みもしていな
い食べ物まで捨ててしまう国になったのでしょうか。(우리가 언제부
터 멀쩡한 음식까지 내다버리는 나라가 됐죠?)
- (14) 눈 먼 돈(努力しないで得た金、あぶく銭) ¶まっとうな名分もなし
に、食い散らかすことにばかり汲々としたあぶく銭が増えれば増える
ほど、とてつもない過消費現象が煽り立てられるだけである。(올바
른 명분 없이 먹어치우는 데만 급급한 눈 먼 돈이 늘어날수록 엄청
난 과소비 현상이 부추겨질 수 밖에 없다.)
- (15) 단축(短縮) ¶工事期間の短縮を図って、手抜き工事につながる場合
がよくある。(공사 기간의 단축을 꾀하다가 부실 공사로 이어지는
경우가 많다.)
- (16) 물음표(疑問符) ¶彼らの無念な死は疑問符を付したまま、時の闇の
中に次第に消えていきつつある。(그들의 억울한 죽음은 물음표를 매
단 채 시간의 늪 속으로 점점 사라져 가고 있었다.)
- (17) 변질시키다(変質させる) ¶行き過ぎた消費享樂文化が大学路(テハ

ンノ)を変質させている。(지나친 소비 향락 문화가 대학로를 변질시키고 있다.)

- (18) 살인적 (殺人的) ¶ 今日、人間は殺人的労働と無秩序な消費で消耗し、病みつつある。(오늘날 인간들은 살인적 노동과 무질서한 소비로 소모되고 병들어 가고 있다.)
- (19) 상관되다 (関連している) ¶ 彼のこのつらさは、韓国の知識人のほとんどすべてに関わりがあるのである。(그의 이 괴로움은 한국 지식인 거의 모두에게 상관되는 것이다.)
- (20) 섭취 (攝取) ¶ 百科事典的なことを理想とする韓国の読書人の体質に、一つの分野で専門的な技術者となる知識の摂取を求めることは無理なのかもしれない。(백과 사전적인 것을 이상으로 하는 한국 독서인의 체질에, 한 개의 분야에서 전문적인 기술인이 될 지식의 섭취를 요구하는 것은 무리인지도 모른다.)
- (21) 성관계 (性関係) ¶ 婚前の性関係が正しいか間違っているかという問題は、個人の価値観と道徳観にかかわっている。(혼전 성관계가 옳은가 그른가 하는 문제는 개인의 가치관과 도덕관에 달려 있다.)
- (22) 성교 (性交) ¶ 我が国は未だに婚前の性交をタブー視する傾向がある。(우리 나라는 아직도 혼전의 성교를 금기시하는 경향이 있다.)
- (23) 성문화되다 (成文化される) ¶ もともと、政党というものはダイナミックな政治現象であるために、政党を分析するということは、憲法上成文化した民主主義的諸制度を分析することよりも、より一層難しい課題である。(원래 정당이란 동태적인 정치 현상이기 때문에 정당을 분석한다는 것은 헌법상 성문화된 민주주의적 제제도를 분석하는 것보다 한층 어려운 과제이다.)
- (24) 속 빈 강정 (実質を伴わないこと) ¶ 口では企業の社会還元を叫んでも、実際には実質を伴わないのが大部分である。(말로는 기업의 사회 환원을 외치더라도 막상 열고 나면 속 빈 강정이 대부분이다.)
- (25) 와해되다 (瓦解する) ¶ 農村が瓦解し、地方が都市の消費的、否定的

な文化、風俗に汚された。(농촌이 와해되고 지방이 도시의 소비적, 부정적 문화 풍속에 오염되었다.)

- (26) 이⁷ (これ) ¶ 都市問題の解決は社会問題の解決と直結しており、これを無視したまま他のことを議論するのは、きわめて皮相的なことである。(도시 문제의 해결은 사회 문제의 해결과 직결되어 있으며 이를 무시한 채 다른 것을 거론하는 것은 극히 피상적인 것이다.)
- (27) 이끌다 (導く) ¶ 良い暮らしをしようとして他人を破壊することは、結局、自らを破滅に導く道であることを知らなければならない。(잘 살려고 다른 사람을 파괴시키는 것은 결국 스스로를 파멸로 이끄는 길임을 알아야 한다.)
- (28) 전향 (轉向) ¶ このような轉向に対して、彼の責任ある弁明が伴わなければならないと考える。(이와 같은 전향에 대해 그의 책임 있는 해명이 뒤따라야만 하리라고 생각한다.)
- (29) 전환 (轉換) ¶ 私たちの社会が先進的になるためには、価値観の轉換が基本的に求められる。(우리 사회가 선진화하기 위해서는 가치관의 전환이 기본적으로 요구된다.)
- (30) 조소 (嘲笑) ¶ 他人を輕蔑したり、見くだす嘲笑や、自分自身を卑下する冷笑、媚を売る笑いなどは、むしろ自分の体に有害である。(남을 경멸하거나 얕잡아 보는 조소나 자신을 스스로 비하하는 냉소, 아첨을 띤 웃음 등은 오히려 자기 몸에 해롭다.)
- (31) 편² (ほう) ¶ 人を紹介する場合、地位が低い方を地位が高い方に先に紹介するのが順序である。(사람을 소개할 경우, 지위가 낮은 편을 지위가 높은 분에게 먼저 소개하는 것이 순서이다.)
- (32) 학문하다 (學問をする) ¶ 眞に學問をする態度は、自分の無知が現れる限界に突き当たり、謙虛に眞理をひたすら求めることである。(참으로 학문하는 태도는 자기의 무지가 드러나는 한계에 부딪혀 겸손하게 진리를 갈구하는 것이다.)
- (33) 형극 (いばら, 荊棘) ¶ 祖国の歴史を研究するということは決してた

やすいことではなく、私の能力では堪え難いばらの道であるということもわかっている。(조국의 역사를 연구한다는 것은 결코 쉬운 일이 아니며, 내 능력으로는 감당하기 어려운 형극의 길이라는 것 또한 알고 있다.)

第3章 日本に関連する用例の特徴

本章では、『延世韓国語辞典』(1998年)と『高麗大韓国語大辞典』(2009年)において、特に日本に関連した内容の用例にみられる特徴を探ってみることにする。

1. 「生きている言語」、「言語の現実」を反映した用例採択

『高麗大韓国語大辞典』は、その「まえがき」(머리말)によれば、350余名の高麗大学専任教員、高麗大学民族文化研究院の研究員、編修員による、17年間にわたる編纂作業の末に刊行されたものである。これは、大型の朝鮮語辞典としては、言語コーパスを利用して編纂された最初のもので、この意味で「韓国語大辞典編纂史の第2世代を知らせる里程碑となるだろう」と自ら位置付けている。それ以前の第1世代は、朝鮮語学会が編纂した『朝鮮語大辞典』(「조선말 큰사전」, 全6巻、1947年に第1巻刊行)から、国立国語院が編纂した『標準国語大辞典』(「표준국어대사전」, 全3巻、1999年)までとしている。そして、第1世代の大辞典編纂は、制限された言語資料と編纂者の直観に依存した執筆、用例の不足と作為性などの制約を受けていたが、第2世代の大辞典編纂は言語コーパスの活用によって、こうした制約を乗り越えたとしている。なお、中型辞典の『延世韓国語辞典』については、第2世代に属すものと評価しているが、それは言語コーパスを用いた辞典編纂として嚆矢を為すものだったからである。

『高麗大韓国語大辞典』の「まえがき」に示された編纂の基本方針は、「今日生きている言語を、出来る限り忠実にとらえようとした」、「用例を通し

て明らかになる言語の現実を、忠実にとらえるように努めた」とされており、「生きている言語」、「言語の現実」を記述することに最も力が注がれたものである。ここでいう「言語の現実」とは、現代韓国社会で生きてうごめく人々のことば、そのものである。それは、小心な「客観主義」的学者根性にとらわれて「中立性」や「普遍性」を求めるあまり、歴史や社会の現実を濾過してしまった、去勢されたことばではない。

このことは、たとえば、민주화（民主化）や민중（民衆）という見出し語のもとに記された、躍動的な内容からも理解されうるだろう。민주화（民主化）の用例では、全斗煥軍事独裁政権のもと、民衆が「血と汗」にまみれた民主化闘争を展開することにより、当時の与党「民主正義党」総裁盧泰愚（ノ・テウ）の「6.29宣言」（1987年）を引き出した歴史が示されている。「6.29宣言」が発表されることで事なきを得たが、実はその直前には、民主化運動を血祭りに上げる軍事クーデターがひそかに画策される緊迫した情勢にあった。また、民主化闘争の過程で数多くの人士が命を落としたことも用例で示されている。

민주화（民主化） 体制などが民主的になること。¶ 民主化運動／民主化闘争／民主化はおのずからなるものではなく、血と汗で得られるものである。／その独裁者は民主化を熱望する国民の要求を無視できなかった。／80年代には軍部独裁に抵抗して、たくさんの民主化烈士たちが殺された。

『高麗大韓国語大辞典』の用例は、原則的に1,000万語規模の朝鮮語コーパス（고려대학교 한국어 말모듬 1, Korean-1 Corpus）から採択され、「必要に応じて」作例も提示されている。また、用例の数は「語彙使用頻度と用法の多様性を考慮し、その個数を調整して提示」し、「場合によって、実際の使用様相を示すのに役立つよう、最大限豊富に提示した」としている。上に示したような、歴史性や社会性を捨象しない「言語の現実」を示

した用例の特徴は、『延世韓国語辞典』でも同様に見られる。その「まえがき」には、用例は言語コーパスから採択したので、「今日の韓国人が、自分が辞典の用例をつくっているという意識なしに、自然に用いたさまざまな文から直接抜き出したもの」で、それゆえ「今日の韓国人が共に書いたと言える」と、用例の特徴を指摘している。筆者は1983年から1993年まで、まさに80年代韓国民主化運動のさなかにソウルの大学で暮らしたが、「ミンジュ（民主）」、「ミンジョク（民族）」、「ミンジュン（民衆）」という叫び声が鮮烈な革命的熱気と解放への願いを込めて響き渡っていた大学のキャンパス、戦闘警察と渡り合う市街戦、いくら警察に連行されようとも不屈に闘った学生たちの姿を、これらの辞典は蘇らせてくれるのである。

以下は、『延世韓国語辞典』の語釈と用例であるが、すべて韓国社会の歴史と現実を反映した内容となっている。

민주화 운동（民主化運動）民主化を実現しようとする動きや行動。¶ 私たちは校内民主化のために闘い、次第に社会全般の民主化運動に拡散していくのが順序だとみる。

민주화되다（民主化—）民主主義原則に沿うものとなったり、沿うものにする。¶ その学者は、わが国が民主化しなければ、わが国経済の未来は暗いと話した。¶ 私は韓国をもっと民主化された社会にして、後の世代の人々に受け継がなければならないと信じている。

민주화하다（民主化—）民主主義原則に沿うものにしたたり、沿わせる。¶ 私たちは必ずこの独裁に打ち勝ち、この社会を民主化しなければならない。

次に、「民衆」についてみてみたい。日本の『精選版日本国語大辞典』（小学館）は、「国家や社会を構成している多くの人々。多く、被支配階級としての一般大衆をさしている。衆民。」と語釈がなされ、唯一の用例として、

中江兆民の『国会論』（1888年）から引いた「領土の広き民衆（ミンシウ）の蕃けき事業の繁げき如何に縝密なる法制有り」と雖も」だけが載せられている。この用例だけでは、語の歴史の一端は示し得ても、「民衆」という現代日本語が持つ社会的・歴史的意味ニュアンスは把握できない。また、どれだけの読者がこの用例の日本語を理解できるのか、はなはだ心もとない。そもそも「蕃けき」や「繁げき」をどう読み、如何なる意味かさえ把握しがたいのであり、一般の利用者には理解不能な用例を採択した、民衆の日常言語生活とは無縁の編纂方針だと批判せざるを得ない。広く「国民」に愛用されるべき「国語辞典」の体を為してはおらず、一部の知的エリート専用物でしかないのである。また、『広辞苑』（岩波書店）は「世間一般の民衆。庶民。大衆。」と語釈がなされただけで、用例もないそっけない記述となっている。これでは「民衆」の意味ニュアンスが、「庶民」や「大衆」とどう違っているのかも分からない。

一方、『高麗大韓国語大辞典』では、以下に紹介するように理解しやすい用例を採択しつつ、より具体的に現実を記述している。

민중（民衆）国家と社会を構成している人々。普通、被支配層をなしている労働者、農民たちを指す語である。¶ 民衆蜂起。／昔から民衆は生産活動の主な担い手として社会をつくる基盤だった。／その歌には、民衆をあらゆる方法で収奪していた、当時の支配層に対するうらみと風刺が込められている。

このほか、「民衆」の複合語に採択された多くの用例には、韓国民主化過程における「民衆」像が描かれており、歴史的な概念としての「民衆」を浮き彫りにしている。例えば、下に紹介した用例の最初に示した「毎年5月になると」は、1980年5月の光州民主抗争のことを言っており、「大衆的や一般的なものを民衆的だと考えてはならない」という用例は、『広辞苑』の「世間一般の民衆。庶民。大衆。」という語釈とは正反対のもので、韓国の

「民衆」が独裁権力と対峙した近年の歴史像が、今も生きていることを示すものである。

¶ 毎年5月になると、キャンパス街を中心に民衆歌謡が響き渡る。／私たちはキャンパス街と労働現場で歌われた民衆歌謡の歌詞と楽譜を集めた。(민중가요: 民衆歌謡) ¶ 1980年代の民主主義運動とともに、民衆美術もその花を咲かせた(민중 미술: 民衆美術)。¶ 彼女は彼女の作品を通じて、民衆性の回復に総力を傾けた。／韓国現代詩は、民衆性と近代性をいかに結合すべきなのかという課題を残している。／私たちが韓国現代詩を一つの悲劇だとみるならば、まさにこの民衆性の持続的な挫折と失敗のためだった(민중성: 民衆性)。¶ 今日、私たちの詩を振り返ってみると、まず民衆詩とその他の純粹詩に大別される2つの大きな流れを見ることができる(민중시: 民衆詩)。¶ 軍事政権に抵抗して投獄された神学者たちは、南米の解放神学を土台として、不条理に抵抗する固有の民衆神学を確立した(민중신학: 民衆神学)。¶ 多くの歴史的イベントが、民衆的視覚から再評価されている。／私たちは熱烈な民衆的支持を基盤として、今度の総選挙できっと過半数の議席を占めるだろう。／パンソリの滑稽における特性は、根本的に民衆的情緒に基づいている。／口碑文学は民衆的で民族的な文学である。／大衆的や一般的なものを民衆的だと考えてはならない。／その詩人は定型詩のあらゆる束縛から抜け出て、より民衆的な形式を通じて、生[生きること]の経験を自由に表現した(민중적: 民衆的)。

上に見たような『延世韓国語辞典』や『高麗大韓国語大辞典』の記述の特徴を考慮に入れつつ、本稿第2章では『延世韓国語辞典』の用例分析を行ったが、以下、『高麗大韓国語大辞典』も対象にして、「日本」、「日」、「倭」、及びこれらの複合語に採択された用例について、その特徴を考察してみたい。

ただ、この際注意しておきたい点は、日本帝国主義や植民地支配に対する批判的内容の用例だけを見て、韓国社会は他者批判だけを事とする「反日」社会ではないか、と判断してはならないということである。前で「民主化」、「民衆」に関する記述を取り上げてみたように、これらの辞典は韓国社会の問題についても直截に記述しようとする姿勢を堅持しているのであって、自らの社会が抱える問題点を棚上げにしたまま、「反日」の用例だけをもち出しているわけではないからである。

2. 『延世韓国語辞典』における「日本」、「日」、及びこれらの複合語の用例について

『延世韓国語辞典』の見出し語には固有名詞일본（日本）がなく、일본어（日本語）、および일（日）の複合語17語の計18語に24の用例が採択されている。その半数以上の15の用例は、以下の日本帝国主義関連の内容のもので、日本が帝国主義、植民地主義、あるいは収奪者、抑圧者のイメージと強く結びついた様相を呈している。

¶ シム・チャンスは不穩思想犯として日本の警察に検挙され、釜山刑務所で刑務所暮らしをした（일경：日本の警察）。¶ 当時、民間日本人のための日本語日刊新聞が全国各地に16紙もあった（일문：日本語）。¶ 日本人たちによる財のかきあつめ（致富）と経済的収奪の結果、韓国人の暮らしは日増しに困窮していった（일인：日本人）。¶ 東亜日報に載った孫基禎（ソン・ギジョン）の写真の日章旗が消された事件が起こった（일장기：日章旗）。¶ 彼は日本統治時代に満洲で独立運動をしたという（일정：日本の統治）。¶ そのときは、日帝の植民地統治が極に達しているときだった。／そもそもやることなく、日帝の手先になっていたということなのか。／日帝末期には、国語〔朝鮮語〕抹殺政策の極みに達していた。／彼は日帝時代の手先のように装った（일제：日帝）。¶ 日帝時代に流行歌が愛唱されたのは、国のない民族の悲しい情緒を反

映していたからだ（일제시대：日帝時代）。¶日帝時代に総督府として用いられていた建物の解体は、日帝残滓の清算という意味を込めている（일제잔재：日帝の残滓）。¶日本のなかに残っている70万在日僑胞に対する法的問題について、いま我が国政府も積極的な関心を持たなければならないと思う（재일교포：在日僑胞）。¶この事件以後、南の地方では抗日の機運が高まった。／朝鮮半島全域に抗日の火花が満ち溢れた（항일：抗日）。¶おじいさんは抗日闘争に一生を捧げられた方である（항일투쟁：抗日闘争）。

また、「ある在日同胞の少女が、同僚たちの集団いじめに耐え切れず、自殺をする事件が起こった（재일동포：在日同胞）。」のように被差別存在として在日韓国・朝鮮人を描いた用例を取り上げているが、第2章の9. (46)で紹介した用例「教室で盗難事件が起こると、ただ一人の韓国人だった私に、その事件の濡れ衣を着せられた（뉘어씌우다：[罪を]なすりつける。）」も、在外韓国人の被差別体験を内容としている。こうした韓国人であるが故に差別されるという言葉が取り上げられることは、民族次元での被差別体験がトラウマとなっている様子をうかがわせるものである。

日本料理を話題にした用例「私は日本料理のうち、寿司が最も好きだ。／刺身は日本料理に属するが、韓国人がより好んで食べる（일식：日本料理）。」、「私は彼女と一緒に、ある日本料理屋で寿司を食べた（일식집：日本料理屋）。」では、お決まりのイメージとして寿司と刺身が話題に上がっている。日本製品に対する韓国人の嗜好を皮肉った用例「彼女は下着まで日本製を使っているという。／彼女は日本製には目がない（일제：日本製）。」などは、日本に対する鬱屈した感情から、しばしば日本との優劣を比較し、日本に対する対抗意識が頭をもたげる心性の表現でもある。

日本語習得の必要性に言及した用例「彼女は日本語が全く分からず、東京で困った（일본어：日本語）。」、「部長が日本にいる間、感じたことは何かと尋ねたので、英語だけでは言葉が通じず、日本語も学ばないとけな

いと答えた。(일본어:日本語)」などは、特段の民族的葛藤を表明したものではない。このほか、「政府は在日韓国人財閥に本国に投資するように誘導している。(재일:在日)」という用例も見られる。以上見たように、『延世韓国語辞典』で「日本」、「日」、及びその複合語に採択された用例は、料理や日本語習得の必要性に関する用例以外は、押し並べて日本に対する批判的・否定的感情を伴うものとなっている。

3. 『高麗大韓国語大辞典』における「日本」、「日」、及びこれらの複合語の用例について

『高麗大韓国語大辞典』では、「日本」、「日」、及びこれらを語頭にもつ複合語を合わせて81の見出し語が立てられている。このうち、48語に79個の文章用例が採択され、残り32語には用例がない。例外的に、일제(日本製)には3つの複合語일제 오디오(日本製オーディオ)、일제 카메라(日本製カメラ)、일제 가전제품(日本製家電製品)が、用例として採択されている。

79個の文章用例の約4割にあたる31個の用例が、下記のように日本帝国主義による朝鮮侵略に関連した内容のもので、『延世韓国語辞典』と同様に、「니hon=帝国主義・植民地主義」、あるいは「니hon=抑圧・収奪・略奪」という負の図式にからめ取られた点において、際立った特徴を示している。

¶ 徴用を拒否したマンホは日本の警察の目を避け、山の中に隠れた。／独立運動をしていた尹先生は日本の警察に検挙され、3年間、獄中の苦しみを味わった(일경:日本の警察)。¶ 東学農民革命の時、数多くの農民たちが、官軍と日本軍によって虐殺された。／彼は日本軍を相手に、テロとゲリラ戦を展開した(일군:日本軍)。¶ 日帝の植民地期に日本語で書かれた文学を、どのように理解すべきかについての問題が提起された(일문:日文)。¶ その青年は飛びかかる日本兵のあごを、足で見事

に蹴り上げた。／前は川が行く手を阻み、後ろは日本兵の銃口がある、危うい状況だった。／あいつは、かつて宮殿の塀を超えて乱入した日本兵を手助けして官職を得たので、結局は、日本にしか行くところはなかったようだ（일명：日本兵）。¶ 国連は日本政府に、慰安婦被害者たちに対する法的責任を認めよと促した（일본：日本）。¶ 鳳梧洞の戦いは、1920年代に我が独立軍が日本軍の大隊兵力を撃退した戦いである。／日本の厚生省は第2次世界大戦の時、日本軍に招集された〔朝鮮人の〕軍人と軍属を24万2千余名と把握している。／当時、彼は一人の日本軍を殺害した容疑で投獄されたが、1933年に病気で保釈された（일본군：日本軍）。¶ 1946年、尹奉吉（윤·ボンギル）と李奉昌（이·ボンチャン）義士らの遺骨が、日本の地から故国に奉還された（일본땅：日本の地）。¶ 太平洋戦争当時、彼は日本兵として入営することになった（일본병：日本兵）。¶ 総督府の建物の周囲には、日本式にこざっぱりとした庭園が造られた。／先生は、朝鮮語でよく用いられる日本式漢字語を醇化させることに、一生を捧げた（일본식：日本式）。¶ 私たちはかつて日本語を‘国語’と呼び、日常生活でも用いるように強要された、痛ましい過去があった（일본어：日本語）。¶ 政府は、来週訪韓する予定の天皇が、過去のことについて明確に謝罪することを要求した（일본왕：[日本王] 天皇）。¶ 日帝は満州に傀儡国家を打ち立て、満洲に居住する満洲族、モンゴル族、白系ロシア族〔漢人の誤り〕、日本族、朝鮮族の5つの民族の協力体制を築こうとした（일본족：日本族）。¶ 彼女は歌の雰囲気から、日本風を抜き去ろうと全力を傾けた（일본풍：日本風）。¶ 私たちの言語生活では、日帝30余年のあいだ受け入れた日本語系語彙が、少なからず用いられている（일어계：日本語系）。¶ おじいさんは日帝支配期に、日本人巡査から受けた蔑みを、今も忘れられずにおられる（일인：日本人）。¶ 日本の統治の暴圧は、韓国の民衆に甚大な苦痛を与えた（일정：日本の統治）。¶ 日帝に立ち向かって戦う。／1940年代になると、わが民族に対する日帝の弾圧はさらに強まった。／彼は日帝の侵

略に立ち向かって、民衆啓蒙運動と言論活動に専念した。／日帝がわが民族の皇国臣民化のために、最も力を注いだのが教育だった。／日帝の残滓を清算するため、さまざまな事業が各界各層でなされている (일제: 日帝)。¶ おばあさんは、今も日帝支配期の頃を想えば、涙が出るとおっしゃった (일제 강점기: 日帝支配期)。¶ 李教授は、行政官僚の大部分が植民地統治下で官職に就いていたために、解放後も行政に日帝式が残存していると分析した (일제식: 日帝式)。¶ 日本政府の庇護を受けた日本の商人が、朝鮮の市場を食い荒らした (일상: 日本の商人・商社)。¶ 解放前に学校に通った兄は、朝鮮語の翻訳書より日本語版翻訳書をすらすら読んだ (일어판: 日本語版)。

また、日本製品の使用を逡巡する心理を、当時の外貨不足問題と絡めて表出した以下のような用例も見られる。

¶ その飲食店では、日本米まで輸入して、ご飯を炊いた (일본쌀: 日本米)。¶ いくら日本製がいいと言っても、爪楊枝まで輸入して、どうして国がよくなることを期待できるでしょうか。／チョルスよ、今や国産も日本製より良いものが多いから、国産のものを使おう。／経済は悪化する一方なのに、最近になって日本製乗用車の輸入が増え、心配だ (일본제: 日本製)。¶ 一時期、日本産の学用品をたくさん使った (일산: 日本産)。¶ この製品の価格は、国産と日本産とは別に違いがありません (일본산: 日本産)。

このほか、中国侵略に関連すると思われる内容の用例「最近、日中間の問題が国際的に深刻に台頭している (일중: 日中)。」、及び「日本の天皇の中国訪問は、日中間の関係を改善しようとする日本の努力であると、見ることが出来る (일중: 日中)」が採択されている。

見出し語「反日」、「抗日」、「抗日軍」、「抗日戦」には、以下のような反日・抗日闘争に関連した用例が採択されている。

¶ 父はまだ反日感情を抱いておられる。／日帝支配期も、私たちの先人は反日の精神で武装し、持続的な独立運動を繰り広げた (반일 : 反日)。
¶ トルセは義兵となって抗日闘争の先頭に立ち、輝かしい活躍をした。／沈 (سيم) 先生は徹底した抗日精神で、日帝を批判する作品を多数発表した (항일 : 抗日)。
¶ 日帝が満洲事変を起し、満州を掌握しようとするや、朝鮮革命軍と韓国独立軍は満洲地域の中国抗日軍と提携して、激烈な抗日闘争を展開した (항일군 : 抗日軍)。
¶ おじいさんは若い頃、抗日戦に参加していたことを誇りに思っておられる (항일전 : 抗日戦)。

上で紹介したように、日本を負のイメージでとらえた用例が圧倒的に多いが、わずかながら、以下の用例のように、こうしたイメージの払拭や、日韓関係の改善を主張する内容の用例も5つ見られる。

¶ 韓国と日本が2002年ワールドカップを共同開催する意義深い年を迎え、今年は '韓・日国民交流の年' としても指定された (일 : 日)。
¶ 円満な対日関係のため、「日本系」に分類される議員たちの役割が重要である (일본계 : 日本系)。
¶ これからは、わが国民も新たな韓日関係を築くために、否定的な伝統的日本観から脱皮しなければならないだろう (일보관 : 日本観)。
¶ 「彼は、日本人は誰もが悪い、という偏見を持っている (일인 : 日本人)。
¶ 日本側代表は、日韓両国の活発な交流のために努力しようという内容の談話を発表した (일한 : 日韓)。

また、日朝近代史の歴史的桎梏に囚われない、以下のような用例も採択されている。

¶ シニは日本語が良くできるので、会議の時はいつも日本人役員たちのために通訳を引き受ける (일본말: 日本語)。¶ 私は高校生の時、第2外国語で日本語を習った (일본어: 日本語)。¶ 日本の出版社が人気作家である彼女の小説について、日本語版を出すという話を持ってきたそうだ (일본어판: 日本語版。¶ このたび金教授が出した胎教用の本は、日本の本を翻訳したものだ (일본책: 日本の本)。¶ 来年からわが雑誌社では日本語版発刊をはじめとして、海外市場を攻略することにした (일본판: 日本語版)。」

さらに、日本文化の肯定的なイメージを素直に表現した、以下のような用例も採用されている。

¶ 奈良時代は、日本史において燦爛たる仏教文化を花咲かせた時期である (일본사: 日本史)。¶ 日本型の仏教寺院は、大陸から伝わった寺刹建築に比べると簡素な構造を帯び、直線的で洗練された感覚を尊重する特徴がある (일본형: 日本型)。

このほか、天皇に関する用例「日本では日本王を天皇と呼ぶが、その理由は彼らが太陽神の後裔だと信じているからである (일왕: [日王] 天皇)。」や、日本の食事文化に関する用例「久しぶりに会った彼らは日本料理屋で刺身を食べた (일식집: 日本料理屋)。」がみられ、貿易不均衡に関する次のような用例がみられる。

¶ 国会では日本産自動車の輸入を規制しようとする動きがみられた (일본산: 日本産)。¶ 「韓日両国間貿易収支の不均衡が深まっている (한일: 韓日)。¶ 来年度の対日輸出は、多少回復する展望である (대일: 対日)。

見出し語재일 (在日)、재일 교포 (在日僑胞)、재일 동포 (在日同胞) に採択された用例として、「幸い、在日韓国人のなかで、今回の地震で被害を受けた人はいなかったそうである。」、「在日同胞と結婚した彼女は、日本で新婚生活を過ごす予定である。」、「在日同胞と一緒にした日本旅行は、とても面白かった。」が採択されているが、この限りでは、在日韓国・朝鮮人を差別される存在としての色付けはなされていない。このほか、「プログラム著作権に関する限り、日本の法でもわが国と同じように、私的な複製を認めている (일본법 : 日本法)。」という用例もみられる。

なお、用例が採択されていない見出し語は、以下の通りである。

일문과 (日本語日本文学科)、일문학 (日本文学)、일본군 위안부 (日本軍慰安婦)、일본기 (日本の旗)、일본 방송 협회 (日本放送協会)、일본색 (日本色)、일본서기 (日本書紀)、일본식 성명 강요 (日本式姓名強要)、일본 열도 (日本列島)、일본옷 (日本の服)、일본해 (日本海)、일본 해류 ([日本海流] 黒潮の一部)、일서 (日本語の文や本)、일어 (日本語)、일본 간장 (日本の醤油)、일본 뇌염 (日本脳炎)、일본촌 (日本村)、일장기 (日章旗)、일장기 말살 사건 (日章旗抹殺事件)、일정 시대 (日本統治時代)、일제 세대 (日帝時代)、일청 전쟁 (日清戦争)、일풍 (日本風)。

さらに、일본 목련 (日本木蓮) など動植物名10語にも用例は採択されていない。

4. 『延世韓国語辞典』における「倭」の複合語の用例について

「倭」(왜) は、日本や日本人を見下した意味を込めて用いられる語で、その複合語も多数用いられている。日本や日本人を見下した「倭」やその複合語は、かつてこれまで「国語醇化」の対象にされたこともなく、いまでも使われている。これらの見出し語のもとに採択された用例には、以下に示すように、壬申倭乱 (文禄・慶長の役) や植民地支配と関連して日本を否定的に表現したものが多。『延世韓国語辞典』では、왜 (倭) の複合語

15語に採択された18個の用例のうち、以下の7例は壬申倭乱を内容とするものである。

¶ 南海岸では倭寇の略奪は絶えず、各郡別に徴集力が年を追って落ちていた実状だった (외구: 倭寇)。¶ 私は鷄林国 [朝鮮の異称] の犬や豚になることがあろうとも、汚らしい倭国の臣下にはなりたくない (외국: [倭国] 日本)。¶ 壬申倭乱当時には、多くの朝鮮人が倭軍の捕虜として捕えられていった (외군: [倭軍] 日本の軍)。¶ わが国の官署の僧兵は倭乱のたびにその勇猛さを示し、明の国まで知られた軍人なのだ (외관: 倭乱)。¶ 玄界灘をわたってきた5百余隻の倭国の船はすべて燃え、船に乗っていた倭寇は、みな海に溺れて死んだ (외선: [倭船] 日本の船)。¶ 論介 (ノンゲ) は義巖の岩と呼ぶところから、倭の將軍を抱いて投身した (외장: [倭将] 日本の將軍)。¶ わが国の伝説に、東海 [日本海] から攻め込んできた倭敵が、石窟庵の仏様の額から射してくる光線がまぶしくて、そのまま逃げてしまったという話がある (외적: [倭敵] 敵の日本・日本人)。

ところで、壬申倭乱よりはるかに時代をさかのぼる新羅の忠臣朴堤上 (363~418) に関する古代史の逸話「朴堤上は、倭王が官職と財物を与えるというのを拒絶して、甘んじて死を受け入れた。」 (외왕: 倭王) が用例に採用されており、反日意識が古代史にまでさかのぼる根深さを示している。

以下の6つの用例は、植民地支配に関連する内容のものだが、日帝からの抑圧を描いたものが少なくない。

¶ 日本の警察はもう少し多くの独立軍を捕まえようと焦った (외경: [倭警] 日本の警察)。¶ 彼は駐在所で日本人野郎の巡査に殴られて、半殺しの目にあった (외놈: 日本人野郎)。¶ 日本式教育を受けた私には、朝鮮時代、立て続けに起こった倭乱、胡乱の記録を読むたびに、妙に思わ

れることがある (왜란 : 倭乱)。¶ 日本兵に銃殺された夫の死は、歳月が流れても、ながく母の胸中で忘れられない様子だ (왜병 : [倭兵] 日本兵)。¶ 息子の一人は、日本統治時代に徴用で引っ張られて行ったあと、解放を迎えて何年経っても、戻ってこなかった (왜정 : [倭政] 日本の統治)。¶ その家は、日帝時代に建てた日本式建物で、畳部屋だった宿直室はオンドル部屋に変えた (왜식¹ : [倭式] 日本式)。

上記のほか、「百済が滅亡すると、多くの支配階層が倭国に亡命し、日本社会でも上流層を形成した (왜국 : 倭国)。¶ 今日では久しぶりに、夕食は日本料理にしてはどう？ (왜식² : [倭食] 日本食) ¶ 困った倭人たちは顔が赤くなって、身の置き所を知らない様子だった (왜인 : [倭人] 日本人)。」のような用例も見られる。

5. 『高麗大韓国語大辞典』における「倭」の複合語の用例について

『高麗大韓国語大辞典』では、왜 (倭) の複合語139語が見出し語に採択され、このうち41語に51個の文章用例が採択されている。これらのうち、壬申倭乱関連の用例は以下の8つである。

¶ 日本刀が本格的にわが国に流入したのは、壬申倭乱以降だという (왜검 : [倭剣] 日本刀)。¶ 彼は村人たちを集めて、義兵を組織して倭寇をすべて殲滅した (왜구 : 倭寇)。¶ 壬申倭乱の時、日本軍が破竹の勢いで朝鮮半島を蹂躪した (왜군 : [倭軍] 日本軍)。¶ その年に倭乱がおこり、村じゅうが廢墟と化してしまった。／歴史的にわが国には、何度かの倭乱があった (왜란 : 倭乱)。¶ 倭松村は、壬申倭乱の時、日本の將軍が馬をつないでおいた松の木があったからとして、名付けた村である (왜장 : [倭將] 日本の將軍)。¶ 大師が僧兵を組織することを勧めると、全国の僧侶たちが立ち上がって日本と戦った。／李舜臣 (イ・スンシン) 將軍は倭敵の戦艦をおち壊し、敵軍を追い払った (왜적 : [倭敵] 敵の日

本・日本人)。」

また、植民地支配関連の用例は、以下に示すように16個が採択されている。

¶彼は日本の警察と密通した変節者を探し出して、自白を引き出した。／彼は日帝が運営する銀行に爆弾を投げた後、日本の警察に逮捕された (외경: [倭警] 日本の警察)。¶いまでも、おじいさんの世代には、日本帝国主義が遺した傷を忘れられない方々がたくさんいる (외귀: [倭鬼] 日本帝国主義)。¶あの白狐みたいな日本女が、隣の家の作男を巧みに口説いて、なんと自転車を借りて乗っていたのだ (외년: 日本女)。¶解放を迎えて、私たちの血を吸っていた日本人野郎どもは退散した (외놈: 日本人野郎)。¶日帝支配期、数多くの独立闘志たちが、日本兵によって命を落とした (외병: [倭兵] 日本兵)。¶一部の人々は、私たちの多くの大衆歌謡が倭風の曲であると批判しているが、実際のところ一般大衆は、どこからが倭風なのかわからない (외색조: [倭色調] 日本風)。¶私の息子が日本人巡査に引っ張られてから10日経ったのに、生死すらわかりません (외순사: [倭巡査] 日本の巡査)。¶私が住んでいた家は日本式に建てられた、ちっぽけな家だった (외식: [倭式] 日本式)。¶尹奉吉 (윤·ボンギル) 義士は、去る1932年4月29日、日本の将軍白川を暗殺した容疑で、現場で逮捕された (외장: [倭将] 日本の将軍)。¶わが国は1910年に国権が侵奪され、1945年8月15日の解放を迎える時まで、堪えがたい日本の植民地統治を受けた (외정: [倭政] 日本の統治)。¶おばあさんは、私たちが聴いている日本歌謡は日本民族の歌だと言って、叱咤なさった (외족: 日本民族)。¶彼は満ち潮のように押し寄せる西洋風と倭風のもとでも、最後までパジ・チョゴリを着て、私たちの伝統と誇りを学生たちに教えた (외풍: [倭風] 日本風)。¶彼は質屋を開いて、日本の憲兵の手先の役割を担った。／彼女は日本の憲兵

の検問を避けるために、田舎女に変装した。／母は遠い満州まで行くといって出かけたおじさんが、日本の憲兵に捕まっていないかと、心配そうだった (외헌병: [倭憲兵] 日本の憲兵)。

さらに、倭寇の侵略に言及した、次のような用例が採択されている。

¶ 日本人野郎の悪だくみが邪悪であればあるほど、奴らに対してより積極的に立ち向かい、わが民族の気概を見せてやらなければなりません。／ヒヨヌは自ら武器を持って日本人野郎と戦った話になると、全身が火の玉のように燃え上がってくるのを感じた (외놈: 日本人野郎)。¶ この本にはむかし、日本の王に屈しなかった朝鮮の臣下たちの逸話が紹介されている (외왕: [倭王] 天皇)。¶ 日本人の侵略によって、わが国のたくさんの文化財が消失した (외인: [倭人] 日本人)。¶ 当時は、日本の盗賊が頻繁に侵入した時期だった。／南海岸一帯で倭の盗賊による略奪行為が頻発し、対策が必要だった。／倭敵から守る (외적: [倭敵] 敵の日本・日本人)。¶ 倭敵を追い払う (외적: [倭賊] 日本の盗賊)。

また、文化の「倭化」(日本化)を否定的にとらえた、次のような用例がみられる。

¶ 彼女は、青少年たちが分別もなく模倣する倭色の文化を、強く批判した (외색: [倭色] 日本色)。¶ 私が日本の雑誌を見ていると、いつもおばあさんは日本のものは見るなど、腹を立てる (외치: 日本のもの)。¶ 彼は、昔からの友が思想の日本化をみせるや、絶交を宣言した (외화: [倭化] 日本化)。¶ 老人は“日本化したやつは俺の息子ではない”と言いながら、息子に会ってやらなかった (외화되다: [倭化-] 日本化する)。

上記のほかにも、次のような用例が採択されている。

¶ 当時、朝鮮は倭国を取るに足りない島国ぐらいに思っていた (외국: 倭国)。¶ 倭館での交易は、毎月 6 度開かれる市を通じて行われた (외관: 倭館)。¶ ここはどうして日本の野郎、日本の女が多いのか (외년: 日本の女)。¶ 私たちの歳時風俗である綱引きは、日本式の綱引きとは遊び方や遊戯の意味が異なる (외식: [倭式] 日本式)。¶ 彼は日本に留学していた頃に読んでいた日本の本を、帰国する時すべて売り払ったそうだ (외책: [倭冊] 日本の本)。¶ 彼は日本の銃を改良した 2 丁の獵銃を持っていた (외총: [倭銃] 日本の銃)。

『高麗大韓国語大辞典』には、上で取り上げた「倭」の複合語 41 語以外に、98 語の複合語が見出し語にとられている。これらの複合語の中でも、日本製の物品を表す語である 외간장 (日本風醤油)、외낫 (日本風の鎌)、외된장 (日本味噌)、외떡 (せんべい)、외비누 (石けん)、외비단 (日本の薄い絹)、외수건 (手ぬぐい) などには、ことさらに日本を見下した意味を帯びないこともあり、したがって、その用例も反日的味あいを帯びないものが採択されている。それらの用例は以下の通りである。

¶ 日本醤油を加えて、味を整える (외간장: [倭-醬] 日本醤油) ¶ 彼は牛の飼葉を刈りにメヒシバの草原に行って日本鎌で草を刈っていて、指をざっくり切ってしまった (외낫: 日本の鎌)。¶ 水気をとったドジョウを日本味噌に入れて揉んでおけば、骨が柔らかくなる (외된장: [倭-醬] 日本の味噌)。¶ トクスンは子供にせんべい 3 枚を買ってあげた (외떡: せんべい)。¶ 私は夏になると、真桑瓜を売り、秋からは焼き栗売り、せんべい売りもします (외떡: せんべい)。¶ 甥は梅の花の模様が描かれた日本の服を着て、門の前で私たちを出迎えた (외복: [倭服] 日本の服)。¶ 슌ヨンは日本の絹で作ったチマを身に付けていた (외

비단：[倭緋緞] 日本の絹)。¶彼は片手で頭に巻いていた手ぬぐいをとって手に持ち、もう一方の手で乱れた髪を撫で上げた (왜수건：[倭手巾] てぬぐい)。¶金課長は日本食がとても好きだ (왜식：[倭食] 日本食)。)、 「少女は紺色の木綿のチョゴリを身に付けていた (왜청빛：[倭靑-] 紺色)。

6. 「親日」に関する用例について

かつて、日本の朝鮮侵略・植民地統治に同調し、協力した人々が、「親日派」(친일파)として指弾される状況は、現代の韓国社会でも変わっていない。例えば日本の植民地統治にも肯定的な側面があると指摘でもすれば、白黒論理が濃厚な「親日派」批判にさらされ、社会的地位や名声を奪われかねない。

こうした社会状況を反映して、「親日」およびその複合語の用例は、一様に「親日」に批判的な内容となっている。一方、日本社会では「言論の自由」の名のもとに、朝鮮植民地支配を礼賛する議論さえまかり通る、腐敗した思想状況がみられ、日韓間の歴史認識における乖離を解決する糸口を見出すのは、容易ではない。『延世韓国語辞典』では、친일 (親日)、친일적 (親日的)、친일파 (親日派) の見出し語のもとに、以下の4つの用例が採択されている。

¶朝鮮人として、日本軍に志願をしたということは、すなわち親日を意味した (친일：親日)。¶彼の行動は多分に親日的に見える。／彼は新羅の伝説を親日的な内容に換えて、作品化した。／彼は民族の精気を無視した親日的教育政策に、全面的に挑戦した (친일적：親日的)。¶結局、日本の計略から逃れようとする親露派も、日本の手先親日派も、この国を彼ら個人の政治的安定のための生贄として捧げる愚行であることに変わりはなかった (친일파：親日派)。

『高麗大韓国語大辞典』では、친일 (親日)、친일계 (親日系)、친일 세력 (親日勢力)、친일시 (親日詩)、친일적 (親日的)、친일파 (親日派)、친일하다 (親日行為をする) の7つの見出し語のもとに、下記の15個の用例が採択されている。

¶ 日帝支配期に親日だった人々の子孫たちは、いま裕福に暮らしている。／独立闘志たちは、親日の先頭に立った団体である一進会を攻撃することに、力を注いだ。／文化的に、親日に拒否感を覚える人々が次第に少なくなっている (친일: 親日)。¶ 盧徳述 (ノ・トクスル) は日帝時代、数多くの愛国志士を投獄した代表的な親日系警察だ (친일계: 親日系)。¶ 親日勢力と慰安婦問題は、私たちが必ず清算しなければならない課題である。／彼らの近頃の言動を見れば、親日勢力が復活したのではないかとさえ思われる (친일 세력: 親日勢力)。¶ その詩人は、日帝支配期に親日詩を書かないように、筆を折って帰郷した (친일시: 親日詩)。¶ 独立運動家として知られていた方の親日的行状が明らかになり、国民は衝撃を受けた。／日本に留学をした彼は、親日的な性向が強い。／日帝末期、作家たちの親日的文学行為は、批難だけしているわけにはいかない。／彼は親日的な交友関係を自慢している (친일적: 親日的)。¶ つまるところ、総督府と手を携えて民族を売り渡した親日派でなくては、こんな暮らしは夢にもできないだろう。／解放後、数十年にわたって教育行政の要職を占めながら、日帝残滓を拡大、再生産した連中が、親日派教育官僚である。／未だに親日派に対する断罪が満足にできていないのは、わが国現代史の最大の恥部だ (친일파: 親日派)。¶ 日帝支配期に多くの知識人が親日行為をして、露命をつないだ (친일하다: 親日行為をする)。

「親日」に関する上記用例は、すべて一様に「親日」に対するきわめて否定的な内容となっている。8.15解放後、民族国家建設を進める起点が植民

地支配の清算にあったことから、韓国では1948年の憲法制定とともに「反民族行為処罰法」が制定され、「親日派」の摘発が行われようとしていた。韓国併合への加担者、元朝鮮貴族、元帝国会議員、中枢院構成員、勅任官以上の元官吏、日帝の国策団体の元幹部、独立運動を妨害したり弾圧した者など「親日反民族行為者」を逮捕し、財産を没収するものだったが、李承晩（イ・スンマン）政権は、翌年これを中止して不徹底のまま終わった。盧武鉉（ノ・ムヒョン）政権になって、2004年に「日帝強占下汎民族行為真相糾明特別法」（2004年）、「真実・和解のための過去史整理基本法」（2005年）などが制定され、植民地時代における「親日行為」や、軍事政権下の人権弾圧などについての真相究明が進められた。2009年には、21,000余頁もの「親日反民族行為真相糾明報告書」が作成されるなど、解放後半世紀以上たった今も、「親日派」に対する追及は終わることがない。

日本では、韓国の「反日」に反発する声もしばしば聞かれるが、韓国の「反日」は、決して日本を批判する次元に留まるものではなく、自らの身を切る過去史への見直しを伴って進められてきた。植民地支配・侵略戦争に対する歴史的責任と総括が不十分だとする主張を「自虐史観」だといって切り捨てる声が蔓延する日本社会とは、この点において根本的に異なっている。

日本社会はとうの昔に、経済の復興とともに「もはや戦後ではない」という認識から、戦争責任の追及と総括が曖昧なままにされてきた。朝鮮植民地支配に対する責任問題は、1965年の「日韓条約」締結で基本的に解決したという立場から、政府レベルでは「慰安婦問題」にも向き合おうとしていない。日本側が「軍の関与」有無を議論するのも、戦争責任を今更議論したくないという姿勢の反映でしかなく、歴史の傷を癒そうとする真摯な努力が傾けられていない。これでは、韓国の人々との感情的な溝は埋めようもないだろう。上で見た『延世韓国語辞典』や『高麗大韓国語大辞典』に記述された「親日」批判の用例からも、韓国社会では、植民地支配に対する歴史的責任問題は、いまだに未解決な問題だと考えられていることが

わかる。

7. 「民族」に関連する用例について

朝鮮は近代民族国家を形成しようとしていた矢先に、日本の植民地支配を受けることになったため、民族国家建設は8.15解放まで引き延ばされることとなった。統治権限を朝鮮総督府に奪われた状況では、「国語」(national language)の形成にしても、国家権力の裏付けもない朝鮮語学会のような民間団体の活動でもって、来るべき民族解放の日に備えて、朝鮮語の規範化事業を進めるしかなかった。しかも、アジア・太平洋戦争が始まると、「内鮮一体」、「皇国臣民化」政策の下で「国語常用」(=日本語常用)が強要され、ついには朝鮮語学会事件で弾圧され、民族語文運動が展開できない状態に至っていた。こうした経過から、植民地統治に対する反抗が民族主義思想を高めた側面は否定しがたい。つまり、朝鮮の民族主義や民族国家建設への意思是、植民地統治の歴史と不可分の関係のなかで形成されていった。

『延世韓国語辞典』に採択された用例「全民族的に起こった3.1運動は、他でもなく民族精神であり、また、民族の理想でもある(민족정신:民族精神)」、「日帝植民地統治下で、日本の圧政者たちは、私たちの精神、私たちの民族魂を抹殺するために、私たちのことばと文字を用いることができないようにした(민족혼:民族魂)」を見ても、韓国の民族主義が日帝植民地支配の歴史を、強く意識していることがわかる。『高麗大韓国語大辞典』には、以下に示すように、日帝支配と民族主義形成との関わりを示す、いくつもの用例が採択されている。

¶ 私たちは、知らず知らずのうちに染みついた弱小民族観や植民地史観から離脱しなければならない(민족관:民族観)。¶ 解放後の私たちの目標は、民族国家の建設だった(민족 국가:民族国家)。¶ 1910年、朝鮮が日本帝国主義の植民地に転落することによって、私たちの民族史上

最大の試練の時期が始まった (민족사: 民族史)。¶ 彼は民族史観を提示し、広めることに一生を捧げた (민족 사관: 民族史観)。¶ 3.1運動は、民族的に大きな意味を持つ歴史的事実である (민족사적: 民族史的)。¶ 日帝の弾圧が激しくなればなるほど、人々の民族愛もさらに高まった (민족애: 民族愛)。¶ 朝鮮語学会は、日帝支配期に民族語を用いる運動を展開した (민족어: 民族語)。¶ 日本は民族資本の発展を妨害する行為を巧妙に進めた (민족 자본: 民族資本)。¶ 三一運動は日帝侵略者に対する民族的抵抗だった。/ 日帝支配期は民族的受難と試練が続く時期だった (민족적: 民族的)。¶ 民族主義路線の抗日独立運動 (민족주의: 民族主義)。¶ 彼女は民族魂を叫び、植民地主義教育を批判して日帝から弾圧された (민족혼: 民族魂)。

8. 否定的イメージを内包する語と共起する日本関連の用例について

植民地支配や日帝の侵略を内容とする用例は、「日本」、「倭」、「親日」、「民族」などの見出し語のみならず、さまざまな見出し語に採択されている。それらの見出し語は、必ずしも日本との関連で用いられる必然性がなにもかかわらず、日本の侵略や植民地統治と関連した用例が多くみられる。とくに、「被害、被圧迫、苦痛、悲哀、残虐」といった否定的イメージを内包する語彙が日本関連の話題と結びつきやすい傾向がみられる。これはほかでもなく、反日に関する歴史的伝承の今日的な姿を反映している。以下、『高麗大韓国語大辞典』の用例を若干取り上げて、考察してみる。

8-1. 受難

수난 (受難)、수난곡 (受難曲)、수난극 (受難劇)、수난기 (受難記)、수난기 (受難期)、수난사 (受難史)、수난상 (受難の様相)、수난악 (イエスの受難曲)、수난일 (イエスの受難日)、수난자 (受難者)、수난주 (受難週)、수난 주간 (受難週間)、수난하다 (受難する) の13個の見出し語のうち、用例が載っているのは、「受難、受難期、受難記、受難史」で、用例数

は8つである。そのうち、以下の5つの用例が、日本帝国主義の侵略に関連する内容である。

¶ 日帝支配期は、民族的受難と試練による苦痛の歴史だった（수난：受難）。¶ 1930年代のわが国の小説をひと言で定義すれば、民族受難記だと言える（수난기：受難記）。¶ 民族受難期に、数多くの烈士と憂国の志士が現れた（수난기：受難期）。¶ 挺身隊問題は、韓国女性最大の受難史だと言える。¶ 小説『土地』は、わが民族の受難史を小説化したものである（수난사：受難史）。

8-2. 拷問

고문（拷問）、고문기（拷問機）、고문대（拷問台）、고문실（拷問室）、고문자（拷問者）、고문 치사（拷問致死）、고문하다（拷問する）の7つの見出し語のもとに13の文章用例が載っている。このうち2つは、以下のような日帝関連の内容である。

¶ 彼のおじいさんは独立運動をしていて、日帝高等係の刑事に捕まり、数々の拷問を受けた（고문：拷問）。¶ 私は、わが同胞を拷問する日本の奴らに憤怒が込み上げた（고문하다：拷問する）。

上記以外の11個の用例は、日本関連のものではなく、軍事独裁政権下での拷問に関する内容だと思われるが、ここで紹介しておきたい。韓国では、1980年代の民主化闘争勝利の頃まで、当たり前のように拷問が繰り返されていた。そのような中で、1987年1月、朴鍾哲氏（パク・ジョンチョル、ソウル大学言語学科学生）が対共課取調室の浴槽に頭を沈められて殺された拷問致死事件が、担当監察医の勇氣ある暴露によって白日の下に晒されて、軍事独裁政権に対する国民の怒りが高まり、民主化闘争はさらに昂揚した。日本による植民地統治時代から当たり前のように繰り返されてきた

拷問が、姿を消すようになったのは、こうした犠牲を乗り越えて韓国民衆が勝ち取ったものだった。以下の用例は、そうした苦闘の歩みを反映している。

¶彼女が受けた残忍な拷問は、どんな言葉をもってしても、言い表すことができない。／わが国の刑法12条によれば、すべての国民は拷問を受けないと明示されている (고문: 拷問)。¶時々彼らは拷問機を止めて、同じ質問を繰り返した (고문기: 拷問機)。¶まる一日の取り調べの末に、拷問台から外されたその囚人は、体中が血まみれになっていた (고문대: 拷問台)。¶その白色の空間は、ナチスの拷問室を連想させた。／彼は軍事政権時代に拷問室で働いていた人だった。／彼は拷問室に呼ばれて行って、水拷問をされる悪い夢を見た (고문실: 拷問室)。¶彼はかつて拷問者だったが、今は宗教に帰依した。／拷問者は彼に身に覚えのない罪名を突き付けて、残酷に拷問した (고문자: 拷問者)。¶朴氏の拷問致死事件に接した大多数の国民は、怒りと驚愕を禁じ得なかった (고문 치사: 拷問致死)。¶当時、警察官は、手配学生の所在を聞き出す目的で、連行した朴君を拷問した (고문하다: 拷問する)。

8-3. 略奪・収奪

日本帝国主義や植民地主義が略奪・収奪という概念と結びつきやすく、『高麗大韓国語大辞典』でもその傾向がみられる。수탈 (収奪) に2つの用例が載っているが、いずれも帝国主義に関する内容で、「帝国主義国の支配を受けていた植民地の農民たちは、内外の支配と収奪に苦しめられた。」、「韓日合邦条約を締結した日帝は、徹底した植民地収奪のため、武断政治をおこなった。」というものである。「약탈되다」(略奪される) の唯一の用例は壬申倭乱に関する内容で、「壬申倭乱と日帝統治下など、歴史の暗い時代に我々の文化財を日本人に略奪された。」、약탈적 (略奪的) の用例2つは、いずれも帝国主義に関する内容で、「日本は各開港場を通して、朝鮮の穀物

と金銀などを略奪的に流出させた。』、「帝国主義は侵略的、略奪的、奇形的性格を帯びている。」というものである。また악탈하다(略奪する)の用例2つのうちの1つは「朝鮮総督府は、日帝がわが民族を弾圧し、略奪しながら10年間工事を行い、1926年に完工した。』、탈취(奪取)の用例2つのうちの1つは「ヨンホは日帝によるこの土地の奪取過程を緻密に調査した。』、창탈되다(奪われる)の唯一の用例は「私たちの教会の物品がウェノム(倭奴)たちにすべて暴力的に奪われた。」で、いずれも日帝に関するものである。

8-4. 「悪辣」・「悪質」・「悪徳」・「奸悪하다」(奸悪だ)

『延世韓国語辞典』では、악랄하다(悪辣だ)の2つの用例のうち、1つは「私は日帝の悪辣でひどい民族抹殺政策に身震いしていた。」で、악질적²(悪質な)の唯一の用例は「大多数の日本の穀物商たちは、悪質な方法で、困窮した農民層を搾取した。』、악독하다(悪徳だ)の3つの用例のうち1つは「帝国主義者の手先どもは、同族に帝国主義者よりはもっと悪徳な行為をほしのままにした。」というものである。

一方、『高麗大韓国語大辞典』では、악랄하다(悪辣だ)の2つの用例のうち、1つは「日本の巡查たちは、独立運動家たちをあらゆる悪辣な方法で拷問した。』、악질분자(悪質分子)の唯一の用例は「解放後、村人たちは日本の手先の中でも悪質分子を選び出し、財産を没収し、村から追放した。」というものである。

간악하다(奸悪だ)については、『延世韓国語辞典』の唯一の用例は「日帝の奸悪な策略は留まるところを知らなかった。』、『高麗大韓国語大辞典』の3つの用例のうち1つは「彼女は、この本で日本の奸悪な朝鮮侵略政策を余すところなく暴いている。」で、日帝批判の内容となっている。

8-5. 「虐殺」・「抑圧」・「弾圧」・「抵抗」など

「虐殺」、「残虐」、「抑圧」、「蹂躪する」などの被抑圧や被害を表す語に

は、少しページを繰ってみただけでも、以下に示すような日帝や植民地支配に関する用例がよく現れる。『延世韓国語辞典』には、たとえば次のような用例が採択されている。

¶ 南京大虐殺は1937年12月、日本軍が中国の南京を占領する過程で数十万名の民間人を無惨にも虐殺した事件である。／独立軍を殲滅するため、満州出兵を敢行していた日帝は、満州一帯で非武装の韓人たちを無差別に虐殺した。／日帝は平和的デモを繰り広げるわが朝鮮の同胞たちを無差別に虐殺した (학살하다: 虐殺する)。¶ 延世: 彼らは植民地を支配することによって他の国を蹂躪しながらも、全く呵責の念を感じていない様子だ (유린하다: 蹂躪する)。¶ この論争が提起された1930年代後半は、第2次世界大戦の暗雲があつく立ち込めた時代だった (암운: 暗雲)。¶ 日帝時代はいわば国権を失った民族の暗黒期で、思い起こすことすらいやな時代だった (암흑기: 暗黒期)。¶ 1945年8月、日本の無条件降伏で、わが民族は36年ぶりに日帝の圧政から解放された (압정: 圧政)。¶ どれほど多くの愛国同胞と国民が、素手で日帝の圧政に抵抗しただろうか? (저항: 抵抗) ¶ わが民族は日帝の弾圧と暗黒政治のもとでも最後まで抵抗し、解放と独立を迎えることとなった (탄압: 弾圧)。¶ 日帝の植民地支配に身と心を捧げて抵抗していた彼は、韓国の独立運動の巨星である (항거하다: 抵抗する)。¶ 独立運動の過程で、投獄された経験を持つこの人たちは知識、教育、出生成分などで多様に分類される (투옥: 投獄)。¶ 毎年3月が来ると、私たちは独立万歳を叫んで監獄に投獄されたり、亡くなったりした方々を思い起こさせられる (투옥되다: 投獄される)。¶ 日帝は検閲にかかった文を押収し、刊行物を廃刊したのにとどまらず、筆者を投獄したりもした (투옥하다: 投獄する)。

『高麗大韓国語辞典』でも、以下に示すように、「監獄」、「暗雲」、「暗黒」、「暗い」、「抑圧」などマイナス・イメージを持つ見出し語のもとに、同様の

用例が多数採択されている。

¶ その独立運動家は監獄で息を引き取った (감옥 : 監獄)。¶ 植民地時代は誰もが苦痛を味わった (고통받다 : 苦痛を味わう)。¶ 1930年代後半は第2次世界大戦の暗雲が立ち込めた時代だった (암운 : 暗雲)。¶ 植民地の青少年たちは、闇を照らすことができる精神的指導者を必要としていた (암흑 : 暗黒)。¶ 日帝支配の暗黒期に、彼は京城帝国大学で教授をしていた (암흑기 : 暗黒期)。¶ 日帝の支配によって36年間、国権を喪失した暗い時期を耐えなければならなかった (어둡다 : 暗い)。¶ 日帝の抑圧と収奪からのがれる (억압 : 抑圧)。¶ 日帝の侵略によって国土が蹂躪され、多くの山林資源が毀損された。／かつて弱小国家だったわが国は、周辺国家によって蹂躪された歴史的事件が頻発した (유린되다 : 蹂躪する)。¶ 日本人の大部分は、彼らの祖先の残虐な行為について、全く知らなかったり、知っていたとしても知らないふりをする (잔학 : 残虐)。¶ 日帝は独立志士たちに弾圧を加えた (탄압 : 弾圧)。¶ ここで労働者として暮らしていた朝鮮人数百名が、日本軍に虐殺されたという記録がある (학살 : 虐殺)。¶ 私のおじいさんは日帝の植民地支配に抵抗して、命を捧げて戦われた (항거하다 : 抵抗する)。¶ 日本の巡査は朝鮮の女性を挺身隊に引っ張っていき、酷使した (혹사하다 : 酷使する)。

8-6. 従軍慰安婦・挺身隊

『延世韓国語辞典』では위안부 (慰安婦) に、「戦時に戦場で、軍人を性的に慰安した女子」という語釈を施し、「政府は、日帝時代に強制的に慰安婦として引っ張られていった人々に対する補償問題に対して、消極的だった」という用例のみを載せている。しかし、종군위안부 (従軍慰安婦) という見出し語は採用されていない。

정신대 (挺身隊) の語釈は「① (太平洋戦争の時) 日本軍のために強制

下に従軍していた慰安婦。②ある目標を達成するために、自発的に先頭に立つ部隊。」となっており、語釈①に「挺身隊といって、未婚の娘を連れて行ったので、民族の受難は極に達していた。」という用例が載せられている。語釈①に記された用例の「挺身隊」については議論のあるところではある。太平洋戦争中、たとえば、富山の機械工場「不二越」^{ふじこし}には、1,000人余りの朝鮮の少女たちが「女子勤労挺身隊」として送り込まれ、旋盤作業などの労働に従事させられたが、「挺身隊」が問題にされはじめた1991年、KBSや東亜日報など韓国の大手マスコミは、選りにもよって13歳とか15歳の年端も行かぬ少女たちを日本兵の慰めものにしたと、大々的に誤報を流した。上記の「挺身隊」の語釈や用例は、これを反映したものである。ただ、「女子挺身隊=慰安婦」という誤った言葉づかいの図式は、最初は日本のマスコミが流したものとみられ、韓国のマスコミはこれにのっかかったものと思われる。当時、ソウル中心街の明洞で、報道記者が差し向けたマイクに向かって、「許し難い！」と歯を震わせる市民の姿が、テレビ画面に流された。事実に基づかない報道にうさん臭さを感じつつも、外人教授アパートに暮らしていた筆者は、守衛のおじさんと顔を合わすのもためらわれ、ついつつむいて守衛室の前を通り抜けるような心理状態に追い込まれたものだった。

『高麗大韓国語大辞典』での정신대(挺身隊)の語釈は、「①太平洋戦争の時、日帝が戦争遂行のために韓国女性らを強制動員した従軍慰安婦と勤労挺身隊を総称する言葉。②ある目的のために自発的に身を捧げる部隊。」となっており、いまや「挺身隊」は慰安婦と結びついた語として定着している。そして、語釈①に対する用例は「日本は、挺身隊に数多くの女性たちを強制動員した事実を認め、心から謝らなければならない。」となっている。

위안부(慰安婦)の『高麗大韓国語大辞典』での語釈は「戦争の時、軍人たちの性的道具として動員される女子」、用例は「第2次大戦中、日本軍は多くの韓国の女性たちを慰安婦として戦場に引っ張っていった。」となっ

ている。중군위안부（従軍慰安婦）の語釈は「第2次世界大戦中に日本の軍人たちの性的欲求を解消させるために、強制的に動員された女子。」、その用例は「日本、台湾、フィリピンなどで、従軍慰安婦として犠牲になった女性がたくさんいる。」、위안소（慰安所）の語釈は「戦争の時、女子たちを軍人たちの性的道具として動員するところ」、その用例は「日本軍慰安所は性奴隷制が現実化したところだった。」となっている。일본군 위안부（日本軍慰安婦）の語釈では、「日帝に強制徴用されて、日本軍の性欲解決の対象となった朝鮮、台湾、及び日本の女性を指す語」と書かれているが、ここでは「慰安婦」が労務動員としての「徴用」を通して創出されたかのような混乱を引き起こしている。

とはいえ、日本兵のための「慰安所」に、たくさんの朝鮮女性が存在したことは厳然たる事実であり、これらの辞典の記述からもわかるように、その傷が癒えることもないまま、韓国社会で語り続けられている。この真相は、当事者の日本社会の責任のもとに明らかにされるべき筋合いのものであって、韓国側主張の瑕疵を批判することに汲々としている日本社会の論調は、決して韓国の人々を納得させるものではない。

また、見出し語일본（日本）に採択された2つの用例は、「全州のマッコリが日本に進出する。」と「国連は日本政府に、慰安婦被害者たちに対する法的責任を認めよと促した。」であり、日本との経済摩擦や歴史問題に拘泥した用例選択となっている。

8-7. 徴兵・徴兵制

『延世韓国語辞典』の見出し語징병（徴兵）、징병 제도（徴兵制度）、징병제（徴兵制）には、それぞれ1つずつ用例が採択されているが、いずれも植民地時代の日本軍への徴兵に関する内容である。韓国では今も徴兵制が実施されている現状から、こうした用例選択の在り方は、植民地支配問題に偏重していると指摘せざるを得ない。

¶ 兄は徴兵にはかからない年齢だったが、徴用という労働動員が別にあったので、いつ徴集されるかわからない状況だった (징병: 徴兵)。¶ 日帝は徴兵制度を実施し、強制的にわが国の青年たちを戦場に引っ張っていった (징병 제도: 徴兵制度)。¶ 日帝は戦争が守勢に追い込まれると、本格的に徴兵制を実施し、それも足りずに学徒兵制度まで実施して、朝鮮の若者たちを戦場に追い立てた (징병제: 徴兵制)。

一方、『高麗大韓国語大辞典』では、징병 (徴兵)、징병검사 (徴兵検査)、징병관 (徴兵官)、징병기피죄 (徴兵忌避罪)、징병령 (徴兵令)、징병연령 (徴兵年齢)、징병자 (徴兵者)、징병적령 (徴兵適齡)、징병제 (徴兵制)、징병제도 (徴兵制度)、징병하다 (徴兵する) の11語の見出し語のうち、3つの見出し語にそれぞれ1つずつ用例が採択されているが、そのうち2つの用例は、以下のように植民地時代の日本軍に関する内容のものである。

¶ 日帝は徴兵制を通じて、わが国の青年たちを死に追いやった (징병제: 徴兵制)。¶ 彼らは日帝支配期に、密林に引っ張って行かれて死んだ徴兵者の遺骨を発掘した (징병자: 徴兵者)。

8-8. 徴用

『延世韓国辞典』では、징용 (徴用)、징용되다 (徴用される)、징용하다 (徴用する) の3つの見出し語に5つの用例が採択されているが、以下に示すように、いずれも植民地時代の内容となっている。

¶ かつての経済的な収奪と徴兵、挺身隊などの徴用に対して、日本は当然、賠償をしなければならない (징용: 徴用)。¶ 男たちはみんな徴用され、女たちが代わりに農作業をした。／彼は徴用され、炭鉱に引っ張られていき、びっこになって戻ってきた (징용되다: 徴用される)。¶ 太平洋戦争中に日帝は物資物資と人力が大変不足するようになると、我

が青年たちを強制的に徴用し、工場で働かせた。／日帝は460万名に達する労務者を徴用し、日本本土とサハリン、南洋等の地域の各種工場と炭鉱に派遣した（徴용하다：徴用する）。

一方、『高麗大韓国語大辞典』では징용（徴用）、징용권（徴用権）、징용되다（徴用される）、징용（徴用者）、징용장（徴用状）、징용제（徴用制）、징용하다（徴用する）の7つの見出し語のうちの4語に11個の用例が採択されている。このうち、7つは以下に示すように、明らかに植民地時代の内容となっており、さらに1つは植民地時代を背景にした用例だと思われる。

¶ 父は日帝支配期、徴用で引っ張られ、あらゆる辛酸をなめた。／日本は徴用や挺身隊として引っ張っていった朝鮮人の数を数十万とみているが、これはとんでもなく少ない数だ（징용：徴用）。¶ 幼い年で強制的に徴用され、生きるために多くの苦勞をした。／先月、日本軍によって徴用されていた長兄からは、まだ便りが無い（징용되다：徴用される）。¶ 大部分の在日同胞は、日帝支配期に強制的に引っ張られていった徴用者や底辺労働者の子孫である。／このたび、発掘された遺骨は日本に引っ張られていって、鉱山現場で酷使されたり、死んだりした徴用者であることが明らかになった（징용자：徴用者）。¶ 日本人たちは、男なら無慈悲に徴用する蛮行を働いた（징용하다：徴用する）。¶ その山里の人々は徴用を逃れて逃げてきた人々が大部分だった。（징용：徴用）。

なお、その他の用例は以下の3つである。

¶ 彼は敵軍によって徴用され、苦勞の果てに悲惨な死を迎えた。／朝鮮戦争の時に徴用されたあと失踪していたおじの消息を、今日になって耳にした。（징용되다：徴用される） ¶ 敵軍が橋の補修に多くの若者たちを

徴用した (징용하다: 徴用する)。

終わりに

本稿は、『延世韓国語辞典』と『高麗大韓国語大辞典』の文章用例を分析し、韓国社会が映し出された様相を明らかにしようとしたものである。『延世韓国語辞典』は、韓国で初めて言語コーパスを利用して編纂された朝鮮語辞典であり、また、接頭辞、接尾辞以外にはすべて文章用例を掲載している点でも、画期的な辞典である。利用された言語コーパスは延世大学で構築されたもので、1960年から1990年代半ばまでの韓国社会で活字化された諸文献に基づいている。したがって、この辞典で採択された用例を分析してみると、当時の韓国社会の様相がくっきりと浮かび上がって見える。

本稿第2章では、『延世韓国語辞典』の中から、当時の韓国社会の様相を比較的良好に反映している用例を中心に抽出し、20項目に分類してみた。この20項目以外にも、例えば朝鮮史、宗教、環境問題などの項目を立てることもできるが、本稿では取り扱わなかった。

上記20項目の中で、最も多くの用例がみられるのは、「戦争・軍隊・軍事関連」のものである。激しい内戦が展開された朝鮮戦争、その後も続く南北間の軍事的緊張関係、徴兵制度の施行など、日常生活においても重大な関心事であることが反映された結果だと思われる。

これに次いで、「民主主義・民主化関連」、「日本帝国主義・植民地支配関連」、「朝鮮戦争・南北分断関連」の用例が多く採択されている。

『延世韓国語辞典』が編纂された時期は、1980年代の韓国民主化闘争に引き続く韓国社会の民主化のうねりの渦中にあった。編纂者たちの中にも、こうした民主化のうねりの中に身を置いてきたであろうことは、用例選択の様相から察しがつく。用例を見ていると、民主化闘争や労働運動で苦闘し、貧しさに虐げられつつも人間的に生きようとする民衆の姿が浮かび上がってくるからである。

採択された用例に関して、この辞典の「まえがき」には、「自然に書かれた文章から直接取り出した用例であり、また、この辞書の最も大きな分量を占めているのが用例であるだけに、この辞書の多くの部分は、今日の韓国人が共に書いたものであるとみなすことができる」と書かれている。この辞典は、ただ単に見出し語が用いられたセンテンスを載せるだけにとどまらず、「今日の韓国人が共に」生きている姿を赤裸々に示しながら、編纂者と利用者の共感帯を形成しようとしているかのようである。歴史的・社会的背景を捨象した無味乾燥なセンテンスからなる用例が連なった、単なるツールとしての「国語辞典」ではなく、まさしく現代韓国社会を生きる人々の息吹を伝えている。

本稿第3章では、『高麗大韓国語大辞典』も調査対象にして、日本に関連する文章用例にみられる特徴について考察した。そこからは、日本帝国主義の朝鮮侵略の歴史が、単なる過ぎ去った過去のものとは認識されていない韓国社会の現状が、浮かび上がって見える。植民地支配下でこうむった被害や屈辱感、今も韓国の人々の心の奥深くトラウマとなって淀んでいることが、日本に関連する用例採択の様相からも明らかになった。

しかしながら、韓国の人々は日本を批判するだけではなく、今世紀に至っても、植民地支配に協力した「親日派」に対する批判、摘発を国家的事業として進めてきたように、植民地支配の歴史を清算するために、今も自らの身を切る民族的苦痛を味わっている。一方、日本社会の大勢は、アジア侵略の歴史を不十分にしか総括できないまま過去のこととみなし、朝鮮民族の「反日」的思考を、あたかも厄介で不当なことであるかのようにしか考えない傾向にある。韓国の代表的な「国語辞典」ともいえる『延世韓国語辞典』や『高麗大韓国語大辞典』の記述は、こうした日韓間の歴史認識の乖離を如実に示している。また、すでに指摘したように、これらの辞典は躍動的な韓国社会の変化の様相をありありと描き出している。

こうした辞典が韓国社会で編纂できるようになったのは、1980年代の反軍事独裁・民主化闘争に勝利した結果であり、いまだ相当な制約はあるに

せよ、それまで封殺されてきた言論の自由を獲得した韓国民衆の思想的成熟を背景に有しているからだと思われる。この意味で筆者は、本稿のタイトルを「韓国民主化闘争以後の「韓国語辞典」にみられる特徴について」と定めた。

果たして日本社会で、この『延世韓国語辞典』や『高麗大韓国語大辞典』ほど、現代を生きる人間の言葉をあげすけに描写し、人間愛にあふれた「国語辞典」が編纂されたことがあつただろうか。現実に社会で起きていることに目をつぶらず、民衆に奉仕し、民衆と共に歩もうとする韓国の「国語辞典」編纂者たちに敬意を表したい。

参考文献

- 『韓』第6巻第9号、1977年、韓国研究院
延世大学言語情報開発研究院『연세 한국어사전』、斗山東亜、1998
シドニー・ランドウ『辞書学のすべて』、研究社、1988
이정복 (イ・ジョンボク)「한국어 사전에 나타난 성차별 언어 연구」『한국어학 34』、2007
유현경·남길일 (ユ・ヒョンギョン・ナム・ギリル)『한국어사전 편찬학 개론-사전 편찬의 이론과 실제』、図書出版亦楽、2009
홍종선 (ホン・ジョンソン) 他『국어사전학개론』、제이앤씨、2009
정영숙 (チョン・ヨンスク)『한국어 한습사전의 내용 연구』、図書出版亦楽、2009
高麗大学民族文化研究院国語辞典編纂室編『고려대 한국어대사전』、高麗大学民族文化研究院、2009